HITACHI
Inspire the Next

Hitachi Business Continuity Manager

メッセージ

4010-1J-006

対象製品

Hitachi Business Continuity Manager Basic 9.1.0
Hitachi Business Continuity Manager UR 4x4 Extended CTG 9.1.0

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

HITACHI は，株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。
IBM，HyperSwap は，世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
IBM，MVS は，世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
IBM，RACF は，世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
IBM，System z は，世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
IBM，Tivoli は，世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
IBM，WebSphere は，世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
IBM，z/OS は，世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
Linux® is the registered trademark of Linus Torvalds in the U.S. and other countries.
その他記載の会社名，製品名などは，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

発行

2019 年 7 月　4010-1J-006

著作権

All Rights Reserved. Copyright © 2014, 2019, Hitachi, Ltd.

目次

はじめに....7
対象読者....8
マニュアルの構成....8

1. メッセージの形式....9
1.1 メッセージの出力形式....10
1.2 メッセージの記載形式....10
1.3 メッセージの出力先....11

2. YK から始まるメッセージ....13
2.1 YK から始まるメッセージ一覧....14
2.2 YK から始まる SYSTSPRT に出力される複数行メッセージ....141
2.3 対象となるボリュームの求め方....146
2.3.1 REXX スクリプトからのボリュームシリアル番号の特定....146
2.3.2 Configuration ファイルからのボリュームシリアル番号の特定....146

3. ストレージシステムのセンスバイト情報....147
3.1 エラーコード一覧....148

付録 A ユーザ完了コード....209
A.1 ユーザ完了コード一覧....210

付録 B このマニュアルの参考情報....211
B.1 関連マニュアル....212
B.2 このマニュアルでの表記....212
B.3 このマニュアルで使用している略語....213
B.4 KB（キロバイト）などの単位表記について....214

表目次

表 2-1 YK から始まるメッセージ一覧（YK70x - YK90x）.....14
表 2-2 YK から始まるメッセージ一覧（YKA0x - YKB20x）.....32
表 2-3 YK から始まるメッセージ一覧（YKC0x）.....35
表 2-4 YK から始まるメッセージ一覧（YKD0x）.....36
表 2-5 YK から始まるメッセージ一覧（YKE0x）.....37
表 2-6 YK から始まるメッセージ一覧（YKF0x）.....39
表 2-7 YK から始まるメッセージ一覧（YKG0x）.....40
表 2-8 YK から始まるメッセージ一覧（YKG2x - YKK10x）.....43
表 2-9 YK から始まるメッセージ一覧（YKL0x）.....55
表 2-10 YK から始まるメッセージ一覧（YKL2x - YKL4x）.....59
表 2-11 YK から始まるメッセージ一覧（YKM0x）.....63
表 2-12 YK から始まるメッセージ一覧（YKM1x - YKM5x）.....66
表 2-13 YK から始まるメッセージ一覧（YKM7x）.....68
表 2-14 YK から始まるメッセージ一覧（YKM90x）.....72
表 2-15 YK から始まるメッセージ一覧（YKN0x）.....73
表 2-16 YK から始まるメッセージ一覧（YKP0x）.....73
表 2-17 YK から始まるメッセージ一覧（YKQ0x）.....74
表 2-18 YK から始まるメッセージ一覧（YKR0x - YKR10x）.....76
表 2-19 YK から始まるメッセージ一覧（YKS0x）.....77
表 2-20 YK から始まるメッセージ一覧（YKS2x）.....79
表 2-21 YK から始まるメッセージ一覧（YKT0x）.....81
表 2-22 YK から始まるメッセージ一覧（YKT2x）.....82
表 2-23 YK から始まるメッセージ一覧（YKT4x）.....83
表 2-24 YK から始まるメッセージ一覧（YKU0x）.....84
表 2-25 YK から始まるメッセージ一覧（YKV0x）.....86
表 2-26 YK から始まるメッセージ一覧（YKW0x）.....87
表 2-27 YK から始まるメッセージ一覧（YKX0x）.....88
表 2-28 YK から始まるメッセージ一覧（YKX1x）.....88
表 2-29 YK から始まるメッセージ一覧（YKX2x）.....90
表 2-30 YK から始まるメッセージ一覧（YKY0x）.....91
表 2-31 YK から始まるメッセージ一覧（YKY1x）.....92
表 2-32 YK から始まるメッセージ一覧（YKY3x - YKY5x）.....93
表 2-33 YK から始まるメッセージ一覧（YKY6x）.....96
表 2-34 YK から始まるメッセージ一覧（YKY7x - YKY9x）.....99
表 2-35 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ0x）.....100
表 2-36 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ10x - YKZ20x）.....101
表 2-37 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ21x - YKZ24x）.....105

表 2-38 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ25x）..... 111
表 2-39 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ26x）..... 116
表 2-40 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ27x）..... 117
表 2-41 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ28x）..... 119
表 2-42 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ29x）..... 121
表 2-43 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ3x）..... 124
表 2-44 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ40x）..... 127
表 2-45 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ41x -YKZ91x）..... 131
表 3-1 エラーコード一覧（20xx – 22xx）..... 148
表 3-2 エラーコード一覧（23xx）..... 151
表 3-3 エラーコード一覧（36xx）..... 156
表 3-4 エラーコード一覧（37xx）..... 157
表 3-5 エラーコード一覧（46xx）..... 159
表 3-6 エラーコード一覧（47xx – 49xx）..... 163
表 3-7 エラーコード一覧（4Axx）..... 164
表 3-8 エラーコード一覧（4Bxx）..... 166
表 3-9 エラーコード一覧（50xx – 6Exx）..... 169
表 3-10 エラーコード一覧（7Fxx – 8Cxx）..... 172
表 3-11 エラーコード一覧（8Dxx）..... 173
表 3-12 エラーコード一覧（8Fxx）..... 179
表 3-13 エラーコード一覧（C0xx）..... 181
表 3-14 エラーコード一覧（C1xx）..... 183
表 3-15 エラーコード一覧（C2xx）..... 185
表 3-16 エラーコード一覧（C3xx - C8xx）..... 186
表 3-17 エラーコード一覧（CBxx）..... 194
表 3-18 エラーコード一覧（DBxx – E8xx）..... 197
表 3-19 エラーコード一覧（EAxx）..... 200
表 3-20 エラーコード一覧（EBxx – FDxx）..... 203
表 A-1 ユーザ完了コード..... 210

はじめに

このマニュアルは，次に示すプログラムプロダクトから出力されるメッセージおよびエラーコードについて説明したものです。

・Hitachi Business Continuity Manager Basic

・Hitachi Business Continuity Manager UR 4x4 Extended CTG

以降，上記製品を BC Manager と表記します。

❒ 対象読者

❒ マニュアルの構成

対象読者

このマニュアルは，次の方を対象としています。

- BC Manager を使用している方

マニュアルの構成

このマニュアルは，次に示す章から構成されています。

第 1 章　メッセージの形式

メッセージの形式について説明しています。

第 2 章　YK から始まるメッセージ

YK から始まるメッセージの内容について説明しています。

第 3 章　ストレージシステムのセンスバイト情報

メッセージ中に出力されるストレージシステムのセンスバイト情報（エラーコード）について説明しています。

付録 A　ユーザ完了コード

ユーザ完了コードについて説明しています。

付録 B　このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報について説明しています。

1

メッセージの形式

この章では，メッセージの形式と，マニュアルでの記載形式について説明します。

- 1.1 メッセージの出力形式
- 1.2 メッセージの記載形式
- 1.3 メッセージの出力先

1.1 メッセージの出力形式

メッセージは，メッセージ ID とそれに続くメッセージテキストで構成されます。メッセージの出力形式を次に示します。

YYYnnnZ メッセージテキスト

メッセージ ID の内容を次に示します。

- *YYY*
  メッセージの種別を示します。
  - YK*x*：BC Manager のメッセージ
    詳細は，「YK から始まるメッセージの種別」を参照してください。
- *nnn*
  メッセージの通し番号を示します。
- *Z*
  メッセージの重要度を示します。
  - T：致命的であることを示します。
  - E：エラーであることを示します。
  - W：警告であることを示します。
  - I：情報の通知であることを示します。

1.2 メッセージの記載形式

このマニュアルでのメッセージの記載形式を示します。メッセージは，メッセージ ID 順に記載しています。記載形式を次に示します。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
メッセージ ID メッセージの出力先 SC=*xx*※1 RC=*xx*※2(*付加情報*)※3	*メッセージテキスト*※4	*メッセージの説明*

注※1

Severity Code のことで，重要度を表す値です。出力先が MSG の場合，この値はコマンドリターン構成構造体の Severity に設定されます。コマンドリターン構成構造体については，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」を参照してください。

注※2

Return Code のことで，メッセージを出力する際に設定される値です。コマンドのリターンコードには，コマンド処理中に出力されたメッセージのリターンコードのうち，最も大きな値が設定されます。

注※3

エラーの個所，コピーペア番号などの，特定の事柄を確認するための詳細情報です。出力先が MSG の場合，この値はコマンドリターン構成構造体の Value に設定されます。

注※4

[ ]で囲まれている文字列は，省略される場合があることを示します。

1.3 メッセージの出力先

メッセージの出力先を次に示します。

- MSG：コマンドリターン構成構造体に出力されます。
- TSO：TSO/E 端末に出力されます。
- CON：コンソールに出力されます。
- SYS：SYSLOG に出力されます。
- PRT：SYSPRINT，または SYSTSPRT に出力されます。
- LOG：ISPF ログに出力されます。
- ISPF：ISPF 画面に出力されます。※
- XML：Hitachi Command Suite 製品側のログや画面に出力されます。

すべての CLI コマンドに共通の MSG パラメタが REXX メッセージ変数の配列を正しく指定している場合は，メッセージはその配列に保存されます。

MSG パラメタが誤って指定されている場合，または CLI コマンドが REXX インタフェース使用中にエラーが発生した場合は，メッセージはユーザの TSO/E 端末に表示されます。

CLI コマンドについては，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」を参照してください。

注※

ISPF 画面に出力されるメッセージは，ISPF システムコマンドで MSGID ON を指定している場合，メッセージ ID およびメッセージテキストが表示されます。MSGID OFF を指定している場合，先頭のメッセージ ID は表示されないで，メッセージテキストだけが表示されます。

2

YK から始まるメッセージ

この章では，YK から始まるメッセージについて説明します。

- 2.1 YK から始まるメッセージ一覧
- 2.2 YK から始まる SYSTSPRT に出力される複数行メッセージ
- 2.3 対象となるボリュームの求め方

2.1 YK から始まるメッセージ一覧

YK から始まるメッセージと対処方法について説明します。

実行待ち状態のコマンドがある場合は，実行が完了してから対処を実行してください。

YK から始まるメッセージの種別

- YK7：YKBTSCAN
- YK8：BCM Monitor
- YK9：ライセンス
- YKA：YKCONMSG
- YKB：コピーグループ定義生成機能で出力されるメッセージ
- YKC：YKSCAN
- YKD：YKDELETE
- YKE：YKEWAIT
- YKF：YKFREEZE
- YKG：YKHDAX（YKLOAD の内部プログラム）
- YKH：YKH2B
- YKJ：YKIMPORT，または YKEXPORT
- YKK：YKINSCHK
- YKL：YKLOAD
- YKM：YKMAKE，ISPF 画面に出力されるメッセージ，または ISPF ログ
- YKN：YKRUN
- YKP：YKSTATS
- YKQ：YKQUERY
- YKR：YKRESYNC
- YKS：YKSTORE
- YKT：YKALCSVC，YKSETENV，または YKDSPENV
- YKU：YKSUSPND
- YKV：YKRECVER
- YKW：YKWATCH
- YKX：YKBLDCMD，YKDELCMD，または YKQRYDEV
- YKY：BC Manager エージェント
- YKZ：すべてのコマンド，またはツール

表 2-1 YK から始まるメッセージ一覧（YK70x - YK90x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YK7000T PRT RC=16	Supplied parameters invalid: *line*	無効なパラメタが指定されました。*line* 行目の記述を見直してください。
YK7001E PRT RC=16	No *parameter-name* parameter supplied.	*parameter-name* パラメタが指定されていません。
YK7003E PRT RC=16	The parameter *parameter-name* is invalid: *line*	*parameter-name* パラメタに指定された値に誤りがあります。*line* 行目を見直し，次のことを確認してください。 ・ オペランド長が正しいこと

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		• オペランド値の形式が正しいこと • DEVN，VOLSER，または RANGE パラメタで，スキャン範囲の最後の値に最初の値より大きい値を指定していること
YK7004E PRT RC=16	The parameter *parameter-name* is invalid.	*parameter-name* パラメタに指定された値に誤りがあります。
YK7006E PRT RC=16	Duplicate values exist. (parameter=*parameter-name1*, duplicate parameter=*parameter-name2*)	*parameter-name1* パラメタと *parameter-name2* パラメタに同じ値が指定されました。
YK7014I PRT	RC: *rc* CMD: *command-name*	*command-name* コマンドを発行して，リターンコード *rc* で終了しました。
YK7015I PRT	RC: *rc* CMD: *command-name* Severity: *Severity* Text: *Text* Value: *Value*	*command-name* コマンドを発行して，リターンコード *rc* で終了しました。 *Severity* コマンドリターン構成構造体の Severity に格納される Severity Code *Text* コマンドリターン構成構造体の Text に格納されるメッセージ ID とメッセージテキスト *Value* コマンドリターン構成構造体の Value に格納される詳細情報 Severity: *Severity*，Text: *Text*，Value: *Value* は，コマンドリターン構成構造体に含まれるメッセージ数分表示されます。
YK7031I PRT RC=0	Scanned DASD Device Count: *count*	YKBTSCAN の実行で，スキャンされたデバイス数を出力します。 *count* スキャンされたデバイス数
YK7032I PRT RC=0	Hitachi storage systems Devices Found: *count*	YKBTSCAN の実行で，スキャンされた日立製ストレージシステムのデバイス数を出力します。 *count* スキャンされた日立製ストレージシステムのデバイス数
YK7033I PRT RC=4	The specified devices that do not have any available I/O paths were skipped: *count*	スキャンの結果，使用できる入出力パスがないデバイスの情報取得をスキップしました。 *count* 情報取得をスキップしたデバイス数
YK7034I PRT RC=0	Dummy device numbers in the disk configuration definition file were changed: *count*	ディスク構成定義ファイル中のダミーデバイス番号が変更されました。 *count* ダミーデバイス番号が変更されたディスク構成定義ファイル中のデバイス数
YK7099I PRT	YKBTSCAN return code=*nnnn*	YKBTSCAN は，リターンコード *nnnn* で終了しました。 このメッセージは，リターンコードを示すために必ず表示されます。 *nnnn* 出力されたリターンコードの中での最大値
YK7100E PRT RC=16	A duplicate serial number exists. (SN=*SN*, model=*model1*, other model=*model2*, pos=*pos*)	ストレージシステムのシリアル番号が重複しているため，処理を中断します。三つ以上のストレージシステムのシリアル番号が重複している場合でも，モデル名は二つしか表示されません。 *SN* 重複しているシリアル番号 *model1* シリアル番号が重複しているストレージシステムのモデル *model2*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		シリアル番号が重複している別のストレージシステムのモデル *pos* 保守情報
YK7101E PRT RC=16	You cannot perform a local scan because a remote DADID or Non Gen'ed DADID is specified as the local DADID.	ローカル DADID として，リモート DADID または Non Gen'ed DADID が指定されているため，ローカルスキャンをバッチジョブで実行できません。
YK7102E PRT RC=16	The remote scan or NG scan could not be performed, because a *DAD* DADID is specified for *parameter-name*.	*parameter-name* パラメタに *DAD* の DADID が指定されているため，リモートスキャンまたは NG スキャンをバッチジョブで実行できません。 *DAD* ◦ Local：ローカル DAD ◦ Rlocal：リモートサイトのローカル DAD（リモートサイトを始点とするルートの先頭 DAD）
YK7103E PRT RC=16	The specified dummy device number already exists in the disk configuration definition file. (dummy device number=*dummy*, line=*line*, SN=*SN*, CU=*CU*, CCA=*CCA*)	RENUM パラメタ指定時，または CCA 指定の DUMMY パラメタ指定時に，ダミーデバイス番号（*dummy*）がディスク構成定義ファイル中のダミーデバイス番号と重複しました。重複したダミーデバイス番号は，シリアル番号が *SN* のストレージシステムの，CU 番号が *CU*，CCA が *CCA* のボリュームに割り当てられています。 *line* 行目で指定したダミーデバイス番号を見直し，重複しないダミーデバイス番号に変更してください。または，ダミーデバイス番号が重複したボリュームを含むようにスキャン範囲を変更してください。
YK7104E PRT RC=16	The same dummy device number was specified more than once. (dummy device number=*dummy*, line=*line1*, duplicate line=*line2*)	RENUM パラメタ指定時，スキャン範囲内でダミーデバイス番号（*dummy*）が重複しました。 *line1* 行目と *line2* 行目で指定したダミーデバイス番号を見直し，ダミーデバイス番号が重複しないように指定してください。
YK7105E PRT RC=16	There are no dummy device numbers that can be specified for the volume. (line=*line*, SN=*SN*, CU=*CU*, CCA=*CCA*)	*line* 行目で指定したボリュームに対して割り当てられるダミーデバイス番号がありません。ダミーデバイス番号の割り当てに失敗したのは，シリアル番号が *SN* のストレージシステムの，CU 番号が *CU*，CCA が *CCA* のボリュームです。 ディスク構成定義ファイルを削除してから再度スキャンするか，または RENUM パラメタを指定して全範囲をスキャンしてください。
YK7106E PRT RC=16	The same scan range was specified for multiple RANGE parameters. (line=*line1*, duplicate line=*line2*)	複数の RANGE パラメタでスキャン範囲が重複しました。 *line1* 行目と *line2* 行目を見直して，RANGE パラメタのスキャン範囲が重複しないように指定してください。
YK7107E PRT RC=16	You cannot perform an NG scan because no local scan has been performed for the specified storage system. (line=*line*)	*line* 行目に指定したストレージシステムに対してローカルスキャンを実行していないため，NG スキャンを実行できません。
YK7108E PRT RC=16	The specified dummy device number already exists in the disk configuration definition file. (dummy device number=*dummy*, line=*line*, SN=*SN*, CU=*CU*, CCA=*CCA*)	RENUM パラメタ指定時，または CCA 指定の DUMMY パラメタ指定時に，ダミーデバイス番号（*dummy*）がディスク構成定義ファイル中のダミーデバイス番号と重複しました。重複したダミーデバイス番号は，シリアル番号が *SN* のストレージシステムの，CU 番号が *CU*，CCA が *CCA* のボリュームに割り当てられています。 *line* 行目で指定したダミーデバイス番号を見直し，重複しないダミーデバイス番号に変更してください。または，ダミーデバイス番号が重複したボリュームを含むようにスキャン範囲を変更してください。
YK7109E PRT RC=16	The same dummy device number was specified more than once. (dummy device	RENUM パラメタ指定時，スキャン範囲内でダミーデバイス番号（*dummy*）が重複しました。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
	number=*dummy*, line=*line1*, duplicate line=*line2*)	*line1* 行目と *line2* 行目で指定したダミーデバイス番号を見直し，ダミーデバイス番号が重複しないように指定してください。
YK7110E TSO RC=44	YKBTSCAN failed because of an ATTACH macro failure. RC=*return-code*	サブタスクを生成できませんでした。YKBTSCAN は終了します。 *return-code*（10 進数） ATTACH マクロのリターンコード
YK8001I CON	BCM Monitor started. (*v.r.m-nn*)	BCM Monitor が起動されました。 *v.r.m-nn* バージョン・リビジョン番号
YK8002I CON	BCM Monitor terminated.	BCM Monitor が終了しました。
YK8003I PRT CON	*time* BCM Monitor stopped monitoring Copy Groups.	BCM Monitor は，すべてのコピーグループの監視状態を INACTIVE に設定しました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8007I PRT CON	*time* Synchronization percentage decreased, Copy Group:*cgid*.	コピーグループ（*cgid*）のコピー進捗率が減少しています。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *cgid* コピーグループ ID
YK8008E CON	BCM Monitor initialization failed: *termination-code*.	BCM Monitor は，このメッセージより前にコンソールまたは dd SYSTSPRT に出力されたメッセージに示された理由で起動できません。 センター管理者に連絡してください。センター管理者は，このメッセージよりも前に出力されているメッセージを処置してから，BCM Monitor を再起動してください。 *termination-code*（10 進数） ・ 04：IKJEFT01 を使用しないで起動しようとしました。 ・ 20：YKMONOPT ファイルの解析処理に失敗しました。 ・ 24：YKMONCG ファイルの解析処理に失敗しました。 ・ 32：処理モジュールのローディングでエラーが発生しました。 ・ 36：RACF の FACILITY クラスにプロファイルが定義されていません。 ・ 40：YKMONCG ファイルで指定したプレフィックスは，BC Manager エージェントで使用されています。 ・ 44：サブタスクの初期化処理に失敗しました。
YK8009E CON	Task(*task-ID*) abended: *completion-code*.	BCM Monitor の起動処理中に，タスクが異常終了しました。BCM Monitor は終了します。 *task-ID* タスクを識別する名称 *completion-code* システムの完了コード
YK8010E CON	Module not found: *load-module-name*.	*load-module-name* で示されるロードモジュールが見つかりません。BCM Monitor は終了します。 ロードモジュールが正しくインストールされているか確認してください。
YK8011E CON	The profile is not defined in the facility class of RACF: *xxxxxxxx*.	RACF の FACILITY クラスに，STGADMIN.YKA.BCM.YKQUERY プロファイルまたは STGADMIN.YKA.BCM.COMMANDS プロファイルが定義されていません。 RACF の設定を見直してから BCM Monitor を再起動してください。 *xxxxxxxx*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		保守情報
YK8012E CON	The specified prefix is being used by another program: *prefix-name*.	指定されたプレフィックス *prefix-name* は，ほかのプログラムで使用中です。 YKMONCG ファイルを見直してください。
YK8013E CON	BCM Monitor abended.	BCM Monitor が異常終了しました。 原因が不明な場合は，SYSABEND ダンプ形式の ABEND ダンプを採取してから，顧客問い合わせ窓口に調査を依頼してください。
YK8014 CON	MODIFY command accepted: *command-name*.	BCM Monitor は，MODIFY *command-name* コマンドを受け付けました。
YK8015I CON	STOP command accepted.	BCM Monitor は，STOP コマンドを受け付けました。
YK8016E CON	Command syntax error.	コマンドの構文に誤りがあります。 入力したコマンドを見直してください。
YK8017E CON	Invalid command: *command-name*.	*command-name* コマンドに誤りがあります。 入力したコマンドを見直してください。
YK8018E CON	Operand is incorrect: *command-name*.	*command-name* コマンドのオペランドの内容に誤りがあります。 誤りを訂正してから再度入力してください。
YK8019E CON	The number of commands of execution waiting exceed the upper limit: *command-name*.	実行待ち状態となっているコマンドの数が上限を超えたため，*command-name* で示されるコマンドは実行されません。 実行待ち状態のコマンドが完了してから再実行してください。
YK8020I CON	*nn*:*command-name*[*parameter*].	実行待ち状態となっているコマンドについての情報が表示されます。 *nn* 実行待ち状態のコマンドの待機番号 *command-name* 実行待ち状態のコマンドの名称 コマンドを省略形で入力した場合でも正式名称が表示されます。 *parameter* 実行待ち状態のコマンドで指定したパラメタ パラメタを省略形で指定した場合でも正式名称が表示されます。省略できるパラメタを省略した場合は，仮定した標準値が表示されます。
YK8021I CON	Execution waiting command none.	実行待ち状態のコマンドはありません。
YK8022I CON	The state of sleep was released.	BCM Monitor のスリープが解除されました。
YK8023W CON	The WAKEUP command was not executed because it is not in a sleep status.	BCM Monitor はスリープしていないため，WAKEUP コマンドは実行されません。
YK8024E CON	Insufficient space available: *maintenance-information*.	BCM Monitor での領域の確保に失敗しました。BCM Monitor は終了します。 リージョンサイズを大きくしてから BCM Monitor を再起動してください。 *maintenance-information* エラー解析を助けるための詳細情報
YK8025E CON	IRXJCL module error: *return-code*.	IRXJCL ルーチンが，*return-code* で示されるリターンコードでエラーリターンしました。BCM Monitor は終了します。 リターンコードを調査してください。リターンコードが 20 の場合，BCM Monitor の起動用カタログドプロシジャの SYSEXEC DD 文が誤っているおそれがあります。 JCL を見直してから再実行してください。 *return-code* ・ 20：EXEC 処理が実行されませんでした。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		• 20021：IRXJCL に渡したパラメタリストに誤りがありました。
YK8026E CON	IRXINIT module error: code=*return-code*,R0=*abnormal-termination-code-and-reason-code*,PARM7=*reason-code*.	IRXINIT ルーチンが，*return-code* で示されるリターンコードでエラーリターンしました。BCM Monitor は終了します。 リターンコードを調査してください。 *return-code* • 20:エラーが発生したため，処理が失敗しました。IRXINIT が PARM7 に返す理由コードを調査してください。 • 100：IRXINIT の環境検出中にシステム異常終了が発生したため，処理が失敗しました。システムは，異常終了を記述するメッセージを複数出力することがあります。さらに，R0 は異常終了コードおよび異常終了理由コードを含みます。 *abnormal-termination-code-and-reason-code* IRXINIT は，異常終了コードを R0 の下位 2 バイト，異常終了理由コードを R0 の高位 2 バイトに入れて返します。異常終了理由コードが 2 バイトより大きい場合，IRXINIT は異常終了理由コードの下位 2 バイトだけを返します。異常終了コードと理由コードについては，IBM マニュアル「*MVS システム・コード*」を参照してください。 *reason-code* 理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E REXX 解説書*」を参照してください。
YK8027E CON	IRXTERM module error: code=*return-code*,R0=*abnormal-termination-code-and-reason-code*.	IRXTERM ルーチンが，*return-code* で示されるリターンコードでエラーリターンしました。BCM Monitor は終了します。 リターンコードを調査してください。 *return-code* リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E REXX 解説書*」を参照してください。 *abnormal-termination-code-and-reason-code* R0 は異常終了コードおよび異常終了理由コードを含みます。IRXTERM は，異常終了コードを R0 の下位 2 バイト，異常終了理由コードを R0 の高位 2 バイトに入れて返します。異常終了理由コードが 2 バイトより大きい場合，IRXTERM は異常終了理由コードの下位 2 バイトだけを戻します。異常終了コードと理由コードについては，IBM マニュアル「*MVS システム・コード*」を参照してください。
YK8028E CON	BCM Monitor function abend: code=*Sxxx Uxxxx* abended-module=*module-name* C-Date=*module-creation-date* base=*bbbbbbbb* disp=*dddd* [calling-module=*module-name* C-Date=*y'y'.m'm'.d'd'* base=*bbbbbbbb* disp=*dddd*] PSW=*pppppppp pppppppp* ILC=*ll* INTC=*xx* Registers at time of failure GR 00-03 *contents-of-register-0 contents-of-register-1 contents-of-register-2 contents-of-register-3* GR 04-07 *contents-of-register-4 contents-of-register-5 contents-of-register-6 contents-of-register-7*	BCM Monitor の処理中に，メインタスクまたはサブタスクが異常終了しました。回復できなかった場合，BCM Monitor は終了します。 センター管理者に連絡してください。 *Sxxx*（16 進数） タスク異常終了時のシステム完了コード *Uxxxx*（10 進数） タスク異常終了時のユーザ完了コード *module-name* BCM Monitor モジュールのセクション名またはロードモジュール名 モジュールを特定できない場合，UNKNOWN が表示されます。UNKNOWN が表示された場合，*y'y'.m'm'.d'd'*および *bbbbbbbb* の値は正しくありません。 *module-creation-date* 次のどちらかの形式で表示されます。 • *y'y'.m'm'.d'd'*：*module-name* で示されたモジュールの作成日付

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
	GR 08-11 *contents-of-register-8 contents-of-register-9 contents-of-register-10 contents-of-register-11* GR 12-15 *contents-of-register-12 contents-of-register-13 contents-of-register-14 contents-of-register-15*	• *y'y'/m'm'/d'd'* : *module-name* で示されたモジュールの作成日付 *bbbbbbbb* ベースレジスタの内容 *dddd* • ABENDED-MODULE の場合：ABENDED-MODULE を呼び出した場所のモジュールの先頭からの相対位置 • CALLING-MODULE の場合：CALLING-MODULE を呼び出した場所のモジュールの先頭からの相対位置 *pppppppp pppppppp* 異常終了したときの PSW *ll* 異常終了したときの命令の長さ *xx* 異常終了時の割り込みコード
YK8031W CON	The specified *error-type* is invalid: *command-name*.	*command-name* コマンドで指定した，*error-type* で示される値が無効です。 *error-type* • label：ラベル名が無効です。YKMONCG ファイルで指定した ACTION=STOPPOINT のラベル名を確認してください。 • copy group：コピーグループ ID が無効です。YKMONCG ファイルで指定した CGID のコピーグループ ID を確認してください。
YK8032E CON	*service-name* service error occurred: return code=*return-code*, reason code=*reason-code*.	TSO/E サービスルーチン（*service-name*）が *return-code* で示すリターンコードでエラーリターンしました。 リターンコードを調査してください。 *return-code* および *reason-code* については，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」を参照してください。
YK8040I PRT CON	*time* BCM Monitor will stop at STOPPOINT '*label*'.	BCM Monitor は，*label* で示されるポイントで終了します。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *label* 終了するポイントのラベル名
YK8041I PRT CON	*time* BCM Monitor will stop at the end of monitor cycle.	BCM Monitor は，サイクルの終わりで終了します。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8042I PRT CON	*time* BCM Monitor will sleep at STOPPOINT '*label*' for max '*sleep-time*' minutes.	BCM Monitor は，*label* で示されるポイントでスリープします。WAKEUP コマンドを入力すると，*sleep-time* で示される時間が経過する前にコピーグループの監視を再開します。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *label* 終了するポイントのラベル名 *sleep-time* スリープする時間
YK8043I PRT CON	*time* BCM Monitor reached the STOPPOINT '*label*'.	BCM Monitor は，*label* で示されるポイントに到達しました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8044I PRT CON	*time* BCM Monitor will sleep now for max '*sleep-time*' minutes.	BCM Monitor は，*sleep-time* で示される時間スリープします。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		WAKEUP コマンドを入力すると,*sleep-time* で示される時間が経過する前にコピーグループの監視を再開します。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *sleep-time* スリープする時間
YK8045I PRT CON	*time* BCM Monitor reached the end of the monitoring cycle.	BCM Monitor のサイクルが終了しました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます
YK8046I PRT CON	*time* Execute operator command '*opcmd*'.	BCM Monitor は,*opcmd* で示されるオペレータコマンドを実行します。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8047I PRT CON	*time* Set MONITOR=*status* for Copy Group '*cgid*'.	BCM Monitor は, *cgid* で示されるコピーグループの監視状態を *status* に設定しました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *status* ・ START：コピーグループの監視状態が ACTIVE に設定されました。 ・ STOP：コピーグループの監視状態が INACTIVE に設定されました。
YK8048I PRT CON	*time* Set CYCLETIME to：*cycletime*.	BCM Monitor は，CYCLETIME を *cycletime* で指定された値に設定しました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8049I PRT CON	*time* Set WAITTIMEOUT to：*timeout*.	BCM Monitor は，WAITTIMEOUT を *timeout* で指定された値に設定しました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8050I PRT CON	*time* Set MSGLEVEL to：MSGLEVEL=*lvllog*,*lvlcons*.	BCM Monitor は，MSGLEVEL を *lvllog* および *lvlcons* で指定された値に設定しました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *lvllog* SYSTSPRT に出力するメッセージレベル *lvlcons* コンソールに出力するメッセージレベル
YK8054I PRT CON	*time* BCM Monitor resume monitoring.	BCM Monitor は，処理を再開しました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8055I PRT CON	*time* BCM Monitor will pause now for '*sleep-time*' minutes.	PAUSE アクションが実行されたため, BCM Monitor はスリープします。 WAKEUP コマンドを入力すると,*sleep-time* で示される時間が経過する前にコピーグループの監視を再開します。 *time*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *sleep-time* スリープする時間
YK8056E PRT CON	*time* Failed to execute operator command.	BCM Monitor は，オペレータコマンドの実行に失敗しました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8070E PRT	*time* File Open error：*dd-name*.	*dd-name* に示されたファイルを開けませんでした。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *dd-name* エラーが発生したファイルの DD 名
YK8071E PRT	*time* File Close error：*dd-name*.	*dd-name* に示されたファイルを閉じられませんでした。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *dd-name* エラーが発生したファイルの DD 名
YK8073E PRT	*time* A GETMAIN error occurred. return code=*nnn*.	GETMAIN エラーが発生しました。プログラムは処理を中止します。 保守員に連絡してください。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *nnn*（10 進数） GETMAIN マクロのリターンコード
YK8074E PRT	*time* A FREEMAIN error occurred. return code=*nnn*.	FREEMAIN エラーが発生しました。プログラムは処理を中止します。 保守員に連絡してください。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *nnn*（10 進数） FREEMAIN マクロのリターンコード
YK8075E PRT	*time* Parameter syntax error：*file*：*rec#*.	パラメタの構文に誤りがあります。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *file* エラーが発生したファイルの名称 *rec#* *file* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YK8076E PRT	*time* Invalid parameter was specified：*file*：*rec#*.	無効なパラメタが指定されました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *file* エラーが発生したファイルの名称 *rec#* *file* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YK8077E PRT	*time* Invalid value was specified for *param* parameter：*file*：*rec#*.	*param* に示されたパラメタの値が不正です。 *time*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *file* エラーが発生したファイルの名称 *rec#* *file* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YK8078E PRT	*time* A required parameter is missing : *file* : *param-name*.	*param-name* に示された必須パラメタが指定されていません。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *file* エラーが発生したファイルの名称 *param-name* 必須パラメタの名称
YK8079E PRT	*time* CGID parameter must be specified first : *rec#*.	YKMONCG ファイルのコピーグループパラメタの先頭には，CGID パラメタを指定してください。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *rec#* エラーが検出された行番号
YK8080E PRT	*time* Duplicate CGID parameters found : *cgid*.	YKMONCG ファイルに，*cgid* に示されたコピーグループが重複して指定されています。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *cgid* 重複して指定されている CGID パラメタの値
YK8081E PRT	*time* Combination of STATUS and ACTION is invalid : *rec#*.	YKMONCG ファイルの STATUS と ACTION の組み合わせが不正です。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *rec#* エラーが検出された行番号
YK8082E PRT	*time* Combination of Startup Status and NOCANCEL is invalid : *rec#*.	YKMONCG ファイルの CGSTARTUPSTATUS パラメタに指定された開始状態と NOCANCEL の組み合わせが不正です。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *rec#* エラーが検出された行番号
YK8083E PRT	*time* The corresponding CGID parameter is not defined : *cgid*.	YKMONCG ファイルの ACTION パラメタに指定されたコピーグループ *cgid* は定義されていません。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *cgid* ACTION パラメタに指定されたコピーグループ ID
YK8084E PRT	*time* The continuation symbol can not be specified in the final record : *file*.	最終レコードに継続行記号が指定されています。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *file* エラーが発生したファイルの名称

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YK8085E PRT	*time* File record format is invalid : *dd-name*.	*dd-name* に示されたファイルのレコード形式が不正です。 レコード形式は，F，FB，V，または VB のどれかにしてください。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *dd-name* エラーが発生したファイルの DD 名
YK8100I PRT CON	*time sendmsg*	CONS レベル指定の SENDMSG に指定されたメッセージ（*sendmsg*）が表示されます。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8200I PRT CON	*time sendmsg*	ERROR レベル指定の SENDMSG に指定されたメッセージ（*sendmsg*）が表示されます。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8220E PRT CON	*time cmd* error for Copy Group '*cgid*' *time* return code *rc* received from *cmd* *time* COMMAND : '*cmd-parm*' *time* MSG: *time* ['*err-msg*'].	*cgid* のコピーグループに対する *cmd* コマンド実行中にエラーが発生しました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *cmd-parm* 実行された CLI コマンド *rc* CLI コマンドのリターンコード *err-msg* CLI コマンドのコマンドリターン構成構造体に含まれるメッセージ コマンドリターン構成構造体に含まれるメッセージの数分の行が表示されます。
YK8221I PRT CON	*time* YKEWAIT (RC=4) : TIMEOUT value (*timeout*) reached.	YKEWAIT コマンドが要求されたグループ状態に遷移する前にタイムアウトしました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *timeout* タイムアウト値
YK8222E PRT CON	*time* YKEWAIT (RC=8) : Unexpected status reached.	YKEWAIT コマンドの実行中に，想定外のグループ状態に遷移しました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8223W PRT CON	*time cmd* (RC=4) : Some volumes with invalid status found.	*cmd* で示される CLI コマンドの実行中に，コピーグループ内に不正な状態のボリュームが見つかったため，該当するボリュームの処理をスキップしました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8230E PRT CON	*time* REPORT *type* is only valid for TCA or UR Copy Groups.	*type* で示される情報の REPORT は，TCA または UR コピーグループに対してだけ有効です。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		type レポート情報の種別
YK8231E PRT CON	*time* BCM Monitor can not adjust Copy Group status.	BCM Monitor は，コピーグループの状態を指定された開始状態にすることができませんでした。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8300I PRT CON	*time sendmsg*	STATUS レベル指定の SENDMSG に指定されたメッセージ（*sendmsg*）が表示されます。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8301I PRT CON	*time* Not all volumes are in '*status*'. *action* requested.	*status* で示される状態になっていないボリュームがあるため，*action* で示されるアクションを実行します。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8302I PRT CON	*time* Trying to *cmd* Copy Group '*cgid*'.	コピーグループ *cgid* に対して，*cmd* で示される CLI コマンドを実行します。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8303I PRT CON	*time* Waiting for status '*status*'.	BCM Monitor は，監視中のコピーグループが *status* で示される状態に遷移するまで待機します。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8304I PRT CON	*time* Copy Group is in '*status*' status. Wait until status has changed.	コピーグループが *status* で示される状態にあるため，BCM Monitor は状態が変化するまで待機します。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8305I PRT CON	*time* Status ok.	コピーグループが期待する状態になりました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8310I	「2.2 」を参照してください。	－
YK8311I CON	REPORT SUMMARY: COPY GROUP : *cgid* TYPE : *cgtype* DAD-ID : *dad* PREFIX : *prefix* SIMPLEX : *simplexct* PENDING : *pendingct* DUPLEX : *duplexct* SUSPEND : *suspendallct* OTHER : *otherct* GROUP STATUS : *status* MATCHING% : *match* REVERSED% : *rev%* ATTIME(GMT) : *attime* -STATUS : *attms*	REPORT に SUMMARY を指定した場合のレポート情報が表示されます。 *cgid* コピーグループ ID *cgtype* コピーグループ種別 *dad* コピーグループのローカル DADID *preifx* プレフィックス *simplexct* SIMPLEX 状態のコピーペアの数 *pendingct* PENDING 状態のコピーペアの数 *duplexct* DUPLEX 状態のコピーペアの数 *suspendallct*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		SUSPEND 状態のコピーペアの数 *otherct* その他の状態のコピーペアの数 *status* コピーグループの状態 *match* コピー進捗率 *rev%* コピー方向がセカンダリからプライマリであるコピーペアの割合 *attime* ATTIME サスペンド時刻 *attms* ATTIME サスペンドの状態
YK8312I	「2.2 」を参照してください。	－
YK8313I CON	REPORT DETAIL: COPY GROUP : *cgid* TYPE : *cgtype* DAD-ID : *dad* PREFIX : *preifx* VOLSER PDEVN DIR SDEVN STATUS MATCH% C/T SUBC/T DELTA CTTIME *volser pdevn dir sdevn status match ctid sub-ctid ctdelta cttime*	REPORT に DETAIL を指定した場合のレポート情報が表示されます。 *cgid* コピーグループ ID *cgtype* コピーグループ種別 *dad* コピーグループのローカル DADID *preifx* プレフィックス *volser* ボリュームシリアル番号 *pdevn* プライマリデバイス番号 *dir* コピー方向 • >：プライマリからセカンダリ • <：セカンダリからプライマリ *sdevn* セカンダリデバイス番号 *status* コピーペア状態 *match* コピーペア一致率 *ctid* C/T グループ ID または M-JNL グループ ID *sub-ctid* R-JNL グループ ID *ctdelta* C/T グループ単位の C/T デルタ値 *cttime* C/T グループ単位のコンシステンシー時刻
YK8314I	「2.2 」を参照してください。	－
YK8315I CON	REPORT RPO: COPY GROUP : *cgid* C/T SUBC/T PSN SSN DELTA CTTIME *ctid sub-ctid psn ssn ctdelta cttime*	REPORT に RPO を指定した場合のレポート情報が表示されます。 *cgid* コピーグループ ID *ctid* C/T グループ ID または M-JNL グループ ID *sub-ctid* R-JNL グループ ID

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		psn プライマリストレージシステムのシリアル番号 *ssn* セカンダリストレージシステムのシリアル番号 *ctdelta* C/T デルタ値 *cttime* コンシステンシー時刻
YK8316I	「2.2 」を参照してください。	－
YK8317I CON	REPORT STATS: COPY GROUP : *cgid* TYPE : *cgtype* DAD-ID : *dad* PREFIX : *prefix* C/T PSN SSN SFT PRSFTOT PRSFC/T PWPRTOT SRSFTOT SRSFC/T SWPRTOT TRANS OFLD RCUR CPND *ctid psn ssn sidefile-threshold p-rsf-all p-rsf-ct p-wpr-all s-rsf-all s-rsf-ct s-wpr-all mcu-to-rcu-kbps offload-timer rcu-ready-timer copy-pending-timer*	REPORT に STATS を指定した場合の，TCA コピーグループのレポート情報が表示されます。 *cgid* コピーグループ ID *cgtype* コピーグループ種別 *dad* コピーグループのローカル DADID *prefix* プレフィックス *ctid* C/T グループ ID *psn* プライマリストレージシステムのシリアル番号 *ssn* セカンダリストレージシステムのシリアル番号 *sidefile-threshold* サイドファイルしきい値 *p-rsf-all* プライマリリザーブサイドファイル占有率 *p-rsf-ct* プライマリリザーブサイドファイル C/T 分占有率 *p-wpr-all* プライマリライトペンディング率 *s-rsf-all* セカンダリリザーブサイドファイル占有率 *s-rsf-ct* セカンダリリザーブサイドファイル C/T 分占有率 *s-wpr-all* セカンダリライトペンディング率 *mcu-to-rcu-kbps* MCU-RCU 間のデータ転送速度（Kbps） *offload-timer* オフローディングタイマ *rcu-ready-timer* RCU レディタイマ *copy-pending-timer* コピーペンディングタイマ
YK8318I	「2.2 」を参照してください。	－
YK8319I CON	REPORT STATS: COPY GROUP : *cgid* TYPE : *cgtype* DAD-ID : *dad* PREFIX : *prefix* C/T SUBC/T PSN SSN TRANS PJMET% PJDAT% SJMET% SJDAT% PJDATA SJDATA	REPORT に STATS を指定した場合の，UR コピーグループのレポート情報が表示されます。 *cgid* コピーグループ ID *cgtype* コピーグループ種別 *dad* コピーグループのローカル DADID

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
	ctid sub-ctid psn ssn mcu-to-rcu-kbps p-jnl-meta p-jnl-data s-jnl-meta s-jnl-data p-jnl-data-capacity s-jnl-data-capacity	*prefix* プレフィックス *ctid* M-JNL グループ ID *sub-ctid* R-JNL グループ ID *psn* プライマリストレージシステムのシリアル番号 *ssn* セカンダリストレージシステムのシリアル番号 *mcu-to-rcu-kbps* MCU-RCU 間のデータ転送速度（Kbps） *p-jnl-meta* M-JNL ボリューム内のメタデータ使用率 *p-jnl-data* M-JNL ボリューム内のデータ使用率 *s-jnl-meta* R-JNL ボリューム内のメタデータ使用率 *s-jnl-data* R-JNL ボリューム内のデータ使用率 *p-jnl-data-capacity* M-JNL ボリューム内データ容量（GB） *s-jnl-data-capacity* R-JNL ボリューム内データ容量（GB）
YK8320I PRT CON	*time* Copy Group '*cgid*' has reached target status '*status*'.	コピーグループ（*cgid*），監視対象の *status* 状態に遷移しました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8321I PRT CON	*time* Some volumes are in a 'TRANSITION' status.	TRANSITION 状態のボリュームがあります。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8322I PRT CON	*time* Some volumes are in a 'TRANSITION', 'SIMPLEX', 'HOLD' OR ERROR status.	TRANSITION 状態，SIMPLEX 状態，HOLD 状態，または異常な状態のボリュームがあります。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8323I PRT CON	*time* Some volumes are not in a 'HOLDER' status.	HOLDER 状態ではないボリュームがあります。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8324I PRT CON	*time* All volumes are in 'HOLDER' status.	すべてのボリュームが HOLDER 状態です。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8325I PRT CON	*time* Copy Group '*cgid*' is '*status*' now.	コピーグループ（*cgid*），*status* で示される状態になりました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8326I PRT CON	*time* Copy Group '*cgid*' will be suspended at: *atparm*.	コピーグループ（*cgid*），*atparm* で示される時刻にサスペンドするように設定されました。 *time* メッセージが出力された時刻

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *atparm* ATTIME サスペンド時刻
YK8330I	「2.2 」を参照してください。	－
YK8331I CON	REPORT DETAIL: COPY GROUP : *cgid* TYPE : *cgtype* DAD-ID : *dad* PREFIX : *preifx* VOLSER PDEVN DIR SDEVN STATUS MATCH% C/T SUBC/T DELTA CTTIME *volser pdevn dir sdevn status match ctid sub-ctid ctdelta cttime*	REPORT に DETAIL を指定した場合のレポート情報が表示されます。 *cgid* コピーグループ ID *cgtype* コピーグループ種別 *dad* コピーグループのローカル DADID *preifx* プレフィックス *volser* ボリュームシリアル番号 *pdevn* プライマリデバイス番号 *dir* コピー方向 • >：プライマリからセカンダリ • <：セカンダリからプライマリ *sdevn* セカンダリデバイス番号 *status* コピーペア状態 *match* コピーペア一致率 *ctid* C/T グループ ID または M-JNL グループ ID *sub-ctid* R-JNL グループ ID *ctdelta* C/T グループ単位の C/T デルタ値 *cttime* C/T グループ単位のコンシステンシー時刻
YK8400I PRT CON	*time sendmsg*	INFO レベル指定の SENDMSG に指定されたメッセージ（*sendmsg*）が表示されます。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8401I PRT CON	*time* Check Startup Status of Copy Group '*cgid*':	BCM Monitor は，コピーグループ（*cgid*）の状態チェックを開始します。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8402I PRT CON	*time* Startup Status check of Copy Group '*cgid*' finished.	コピーグループ（*cgid*）の状態チェックが完了しました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。
YK8403I PRT CON	*time* Start monitoring Copy Group.	BCM Monitor は，コピーグループの監視を開始します。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YK8404I PRT CON	*time* Execute action '*action err-action*'	BCM Monitor は，STATUS の ACTION パラメタで指定されたアクション（*action err-action*）を実行します。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *action* 実行するアクション *err-action* 実行するエラーアクション
YK8405I PRT CON	*time* The return code of the action is RC=*rc*.	アクションを実行した結果，*rc* に示されるエラーが発生しました。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *rc* ◦ EXEC 以外のアクションの場合 アクションで実行した BC Manager の CLI コマンドのリターンコード ◦ EXEC アクションの場合 スクリプトを実行した TSO/E の EXEC コマンドのリターンコード リターンコードが「12」の場合，TSO/E の EXEC コマンドがスクリプトファイルへのアクセスに失敗したおそれがあります。EXEC アクションに指定したスクリプト名が正しいか確認してください。
YK8406I PRT CON	*time* Execute error action '*err-action*'.	BCM Monitor は，*err-action* で示されるエラーアクションを実行します。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *err-action* 実行するエラーアクション
YK8410I PRT CON	*time* ---- *date* ----	BCM Monitor の起動時，または起動中に日付が変わった場合に，日付が表示されます。 *time* メッセージが出力された時刻 出力先が SYSTSPRT の場合にだけ表示されます。 *date* 変更後の日付 2010 年 1 月 21 日（木）の場合，Thursday, 21 Jan 2010 と表示されます。
YK8411I	「2.2 」を参照してください。	－
YK8412I CON	SYSTEM OPTIONS: CYCLE TIME : *cycletime* WAITFOR TIMEOUT : *timeout* MSGLEVEL : *lvllog*,*lvlcons* ONACTIONERROR : *err-action* STOP AT STOPPOINT : *stoppt* SLEEP AT STOPPOINT : *sleeppt*	YKMONOPT ファイルで指定された値が表示されます。 *cycletime* サイクルタイム *timeout* タイムアウト値 *lvllog* SYSTSPRT に出力するメッセージレベル *lvlcons* コンソールに出力するメッセージレベル *err-action* 実行するエラーアクション *stoppt* 終了するポイント

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		sleeppt スリープするポイント
YK8413I	「2.2 」を参照してください。	－
YK8414I CON	COPY GROUP DEFINITIONS: ID : *cgid* PREFIX : *prefix* DAD-ID : *dad* ROUTE LIST : *route*[,*route-label*] VIACDEV : *cgviacdev* MONITOR STATUS : *cgmonstat* STARTUP STATUS : *cgsastat*,*cgsaact*,*cgsaopt* WHEN STATUS *status* DO ACTION '*action*;*err-action*;'	YKMONCG ファイルで指定された値が表示されます。指定されたコピーグループの数分，繰り返し表示されます。 *cgid* コピーグループ ID *prefix* プレフィックス *dad* コピーグループのローカル DADID *route* ルートリスト ID *route-label* ルートラベル *cgviacdev* 指定しているコマンド発行方式 ◦ Y：コマンドデバイス経由のコマンド発行方式 ◦ N：コマンドデバイスを経由しないコマンド発行方式 *cgmonstat* コピーグループの監視状態（ACTIVE または INACTIVE） *cgsastat* BCM Monitor 起動時に確認するコピーグループの開始状態 *cgsaact* BCM Monitor 起動時のコピーペア状態が，指定した開始状態と異なっている場合に実行する開始アクション *cgsaopt* CGSTARTUPSTATUS パラメタのオプション情報 *status action err-action* STATUS および ACTION パラメタに指定されたコピーグループの状態，アクション，およびエラーアクション STATUS および ACTION パラメタは，指定された数分繰り返し表示されます。
YK9001I ISPF	The license key(s) has been installed	ライセンスキーがインストールされました。
YK9051E ISPF	An error occurred in the license information dataset	ライセンス情報データセットでエラーが発生しました。 ライセンス情報データセットのプレフィックスが正しく登録されているか，またはライセンス情報データセットが正しく作成されているかを確認してください。必要に応じて，ライセンス情報データセットを再作成し，ライセンスキーを発行された順に登録し直してください。 ライセンス情報データセットのプレフィックス名の登録については，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」を参照してください。
YK9052E ISPF	An error occurred in the license key dataset	ライセンスキーデータセットでエラーが発生しました。 ライセンスキーデータデットのデータセット名が正しいか，またはライセンスキーデータセットが正しく作成されているか確認してください。必要に応じて，ライセンスキーファイルを再度ファイル転送してから作成し直してください。
YK9071W ISPF	A license key was not found	ライセンスキーをインストールしようとしましたが，ライセンスキーデータセットにインストールできるライセンスキーがありませんでした。 次の条件に該当していないか確認してください。 • インストール済みのライセンスキーを再度インストールしました。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		• 当製品以外のライセンスキーをインストールしました。 • ライセンスキーデータセットではないデータセットを指定しました。
YK9072W ISPF	Couldn't install license key.	ライセンスキーをインストールできませんでした。 次の条件に該当していないか確認してください。どちらの条件にも該当しない場合，キーコードが正しいか確認してください。 • インストール済みのライセンスキーを再度インストールしました。 • 当製品以外のライセンスキーをインストールしました。
YK9080E CON	The expiration date for your license key(*function*).	ライセンス（*function*）の有効期限が切れました。 引き続き当製品をご使用いただくためには，永久ライセンスが必要です。 *function* が Basic の場合 Business Continuity Manager Basic *function* が UR 4x4 Extended CTG の場合 Business Continuity Manager UR 4x4 Extended CTG
YK9081W CON	Your *function* license will expire in *n* day(s).	あと *n* 日でライセンス（*function*）の有効期限が切れます。 期限が切れたあとも引き続き当製品をご使用いただくためには，永久ライセンスが必要です。 *function* が Basic の場合 Business Continuity Manager Basic *function* が UR 4x4 Extended CTG の場合 Business Continuity Manager UR 4x4 Extended CTG

表 2-2 YK から始まるメッセージ一覧（YKA0x - YKB20x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKA000T TSO	Supplied parameters invalid	パラメタ解析処理でエラーが検出されました。
YKA001E TSO	HANDLE() value not valid	HANDLE パラメタに指定されたハンドル値に誤りがあります。
YKA002E TSO	HANDLE() parameter required for this operation	OP(GET) と OP(CLOSE) 要求は，HANDLE パラメタの指定が必要です。OP(OPEN) 要求が YKA098I に返したハンドル値を使ってください。
YKA003E TSO	OP(OPEN|GET|CLOSE) option required	OP パラメタが見つかりません。 OP パラメタを指定してください。
YKA004E TSO	Buffer full; messages discarded	IEA494I コンソールメッセージ，IOSHM0414I コンソールメッセージ，またはメッセージ監視コマンドの MSGID パラメタで指定している任意のメッセージの取得に失敗しました。これはコンソールメッセージのトラフィックが多過ぎるか，メッセージ監視コマンドの発行間隔が長い場合に発生することがあります。 BC Manager の場合にこのメッセージが表示されたときは，YKQUERY コマンドを発行して，コピーペアの状態を確認してください。 メッセージ監視コマンド：YKCONMSG
YKA006E TSO	SYSTEM ERROR. *error-type*	システムエラーを検出しました。 保守員に連絡してください。 *error-type* システムエラーのタイプ
YKA007E TSO	TIMEOUT() value not valid	TIMEOUT パラメタで指定された値に誤りがあります。
YKA008E TSO	TIMEOUT() parameter cannot be specified for this operation	OP パラメタに GET または CLOSE を指定した場合は，TIMEOUT パラメタを指定できません。OP パラメタに OPEN を指定して，TIMEOUT パラメタを指定してください。
YKA009E TSO	MSGID() value not valid	MSGID パラメタで指定された値に誤りがあります。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKA010E TSO	MSGID() parameter cannot be specified for this operation	OP パラメタに GET または CLOSE を指定した場合，MSGID パラメタを指定できません。OP パラメタに OPEN を指定して，MSGID パラメタを指定してください。
YKA011E TSO	AUTO() value is not valid	AUTO パラメタで指定された値に誤りがあります。
YKA012E TSO	*parameter-name* parameter cannot be specified for this operation	実行した OP パラメタの指定では，*parameter-name* パラメタを指定できません。 *parameter-name* が AUTO() の場合 OP パラメタに OPEN を指定して，AUTO パラメタを指定してください。 *parameter-name* が HANDLE() の場合 OP パラメタに GET または CLOSE を指定して，HANDLE パラメタを指定してください。
YKA096I TSO	No message found	OP(GET) 指定のメッセージ監視コマンドの処理が TIMEOUT パラメタで指定した時間を経過しましたが，IEA494I コンソールメッセージ，IOSHM0414I コンソールメッセージ，またはメッセージ監視コマンドの MSGID パラメタで指定している任意のメッセージが到着していません。 メッセージ待ちの準備ができたら，コマンドを再実行してください。 メッセージ監視コマンド：YKCONMSG
YKA097I TSO	*message-text*	OP(GET) 指定のメッセージ監視コマンドによって監視されているメッセージが到着順に返却されました。 *message-text* IEA494I コンソールメッセージ，IOSHM0414I コンソールメッセージ，またはメッセージ監視コマンドの MSGID パラメタで指定されている任意のメッセージ メッセージ監視コマンド：YKCONMSG
YKA098I TSO	HANDLE(x'*handle*')	OP(OPEN) パラメタ指定のメッセージ監視コマンドの実行に成功しました。 これ以降，OP(GET) パラメタ，または OP(CLOSE) パラメタを指定してメッセージ監視コマンドを実行する場合，*handle* に返されたハンドル値を使用してください。 メッセージ監視コマンド：YKCONMSG
YKA099I TSO	Close operation complete	OP(CLOSE) パラメタ指定のメッセージ監視コマンドの実行が正常に終了しました。 メッセージ監視コマンド：YKCONMSG
YKB001I TSO	YKP2B completed. RC=*return-code*	YKP2B コマンドが終了しました。 *return-code* YKP2B コマンドのリターンコード 0：正常終了しました。コピーグループ定義ファイルが出力されました。 4：次のどれかの場合に該当します。 ・ 正常終了しました。指定されたデバイス番号の範囲中にコピーペアは検出されませんでした。 ・ コピーグループ定義ファイルが生成されましたが，DEVN パラメタで指定した範囲内のコピーペアの中から，ディスク構成定義ファイルで定義されていないボリューム情報を検出しました。 ・ コピーグループ定義ファイルが生成されましたが，HS パラメタに CHECK を指定して YKP2B コマンドを実行している際に，入出力構成の変更を検知しました。 8：検索範囲中のボリュームで I/O エラーが発生しました。検出に成功したボリュームのコピーグループ定義ファイルが生成されました。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		44:エラーが発生したため，処理を中断しました。コピーグループ定義ファイルは生成されませんでした。 48：無効なパラメタによって終了しました。
YKB002I TSO	No copy pair was discovered.	指定された範囲内にコピーペアを検知しませんでした。 取得したいコピーペアが動作する範囲および状態を確認し，再度 YKP2B コマンドを実行してください。コピーペア状態が SIMPLEX の場合，YKP2B コマンドはコピーペアを検知しません。
YKB100E TSO	Missing or invalid parameter: *parameter-name*	パラメタが不足しているか，または不正な値が指定されています。 次の点を見直してから，再実行してください。 • 指定必須のパラメタ（*parameter-name*）を指定したかどうか • 指定必須のパラメタ（*parameter-name*）に指定した値が正しいかどうか • DAD パラメタに指定したプライマリサイトの DADID とセカンダリサイトの DADID が同じになっていないかどうか
YKB101E TSO	The specified PREFIX is being used by another program.	指定したプレフィックスはほかのプログラムで使用中です。 プレフィックスの値を見直してください。
YKB102E TSO	Error occurred during execution. Cmd=*info* msg=*message-text*:*message-value*:*message-severity*	YKP2B コマンド実行中にエラーが発生しました。 *message text* で示されるエラーメッセージのメッセージ ID に対応する説明文を参照して対処してください。また，*message-value* および *message-severity* で示される付加情報を参照して対処してください。問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。 *info* 保守情報 *message-text* エラーメッセージ *message-value* エラーメッセージの付加情報 付加情報がない場合は空白が表示されます。 *message-severity* エラーメッセージの付加情報 付加情報がない場合は空白が表示されます。 *message-text*，*message-value*，および *message-severity* は TSO/E 端末上に表示されます。エラーメッセージの長さによっては，複数行にわたって表示されます。
YKB200W TSO	No information was acquired for DEVN=*device-number*	デバイス番号が *device-number* のボリュームからコピーペア情報を取得できませんでした。 指定したデバイス番号にボリュームが存在しないおそれがあります。指定したデバイス番号にボリュームが存在する場合は，チャネルの設定を確認してください。
YKB201W TSO	No I/O paths are available for the specified devices. DEVN=*device-number*	デバイス番号が *device-number* のボリュームは，使用できる入出力パスがない，またはアクティブサブチャネルセット ID が 0 以外の値であるためコピーペア情報を取得できませんでした。 入出力パスおよびアクティブサブチャネルセット ID の設定を確認してください。
YKB202W TSO	Unable to resolve primary volume information. Pair=*CopyType*,DEVN=*Devn*,SN=*SerialNum*,CU=*CU#*,CCA=*CCA#*	YKP2B コマンドが検出した PPRC コピーペアに，ディスク構成定義ファイルに定義されていない P-VOL が含まれていました。検出された P-VOL がディスク構成定義ファイルで定義されているか確認してください。 *CopyType* 検出された未定義ボリュームのコピー種別 *Devn*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		検出された未定義ボリュームのデバイス番号 *SerialNum* 検出された未定義ボリュームのストレージシステムのシリアル番号 *CU#* 検出された未定義ボリュームの CU 番号 *CCA#* 検出された未定義ボリュームの CCA 番号
YKB203W TSO	Unable to resolve secondary volume information. Pair=*CopyType*,SN=*SerialNum*,CU=*CU#*, CCA=*CCA#*	YKP2B コマンドが検出した PPRC コピーペアに，ディスク構成定義ファイルに定義されていない S-VOL が含まれていました。検出された S-VOL がディスク構成定義ファイルで定義されているか確認してください。 *CopyType* 検出された未定義ボリュームのコピー種別 *SerialNum* 検出された未定義ボリュームのストレージシステムのシリアル番号 *CU#* 検出された未定義ボリュームの CU 番号 *CCA#* 検出された未定義ボリュームの CCA 番号
YKB204W TSO	A dynamic configuration change was detected. DEVN=*device-number*	HS パラメタに CHECK を指定して YKP2B コマンドを実行している際に，動的 I/O 構成定義変更を検知しました。 YKP2B コマンドが対象とするデバイスの状態を確認し，構成や実行条件に誤りがある場合は訂正して，再実行してください。 *device-number* 動的 I/O 構成定義変更を検知した時点での処理対象のデバイス番号

表 2-3 YK から始まるメッセージ一覧（YKC0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKC000T TSO RC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。 詳細については，続いて出力される YKC099I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。
YKC001E MSG SC=48 RC=48	No controller ARRAYS() supplied	ARRAYS パラメタが指定されていません。
YKC001E TSO RC=48	No message MSG() supplied	MSG パラメタが指定されていません。
YKC001E MSG SC=48 RC=48	No results STEM() supplied	STEM パラメタが指定されていません。
YKC001E MSG SC=48 RC=48	No starting FROM() supplied	FROM パラメタが指定されていません。
YKC002E MSG SC=48 RC=48	Controller ARRAYS(*stem*) does not include trailing "."	ARRAYS パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* ARRAYS パラメタに指定された stem 名
YKC002E TSO RC=48	Messages MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKC002E MSG SC=48 RC=48	Results STEM(*stem*) does not include trailing "."	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKC008E MSG SC=48 RC=48	Ending TO() not valid hex	TO パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKC008E MSG SC=48 RC=48	Starting FROM() not valid hex	FROM パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKC008E MSG SC=48	Starting FROMVSN() value invalid	FROMVSN パラメタに指定された値が不正です。
YKC008E MSG SC=48	Ending TOVSN() value invalid	TOVSN パラメタに指定された値が不正です。
YKC008E MSG SC=48	Subchannel set SCHSET() value invalid	SCHSET パラメタに指定された値が不正です。
YKC009E MSG SC=48 RC=48	Specify DEV# and VOLSER parm exclusively	デバイス番号とボリュームシリアル番号は同時に指定できません。
YKC009E MSG SC=48 RC=48	Starting FROM() exceeds ending TO()	FROM パラメタに指定された値が TO パラメタの値を超えています。
YKC009E MSG SC=48 RC=48	Starting FROMVSN() exceeds ending TOVSN()	FROMVSN パラメタに指定された値が TOVSN パラメタの値を超えています。
YKC010E TSO RC=40	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。 リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn* REXX アクセス時のエラーコード
YKC031I MSG SC=0 (*Count*)	Scanned DASD Device Count	YKSCAN コマンド処理の結果，スキャンされた DASD デバイス数を出力します。 *Count* スキャンされた DASD デバイス数
YKC032I MSG SC=0 (*Count*)	Hitachi storage systems Devices Found	YKSCAN コマンド処理の結果，スキャンされた日立製ストレージシステムのデバイス数を出力します。 *Count* 日立製ストレージシステムのデバイス数
YKC033I MSG SC=4 (*Count*)	The specified devices that do not have any available I/O paths were skipped.	デバイススキャンの結果，使用できる入出力パスがないデバイスの情報取得をスキップしました。 *Count* 情報取得をスキップしたデバイス数
YKC034E MSG SC=32 RC=32	A dynamic configuration change was detected during YKSCAN command processing.	YKSCAN コマンド処理中に動的 I/O 構成定義変更を検知しました。取得したボリュームの情報について，ボリュームシリアル番号の情報が実際の構成と異なっていることが考えられます。スキャン結果のディスク構成定義ファイルを確認し，実際の構成と異なる場合は，スキャンを再実行してください。
YKC099I TSO	YKSCAN command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	YKSCAN コマンドは，リターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。 このメッセージは，リターンコードと理由コードを示すために必ず表示されます。 *nnnn* コマンド実行時に返される Severity Code の中で最大のもの

表 2-4 YK から始まるメッセージ一覧（YKD0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKD000T TSO RC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		詳細については，続いて出力される YKD099I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。
YKD001E TSO RC=48	No message MSG() supplied	MSG パラメタが指定されていません。
YKD001E MSG SC=48 RC=48	No results STEM() supplied	STEM パラメタが指定されていません。
YKD002E MSG SC=48 RC=48	Copy Group STEM(*stem*) does not include trailing "."	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名
YKD002E MSG SC=48 RC=48	ORDER(*stem*) does not include trailing "."	ORDER パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* ORDER パラメタに指定された stem 名
YKD002E MSG SC=48 RC=48	ORDER() value invalid	ORDER パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKD002E MSG SC=48	DEVN() value invalid	DEVN パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKD002E TSO RC=48	Messages MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKD008E MSG SC=48	DEVN() not valid hex	DEVN パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKD010E TSO RC=40	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。 リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn* REXX アクセス時のエラーコード
YKD050E MSG SC=36 RC=48 (*attribute-value*)	Invalid Copy Group attribute *name*	指定されたコピーグループ属性の値はこのコマンドには無効です。 値を訂正してからコマンドを再実行してください。 *name* REXX 変数名 *attribute-value* REXX 変数の値
YKD058E MSG SC=36 RC=48	Some pairs in this group do not support TCA services.	このストレージシステムにあるデバイスは，TCA のコピーグループをサポートしていません。 コマンドを実行できるコピーグループかどうか確認して，再実行してください。
YKD099I TSO	YKDELETE command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	YKDELETE コマンドは，リターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。 このメッセージは，リターンコードと理由コードを示すために必ず表示されます。 *nnnn* コマンド実行時に返される Severity Code の中で最大のもの

表 2-5 YK から始まるメッセージ一覧（YKE0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKE000T TSO RC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。 詳細については，続いて出力される YKE099I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マ

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		ニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。
YKE001E MSG SC=48 RC=48	GOTO() not supplied	GOTO パラメタが指定されていません。
YKE001E TSO RC=48	No message MSG() supplied	MSG パラメタが指定されていません。
YKE001E MSG SC=48 RC=48	No results STEM() supplied	STEM パラメタが指定されていません。
YKE001E MSG SC=48 RC=48	TIMEOUT() not supplied	TIMEOUT パラメタが指定されていません。
YKE001W MSG SC=4 RC=4	Timeout limit has expired, waiting for group *copy-group* to reach state *state*.	タイムアウト時間を超えたので，処理を終了します。 タイムアウト値を見直すか，監視する状態の指定が正しいか確認してください。YKQUERY コマンドでコピーペア状態を確認後，状態が遷移していないコピーペアがあった場合，そのコピーペアの S-VOL がオンラインになっているおそれがあります。オフラインにして再実行してください。 *copy-group* コピーグループ ID *state* 監視する状態
YKE002E MSG SC=48 RC=48	Copy Group STEM(*stem*) does not include trailing "."	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名
YKE002E MSG SC=48 RC=48	ORDER(*stem*) does not include trailing "."	ORDER パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* ORDER パラメタに指定された stem 名
YKE002E MSG SC=48 RC=48	ORDER() value invalid	ORDER パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKE002E MSG SC=48	DEVN() value invalid	DEVN パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKE002E TSO RC=48	Messages MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKE002E MSG SC=48 RC=48	TIMEOUT() value invalid	TIMEOUT パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKE002E MSG SC=48 RC=48	UNTIL() value invalid	UNTIL パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKE003E MSG SC=48 RC=48	GOTO() value is invalid.	GOTO パラメタに指定された値に誤りがあります。 GOTO パラメタには，DUPLEX，SUSPEND，SIMPLEX，SUSPVS，HOLD，SWAPPING，SWAP2SUS のどれかのオプションを指定してください。
YKE003E MSG SC=8 RC=8	Unexpected transition of group *copy-group* pair *index* to state *state*. (*pp,ss*)	コピーグループ中のコピーペア状態が，予期しない状態へ遷移しました。 監視する状態の指定が正しいか確認してください。 *copy-group* コピーグループ ID *index* pair index バージョン 2.0 より前の場合：コピーペア番号 バージョン 2.0 以降の場合：コピーグループ番号，コピーペア番号

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		コピーグループ番号，コピーペア番号から対象となるボリュームを特定する方法については，「2.3 」を参照してください。 *state* 遷移した状態 *pp,ss* P-VOL の状態コード，S-VOL の状態コード 状態を特定できない場合，**が表示されます。 状態コードの詳細は，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager ユーザーズガイド*」の「コピーペア状態の取得」を参照してください。
YKE008E MSG SC=48	DEVN() not valid hex	DEVN パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKE010E TSO RC=40	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。 リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn* REXX アクセス時のエラーコード
YKE099I TSO	YKEWAIT command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	YKEWAIT コマンドは，リターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。 このメッセージは，リターンコードと理由コードを示すために必ず表示されます。 *nnnn* コマンド実行時に返される Severity Code の中で最大のもの

表 2-6 YK から始まるメッセージ一覧（YKF0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKF000T TSO RC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。 詳細については，続いて出力される YKF099I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。
YKF001E TSO RC=48	No message MSG() supplied	MSG パラメタが指定されていません。
YKF001E MSG SC=48 RC=48	No results STEM() supplied	STEM パラメタが指定されていません。
YKF002E MSG SC=48 RC=48	Copy Group STEM(*stem*) does not include trailing "."	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名
YKF002E TSO RC=48	Messages MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKF002E MSG SC=48 RC=48	TIMEOUT() value invalid	TIMEOUT パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKF010E TSO RC=40	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。 リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn* REXX アクセス時のエラーコード

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKF050E MSG SC=48 RC=48 (*attribute-value*)	Invalid Copy Group attribute *name*	指定されたコピーグループ属性の値はこのコマンドには無効です。 値を訂正してからコマンドを再実行してください。 *name* REXX 変数名 *attribute-value* REXX 変数の値
YKF099I TSO	YKFREEZE command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	YKFREEZE コマンドは，リターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。 このメッセージは，リターンコードと理由コードを示すために必ず表示されます。 *nnnn* コマンド実行時に返される Severity Code の中で最大のもの

表 2-7 YK から始まるメッセージ一覧（YKG0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKG000T TSO SC=48	Supplied parameters invalid.	無効なパラメタが指定されました。
YKG001E TSO RC=48	Unable to execute without valid MSG() parameter.	有効な MSG パラメタを指定してください。
YKG002E TSO RC=48	MSG(*stem*) does not include trailing "." character.	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKG003E TSO RC=52	Unable to update MSG(*stem*) in Caller's environment. YKVSET result = *result*	コマンドリターン構成構造体の変数値を設定しようとしましたが，*result* で示される結果値で失敗しました。このエラーの発生原因として，MSG パラメタに誤った値が指定されていることが考えられます。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKG004E MSG SC=48 RC=48	Unable to execute without valid STEM() parameter.	有効な STEM パラメタを指定してください。
YKG005E MSG SC=48 RC=48	STEM(*stem*) does not include trailing "." character.	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名
YKG006E MSG SC=48 RC=48	Unable to execute without valid PREFIX() parameter.	PREFIX パラメタが指定されていないか, 無効な値が指定されています。 マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の CLI コマンドの説明を参照して訂正してから再実行してください。
YKG008E MSG SC=48 RC=48	Unable to execute without valid SN() parameter.	ディスク構成定義ファイル名に含まれているストレージシステムのシリアル番号を表す内部パラメタ SN の値が不正です。 ディスク構成定義ファイルの名称を確認してください。
YKG050W MSG SC=4 RC=4 (*file*:*rec#*)	Unrecognized element encountered: *name*	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目にある XML 要素 *name* が認識されません。 該当する行を調べ，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照して原因を明確にしてください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKG051E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	End of file encountered in comment.	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目が，XML 入力の解析時に，無効なシンタックスとして検出されました。 該当する行を調べ，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照して原因を明確にしてください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG053W MSG SC=4 RC=4 (*file*:*rec#*)	Unrecognized Version attribute value: *value*	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目にある XML 要素の version 属性 *value* が認識されません。 該当する行を調べ，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照して原因を明確にしてください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG054E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	Unexpected termination of element: *name*	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目にある XML 要素 *name* が正しく作成されていません。 該当する行を調べ，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照して原因を明確にしてください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG074E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	Invalid "&" character discovered in quoted string. *string*	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目にある&文字 *string* が正しくエスケープされていません。 http://www.w3.org にある *Extensible Markup Language(XML) 1.0* の説明を参照してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイル *rec#* エラーが検出された行番号
YKG075W MSG SC=4 RC=4 (*file*:*rec#*)	Unrecognized Encoding attribute value: *value*	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目にある XML 要素の encoding 属性 *value* が認識されません。 該当する行を調べ，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照して原因を明確にしてください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG076W MSG SC=4 RC=4 (*file*:*rec#*)	Unrecognized attribute: *name* = *value*	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目にある XML 属性が認識されません。 該当する行を調べ，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照して原因を明確にしてください。 *name* XML 属性名 *value* XML 属性値 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		rec# エラーが検出された行番号
YKG077W MSG SC=4 RC=4 (*file*:*rec#*)	APIInfo Level=*level* invalid. Supported level is *v.r.m*.	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目にある APIInfo 要素の Level 属性 *level* が認識されません。 該当する行を調べ，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照して原因を明確にしてください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号 *v.r.m* API レベル 値については，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照してください。
YKG079E MSG SC=44 RC=44 (*result*)	YKVSET program failure for: *name* = *value*	変数 *name* を値 *value* で設定しようとしましたが，*result* に示された結果値を伴って失敗しました。このエラーの発生原因として，STEM パラメタに誤った値が指定されていることが考えられます。
YKG085E MSG SC=40 RC=40 (*file*:*rec#*)	Unable to read configuration file.	Configuration ファイルのレコード長が長過ぎるため，読むことができませんでした。 *file* エラーが発生した Configuration ファイルの名称 *rec#* *file* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKG088E MSG SC=40 RC=40 (*file*)	File Open error: *dsstate*.	*file* に示された Configuration ファイルを開けませんでした。 *dsstate* 対象の Configuration ファイルの状態 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称
YKG089E MSG SC=40 RC=40 (*file*)	File Close error: *dsstate*.	*file* に示された Configuration ファイルを閉じられませんでした。 *dsstate* 対象の Configuration ファイルの状態 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称
YKG090E MSG SC=40 RC=40 (*file*)	File Allocation Failed: *dsstate*.	*file* に示された Configuration ファイルを割り当てできませんでした。 *dsstate* 対象の Configuration ファイルの状態 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称
YKG091E MSG SC=40 RC=40 (*file*)	File Deallocation Failed: *dsstate*.	*file* に示された Configuration ファイルの割り当てを解除できませんでした。 *dsstate* 対象の Configuration ファイルの状態 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称
YKG092E MSG SC=40 RC=40 (*file*)	File Read error: *dsstate*.	*file* に示された Configuration ファイルを読み込むことができませんでした。 *dsstate* 対象の Configuration ファイルの状態 *file*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		エラーが検出された Configuration ファイルの名称
YKG099I MSG	YKGETHDA command return code=*max-value*,reason code=*reason-code*.	ディスク構成定義ファイルの読み込みが終了しました。 このメッセージは，ISPF で不正なディスク構成定義ファイルを読み込んだ時に出力されます。REXX 構造体に出力できない場合は，TSO/E 端末に出力されます。 *reason-code* *max-value* に対する理由コード *max-value* 出力された RC の中での最大値

表 2-8 YK から始まるメッセージ一覧（YKG2x - YKK10x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKG201E MSG SC=48 RC=48	Unable to execute without valid *name* parameter.	*name* で指定されたパラメタが設定されていないか，または正しくありません。
YKG202E TSO RC=48	"SYSAUTH." cannot be specified in MSG() parameter.	MSG パラメタに SYSAUTH.は指定できません。ほかの名称を指定してください。
YKG203E MSG SC=48 RC=48	"SYSAUTH." cannot be specified in STEM() parameter.	STEM パラメタに SYSAUTH.は指定できません。ほかの名称を指定してください。
YKG204E TSO RC=48	*name* parameter is too long.	*name* で指定されたパラメタが長過ぎます。
YKG205E MSG SC=48 RC=48	*name* parameter is too long.	*name* で指定されたパラメタが長過ぎます。
YKG241W MSG SC=4 RC=4 (*file*:*rec#*)	The attribute *attname* is already defined.	*attname* で示される XML 属性はすでに定義されています。 *file* に示されるファイルの *rec#*行目にある *attname* の記述を見直してください。 *attname* XML 属性名 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG250E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The value *value* of the attribute *name* is an invalid format.	XML 属性 *name* の値 *value* の形式が不正です。 *file* に示されるファイルの *rec#*行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG251E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	*name* attribute missing.	必要な XML 属性 *name* が見つかりません。 *file* に示されるファイルの *rec#*行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG252E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The attribute statements are invalid.	XML 属性の記述が不正です。 *file* に示されるファイルの *rec#*行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG253E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	This kind of elements *element* can't be defined more than once.	XML 要素 *element* は多重に定義できません。 *file* に示されるファイルの *rec#*行目の記述を見直してください。 *file*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG254E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The value *value* of attribute *name* is not match with filename.	XML 属性 *name* の値 *value* が，ファイル名中の名称と一致しません。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG255E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The element *name-1*, for which the value *value* was specified for the attribute *name-2*, was not found.	XML 属性 *name-2* に値 *value* を指定した XML 要素 *name-1* が見つかりません。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG257E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The attribute *name-1* is not a content of the element *name-2*.	XML 要素 *name-2* に指定できない XML 属性 *name-1* が見つかりました。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG271E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The element *name* is required, but no element was found.	必要な XML 要素 *name* が見つかりません。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG273E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The element statements are invalid.	XML 要素の記述が不正です。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG274E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	ETag name is mismatch. */correct ETag name* is expected, but */incorrect ETag name* is specified.	期待される ETag 名*/correct ETag name* ではない ETag 名*/incorrect ETag name* が指定されています。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG275W MSG SC=4 RC=4 (*file*:*rec#*)	Extra ETag is specified: *ETag name*	余分な *ETag name* が指定されています。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG276E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The element *name1* is not a content of the element *name2*.	*name2* で示される XML 要素中に，指定できない XML 要素 *name1* が見つかりました。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		rec# エラーが検出された行番号
YKG277E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	*name* element missing.	XML 要素 *name* が見つかりません。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG285E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	Serial Number *HDASN* is required, but Serial Number *DDSN* is found.	*DDSN* が定義されているディスクデバイス要素の SerialNum には，ディスク構成要素の SerialNum=*HDASN* と同じ値が定義されている必要があります。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKG286E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	Specify the local DADID of the primary site for the DAD() parameter.	リモートスキャン，または NG スキャンで作成した DADID が指定されています。 プライマリサイトのローカル DADID を DAD パラメタに指定してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* *file* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKG290E MSG SC=44 RC=44 (*result*)	YKVGET program failure for: *vn*	変数 *vn* を取得しようとしましたが，*result* に示された結果値を伴って失敗しました。このエラーの発生原因として，STEM パラメタに誤った値が指定されていることが考えられます。
YKG295E MSG SC=44 RC=44 (*file*:*rec#*)	The element stack was overflowed.	内部ルーチンで作業領域の不足が発生しました。 保守員に連絡してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* *file* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKG298E MSG SC=44 RC=44 (*detailed-info*)	YKGETHDA encountered an unexpected error.	予期しないエラーが発生しました。このエラーはほかのエラーに伴って発生したおそれがあります。 このエラーメッセージと同時にほかのエラーメッセージが出力されている場合は，ほかのエラーメッセージで示されている問題を先に解決してください。 ほかのエラーメッセージが出力されていない場合は，次の資料を採取した上で保守員に連絡してください。 ・ このコマンドを実行したスクリプト（ISPF 画面から実行した場合は不要） ・ ISPF ログ（スクリプトから実行した場合は不要） ・ スクリプトまたは ISPF 画面から操作した Configuration ファイル（コピーグループ定義ファイル，ディスク構成定義ファイル，コマンドデバイス定義ファイル，およびルートリスト定義ファイル） *detailed-info* エラー解析を助けるための詳細情報（保守員用）
YKH001I TSO	YKH2B completed. RC=*return-code*	YKH2B コマンドが終了しました。 *return-code* YKH2B コマンドのリターンコード 0：正常終了しました。コピーグループ定義ファイルが生成されました。 4：次のどれかの場合に該当します。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		• 正常終了しました。指定されたデバイス番号の範囲中にコピーペアは検出されませんでした。 • コピーグループ定義ファイルが生成されましたが，DEVN パラメタで指定した範囲内のコピーペアに，DAD パラメタで指定したサイトのディスク構成定義ファイルで定義されていないボリューム情報を検出しました。 • コピーグループ定義ファイルが生成されましたが，HS パラメタを省略するか，または，HS(CHECK) を指定して YKH2B コマンドを実行している際に，入出力構成の変更を検知しました。 • コピーグループ定義ファイルが生成されましたが，HyperSwap と UR を併用する 2DC 構成をサポートしていないストレージシステムを検出しました。 8：スキャン範囲中のボリュームで I/O エラーが発生しました。検出に成功したボリュームのコピーグループ定義ファイルが生成されました。 44:エラーが発生したため，処理を中断しました。コピーグループ定義ファイルは生成されませんでした。 48：無効なパラメタによって終了しました。
YKH002I TSO	No copy pair was discovered.	指定された範囲内でコピーペアが検出されませんでした。 取得したいコピーペアが動作する範囲および状態を確認し，再度 YKH2B コマンドを実行してください。コピーペア状態が SIMPLEX の場合，YKH2B コマンドはコピーペアを検知できません。また，HS パラメタを省略するか，または HS(CHECK) を指定して YKH2B コマンドを実行した場合，HyperSwap が無効なときはコピーペアを検知できません。
YKH100E TSO	Missing or invalid parameter: *parameter-name*	パラメタが不足しているか，または不正な値が指定されています。 次の点を見直してから，再実行してください。 • 指定必須のパラメタ（*parameter-name*）を指定したかどうか • 指定必須のパラメタ（*parameter-name*）に指定した値が正しいかどうか
YKH101E TSO	The specified PREFIX is being used by another program.	指定したプレフィックスはほかのプログラムで使用中です。 プレフィックスの値を見直してください。
YKH102E TSO	Error occurred during execution. Cmd=*info* msg=*message-text*:*message-value*:*message-severity*	YKH2B コマンド実行中にエラーが発生しました。 *message-text* で示されるエラーメッセージのメッセージ ID に対応する説明文を参照して対処してください。また，*message-value* および *message-severity* で示される付加情報を参照して対処してください。問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。 *info* 保守情報 *message-text* エラーメッセージ *message-value* エラーメッセージの付加情報 付加情報がない場合は空白が表示されます。 *message-severity* エラーメッセージの付加情報 付加情報がない場合は空白が表示されます。 *message-text*，*message-value*，および *message-severity* は TSO/E 端末上に表示されます。エラーメッセージの長さによっては，複数行にわたって表示されます。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKH200W TSO	No information was acquired for DEVN=*device-number*	デバイス番号が *device-number* のボリュームからコピーペア情報を取得できませんでした。指定したデバイス番号にボリュームが存在しないおそれがあります。 指定したデバイス番号にボリュームが存在する場合は，チャネルの設定を確認してください。
YKH201W TSO	No I/O paths are available for the specified devices. DEVN=*device-number*	デバイス番号が *device-number* のボリュームには使用できる入出力パスがない，またはアクティブサブチャネルセット ID が 0 以外の値であるため，コピーペア情報を取得できませんでした。入出力パスおよびアクティブサブチャネルセット ID の設定を確認してください。
YKH202W TSO	Unable to resolve primary volume information. DEVN=*Devn*,SN=*SerialNum*,CU=*CU#*,CCA=*CCA#*	YKH2B コマンドが検出した PPRC コピーペアに，ディスク構成定義ファイルで定義されていない P-VOL が検出されました。検出された P-VOL がディスク構成定義ファイルで定義されているか確認してください。 *Devn* 検出された未定義ボリュームのデバイス番号 *SerialNum* 検出された未定義ボリュームのストレージシステムのシリアル番号 *CU#* 検出された未定義ボリュームの CU 番号 *CCA#* 検出された未定義ボリュームの CCA 番号
YKH203W TSO	Unable to resolve secondary volume information. SN=*SerialNum*,CU=*CU#*,CCA=*CCA#*	YKH2B コマンドが検出した PPRC コピーペアに，ディスク構成定義ファイルで定義されていない S-VOL が検出されました。検出された S-VOL がディスク構成定義ファイルで定義されているか確認してください。 *SerialNum* 検出された未定義ボリュームのストレージシステムのシリアル番号 *CU#* 検出された未定義ボリュームの CU 番号 *CCA#* 検出された未定義ボリュームの CCA 番号
YKH204W TSO	A dynamic configuration change was detected. DEVN=*device-number*	HS パラメタを省略するか，または HS(CHECK) を指定して YKH2B コマンドを実行している際に，動的 I/O 構成定義変更を検知しました。 YKH2B コマンドが対象とするデバイスの状態を確認し，構成や実行条件（例えば，パラメタの指定内容やコマンド実行のタイミング）に誤りがある場合は訂正して，再実行してください。 *device-number* 動的 I/O 構成定義変更を検知した時点での処理対象のデバイス番号
YKH205W TSO	This copygroup does not support LinkageOption=HS. SUPFNC=*SUPFnc*	このストレージシステムでは HyperSwap と UR を併用する 2DC 構成をサポートしていないため，HyperSwap 属性を持つ TC を使用できません。HyperSwap と UR を併用する 2DC 構成を使用できるデバイス※を使用してください。また，ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は，再度スキャンを実施してください。 *SUPFnc*（16 進数） 該当するコピーグループ内で使用されているハードサポート機能バージョンの値（最小値） 注※

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		HyperSwap と UR を併用する 2DC 構成を使用できるストレージシステムは，ハードサポート機能のバージョンが X'22'以上の USP V です。
YKJ000E TSO RC=48	Unable to execute without valid *name* parameter.	*name* で指定されたパラメタが設定されていないか，正しくありません。 *name* パラメタ名
YKJ001E TSO RC=48	*name* parameter is too long.	*name* で指定されたパラメタが長過ぎます。 *name* パラメタ名
YKJ002E TSO RC=48	The specified PREFIX is being used by another program.	指定したプレフィックスはほかのプログラムで使用中です。 プレフィックスの値を見直してください。
YKJ051E TSO RC=32	Error occurred during execution. Cmd=*info* msg=*message-text*:*message-value*:*message-severity*	YKIMPORT コマンド，または YKEXPORT コマンド実行中にエラーが発生しました。 *message-text* で示されるエラーメッセージを参照して対処してください。また，*message-value* および *message-severity* で示される付加情報を参照して対処してください。 なお，*message-text*，*message-value*，および *message-severity* で示される情報が取得できなかった場合，取得できなかった情報の代わりに FATAL が表示されます。FATAL が表示される原因としては，リージョンサイズの不足が考えられます。使用しているリージョンサイズを見直したあと，再度コマンドを実行してください。 問題が解決しない場合は，保守員に連絡してください。 *info* 保守情報 *message-text* エラーメッセージ *message-value* エラーメッセージの付加情報 付加情報がない場合は空白が表示されます。 *message-severity* エラーメッセージの付加情報 付加情報がない場合は空白が表示されます。 *message-text*，*message-value*，および *message-severity* は TSO/E 端末上に表示されます。エラーメッセージの長さ，およびメッセージ数によっては，複数行にわたって表示されます。
YKJ099I TSO RC=0	*cmd* command completed. RC=*return-code*	*cmd* で示されるコマンドが，リターンコード=*return-code* で終了しました。
YKJ100E TSO RC=32	Error occurred during reading/writing configuration file:*file*	Configuration ファイル（*file*）の読み込み中または書き込み中にエラーが発生しました。
YKJ101I TSO RC=4	No copy pair is defined in specified Copy Group definition:*file*	指定されたコピーグループにコピーペアが定義されていません。CSV ファイルへの書き込みは行われませんでした。 *file* 指定したコピーグループ定義ファイルの名称
YKJ102E TSO RC=32	*name* is not specified in Copy Group definition specified by BASEGROUP.	BASEGROUP パラメタに指定されたコピーグループ定義ファイル中に，*name* で示される項目が設定されていません。 ベースとなるコピーグループ定義ファイルに，必要な項目を設定してから再実行してください。 *name* コピーグループ定義ファイルの要素名
YKJ150E TSO RC=40	Error reported during file input/output. EXECIO RC=*n*:*dd-name*	EXECIO TSO/E REXX コマンドでの失敗（リターンコード=*n*）によって終了しました。詳細は，IBM マニュアル「*TSO/E REXX 解説書*」を参照してください。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		次の要因が考えられます。 ・ コマンドで必要となる DD 名に CSV ファイルが割り当てられていない。 ・ CSV ファイルのデータセット形式がサポートされていない。 *dd-name* エラーが発生した CSV ファイルの DD 名
YKJ151E TSO RC=40	File format is invalid: DSORG=*XX*. DSORG must be PS: *dd-name*	*dd-name* に示された CSV ファイルのデータセット形式が正しくありません。 現在の CSV ファイルを削除して，正しいデータセット形式で CSV ファイルを作成してください。 CSV ファイルのデータセット形式については，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」を参照してください。 *XX* エラーが発生した CSV ファイルの DSORG *dd-name* エラーが発生した CSV ファイルの DD 名
YKJ152E TSO RC=40	Failed to operate csv file: *dd-name*: *dsstate*	CSV ファイルの利用時にエラーが発生したため，CSV ファイルの操作を中止します。 メッセージに出力された情報を参考に環境を見直したあとで，再度 CSV ファイルを更新してください。対処方法の詳細については，同時に出力されるメッセージ，およびマニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager ユーザーズガイド*」を参照してください。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *dsstate* CSV ファイルの状態 ・ `EXTENT=` *extent* 現在割り当てられているデータセットのエクステント数 *extent* は，*dd-name* で示されるデータセットに割り当てられているエクステント数です。 ・ `CANNOT GET DSSTATE, reason code=` *nnnn* データセットの情報を取得できません。または，CSV ファイルが割り当てられていません。 *nnnn*（10 進数）は，理由コード（保守情報）です。
YKJ200E TSO RC=32	*name* is not specified in Pair information CSV file: *dd-name*: *rec#*	ペア情報 CSV ファイルの *name* で示される項目が指定されていません。 *name* ペア情報 CSV ファイルの項目名 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ201E TSO RC=32	The value *value* of *name* in Pair information CSV file is invalid: *dd-name*: *rec#*	ペア情報 CSV ファイルの *name* で示される項目の値 *value* の形式が正しくありません。 *value* *name* で示される項目に指定した値 *name* ペア情報 CSV ファイルの項目名 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		dd-name に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ202I TSO RC=4	No copy pair is defined in specified Pair information CSV file.	ペア情報 CSV ファイルにコピーペアが定義されていません。コピーグループ定義ファイルへの書き込みは行われませんでした。
YKJ203E TSO RC=32	The number of items specified for a line in Pair information CSV file is invalid: *dd-name*: *rec#*	ペア情報 CSV ファイルの一つの行に指定する項目数が不正です。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ204E TSO RC=32	Primary volume is not specified in Pair information CSV file: *dd-name*: *rec#*	ペア情報 CSV ファイルに，P-VOL が指定されていません。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ205E TSO RC=32	Secondary volume is not specified in Pair information CSV file: *dd-name*: *rec#*	ペア情報 CSV ファイルに，S-VOL が指定されていません。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ206E TSO RC=32	The specified volume does not exist in the disk configuration definition file: *dd-name*: *rec#*: *device*	指定されたボリュームがディスク構成定義ファイル中に存在しません。 指定されたボリュームのサブチャネルセット ID と，ベースとなるコピーグループ定義ファイル中のサブチャネルセット ID が一致していない場合があります。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号 *device* 次のどちらかが表示されます。両方指定されている場合は，デバイス番号が表示されます。 ・ デバイス番号 ・ ストレージシステムのシリアル番号，CU 番号，および CCA 番号 *ストレージシステムのシリアル番号*：*CU 番号*：*CCA 番号*の形式で表示されます。
YKJ207W TSO RC=8	Inconsistencies exist among the values used to specify the primary volume: *dd-name*: *rec#*	デバイス番号で指定されている P-VOL と，ストレージシステムのシリアル番号，CU 番号，および CCA 番号で指定されている P-VOL が異なります。 コピーグループ定義ファイルは作成されましたが，設定情報に誤りがあるおそれがあります。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ208W TSO RC=8	Inconsistencies exist among the values used to specify the secondary volume: *dd-name*: *rec#*	デバイス番号で指定されている S-VOL と，ストレージシステムのシリアル番号，CU 番号，および CCA 番号で指定されている S-VOL が異なります。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		コピーグループ定義ファイルは作成されましたが，設定情報に誤りがあるおそれがあります。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ209E TSO RC=32	Sub C/T group ID cannot be specified for a *copy-type* Copy Group: *dd-name*：*rec#*	*copy-type* に示されるコピー種別のコピーグループで，サブ C/T グループ ID が指定されています。コピー種別が SI，TC，または TCA の場合，サブ C/T グループ ID を指定できません。 *copy-type* コピー種別 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ210E TSO RC=32	The value specified for Number-of-Pairs exceeds the range in which volumes exist: *Number-Of-Pairs*：*dd-name*：*rec#*	*Number-Of-Pairs* に指定した数の繰り返しの範囲内に，ボリュームが存在しません。 *Number-Of-Pairs* ペアの繰り返し数 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ211E TSO RC=32	PVOL & SVOL of SI pair is in the different storage system: *dd-name*：*rec#*	コピー種別が SI のコピーグループに，P-VOL と S-VOL のストレージシステムのシリアル番号が一致しないコピーペアが見つかりました。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ212E TSO RC=32	A specific combination of a storage system serial number and a C/T group ID is used for multiple UR Copy Groups: *dd-name*：*rec#*	コピーグループ構成が次のどちらかです。 ・ プライマリサイトのストレージシステムのシリアル番号が同じで，セカンダリサイトのストレージシステムのシリアル番号が異なり，かつ C/T グループ ID が同じコピーペアが存在する。 ・ プライマリサイトのストレージシステムのシリアル番号が異なり，セカンダリサイトのストレージシステムのシリアル番号が同じで，かつサブ C/T グループ ID が同じコピーペアが存在する。 コピー種別が UR の場合，これらの構成はサポートされていません。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ213E TSO RC=32	Secondary volume is already specified in another copy pair as a secondary device: *dd-name*：*rec#*	S-VOL に指定されたボリュームは，すでに別のコピーペアで S-VOL として指定されています。複数のコピーペアで，S-VOL に同じボリュームを指定することはできません。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		rec# *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ214W TSO RC=8	A copy pair capacity check could not be performed because the capacity of a volume could not be acquired.	ボリューム容量が取得できないため，P-VOL と S-VOL の容量チェックをしませんでした。次のどちらかの場合，容量チェックはできません。 • ローカルスキャン，リモートスキャン，または NG スキャンでボリューム容量を取得していない場合 • USP V のボリュームで，かつリモートスキャン，または NG スキャンを行った場合（この場合，ボリューム容量は取得できません） コピーグループ定義ファイルは作成されましたが，設定情報に誤りがあるおそれがあります。
YKJ215E TSO RC=32	The capacities of the copy pair volumes are different: *dd-name*：*rec#*	P-VOL と S-VOL の容量が異なります。P-VOL と S-VOL の容量が異なる場合，コピーペアを定義できません。 マイグレーションを目的としたコピーペアを定義する場合で，P-VOL と S-VOL の容量が異なるコピーペアを作成するときは，CAPACITY パラメタに「NOCHECK」を指定して YKIMPORT コマンドを実行してください。詳細は「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」を参照してください。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ216E TSO RC=32	The device numbers for the copy pair do not match: *dd-name*：*rec#*	P-VOL と同じデバイス番号を，S-VOL に割り当てられないため，コピーペアを定義できません。 セカンダリサイトのディスク構成定義ファイル中に P-VOL と同じデバイス番号がないか，確認してください。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ217E TSO RC=32	The specified volume does not have a device number: *dd-name*：*rec#*	指定されたボリュームにデバイス番号がありません。 P-VOL にはデバイス番号があるボリュームを指定してください。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ250E TSO RC=32	*name* is not specified in EXCTG information CSV file: *dd-name*：*rec#*	EXCTG 情報 CSV ファイルの *name* に示される項目の値が指定されていません。 *name* EXCTG 情報 CSV ファイルの項目名 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ251E TSO RC=32	The value *value* of *name* in EXCTG information CSV file is invalid: *dd-name*：*rec#*	EXCTG 情報 CSV ファイルの *name* で示される項目の値 *value* の形式が正しくありません。 *value*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		name で示される項目に指定した値 *name* EXCTG 情報 CSV ファイルの項目名 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ252E TSO RC=32	The number of items specified for a line in EXCTG information CSV file is invalid: *dd-name*: *rec#*	EXCTG 情報 CSV ファイルの一つの行に指定する項目数が不正です。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ253E TSO RC=32	Multiple EXCTG IDs are specified in EXCTG information CSV file: *dd-name*	EXCTG 情報 CSV ファイルに複数の EXCTG ID が指定されています。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名
YKJ254E TSO RC=32	The specified supervisor DKC or arbitration command device is invalid: *dd-name*: *rec#*	スーパバイザ DKC または調停コマンドデバイス番号の指定が正しくありません。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号 EXCTG 情報 CSV ファイル中にスーパバイザ DKC を指定した行が存在しない場合は，*rec#*には何も表示されません。
YKJ255E TSO RC=32	A Copy Group that does not have any corresponding entry in EXCTG information CSV file is found: *dd-name*	ペア情報 CSV ファイル中で指定されているエントリ（行）に対応するエントリ（行）が EXCTG 情報 CSV ファイル中に存在しません。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名
YKJ256E TSO RC=32	This entry does not have any corresponding Copy Group in Pair information CSV file: *dd-name*: *rec#*	EXCTG 情報 CSV ファイル中で指定されているエントリ（行）に対応するエントリ（行）がペア情報 CSV ファイル中に存在しません。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ257E TSO RC=32	Multiple entries that specify the same Copy Group are defined in EXCTG information CSV file: *dd-name*: *rec#*	EXCTG 情報 CSV ファイル中に，同じコピーグループを指定するエントリ（行）が複数あります。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ258E TSO RC=32	The EXCTG information is inconsistent: *dd-name*: *rec#*	次の EXCTG 情報の指定に矛盾があります。 ・ EXCTG ID ・ スーパバイザ DKC ・ 調停コマンドデバイス番号 正方向または逆方向の EXCTG 情報について，コピー方向の組み合わせ（正方向だけ，逆方向だけ，正方向および逆方向）が

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		EXCTG 情報 CSV ファイル内で混在しているおそれがあります。EXCTG 情報の指定を見直してから再実行してください。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ270E TSO RC=32	*name* is not specified in CTG information CSV file: *dd-name*: *rec#*	CTG 情報 CSV ファイルの *name* に示される項目の値が指定されていません。 *name* CTG 情報 CSV ファイルの項目名 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ271E TSO RC=32	The value *value* of *name* in CTG information CSV file is invalid: *dd-name*: *rec#*	CTG 情報 CSV ファイルの *name* で示される項目の値 *value* の形式が正しくありません。 *value* *name* で示される項目に指定した値 *name* CTG 情報 CSV ファイルの項目名 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ272E TSO RC=32	The number of items specified for a line in CTG information CSV file is invalid: *dd-name*: *rec#*	CTG 情報 CSV ファイルの一つの行に指定する項目数が不正です。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ273E TSO RC=32	This entry does not have any corresponding Copy Group in Pair information CSV file: *dd-name*: *rec#*	CTG 情報 CSV ファイル中で指定されているエントリ（行）に対応するエントリ（行）がペア情報 CSV ファイル中に存在しません。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKJ274E TSO RC=32	Multiple entries that specify the same Copy Group are defined in CTG information CSV file: *dd-name*: *rec#*	CTG 情報 CSV ファイル中に，同じコピーグループを指定するエントリ（行）が複数あります。 *dd-name* エラーが検出された CSV ファイルの DD 名 *rec#* *dd-name* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKK001I PRT	*command-name* completed. RC=*return-code*, V/R=*version-number*,*execution-date*	*command-name* コマンドが終了しました。 *command-name* YKINSCHK *return-code* コマンドのリターンコード *version-number*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		コマンドを実行したプログラムのバージョン番号 *execution-date* コマンドが実行された日時 *YYYY*/*MM*/*DD HH*:*MM*:*SS* の形式で表示されます。
YKK101E TSO RC=32	Failed to get security setting information,service=*service-name*,code=*code1*,*code2*.	セキュリティ設定情報を取得できませんでした。 *service-name* エラーとなった OS サービスの名称 *code1* エラーとなった OS サービスのリターンコード *code2* エラーとなった OS サービスの理由コード 理由コードが返されない OS サービスの場合は，0 が出力されます。
YKK102E TSO RC=32	Failed to get user SVC routine information,service=*service-name*,code=*code1*,*code2*.	ユーザ SVC 設定情報を取得できませんでした。 *service-name* エラーとなった OS サービスの名称 *code1* エラーとなった OS サービスのリターンコード *code2* エラーとなった OS サービスの理由コード 理由コードが返されない OS サービスの場合は，0 が出力されます。
YKK103E TSO RC=32	Acquisition of host ID settings failed,service=*service-name*,code=*code1*,*code2*.	ホスト ID 設定情報を取得できませんでした。 *service-name* エラーとなった OS サービスの名称 *code1* エラーとなった OS サービスのリターンコード *code2* エラーとなった OS サービスの理由コード 理由コードが返されない OS サービスの場合は，0 が出力されます。

表 2-9 YK から始まるメッセージ一覧（YKL0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKL000T TSO SC=48	Supplied parameters invalid.	無効なパラメタが指定されました。
YKL001E TSO RC=48	Unable to execute without valid MSG() parameter.	有効な MSG パラメタを指定してください。
YKL002E TSO RC=48	MSG(*stem*) does not include trailing "." character.	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKL003E TSO RC=52	Unable to update MSG(*stem*) in Caller's environment. YKVSET result = *result*	コマンドリターン構成構造体の変数値を設定しようとしましたが，*result* で示される結果値で失敗しました。このエラーの発生原因として，MSG パラメタに誤った値が指定されていることが考えられます。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKL004E MSG SC=48 RC=48	Unable to execute without valid STEM() parameter.	有効な STEM パラメタを指定してください。
YKL005E MSG SC=48 RC=48	STEM(*stem*) does not include trailing "." character.	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKL006E MSG SC=48 RC=48	Unable to execute without valid PREFIX parameter.	有効な PREFIX パラメタを指定してください。
YKL007E MSG SC=48 RC=48	Unable to execute without valid GROUP parameter.	有効な GROUP パラメタを指定してください。
YKL050W MSG SC=4 RC=4 (*file*:*rec#*)	Unrecognized element encountered: *name*	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。それでもエラーを解決できない場合には，保守員に連絡してください。 *name* XML 要素名 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL051E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	End of file encountered in comment.	XML コメントのバランスが取れているか確認してください。XML コメントがネストされないことに注意してください。それでもエラーを解決できない場合には，保守員に連絡してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* *file* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKL053W MSG SC=4 RC=4 (*file*:*rec#*)	Unrecognized Version attribute value: *value*	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目にある XML 要素の version 属性 *value* が認識されません。 該当する行を調べ，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照して原因を明確にしてください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL054E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	Unexpected termination of element: *name*	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目にある XML 要素 *name* が正しく作成されていません。 該当する行を調べ，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照して原因を明確にしてください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL074E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	Invalid "&" character discovered in quoted string. *string*	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目に不正な記述の実体参照が見つかりました。 http://www.w3.org にある *Extensible Markup Language(XML) 1.0* で規定している定義済み実態参照だけを使用してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL075W MSG SC=4 RC=4 (*file*:*rec#*)	Unrecognized Encoding attribute value: *value*	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目ある XML 要素の encoding 属性 *value* が認識されません。 該当する行を調べ，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照して原因を明確にしてください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		rec# エラーが検出された行番号
YKL076W MSG SC=4 RC=4 (*file*:*rec#*)	Unrecognized attribute: *name* = *value*	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目にある XML 属性が認識されません。 該当する行を調べ，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照して原因を明確にしてください。 *name* XML 属性名 *value* XML 属性値 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL077W MSG SC=4 RC=4 (*file*:*rec#*)	APIInfo Level=*level* invalid. Supported level is *v.r.m*.	*file* に示されるファイルの *rec#* 行目にある APIInfo 要素の Level 属性 *level* が認識されません。 該当する行を調べ，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照して原因を明確にしてください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号 *v.r.m* API レベル 値については，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照してください。
YKL079E MSG SC=44 RC=44 (*result*)	YKVSET program failure for: *name* = *value*	変数 *name* を値 *value* で設定しようとしましたが，*result* に示された結果値を伴って失敗しました。このエラーの発生原因として，STEM パラメタに誤った値が指定されていることが考えられます。
YKL080E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	More than two DiskDevice Elements in CopyPair.	コピーペア要素は，P-VOL 用の最初の要素と S-VOL 用の 2 番目の要素という二つの要素しか許していません。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目を調べ，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の XML のドキュメント型定義を参照して原因を明確にしてください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL081W MSG SC=16 RC=16 (*pair-index*)	Unable to resolve primary device address.	YKLOAD プログラムは，指定されたコピーペアの P-VOL のユニット番号（デバイスアドレス）を解決できませんでした。構成定義時に，このプロセスはプライマリ DAD の Host Discovered Array オブジェクトを使います。それ以外の場合，現在のローカル DAD が使われます。これは必ずしも致命的な条件ではありません。YKSUSPND のような幾つかの CLI コマンドは，S-VOL のユニットアドレスだけを使って成功することもあります。 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKL082W MSG SC=8	Unable to resolve secondary device address.	YKLOAD プログラムは，指定されたコピーペアの S-VOL のユニット番号（デバイスアドレス）を解決できませんでした。構

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
RC=8 (*pair-index*)		成定義時に，このプロセスはセカンダリ DAD の Host Discovered Array オブジェクトを使います。それ以外の場合，現在のローカル DAD が使われます。これは必ずしも致命的な条件ではありません。多くの CLI コマンドは，P-VOL のユニットアドレスだけを使って成功することもあります。 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKL083W MSG SC=12 RC=12 (*pair-index*)	Unable to resolve volume serial number.	YKLOAD プログラムは，指定されたコピーペアの P-VOL のボリュームシリアル番号を解決できませんでした。構成定義時に，このプロセスはプライマリ DAD の Host Discovered Array オブジェクトを使います。それ以外の場合，現在のローカル DAD が使われます。これは必ずしも致命的な条件ではありません。現在，ボリュームシリアル番号は表示と警告のためだけに使われます。 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKL085E MSG SC=40 RC=40 (*file*:*rec#*)	Unable to read configuration file.	Configuration ファイルのレコード長が長過ぎるため，読むことができませんでした。 *file* エラーが発生した Configuration ファイルの名称 *rec#* *file* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKL087E MSG SC=40 RC=40 (*file*)	Couldn't read license information dataset.	ライセンス情報データセットを読み込むことができませんでした。 ライセンスキーデータデットのデータセット名が正しいか，またはライセンスキーデータセットが正しく作成されているか確認してください。必要に応じて，ライセンスキーファイルを再度ファイル転送してから作成し直してください。
YKL088E MSG SC=40 RC=40 (*file*)	File Open error: *dsstate*.	*file* に示された Configuration ファイルを開けませんでした。 *dsstate* 対象の Configuration ファイルの状態 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称
YKL089E MSG SC=40 RC=40 (*file*)	File Close error: *dsstate*.	*file* に示された Configuration ファイルを閉じられませんでした。 *dsstate* 対象の Configuration ファイルの状態 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称
YKL090E MSG SC=40 RC=40 (*file*)	File Allocation Failed: *dsstate*.	*file* に示された Configuration ファイルを割り当てできませんでした。 *file* に示された Configuration ファイルが正しく作成されているか確認してください。 *dsstate* 対象の Configuration ファイルの状態 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称
YKL091E MSG SC=40 RC=40 (*file*)	File Deallocation Failed: *dsstate*.	*file* に示された Configuration ファイルの割り当てを解除できませんでした。 *dsstate* 対象の Configuration ファイルの状態 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKL092E MSG SC=40 RC=40 (*file*)	File Read error: *dsstate*.	*file* に示された Configuration ファイルを読み込むことができませんでした。 *dsstate* 対象の Configuration ファイルの状態 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称
YKL099I MSG TSO	*process-name* command return code=*max-value*,reason code=*reason-code*.	*process-name* が YKLOAD の場合 YKLOAD コマンドは処理を完了しました。このメッセージは必ず表示されます。 *process-name* が YKGETRUT の場合 ルートリスト定義ファイルとコマンドデバイス定義ファイルの読み込みが終了しました。このメッセージは, ISPF で不正なルートリスト定義ファイルまたは不正なコマンドデバイス定義ファイルを読み込んだ時に出力されます。 *reason-code* *max-value* に対する理由コード *max-value* 出力された RC の中での最大値

表 2-10 YK から始まるメッセージ一覧（YKL2x - YKL4x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKL201E MSG SC=48 RC=48	Unable to execute without valid *name* parameter.	*name* で指定されたパラメタが設定されていないか正しくありません。
YKL202E TSO RC=48	"SYSAUTH." cannot be specified in MSG() parameter.	MSG パラメタに SYSAUTH. は指定できません。ほかの名称を指定してください。
YKL203E MSG SC=48 RC=48	"SYSAUTH." cannot be specified in STEM() parameter.	STEM パラメタに SYSAUTH. は指定できません。ほかの名称を指定してください。
YKL204E TSO RC=48	*name* parameter is too long.	*name* で指定されたパラメタが長過ぎます。
YKL205E MSG SC=48 RC=48	*name* parameter is too long.	*name* で指定されたパラメタが長過ぎます。
YKL206E MSG SC=48 RC=48	Route parameter is allowed only on 1st call of YKLOAD	ROUTE パラメタは，最初の YKLOAD コマンド実行時にだけ許されます。
YKL241W MSG SC=4 RC=4 (*file*:*rec#*)	The attribute *attname* is already defined.	*attname* で示される XML 属性はすでに定義されています。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目にある *attname* の記述を見直してください。 *attname* XML 属性名 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL250E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The value *value* of the attribute *name* is an invalid format.	XML 属性 *name* の値 *value* が，不正な形式をしています。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL251E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	*name* attribute missing.	必要な XML 属性 *name* が見つかりません。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		エラーが検出された行番号
YKL252E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The attribute statements are invalid.	XML 属性の記述が不正です。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL253E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	This kind of elements *element* can't be defined more than once.	XML 要素 *element* が多重に定義されています。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL254E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The value *value* of attribute *name* is not match with filename.	XML 属性 *name* の値 *value* が，ファイル名中の名称と一致しません。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直すか，またはファイル名を修正してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL255E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The element *name-1*, for which the value *value* was specified for the attribute *name-2*, was not found.	XML 属性 *name-2* に値 *value* を指定した XML 要素 *name-1* が見つかりません。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL257E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The attribute *name-1* is not a content of the element *name-2*.	XML 要素 *name-2* に指定できない XML 属性 *name-1* が見つかりました。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL262E MSG SC=36 RC=36	*name* is not specified or invalid.	*name* に示されるシステム・シンボルが定義されていないか値が不正です。 *name* が YKCMDIF の場合 BC Manager が稼働しているホスト名を識別するホスト ID が不正，または定義されていません。 YKCMDIF を正しく定義してください。ホスト ID（YKCMDIF）の定義については，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager インストールガイド*」を参照してください。
YKL271E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The element *name* is required, but no element was found.	必要な XML 要素 *name* が見つかりません。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL273E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The element statements are invalid.	XML 要素の記述が不正です。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		rec# エラーが検出された行番号
YKL274E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	ETag name is mismatch. */correct ETag name* is expected, but */incorrect ETag name* is specified.	期待される ETag 名*/correct ETag name* ではない ETag 名*/incorrect ETag name* が指定されています。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL275W MSG SC=4 RC=4 (*file*:*rec#*)	Extra ETag is specified: *ETag name*	余分な *ETag name* が指定されています。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL276E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	The element *name1* is not a content of the element *name2*.	*name2* で示される XML 要素中に，指定できない XML 要素 *name1* が見つかりました。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL277E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	*name* element missing.	XML 要素 *name* が見つかりません。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL280E MSG SC=36 RC=36 (*file*)	No command devices were found.	コマンドデバイスがありません。 ルートリスト定義ファイル（*file*）のルート定義を見直してください。
YKL281E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	No command devices are defined for routes that issue remote commands or for route labels.	リモートコマンド発行用ルート，またはルートラベルに定義されたコマンドデバイスが見つかりません。 ルートリスト定義ファイル（*file*）のルート定義を見直してください。 *rec#* *file* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKL282E MSG SC=36 RC=36 (*file*)	The route label specified for the ROUTE parameter has not been defined.	ROUTE パラメタで指定されたルートラベルが定義されていません。 ルートリスト定義ファイル（*file*）のルート定義を見直してください。
YKL283E MSG SC=36 RC=36 (*file*)	A route label is not specified for the ROUTE parameter, even though a route label is defined for all the command devices.	ROUTE パラメタでルートラベルが省略されていたため，ルートラベルを設定していないコマンドデバイスラインを読み込もうとしました。しかし，ルートリスト定義ファイル（*file*）には，すべてのコマンドデバイスにルートラベルが定義されています。 YKLOAD コマンドの ROUTE パラメタに適切なルートラベルを設定するか，ルートリスト定義ファイル（*file*）中のコマンドデバイスのルートラベルを，Edit Attribute 画面で削除してください。
YKL284E MSG SC=36 RC=36 (*file*:*rec#*)	PVOL & SVOL of SI pair is in the different storage system.	コピー種別が SI のコピーグループのファイル中に，P-VOL と S-VOL に対応するストレージシステムのシリアル番号が一致しないコピーペアが見つかりました。 *file* に示されるファイルの *rec#* 行目の記述を見直してください。 *file*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* エラーが検出された行番号
YKL290E MSG SC=44 RC=44 (*result*)	YKVGET program failure for: *vn*	変数 *vn* を取得しようとしましたが，*result* に示された結果値を伴って失敗しました。このエラーの発生原因として，STEM パラメタに誤った値が指定されていることが考えられます。
YKL291E MSG SC=36 RC=36	*funcname* is not licensed for use on this system.	*funcname* に示される機能のライセンスキーがインストールされていないか，正しく認識されていません。 当バージョンで使用できるライセンスキーかどうか確認してください。 *funcname* が This product の場合 BC Manager のライセンスキーがインストールされていないため，BC Manager のコマンドは使用できません。 *funcname* が UR 4x4 Extended CTG の場合 4x4 構成に必要なライセンスキーがインストールされていないため，EXCTG 単位でコンシステンシーを維持する機能は使用できません。
YKL292E MSG CON SC=36 RC=36	The expiration date for your license key(*function*).	ライセンス（*function*）の有効期限が切れました。 引き続き当製品をご使用いただくためには，永久ライセンスが必要です。 *function* が Basic の場合 Business Continuity Manager Basic *function* が UR 4x4 Extended CTG の場合 Business Continuity Manager UR 4x4 Extended CTG
YKL293W MSG CON SC=0 RC=0	Your *function* license will expire in *n* day(s).	あと *n* 日でライセンス（*function*）の有効期限が切れます。 期限が切れたあとも引き続き当製品をご使用いただくためには，永久ライセンスが必要です。 *function* が Basic の場合 Business Continuity Manager Basic *function* が UR 4x4 Extended CTG の場合 Business Continuity Manager UR 4x4 Extended CTG
YKL295E MSG SC=44 RC=44 (*file*:*rec#*)	The element stack was overflowed.	内部ルーチンで作業領域の不足が発生しました。 保守員に連絡してください。 *file* エラーが検出された Configuration ファイルの名称 *rec#* *file* に示されたファイルでの，エラーが検出された行番号
YKL298E MSG TSO SC=44 RC=44 (*detailed-info*)	*cli-name* encountered an unexpected error.	予期しないエラーが発生しました。このエラーはほかのエラーに伴って発生したおそれがあります。 このエラーメッセージと同時にほかのエラーメッセージが出力されている場合は，ほかのエラーメッセージで示されている問題を先に解決してください。 ほかのエラーメッセージが出力されていない場合は，次の資料を採取した上で保守員に連絡してください。 • このコマンドを実行したスクリプト（ISPF 画面から実行した場合は不要） • ISPF ログ（スクリプトから実行した場合は不要） • スクリプトまたは ISPF 画面から操作した Configuration ファイル（コピーグループ定義ファイル，ディスク構成定義ファイル，コマンドデバイス定義ファイル，およびルートリスト定義ファイル） *cli-name* 実行した CLI コマンドの名前 *detailed-info* エラー解析を助けるための詳細情報（保守員用）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKL419E MSG SC=48 RC=48	The values of *attribute1* and *attribute2* conflict.	*attribute1* の値が *attribute2* の値と矛盾しています。 *attribute1* の値と *attribute2* の値を見直してから，再実行してください。 *attribute1* コピーグループ定義中の属性名 1 *attribute2* コピーグループ定義中の属性名 2

表 2-11 YK から始まるメッセージ一覧（YKM0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKM000T TSO RC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。 詳細については，続いて出力される YKM099I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。
YKM001E TSO RC=48	No message MSG() supplied	MSG パラメタが指定されていません。
YKM001E MSG SC=48 RC=48	No results STEM() supplied	STEM パラメタが指定されていません。
YKM002E MSG SC=48 RC=48	Copy Group STEM(*stem*) does not include trailing "."	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名
YKM002E MSG SC=48 RC=48	ORDER(*stem*) does not include trailing "."	ORDER パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* ORDER パラメタに指定された stem 名
YKM002E MSG SC=48 RC=48	ORDER() value invalid	ORDER パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKM002E MSG SC=48	DEVN() value invalid	DEVN パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKM002E TSO RC=48	Messages MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKM008E MSG SC=48	DEVN() not valid hex	DEVN パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKM010E TSO RC=40	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。 リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn* REXX アクセス時のエラーコード
YKM011E ISPF	This device number *msgdevn* has not been discovered on *msgdad*.	*msgdevn* で示されるデバイス番号は，*msgdad* で示される DAD でスキャンされていません。 *msgdevn* デバイス番号 *msgdad* DAD
YKM012E ISPF	The End Devn value must not be lower than the Start Devn	End デバイス番号が Start デバイス番号より小さい値です。
YKM014E ISPF	This Copy Group ID is already defined. Choose a different ID.	すでに定義されたコピーグループ ID です。別の ID を使用してください。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKM015I LOG	RC:*nn* CMD:*command*	*command* で示されるコマンドを発行して，リターンコード *nn* で終了しました。 *nn* コマンドリターンコード
YKM016W LOG	SEV:*nn* TEXT:*message-text* VALUE:*message-value*	コマンドは，重要度=*nn*，メッセージ ID とメッセージテキスト=*message-text*，付加情報=*message-value* を出力して終了しました。 *nn* コマンドリターン構成構造体の `Severity` *message-text* コマンドリターン構成構造体の `Text` *message-value* コマンドリターン構成構造体の `Value`
YKM017I LOG	*message-text*	コマンド発行時に，*message-text* で示すコンソールメッセージが出力されました。
YKM018E ISPF	A Consistency Group ID (C/T ID) is required for TrueCopy Async Copy Group definition.	TCA のコピーグループ定義には C/T グループ ID が必要です。
YKM020E ISPF	Please supply the required information.	必要な情報を入力してください。
YKM021E ISPF	Check either Device num or Volser	Device Num または Volser のどちらかをチェックしてください。
YKM022E ISPF	The End Volser value must not be lower than the Start Volser	End Volser が Start Volser より小さい値です。
YKM023E ISPF	Invalid value	不当な値です。
YKM024E ISPF	Choose any one	どちらか一つを選択してください。
YKM025E ISPF	C/T ID cannot be added to a CopyGroup Container without C/T ID.	C/T グループ ID 指定のないコピーグループは，CG コンテナに追加できません。
YKM026E ISPF	The secondary device *sdevn* is already paired to primary device *pdevn*	*sdevn* で示されるセカンダリデバイスは，すでに *pdevn* で示されるプライマリデバイスでコピーペア定義されています。 *sdevn* セカンダリデバイス番号 *pdevn* プライマリデバイス番号
YKM027E ISPF	The primary device *pdevn* and secondary device *sdevn* are on different storage system.	プライマリデバイス *pdevn* とセカンダリデバイス *sdevn* が異なるストレージシステム上にあります。 *pdevn* プライマリデバイス番号 *sdevn* セカンダリデバイス番号
YKM030E ISPF	File not found.	ファイルが見つかりません。
YKM031E ISPF	Refresh SMS key is not available in case of Copy Group Creation.	コピーグループの新規作成時の Refresh SMS キーは有効ではありません。
YKM032E ISPF	Invalid operation.	不当な操作です。
YKM033E ISPF	Can not edit.	編集できません。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKM034E ISPF	Press F10 key and select C/T ID.	F10 キーを押して，C/T グループ ID を選択してください。
YKM035E ISPF	*inputfld* is not specified or invalid.	*inputfld* が指定されていないか，値が不当です。 *inputfld* 属性名または入力フィールド名
YKM036E ISPF	Specified APID is defined to another DADID.	指定した APID は，ほかの DADID で定義されています。
YKM037E ISPF	Changing a local Device Address Domain ID is not allowed.	ローカル DADID の変更は許されていません。
YKM038E ISPF	Specified DEVN is not found.	指定したデバイス番号が見つかりません。
YKM039E ISPF	Specified device is not command device because APID is not available.	APID が使用できないので，指定したデバイスはコマンドデバイスではありません。
YKM040E ISPF	A Consistency Group ID (C/T ID,sub C/T ID) is required for Universal Replicator Copy Group definition.	UR のコピーグループ定義では，C/T グループ ID およびサブ C/T グループ ID の指定が必要です。
YKM041E ISPF	A sub Consistency Group ID cannot be specified for SI/TC/TCA Copy Group definition.	SI/TC/TCA のコピーグループ定義では，サブ C/T グループ ID を指定できません。
YKM042E ISPF	This Consistency Group ID (C/T ID,sub C/T ID) is already defined. Choose a different ID.	この C/T グループ ID はすでに定義されています。ほかの ID を選択してください。
YKM043E ISPF	A Mirror ID is required for Universal Replicator Copy Group definition.	UR のコピーグループ定義では，ミラー ID の指定が必要です。
YKM044E ISPF	This Path Set ID is already defined.	このパスセット ID は，すでに定義されています。
YKM045E ISPF	Physical path (*priport secport*) is already defined in this logical path.	物理パスは，すでに論理パス内で定義されています。 *priport* 指定したプライマリポート *secport* 指定したセカンダリポート
YKM046E ISPF	The end CU/CCA value must not be lower than the start CU/CCA.	最終 CU/CCA の値が先頭 CU/CCA より小さい値です。
YKM047E ISPF	Processing to add, insert, or edit a storage system was denied because the storage system has already been discovered by the specified DADID.	ストレージシステムは，指定した DADID ですでにスキャンされているため，ルートへのストレージシステムの追加，挿入，または編集はできません。 指定した DADID およびストレージシステムのシリアル番号を見直してください。
YKM048E ISPF	You cannot perform a device scan because a remote DADID or Non Gen'ed DADID was specified as the local DADID in the Set Defaults panel.	Set Defaults 画面でローカル DADID にリモート DADID，または Non Gen'ed DADID を指定しているため，デバイスのスキャンはできません。
YKM049E ISPF	A Path ID is required for Universal Replicator Copy Group definition.	UR のコピーグループ定義には，パスグループ ID の指定が必要です。
YKM050E MSG SC=36 RC=48 (*attribute-value*)	Invalid Copy Group attribute *name*	指定されたコピーグループ属性の値はこのコマンドには無効です。 値を訂正してからコマンドを再実行してください。 *name* REXX 変数名 *attribute-value* REXX 変数の値

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKM056E MSG SC=36 RC=48	NOCOPY option invalid for ShadowImage Copy Group	NOCOPY パラメタを指定して，SI のコピーグループに YKMAKE コマンドが実行されました。このパラメタは SI コピーグループには無効です。 NOCOPY パラメタを指定しないで，YKMAKE コマンドを再実行してください。
YKM058E MSG SC=36 RC=48	Some pairs in this group do not support TCA services	このストレージシステムにあるデバイスは，TCA のコピーグループをサポートしていません。 コマンドを実行できるコピーグループかどうか確認してから再実行してください。
YKM099I TSO	YKMAKE command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	YKMAKE コマンドは，リターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。 このメッセージは，リターンコードと理由コードを示すために必ず表示されます。 *nnnn* コマンド実行時に返される Severity Code の中で最大のもの

表 2-12 YK から始まるメッセージ一覧（YKM1x - YKM5x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKM103E MSG SC=48	Parameters combination is invalid	パラメタの組み合わせが正しくありません。
YKM500E ISPF	You cannot perform a remote or an NG scan if the specified DADID matches a local DADID or if the Preset RouteListID, which is in the Set Defaults panel, is not enabled.	次の理由で，リモートスキャン，または NG スキャンを実行できません。 • DADID がローカル DADID と同じです。 • DADID がリモートサイトのローカル DADID（リモートサイトを始点とするルートの先頭 DADID）と同じです。 • Set Defaults 画面の Preset RouteListID が無効になっています。
YKM501E ISPF	You cannot edit the device number for a volume that was not found by remote scan or NG scan.	リモートスキャン，または NG スキャンで見つけたボリュームではないため，デバイス番号を編集できません。
YKM502E ISPF	You cannot exit until all discovered devices are assigned dummy devn.	すべての検出デバイスに対して Devn を割り当てるまで，Exit 操作はできません。
YKM504E ISPF	The number of connections of inter-DKC paths of the same PathID exceeds the maximum number of connections that is allowed within the same storage system.	DKC 間パスで，同一ストレージシステム内にある PathID の最大接続数を超えました。
YKM505E ISPF	This inter-DKC path is already defined in another logical path.	この DKC 間パスは，すでにほかの論理パスで定義されています。
YKM506E ISPF	You cannot define inter-DKC path with this interface version.	このインタフェースバージョンでは，DKC 間パスを定義できません。
YKM508E ISPF	This inter-CU path is already defined in another logical path.	この CU 間パスは，すでにほかの論理パスで定義されています。
YKM509E ISPF	The number of physical paths that are defined in the same logical path exceeds the limit.	論理パス内に定義できる物理パスの数が最大値を超えました。
YKM510E ISPF	This Model is not supported for this Path Type.	この Model は，このパスタイプをサポートしていません。
YKM511E ISPF	The value of CU exceeds the number of CUs that is allowed in this Model.	この Model が指定できる CU の範囲を超えました。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKM514E ISPF	CCA could not be assigned because either the path is already defined in another logical path, or the list of CCA could not be retrieved.	ほかの論理パスですでに定義されているか，または CCA 一覧を取得できなかったため，CCA を割り当てることができませんでした。
YKM515E ISPF	You cannot specify the same serial number to the primary side and the secondary side of the same logical path.	同一論理パス内のプライマリ側とセカンダリ側に同じシリアル番号を指定することはできません。
YKM516E ISPF	Port (*errport*) is already defined as *portdir* port.	ポート *errport* はすでに *portdir* で定義されています。 *errport* 指定したポート *portdir* 定義済みのポート
YKM517E ISPF	The value of PathID exceeds the value that is allowed in this Model.	この Model が指定できる PathID の範囲を超えました。
YKM518E ISPF	Port (*errport*) exceeds the limit that is allowed in this composition.	この構成で指定できるポートの範囲を超えました。 *errport* 指定したポート
YKM519E ISPF	Different PathIDs cannot be specified for the primary side and secondary side of an inter-DKC path.	DKC 間論理パスに対して，プライマリサイトとセカンダリサイトで異なる Path ID は指定できません。
YKM520E ISPF	These device number *remdevn* or storage system S/N *remsn* are not discovered on Device Address Domain *remdad*.	デバイス番号またはストレージシステムのシリアル番号が DADID 内でスキャンされていません。 *remdevn* 指定したデバイス番号 *remsn* 指定したストレージシステムのシリアル番号 *remdad* 指定した DADID
YKM521E ISPF	You cannot exit this panel until you define a command device.	コマンドデバイスを定義するまで，Exit 操作はできません。
YKM522E ISPF	Please supply the required information.	必要な情報を入力してください。
YKM523E ISPF	You cannot enter values to both License Key Dataset Name field and Key Code field at the same time.	License Key Dataset Name と Key Code フィールドは同時に指定できません。
YKM524E ISPF	Please enter alphanumeric characters to Key Code field.	Key Code フィールドに指定された値が数字またはアルファベットではありません。
YKM525E ISPF	Invalid Key Code is entered. Please re-enter the Key Code.	キーコードが間違っているため，再入力してください。
YKM526E ISPF	Invalid dataset name is specified.	不正なデータセット名が指定されました。
YKM527E ISPF	You cannot specify the license information dataset.	ライセンス情報データセットは指定できません。
YKM528E ISPF	Enter the value that you wish to find with the LOCATE command on a sorted field "*field-name*".	ソートした *field-name* で示されるフィールドから LOCATE コマンドで探したい値を入力してください。 *field-name* フィールド名
YKM529E ISPF	You cannot specified except '00' as PathID with this interface version.	このインタフェースバージョンでは 00 以外の PathID を指定できません。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKM530E ISPF	The copy operation cannot be performed, because the model of the primary or secondary storage system is not supported.	プライマリまたはセカンダリストレージシステムがサポート対象外のため，選択した方向の物理パスのポート番号と同じ値を，反対方向の物理パスには設定できません。設定できるストレージシステムは次の通りです。 ・ VSP 5000 シリーズ
YKM531E ISPF	Copying cannot be performed, because the number of physical paths that would be defined in the logical path exceeds the maximum value.	論理パス内に定義できる物理パスの数が最大値を超えました。選択した方向の物理パスのポート番号と同じ値を反対方向の物理パスに設定できません。

表 2-13 YK から始まるメッセージ一覧（YKM7x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKM700E ISPF	Enter one of the listed values.	リストされている値を入力してください。
YKM701E ISPF	Enter required field at the cursor position.	カーソル位置で必要な情報を入力してください。
YKM702E ISPF	The length of the data must be =*crtlen*	入力長は*crtlen* にする必要があります。 *crtlen* 必要な入力長
YKM703E ISPF	Enter hexadecimal characters (0-9, A-F, a-f).	16 進数（0-9, A-F, a-f）を入力してください。
YKM704E ISPF	Enter alphanumeric characters (0-9, A-Z, a-z).	英数字（0-9, A-Z, a-z）を入力してください。
YKM705E ISPF	Each qualifier must be 1-8 alphanumeric characters (0-9, A-Z, a-z), the first alphabetic.	それぞれの区切りは，1～8 文字の英数字（0-9, A-Z, a-z）で，先頭を英字にする必要があります。
YKM706E ISPF	The length of the "*field-name*" field data must be no more than *loclen*.	*field-name* で示されるフィールドの入力長は*loclen* 以下にする必要があります。
YKM707E ISPF	Enter the number (hex. characters: 0-9, A-F, a-f) to search for.	検索したい 16 進数（0-9, A-F, a-f）を入力してください。
YKM708E ISPF	Enter the number (numerical characters: 0-9) to search for.	検索したい数値（0-9）を入力してください。
YKM709E ISPF	Execute the sort command before executing the locate command.	LOCATE コマンドを実行する前に SORT コマンドを実行してください。
YKM710E ISPF	Enter one of the following characters(P, S, N/A) to search for.	検索したい文字（P，S，または N/A）を入力してください。
YKM720E ISPF	Required parameter is not specified.	必要なパラメタを入力してください。
YKM721E ISPF	Invalid field name is specified.	条件を指定するフィールド名を入力してください。
YKM722E ISPF	Invalid pattern is specified.	パターンパラメタに正しい値を入力してください。 次の条件に該当していないかどうか確認してください。 ・ 範囲指定で値 1 に値 2 より大きい値を指定しました。 ・ 範囲指定で値 1 に NULL を指定しました。 ・ 範囲指定の値 1 または値 2 に*が含まれる値を指定しました。 ・ 二つ以上の*が含まれる値を指定しました。 ・ 値の前後以外に*を指定しました。 ・ DEVICE 指定時に，5 桁でないストレージシステムシリアル番号を指定しました。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKM723E ISPF	Invalid action name is specified.	正しいアクション名を入力してください。
YKM724E ISPF	The length of the "*field-name*" field data must be no more than *value-length*.	*field-name* で示されるフィールドの入力長は *value-length* 以下にする必要があります。
YKM725E ISPF	Enter the number (hex. characters: 0-9, A-F, a-f).	選択する 16 進数（0-9, A-F, a-f）を入力してください。
YKM726E ISPF	Enter the number (numerical characters: 0-9).	選択する数値（0-9）を入力してください。
YKM727E ISPF	Range specification is not supported for the field.	そのフィールドでは範囲指定はサポートしていません。
YKM728E ISPF	The specified pattern produced no matching lines.	指定されたパターンと一致する行が見つかりませんでした。
YKM731E ISPF	ISPF service error occurred. *info*	ISPF サービスでエラーが発生しました。 *info* 保守情報
YKM750E ISPF	Serial number must be a 5-digit combination of alphanumeric characters.	シリアル番号は，英数字（0-9, A-Z, a-z）5 文字の組み合わせにする必要があります。
YKM751E ISPF	DADID must be a combination of one or more qualifiers. Each qualifier must be 1-8 alphanumeric characters (0-9, A-Z, a-z) with the first character being an alphabetic character (A-Z, a-z). The length of DADID must be 1-28.	DADID は一つ以上の節の組み合わせにする必要があります。それぞれの節は 1〜8 文字の英数字（0-9, A-Z, a-z）で，その先頭は英字（A-Z, a-z）にする必要があります。DADID の長さは，1〜28 文字です。
YKM752E ISPF	DEVN must be 4 hexadecimal characters (0-9, A-F, a-f).	デバイス番号は 4 桁の 16 進数字（0-9, A-F, a-f）にする必要があります。
YKM753E ISPF	APID must be 4 hexadecimal characters (0-9, A-F, a-f).	APID は 4 桁の 16 進数字（0-9, A-F, a-f）にする必要があります。
YKM754E ISPF	Route List ID must be a combination of one or more qualifiers. Each qualifier must be 1-8 alphanumeric characters (0-9, A-Z, a-z) with the first character being an alphabetic character (A-Z, a-z). The length of Route List ID must be 1-8.	ルートリスト ID は一つ以上の節の組み合わせにする必要があります。それぞれの節は 1〜8 文字の英数字（0-9, A-Z, a-z）で，その先頭は英字（A-Z, a-z）にする必要があります。ルートリスト ID の長さは，1〜8 文字です。
YKM755E ISPF	Configuration File Prefix must be a combination of one or more qualifiers. Each qualifier must be 1-8 alphanumeric characters (0-9, A-Z, a-z) with the first character being an alphabetic character (A-Z, a-z). The length of Configuration File Prefix must be 1-16.	Configuration ファイルのプレフィックスは一つ以上の節の組み合わせにする必要があります。それぞれの節は 1〜8 文字の英数字（0-9, A-Z, a-z）で，その先頭は英字（A-Z, a-z）にする必要があります。Configuration ファイルのプレフィックスの長さは，1〜16 文字です。
YKM756E ISPF	Copy Group ID must be a combination of one or more qualifiers. Each qualifier must be 1-8 alphanumeric characters (0-9, A-Z, a-z) with the first character being an alphabetic character (A-Z, a-z). The length of Copy Group ID must be 1-40.	コピーグループ ID は一つ以上の節の組み合わせにする必要があります。それぞれの節は 1〜8 文字の英数字（0-9, A-Z, a-z）で，その先頭は英字（A-Z, a-z）にする必要があります。コピーグループ ID の長さは，1〜40 文字です。
YKM757E ISPF	The 4-digit year (*YYYY*) or 2-digit month (*MM*) or 2-digit day (*DD*) was not numeric. Valid year values are 1970-2042, valid month values are 01-12, and valid day values are 01-31.	年（*YYYY*），月（*MM*），日（*DD*）の値が数値ではありません。年の値は 1970〜2042，月の値は 01〜12，日の値は 01〜31 にする必要があります。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKM758E ISPF	The hour, minute, or second value is not numeric. Valid values are 00-23 for hour, 00-59 for minute, and 00-59 for second.	時，分，秒の値が数値ではありません。時間の値は 00～23，分の値は 00～59，秒の値は 00～59 にする必要があります。
YKM759E ISPF	Enter numeric characters (0-9).	数値（0-9）を入力してください。
YKM760E ISPF	Preset Mode cannot be used when C/T ID is not specified.	C/T グループ ID を指定しない場合は Preset Mode を設定できません。
YKM761E ISPF	Check Device Num, Volser, or Non Gen'ed.	Device Num，Volser，または Non Gen'ed に指定した値を確認してください。
YKM762E ISPF	You cannot perform a remote or an NG scan because the specified DADID matches a local DADID.	指定した DADID がローカル DADID と同じであるため，リモートスキャン，または NG スキャンを実行できません。
YKM763E ISPF	You cannot perform an NG scan because no local scan has been performed for the specified storage system.	指定したストレージシステムに対してローカルスキャンを実行していないため，NG スキャンを実行できません。
YKM764E ISPF	Select one of the displayed lines.	表示されている行のどれかを選択してください。
YKM765I ISPF	A description for the specified error code was not found.	指定されたエラーコードの説明が見つかりませんでした。 エラーコードの詳細については，「3.1 」を参照してください。 エラーコードがマニュアルに記載されていない場合は，保守員に連絡してください。
YKM766E ISPF	Specified Prefix is being used by another program.	指定されたプレフィックスはほかのプログラムで使用中です。 指定した値を確認してください。
YKM767E ISPF	This command is invalid for TrueCopy Copy Groups linkaged with HyperSwap.	HyperSwap 属性を持つ TC コピーグループには，このコマンドを実行できません。 PPRC コピーペアの操作は TPC-R で実行してください。
YKM768E ISPF	HS cannot be used when C/T ID is specified.	C/T グループ ID を指定している場合，連携オプションに HS を指定できません。
YKM769E ISPF	Route Label must be an asterisk (*), or a combination of one or more qualifiers. Each qualifier must be 1-8 alphanumeric characters (0-9, A-Z, a-z) with the first character being an alphabetic character (A-Z, a-z). The length of Route Label must be 1-8.	ルートラベルはアスタリスク（*）または一つ以上の節の組み合わせにする必要があります。それぞれの節は 1～8 文字の英数字（0-9, A-Z, a-z）で，その先頭は英字（A-Z, a-z）にする必要があります。ルートラベルの長さは，1～8 文字です。
YKM770E ISPF	Enter unique value in a storage system.	ストレージシステム内でユニークになる値を入力してください。
YKM771I ISPF	Panel could not scroll because it shows beginning of data.	データの先頭を表示しているためスクロールできません。
YKM772I ISPF	Panel could not scroll because it shows end of data.	データの最後尾を表示しているためスクロールできません。
YKM773E ISPF	DADID must be shortened so that dataset name of disk configuration file is no more than 44 characters.	ディスク構成定義ファイルのデータセット名が上限の 44 文字を超えています。DADID を短くしてください。
YKM774E ISPF	Specified storage system is defined in the same route.	指定したストレージシステムは，同じルート上に定義されています。別のストレージシステムを選択してください。
YKM775E ISPF	Panel could not proceed the insert action because number of the route entry has reached maximum.	ルートに定義しているストレージシステムの数が最大に達しているため，ストレージシステムを追加できません。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKM776E ISPF	Route Label must be a combination of one or more qualifiers. Each qualifier must be 1-8 alphanumeric characters (0-9, A-Z, a-z) with the first character being an alphabetic character (A-Z, a-z). The length of Route Label must be 1-8.	ルートラベルは一つ以上の節の組み合わせにする必要があります。それぞれの節は 1～8 文字の英数字（0-9, A-Z, a-z）で，その先頭は英字（A-Z, a-z）にする必要があります。ルートラベルの長さは，1～8 文字です。
YKM779E ISPF LOG	A duplicate serial number exists. (SN=*SN*, model=*model1*, other model=*model2*, pos=*pos*)	ストレージシステムのシリアル番号が重複しているため，処理を中断します。三つ以上のストレージシステムのシリアル番号が重複している場合でも，モデル名は二つしか表示されません。 *SN* 重複しているシリアル番号 *model1* シリアル番号が重複しているストレージシステムのモデル *model2* シリアル番号が重複している別のストレージシステムのモデル *pos* 保守情報
YKM781E ISPF	A storage class can contain only alphanumeric characters (0-9, A-Z, a-z) and the following characters: $ # @	ストレージクラスには，英数字（0-9, A-Z, a-z）および文字（$, #, @）を使用してください。
YKM782E ISPF	A volume serial number can contain only alphanumeric characters (0-9, A-Z, a-z) and the following characters: $ # @ -	ボリュームシリアル番号には，英数字（0-9, A-Z, a-z）および文字（$, #, @, -）を使用してください。
YKM783E ISPF	A device type can contain only alphanumeric characters (0-9, A-Z, a-z) and the following characters: $ # @ - /. However, you can use a forward slash (/) only as the first character.	装置タイプには，英数字（0-9, A-Z, a-z）および文字（$, #, @, -, /）を使用してください。ただし，/は先頭にだけ使用できます。
YKM784E ISPF	You cannot perform a local scan because the specified DADID dose not match the Local Device Address Domain ID which is in the Set Defaults panel.	指定された DADID が Set Defaults 画面で指定されたローカル DADID と異なるため，ローカルスキャンを実行できません。
YKM785E ISPF	You cannot specify a DADID that is specified in a route list starting from a remote site.	リモートサイトを始点とするルートの先頭 DADID は指定できません。
YKM786E ISPF	If the remote DKC control function is not used, no commands can be issued via command devices.	リモート DKC 制御機能を使用していない場合，コマンドデバイス経由でコマンドを発行できません。
YKM787E ISPF	Select a device.	P-VOL が選択されていないため，自動ペアリングを実行できません。 P-VOL を選択してください。
YKM788W ISPF	*device-count* devices were selected, but *pair-count* pairs were defined.	*device-count* の数のボリュームを選択しましたが，*pair-count* の数だけコピーペアが定義されました。 P-VOL とデバイス番号が一致する S-VOL がなかったため，定義できなかったコピーペアがあります。 *device-count* 選択されたボリュームの数 *pair-count* 定義されたコピーペアの数
YKM789E ISPF	Multiple fields cannot be specified.	ボリュームの指定方法を複数選択することはできません。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		デバイス番号，ボリュームシリアル番号，デバイスアドレスのどれかをチェックしてください。
YKM791E ISPF	DEVN(*device-number*) has already been assigned.	デバイス番号が *device-number* のボリュームはすでに定義されています。
YKM794I ISPF	The secondary SSID is valid.	セカンダリ SSID は有効です。
YKM795W ISPF	The secondary SSID was corrected because the secondary CU did not match the secondary SSID.	セカンダリ CU 番号とセカンダリ SSID が不整合のため，セカンダリ SSID を修正しました。セカンダリストレージシステムのシリアル番号，セカンダリ CU 番号，セカンダリ SSID を確認してください。
YKM796E ISPF	Verification of the secondary SSID was skipped.	SSID の検証ができないため，処理をスキップしました。検証対象が CU 間論理パスであるか確認してください。
YKM797E ISPF	Verification of the secondary SSID failed because an error occurred during acquisition of information about the secondary volume.	SSID の検証中にエラーが発生しました。次の状態を確認してください。 • セカンダリ CU 内に実装済みボリュームが存在するか • セカンダリストレージシステムに対してリモート DKC 制御機能が使用できるか，またはセカンダリストレージシステムのボリュームが 1 つ以上ローカルスキャン済みであるか

表 2-14 YK から始まるメッセージ一覧（YKM90x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKM900I ISPF	Start YKSTART command.	YKSTART コマンドを起動します。
YKM901E TSO	ISPF service is not available.	ISPF サービスが有効ではありません。 ISPF 環境で YKSTART コマンドを実行してください。 その後，BC Manager の各コマンドを実行してください。
YKM902E TSO	Load module is not found.	BC Manager のロードモジュールが見つかりません。LNKLST に BC Manager のデータセットを連結していないおそれがあります。 LNKLST の設定を見直してから，YKSTART コマンドを再実行してください。 その後，BC Manager の各コマンドを実行してください。
YKM903E TSO	SELECT service terminated abnormally. RC=*nn*	SELECT サービスが RC=*nn* で異常終了しました。 YKSTART コマンド実行直後にこのメッセージが表示された場合，パネルライブラリ（DD 名 ISPPLIB），テーブルライブラリ（DD 名 ISPTLIB），または REXX exec ライブラリ（DD 名 SYSEXEC）に，BC Manager のデータセットを連結していないおそれがあります。 DBCS（Double-Byte Character Set）機能が有効な環境では，代替パネルライブラリ（DD 名 ISPPALT）に BC Manager のデータセットを連結してください。詳細については，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager インストールガイド*」を参照してください。 *nn* サービスのリターンコード
YKM904E TSO	Message library was not found.	メッセージライブラリが見つかりません。 メッセージライブラリ（DD 名 ISPMLIB）に，BC Manager のデータセットを連結していないおそれがあります。 DBCS（Double-Byte Character Set）機能が有効な環境では，代替メッセージライブラリ（DD 名 ISPMALT）に BC Manager のデータセットを連結してください。詳細については，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager インストールガイド*」を参照してください。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKM905E TSO	A GETMAIN error occurred.	GETMAIN エラーが発生しました。プログラムは処理を中止します。 保守員に連絡してください。
YKM906E TSO	A FREEMAIN error occurred.	FREEMAIN エラーが発生しました。プログラムは処理を続行します。 保守員に連絡してください。

表 2-15 YK から始まるメッセージ一覧（YKN0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKN000T TSO RC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。 詳細については，続いて出力される YKN099I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。
YKN001E TSO RC=48	No message MSG() supplied	MSG パラメタが指定されていません。
YKN001E MSG SC=48 RC=48	No results STEM() supplied	STEM パラメタが指定されていません。
YKN002E MSG SC=48 RC=48	Copy Group STEM(*stem*) does not include trailing "."	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名
YKN002E TSO RC=48	Messages MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKN010E TSO RC=40	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。 リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn* REXX アクセス時のエラーコード
YKN050E MSG SC=48 RC=48 (*attribute-value*)	Invalid Copy Group attribute *name*	指定されたコピーグループ属性の値はこのコマンドには無効です。 値を訂正してからコマンドを再実行してください。 *name* REXX 変数名 *attribute-value* REXX 変数の値
YKN099I TSO	YKRUN command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	YKRUN コマンドは，リターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。 このメッセージは，リターンコードと理由コードを示すために必ず表示されます。 *nnnn* コマンド実行時に返される Severity Code の中で最大のもの

表 2-16 YK から始まるメッセージ一覧（YKP0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKP000T TSO RC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。 詳細については，続いて出力される YKP099I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKP001E TSO RC=48	No message MSG() supplied	MSG パラメタが指定されていません。
YKP001E MSG SC=48 RC=48	No results STEM() supplied	STEM パラメタが指定されていません。
YKP002E MSG SC=48 RC=48	Copy Group STEM(*stem*) does not include trailing "."	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名
YKP002E TSO RC=48	Messages MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKP002E MSG SC=48 RC=48	This command is only valid for TCA or UR Copy Groups	TCA または UR 以外のコピーグループに YKSTATS コマンドが実行されました。このコマンドは TCA または UR のコピーグループ以外には無効です。 コマンドを実行できるコピーグループかどうか確認して，再実行してください。
YKP003E MSG SC=48 RC=48	Some storage systems in this Copy Group do not support TCA statistics reports	YKSTATS コマンドを実行した TCA コピーグループは，サポートされていない IFType を含んでいます。 コマンドを実行できるコピーグループかどうか確認して，再実行してください。
YKP010E TSO RC=40	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。 リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn* REXX アクセス時のエラーコード
YKP065E MSG SC=36 RC=36	The storage system *SerialNum* pairs with more than 4 storage systems.	*SerialNum* で示されるストレージシステムは，C/T グループ内で 4 機を超えるストレージシステムとコピーペアを構成しています。 C/T グループ内のコピーペア構成を見直してください。 *SerialNum* ストレージシステムのシリアル番号（12 桁）
YKP099I TSO	YKSTATS command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	YKSTATS コマンドは，リターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。 このメッセージは，リターンコードと理由コードを示すために必ず表示されます。 *nnnn* コマンド実行時に返される Severity Code の中で最大のもの

表 2-17 YK から始まるメッセージ一覧（YKQ0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKQ000T TSO RC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。 詳細については，続いて出力される YKQ099I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。
YKQ001E TSO RC=48	No message MSG() supplied	MSG パラメタが指定されていません。
YKQ001E MSG SC=48 RC=48	No results STEM() supplied	STEM パラメタが指定されていません。
YKQ002E MSG SC=48 RC=48	Copy Group STEM(*stem*) does not include trailing "."	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKQ002E MSG SC=48	DEVN() value invalid	DEVN パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKQ002E TSO RC=48	Messages MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKQ003E MSG SC=48	Parameters combination is invalid	パラメタの組み合わせが正しくありません。
YKQ008E MSG SC=48	DEVN() not valid hex	DEVN パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKQ010E TSO RC=40	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。 リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn* REXX アクセス時のエラーコード
YKQ018E MSG SC=16 RC=16 (*pair-index*)	SI PAIR deficiency. DEVN *device#*(*SN*,*CU#*,*CCA#*)	SI グループで，処理しようとしたコピーペアの P-VOL が，すでにコピーグループ定義上の S-VOL 以外のセカンダリ装置三つとコピーペアが組まれています。 コピーグループ定義の該当するコピーペア定義を見直してください。 *device#* デバイス番号 装置を特定できない場合，****が表示されます。 *SN* ストレージシステムのシリアル番号 装置を特定できない場合，**********が表示されます。 *CU#* CU 番号 装置を特定できない場合，**が表示されます。 *CCA#* CCA 番号 装置を特定できない場合，**が表示されます。 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKQ019W MSG SC=12 RC=0 (*pair-index*)	Primary volume serial changed. DEVN *device#*(*SN*,*CU#*,*CCA#*)	P-VOL はオンラインになっていますが，現在のボリュームシリアル番号がコピーグループで定義されているものと一致しません。処理は続行します。 コピーグループが正しいボリュームを指しており，ほかの目的のために使用されていないことを確認してください。 *device#* デバイス番号 装置を特定できない場合，****が表示されます。 *SN* ストレージシステムのシリアル番号 装置を特定できない場合，**********が表示されます。 *CU#* CU 番号 装置を特定できない場合，**が表示されます。 *CCA#* CCA 番号 装置を特定できない場合，**が表示されます。 *pair-index*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKQ021E MSG SC=12 RC=20 (*pair-index*)	TCA or SI Primary is simplex, secondary not. DEVN *device#*(*SN*,*CU#*,*CCA#*)	S-VOL の状態が非結合状態かどうか，確認してください。 *device#* デバイス番号 装置を特定できない場合，****が表示されます。 *SN* ストレージシステムのシリアル番号 装置を特定できない場合，**********が表示されます。 *CU#* CU 番号 装置を特定できない場合，**が表示されます。 *CCA#* CCA 番号 装置を特定できない場合，**が表示されます。 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKQ026W MSG SC=8 RC=8 (*pair-index*)	Primary volume is offline. DEVN *device#*(*SN*,*CU#*,*CCA#*)	P-VOL はオフラインになっているので, P-VOL のボリュームシリアル番号を取得できません。 コピーグループが正しいボリュームを指しており，現在ほかの目的に使用されていないことを確認して，P-VOL をオンラインにしたあと，YKQUERY コマンドを再実行してください。 *device#* デバイス番号 装置を特定できない場合，****が表示されます。 *SN* ストレージシステムのシリアル番号 装置を特定できない場合，**********が表示されます。 *CU#* CU 番号 装置を特定できない場合，**が表示されます。 *CCA#* CCA 番号 装置を特定できない場合，**が表示されます。 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKQ099I TSO	YKQUERY command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	YKQUERY コマンドは，リターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。 このメッセージは，リターンコードと理由コードを示すために必ず表示されます。 *nnnn* コマンド実行時に返される Severity Code の中で最大のもの

表 2-18 YK から始まるメッセージ一覧（YKR0x - YKR10x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKR000T TSO RC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。 詳細については，続いて出力される YKR099I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKR001E TSO RC=48	No message MSG() supplied	MSG パラメタが指定されていません。
YKR001E MSG SC=48 RC=48	No results STEM() supplied	STEM パラメタが指定されていません。
YKR002E MSG SC=48 RC=48	Copy Group STEM(*stem*) does not include trailing "."	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名
YKR002E MSG SC=48 RC=48	ORDER(*stem*) does not include trailing "."	ORDER パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* ORDER パラメタに指定された stem 名
YKR002E MSG SC=48 RC=48	ORDER() value invalid	ORDER パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKR002E MSG SC=48	DEVN() value invalid	DEVN パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKR002E TSO RC=48	Messages MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKR008E MSG SC=48	DEVN() not valid hex	DEVN パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKR010E TSO RC=40	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。 リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn* REXX アクセス時のエラーコード
YKR050E MSG SC=36 RC=48 (*attribute-value*)	Invalid Copy Group attribute *name*	指定されたコピーグループ属性の値はこのコマンドには無効です。 値を訂正してからコマンドを再実行してください。 *name* REXX 変数名 *attribute-value* REXX 変数の値
YKR058E MSG SC=36 RC=48	Some pairs in this group do not support TCA services.	このストレージシステムにあるデバイスは，TCA のコピーグループをサポートしていません。 コマンドを実行できるコピーグループかどうか確認してから再実行してください。
YKR099I TSO	YKRESYNC command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	YKRESYNC コマンドは，リターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。 このメッセージは，リターンコードと理由コードを示すために必ず表示されます。 *nnnn* コマンド実行時に返される Severity Code の中で最大のもの
YKR103E MSG SC=48	Parameters combination is invalid	パラメタの組み合わせが正しくありません。

表 2-19 YK から始まるメッセージ一覧（YKS0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKS001E TSO RC=48	Unable to execute without valid MSG() parameter.	有効な MSG パラメタを指定してください。
YKS002E TSO RC=48	MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		MSG パラメタに指定された stem 名
YKS003E TSO RC=52	Invoke YKSTORE REXX Script via YKSTORE Assembler subroutine	YKSTORE REXX プログラムは YKSTORE アセンブラ言語 REXX サブルーチン経由でしか起動できません。このメッセージは，前の YKS003E メッセージで示されているエラーの原因として最も考えられる理由を示しています。
YKS003E TSO RC=52	Unable to update MSG(*stem*) in Caller's environment. YKVSET result = *result*	コマンドリターン構成構造体の変数値を設定しようとしましたが，*result* で示される結果値で失敗しました。これは，YKSTORE REXX サブルーチンが適切に起動されなかったか，BC Manager が適切にインストールされていないことを示しています。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKS004E MSG SC=48 RC=48	Unable to execute without valid STEM() parameter.	有効な STEM パラメタを指定してください。
YKS005E MSG SC=48 RC=48	STEM(*stem*) does not include trailing "." character.	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名
YKS006E MSG SC=48 RC=48	Unable to execute without valid PREFIX parameter.	有効な PREFIX パラメタを指定してください。
YKS079E MSG SC=44 RC=44 (*result*)	YKVSET program failure for: *variable* =*value*.	変数 *variable* を値 *value* で設定しようとしましたが，*result* に示された結果値を伴って失敗しました。このエラーの発生原因として，YKSTORE REXX サブルーチンのコンパイル済み REXX モジュールを直接実行したことが考えられます。 コンパイル済み REXX モジュールを直接実行するのではなく，YKSTORE REXX サブルーチンを使用してください。
YKS085E MSG SC=44 RC=44	Error reported during file output. EXECIO RC =*n*	EXECIO TSO/E REXX コマンドでの失敗（リターンコード=*n*）によって，Configuration ファイル作成または更新のために YKSTORE コマンドを使用できませんでした。詳細は，IBM マニュアル「*TSO/E REXX 解説書*」を参照してください。
YKS086E MSG SC=44 RC=44 (*file*)	File status is:*dsstate*	*file* に示された入力 Configuration ファイルは利用できない状態です。 *dsstate* 入力 Configuration ファイルの状態 入力 Configuration ファイルの属性が異常な場合，次のメッセージが出力されます。 • DSORG = *XX*. DSORG must be *YY* DSORG 属性値が異常のため利用できません。現在の Configuration ファイルを削除して，正しいファイル属性値で Configuration ファイルを再作成してください。 • RECFM = *XX*. RECFM must be *YY* RECFM 属性値が異常のため利用できません。現在の Configuration ファイルを削除して，正しいファイル属性値で Configuration ファイルを再作成してください。 • LRECL = *XX*. LRECL must be *YY* LRECL 属性値が異常のため利用できません。現在の Configuration ファイルを削除して，正しいファイル属性値で Configuration ファイルを再作成してください。 • BLKSIZE = *XX*. BLKSIZE must be *YY* BLKSIZE 属性値が異常のため利用できません。現在の Configuration ファイルを削除して，正しいファイル属性値で Configuration ファイルを再作成してください。 • ALLOCATION FAILED

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		Configuration ファイルの作成に失敗しました。原因および対処方法の詳細については，同時に出力されるメッセージ，およびマニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager ユーザーズガイド*」を参照してください。 Configuration ファイルのディスク所要量については，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」を参照してください。 ・ UNAVAILABLE DATASET Configuration ファイルが使用されています。 Configuration ファイルの使用状況を確認してください。 *XX* にはエラーとなったファイル属性値，*YY* には正しいファイル属性値が表示されます。 *file* エラーが発生した Configuration ファイルの名称
YKS087E TSO SC=44	Start of TSO/E command error message	TSO/E コマンドのエラーメッセージの開始です。YKS088E メッセージが出力されるまで TSO/E コマンドのエラーメッセージが出力されます。
YKS088E TSO SC=44	End of TSO/E command error message	TSO/E コマンドのエラーメッセージの終わりです。
YKS089E TSO SC=44	No TSO/E command error message was found.	TSO/E コマンドのエラーメッセージが見つかりません。
YKS098E MSG SC=36 RC=36	Specified STEM() is not CopyGroup object.	STEM パラメタに指定されている REXX 変数名のプレフィックスは，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」で説明されているコピーグループ構造体に従っていません。
YKS099I MSG TSO SC=*max-severity* RC=*max-value*	YKSTORE Processing Complete.	YKSTORE コマンドの処理が完了しました。 このメッセージは必ず表示されます。 *max-severity* 出力された SC の中での最大値 *max-value* 出力された RC の中での最大値

表 2-20 YK から始まるメッセージ一覧（YKS2x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKS203E TSO RC=52	Invoke YKSTORE REXX Script via YKSTORE Assembler subroutine	YKSTORE REXX プログラムは YKSTORE アセンブラ言語 REXX サブルーチン経由でしか起動できません。このメッセージは，前の YKS203E メッセージで示されているエラーの原因として最も考えられる理由を示しています。
YKS203E TSO RC=52	The MSG(*stem*) value cannot be acquired in the caller's environment. (YKVGET result = *result*)	コマンドリターン構成構造体の変数値を取得しようとしましたが，*result* で示される結果値で失敗しました。これは，YKSTORE REXX サブルーチンが適切に起動されなかったか，BC Manager が適切にインストールされていないことを示しています。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKS250E MSG SC=36 RC=36	The value *value* of the variable *name* is an invalid format.	*name* で示された変数の値 *value* が不正です。
YKS260E MSG SC=44 RC=44	Too long record:*record*.	*record* をデータセットに出力しようとしましたが，長過ぎて出力できません。 変数を見直して，*record* が 256 文字以下になるように調整してください。
YKS270E MSG SC=44 RC=44	Failed to *operation* configuration file. (name =*dataset-name*, *dsstate*)	Configuration ファイルの作成時にエラーが発生したため，Configuration ファイルの作成を中止します。メッセージに出

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		力された情報を参考に環境を見直したあとで，再度 Configuration ファイルを作成してください。対処方法の詳細については，同時に出力されるメッセージ，およびマニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager ユーザーズガイド*」を参照してください。 *operation* Configuration ファイルに対して行った操作 • CREATE Configuration ファイルを作成する際に，エラーが発生しました。 • UPDATE 既存の Configuration ファイルを更新する際に，エラーが発生しました。 • ALLOCATION Configuration ファイルの作成に失敗しました。原因および対処方法の詳細については，同時に出力されるメッセージ，およびマニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager ユーザーズガイド*」を参照してください。 Configuration ファイルのディスク所要量については，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」を参照してください。 • CHECK 既存の Configuration ファイルを確認する際に，エラーが発生しました。Configuration ファイルの状態を確認してください。エラーの原因として，Configuration ファイルが使用できない状態にあるか，データセット形式に誤りがあることが考えられます。データセット形式に誤りがある場合は，同時に出力されるメッセージを確認してください。 • EXECIO Configuration ファイルへの書き込みの際に，エラーが発生しました。原因については同時に出力されるメッセージを確認してください。 • RENAME Configuration ファイルの名称を *dataset-name* に変更する際に，エラーが発生しました。*dataset-name* に示されるデータセット名が存在していないか確認し，コマンドを再実行してください。 *dataset-name* には，テンポラリファイル名が表示される場合があります。 *dataset-name* 作成する Configuration ファイルの名称 *dsstate* Configuration ファイルの状態 *operation* に RENAME が表示された場合は，名称変更後の Configuration ファイルの状態が表示されます。 • EXTENT=*extent* 現在割り当てられているデータセットのエクステント数 *extent* は，*dataset-name* で示されるデータセットに割り当てられているエクステント数です。 • DSORG=VSAM データセット形式が VSAM です。VSAM 形式のデータセットは Configuration ファイルとして使用できません。Configuration ファイルのデータセット形式は PS にしてください。 • RECFM=*XX* データセットの RECFM の値 • LRECL=*XX*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		データセットの LRECL の値 ・ BLKSIZE=*XX* データセットの BLKSIZE の値 ・ CANNOT GET DSSTATE, reason code=*nnnn* データセット情報を取得できません。または，Configuration ファイルが割り当てられていません。 *nnnn*（10 進数）は，理由コード（保守情報）です。 *dataset-name* に NEW または OLD が含まれる場合，Configuration ファイル作成・更新時に使用するテンポラリファイルの処理でエラーが発生したことを示しています。
YKS285E MSG SC=48 RC=48	*filename* is too long for a filename.	*filename* で示されたファイル名は長過ぎます。ファイル名は 44 文字以内でなければなりません。
YKS290E MSG SC=44 RC=44 (*result*)	YKVGET program failure for:*vn*	変数 *vn* を取得しようとしましたが，*result* に示された結果値を伴って失敗しました。このエラーの発生原因として，YKSTORE REXX サブルーチンのコンパイル済み REXX モジュールを直接実行したことが考えられます。 コンパイル済み REXX モジュールを直接実行するのではなく，YKSTORE REXX サブルーチンを使用してください。
YKS298E MSG SC=44 RC=44 (*detailed-info*)	YKSTORE encountered an unexpected error.	予期しないエラーが発生しました。このエラーはほかのエラーに伴って発生したおそれがあります。 このエラーメッセージと同時にほかのエラーメッセージが出力されている場合は，ほかのエラーメッセージで示されている問題を先に解決してください。 ほかのエラーメッセージが出力されていない場合は，次の資料を採取した上で保守員に連絡してください。 ・ このコマンドを実行したスクリプト（ISPF 画面から実行した場合は不要） ・ ISPF ログ（スクリプトから実行した場合は不要） ・ スクリプトまたは ISPF 画面から操作した Configuration ファイル（コピーグループ定義ファイル，ディスク構成定義ファイル，コマンドデバイス定義ファイル，およびルートリスト定義ファイル） *detailed-info* エラー解析を助けるための詳細情報（保守員用）

表 2-21 YK から始まるメッセージ一覧（YKT0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKT001E CON	Can't find SVCTABLE	NUCLKUP マクロで"SVCTABLE"の検索に失敗しました。プログラムは，ユーザ完了コード 996 で異常終了します。 保守員に連絡してください。
YKT002E CON	Can't find IGCERROR	NUCLKUP マクロで"IGCERROR"の検索に失敗しました。プログラムは，ユーザ完了コード 996 で異常終了します。 保守員に連絡してください。
YKT003E CON	No SVC #'s available	使用できる SVC 番号がありません。プログラムは，ユーザ完了コード 996 で異常終了します。
YKT004E CON	Couldn't add SVC entry	SVCUPDTE マクロで SVC 番号の追加に失敗しました。プログラムは，ユーザ完了コード 996 で異常終了します。 保守員に連絡してください。
YKT005E CON	Couldn't create name/token	Name/Token の登録に失敗しました。プログラムは，ユーザ完了コード 996 で異常終了します。 保守員に連絡してください。
YKT006W CON RC=16	Couldn't delete name/token	Name/Token の削除に失敗しました。 保守員に連絡してください。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKT007W CON RC=16	Couldn't delete SVC entry	SVCUPDTE マクロで SVC 番号の削除に失敗しました。 保守員に連絡してください。
YKT008E CON RC=20	System task started from TSO.	ユーザ SVC 登録コマンドが TSO/E 環境から実行されました。 START コマンド，またはバッチジョブでユーザ SVC 登録コマンドを実行してください。 ユーザ SVC 登録コマンド：YKALCSVC
YKT009E CON	Couldn't delete name/token.	Name/Token の削除に失敗しました。プログラムは，ユーザ完了コード 996 で異常終了します。 保守員に連絡してください。
YKT012E CON RC=16	Name/token error	Name/Token サービスでエラーが発生しました。 保守員に連絡してください。
YKT021E CON RC=20	Invalid parameter	PARM パラメタに指定された値に誤りがあります。 PARM パラメタ指定値を見直してください。
YKT022E CON RC=4	An SVC routine is already installed with a different SVC #	ユーザ SVC はすでに異なる SVC 番号で登録されています。 ユーザ SVC 登録コマンドでユーザ SVC を削除してから再実行してください。同じ SVC 番号でユーザ SVC を更新する場合は，PARM パラメタを指定しないで再実行してください。 ユーザ SVC 登録コマンド：YKALCSVC
YKT023E CON RC=16	Couldn't delete SVC routine	ユーザ SVC の削除に失敗しました。 保守員に連絡してください。
YKT024E CON	Couldn't copy load module	ロードモジュールのコピーに失敗しました。プログラムは，ユーザ完了コード 996 で異常終了します。 保守員に連絡してください。
YKT025E CON RC=4	SVC routine is already deleted	ユーザ SVC が登録されていないか，またはすでに削除されています。
YKT026E CON	SVC # is already used	指定された SVC 番号はすでに使用されています。プログラムは，ユーザ完了コード 996 で異常終了します。 ユーザ SVC 登録コマンドの PARM パラメタに割り当てられていない SVC 番号を指定するか，PARM パラメタを指定しないで再実行してください。 ユーザ SVC 登録コマンド：YKALCSVC
YKT027I CON RC=0	An SVC routine of the same or a newer version is already installed	同じか，または新しいバージョンのユーザ SVC がすでに登録されています。
YKT032E CON RC=20	The task is not APF-authorized.	BC Manager のロードライブラリのデータセット名が SYS1.PARMLIB に登録されていません。または，ロードライブラリの DD 文を連結した際に認可／非認可のデータセットが混在していたことが原因で，非認可データセットとして扱われたため，コマンドを実行できません。
YKT097I CON RC=0	SVC routine is updated	ユーザ SVC の更新に成功しました。
YKT098I CON RC=0	SVC routine is deleted	ユーザ SVC の削除に成功しました。
YKT099I CON RC=0	SVC routine is inserted	ユーザ SVC の登録に成功しました。

表 2-22 YK から始まるメッセージ一覧（YKT2x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKT210E CON RC=8	System task started from TSO.	TSO/E 環境からコマンドが起動されました。プログラムは処理を中止します。 START コマンド，またはバッチジョブで起動してください。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKT211E CON RC=12	Failed to allocate space in CSA	CSA の GETMAIN エラーが発生しました。プログラムは処理を中止します。 保守員に連絡してください。
YKT212E CON RC=12	Couldn't register Name/Token	Name/Token の登録でエラーが発生しました。プログラムは処理を中止します。 保守員に連絡してください。
YKT213E CON RC=4	Couldn't take Name/Token	Name/Token の取得でエラーが発生しました。プログラムは処理を中止します。 保守員に連絡してください。
YKT219E CON RC=16	Processing ended abnormally	処理の途中で異常終了しました。プログラムは処理を中止します。 保守員に連絡してください。
YKT220E CON RC=8	Unknown keyword is specified	不明なキーワードが指定されました。プログラムは処理を中止します。 正しいキーワードを指定してから再実行してください。
YKT221E CON RC=4	Specified HOST ID is invalid	YKCMDIF パラメタの指定値に誤りがあります。プログラムは指定を無視して処理を続行します。 指定できる値（HOST ID）は，指定なし（削除），または 00 から 1F の範囲の 16 進数（2 桁）です。正しい値を指定してから再実行してください。
YKT222E CON RC=4	Specified YKLCNSE is invalid	YKLCNSE パラメタの指定値に誤りがあります。プログラムは指定を無視して処理を続行します。 指定できる値は 8 文字までの文字列です。正しい値を指定してから再実行してください。
YKT223E CON RC=4	Specified LOGPUT is invalid	LOGPUT パラメタの指定値に誤りがあります。プログラムは指定を無視して処理を続行します。 指定できる値は，LOGR，または SAM です。正しい値を指定してから再実行してください。
YKT226E CON RC=4	The specified SYSLOG value is invalid.	SYSLOG パラメタの指定値に誤りがあります。プログラムは指定を無視して処理を続行します。 指定できる値は，YES，または NO です。正しい値を指定してから再実行してください。
YKT230E CON RC=4	The specified YKLCNS2 value is invalid.	YKLCNS2 パラメタの指定値に誤りがあります。プログラムは指定を無視して処理を続行します。 指定できる値は，8 文字以下の文字列です。正しい値を指定してから再実行してください。
YKT232E CON RC=12	The task is not APF-authorized.	Business Continuity Manager のロードライブラリのデータセット名が SYS1.PARMLIB に登録されていません。または，ロードライブラリの DD 文を連結した際に認可／非認可のデータセットが混在していたことが原因で，非認可データセットとして扱われたため，コマンドを実行できません。
YKT299I CON SC=0	*command* command return code=*nnnn*.	*command* で示されるコマンドは，リターンコード=*nnnn* で終了しました。

表 2-23 YK から始まるメッセージ一覧（YKT4x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKT400I CON	BC Manager environment variables (*version*)	BC Manager 環境変数を表示します。 *version* BC Manager のバージョン
YKT401I CON	*variable*：*value*	BC Manager 環境変数を表示します。 *variable* BC Manager 環境変数

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		• Host ID：ホスト ID • License info DSN prefix：ライセンス情報データセットのプレフィックス • BCM log output method：BCM ログの出力方法 • CLI log output settings：CLI コマンド実行ログの出力設定 *value* BC Manager 環境変数に設定されている値
YKT402I CON	*varname* = *value1* (*symbol* = *value2*)	BC Manager 環境変数の詳細を表示します。 *varname* YKSETENV コマンドで設定した BC Manager 環境変数名 *value1* YKSETENV コマンドで設定した BC Manager 環境変数の値 YKSETENV コマンドで BC Manager 環境変数を設定していない場合，N/A が表示されます。 *symbol* システム・シンボル名 *value2* *symbol* システム・シンボルに設定した値 システム・シンボルを設定していない場合，N/A が表示されます。
YKT403I CON	Hitachi Business Continuity Manager	プログラムプロダクト名称を表示します。

表 2-24 YK から始まるメッセージ一覧（YKU0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKU000T TSO RC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。 詳細については，続いて出力される YKU099I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。
YKU001E TSO RC=48	No message MSG() supplied	MSG パラメタが指定されていません。
YKU001E MSG SC=48 RC=48	No results STEM() supplied	STEM パラメタが指定されていません。
YKU002E MSG SC=48 RC=48	Copy Group STEM(*stem*) does not include trailing "."	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名
YKU002E MSG SC=48	DEVN() value invalid	DEVN パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKU002E MSG SC=48	GENID() value invalid	GENID パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKU002E TSO RC=48	Messages MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKU002E MSG SC=48	TIMEOUT() value invalid	TIMEOUT パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKU003E MSG SC=48 RC=48	ATTIME Specification *attime* is invalid.	ATTIME パラメタに指定されたタイム値に誤りがあります。 正しい形式については，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の YKSUSPND コマンドの説明を参照してください。 *attime*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		ATTIME パラメタで指定されたタイム値
YKU003E MSG SC=48 RC=48	SVOL(PROTECT|PERMIT) option required	SVOL パラメタには，PROTECT または PERMIT のどちらかのパラメタを指定してください。
YKU004E MSG SC=48 RC=48	ATTIME Specification is before current time.	ATTIME パラメタに指定された時刻が，現在時刻より前になっています。
YKU005E MSG SC=48 RC=48	ATTIME Specification is more than 45.5 days into the future.	ATTIME パラメタに指定された時刻が現在時刻から起算して 65,535 分（約 45.5 日）を超えています。
YKU008E MSG SC=48	DEVN() not valid hex	DEVN パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKU008E MSG SC=48	GENID() not valid hex	GENID パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKU009E MSG SC=48	Specify ATTIME() and DEVN() parm exclusively	ATTIME パラメタと DEVN パラメタは同時に指定できません。
YKU009E MSG SC=48	Specify ATTIME() and VOLUNIT parm exclusively	ATTIME パラメタと VOLUNIT パラメタは同時に指定できません。
YKU010E TSO RC=40	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。 リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn* REXX アクセス時のエラーコード
YKU050E MSG SC=36 RC=48 (*attribute-value*)	Invalid Copy Group attribute *name*	指定されたコピーグループ属性の値はこのコマンドには無効です。 値を訂正してからコマンドを再実行してください。 *name* REXX 変数名 *attribute-value* REXX 変数の値
YKU054E MSG SC=36 RC=48	ATTIME parameter invalid for TrueCopy Copy Group	ATTIME パラメタを指定して，TC のコピーグループに YKSUSPND コマンドが実行されました。このパラメタは TC のコピーグループには無効です。 ATTIME パラメタを指定しないで，YKSUSPND コマンドを再実行してください。
YKU055E MSG SC=48 RC=48	Specify PURGE and DEVN parameter exclusively for UR Copy Group	UR のコピーグループに対しては，PURGE パラメタと DEVN パラメタを同時に指定できません。
YKU055E MSG SC=48 RC=48	Specify PURGE and VOLUNIT parameter exclusively for UR Copy Group	UR のコピーグループに対しては，PURGE パラメタと VOLUNIT パラメタを同時に指定できません。
YKU056E MSG SC=48 RC=48	DRAIN parameter cannot be specified for UR Copy Group	UR のコピーグループに対して DRAIN パラメタは指定できません。
YKU057E MSG SC=36 RC=48	ATTIME and CANCEL parameters are invalid for UR Copy Group	ATTIME パラメタまたは CANCEL パラメタを指定して，UR のコピーグループに YKSUSPND コマンドが実行されました。このパラメタは UR のコピーグループには無効です。 ATTIME パラメタまたは CANCEL パラメタを指定しないで，YKSUSPND コマンドを再実行してください。
YKU058E MSG SC=36 RC=48	Some pairs in this group do not support TCA services.	このストレージシステムにあるデバイスは，TCA のコピーグループをサポートしていません。 コマンドを実行できるコピーグループかどうか確認して，再実行してください。
YKU099I TSO	YKSUSPND command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	YKSUSPND コマンドは，リターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。 このメッセージは，リターンコードと理由コードを示すために必ず表示されます。 *nnnn*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		コマンド実行時に返される Severity Code の中で最大のもの

表 2-25 YK から始まるメッセージ一覧（YKV0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKV000T TSO RC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。 詳細については，続いて出力される YKV099I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。
YKV001E TSO RC=48	No message MSG() supplied	MSG パラメタが指定されていません。
YKV001E MSG SC=48 RC=48	No results STEM() supplied	STEM パラメタが指定されていません。
YKV002E MSG SC=48 RC=48	Copy Group STEM(*stem*) does not include trailing "."	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名
YKV002E MSG SC=48	DEVN() value invalid	DEVN パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKV002E TSO RC=48	Messages MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKV008E MSG SC=48	DEVN() not valid hex	DEVN パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKV010E TSO RC=40	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。 リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn* REXX アクセス時のエラーコード
YKV050E MSG SC=36 RC=48 (*attribute-value*)	Invalid Copy Group attribute *name*	指定されたコピーグループ属性の値はこのコマンドには無効です。 値を訂正してからコマンドを再実行してください。 *name* REXX 変数名 *attribute-value* REXX 変数の値
YKV058E MSG SC=36 RC=48	Some pairs in this group do not support TCA services.	このストレージシステムにあるデバイスは，TCA のコピーグループをサポートしていません。 コマンドを実行できるコピーグループかどうか確認して，再実行してください。
YKV099I TSO	YKRECVER command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	YKRECVER コマンドは，リターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。 このメッセージは，リターンコードと理由コードを示すために必ず表示されます。 *nnnn* コマンド実行時に返される Severity Code の中で最大のもの

表 2-26 YK から始まるメッセージ一覧（YKW0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKW001W TSO	Timeout limit has expired without group *copy-group* reaching *state* state.	指定されたコピーグループ *copy-group* は，制限時間内に要求された状態 *state* に到達しません。
YKW002E TSO	Primary Device(s) OFFLINE. Unable to receive IEA494I messages.	指定されたコピーグループに，P-VOL がオフライン状態のコピーペアがあるため，IEA494I メッセージが発行されません。指定されたコピーグループ中のすべての P-VOL をオンラインにしてから再実行してください。
YKW003E TSO	Unexpected transition of group *copy-group* pair *index* device *xxxx* to state *state*.	指定されたコピーグループ *copy-group* 内の一つまたは複数のコピーペア *index* が，要求する GOTO 状態への遷移につながらない状態 *state* に遷移しました。手操作によってこの状態遷移が発生したことが考えられます。 ISPF パネルインタフェースのモニタ機能を使って調査してください。
YKW006E TSO	YKLOAD error return code = *nnnn*	YKWATCH コマンドは，YKLOAD コマンドを使ってコピーグループ構成を取得しますが，YKLOAD コマンド実行中にエラーが発生しました。 ISPF パネルインタフェースのロード機能を使って調査してください。 *nnnn* YKLOAD コマンドのリターンコード マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の YKLOAD コマンドの説明を参照してください。
YKW007E TSO	YKQUERY error return code = *nnnn*	YKWATCH コマンドは，YKQUERY コマンドを使ってコピーグループ状態の開始ベースラインを確立しますが，YKQUERY コマンド実行中にエラーが発生しました。 ISPF パネルインタフェースのロード機能を使って調査してください。 *nnnn* YKQUERY コマンドのリターンコード マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の YKQUERY コマンドの説明を参照してください。
YKW008E TSO	YKCONMSG error return code = *nnnn*	YKWATCH コマンドは，YKCONMSG コマンドを使って IEA494I コピー状態表示メッセージのコンソールメッセージトラフィックを監視しますが，YKCONMSG コマンド実行中にエラーが発生しました。 *nnnn* YKCONMSG コマンドのリターンコード マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の YKCONMSG コマンドの説明を参照してください。
YKW009W TSO	Terminated due to Operator attention.	YKWATCH コマンド実行中に割り込みが発生したため，YKWATCH コマンド内で発行している TSO/E コマンドが完了できません。再実行してください。
YKW010E TSO	Processing error encountered. Reason code = *rrrr*	YKWATCH コマンド実行中にエラーが発生しました。YKWATCH コマンド内で発行している YKCONMSG コマンドが正しく実行できません。 *rrrr* YKCONMSG コマンドのリターンコード マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の YKCONMSG コマンドの説明を参照してください。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKW098E TSO	Invalid parameter - *reason message*	YKWATCH コマンドは無効な起動パラメタを検出しました。
YKW099I TSO	Group *copy-group* has reached the desired *state* state.	コピーグループ *copy-group* が要求する状態 *state* に遷移したことを確認するためのメッセージです。

表 2-27 YK から始まるメッセージ一覧（YKX0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKX000T TSO RC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。 詳細については，続いて出力される YKX099I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。
YKX001E TSO RC=48	No message MSG() supplied	MSG パラメタが指定されていません。
YKX001E MSG SC=48 RC=48	No serial# SN() supplied	SN パラメタが指定されていません。
YKX002E TSO RC=48	Messages MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKX010E TSO RC=40	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。 リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn* REXX アクセス時のエラーコード
YKX065W MSG SC=4 RC=0	Storage system *SerialNum* Command Device Definition Failed. (APID=*apid*)	ストレージシステム *SerialNum* に対するコマンドデバイス定義に失敗しました。ストレージシステムに複数のコマンドデバイスが定義されている場合は処理を続行します。同時に出力される I/O エラーメッセージに従って処理します。 *SerialNum* 該当するストレージシステムのシリアル番号 *apid* 定義に失敗したコマンドデバイスの APID
YKX066E MSG SC=48 RC=48	Necessary Route List is not found.	処理の対象となるルートリストがありません。 YKLOAD コマンド実行時に指定した ROUTE パラメタ，DAD パラメタ，ルートリスト定義ファイル，およびコマンドデバイス定義ファイルを見直してください。YKBLDCMD コマンドで指定したストレージシステムのシリアル番号に関する情報が設定されているかどうかを見直してください。
YKX099I TSO	YKBLDCMD command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	YKBLDCMD コマンドは，リターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。 このメッセージは，リターンコードと理由コードを示すために必ず表示されます。 *nnnn* コマンド実行時に返される Severity Code の中で最大のもの

表 2-28 YK から始まるメッセージ一覧（YKX1x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKX100T TSO RC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。 詳細については，続いて出力される YKX199I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マ

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		ニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。
YKX101E MSG SC=48	No application id APID() supplied	APID パラメタが指定されていません。
YKX101E MSG SC=48	No command control address CCA() supplied	CCA パラメタが指定されていません。
YKX101E MSG SC=48	No control unit# CU() supplied	CU パラメタが指定されていません。
YKX101E MSG SC=48	No device# DEVN() supplied	DEVN パラメタが指定されていません。
YKX101E TSO RC=48	No message MSG() supplied	MSG パラメタが指定されていません。
YKX101E MSG SC=48	No serial# SN() supplied	SN パラメタが指定されていません。
YKX102E TSO RC=48	Messages MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKX103E MSG SC=48	Parameter combination is invalid	指定されたパラメタの組み合わせに誤りがあります。 パラメタの組み合わせについては，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の YKBLDCMD コマンド，または YKDELCMD コマンドの説明を参照してください。
YKX104E MSG SC=48	Device# DEVN(*devn*) is not found	DEVN パラメタに指定された装置がありません。または，DASD 以外の装置や PAV の ALIAS ボリュームが指定されました。 *devn* DEVN パラメタに指定されたデバイス番号
YKX105E MSG SC=48	Device# DEVN(*devn*) is not found	DEVN パラメタに指定された装置がありません。または，DASD 以外の装置や PAV の ALIAS ボリュームが指定されました。 *devn* DEVN パラメタに指定されたサブチャネルセット ID およびデバイス番号
YKX108E MSG SC=48	APID() not valid hex	APID パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKX108E MSG SC=48	CCA() not valid hex	CCA パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKX108E MSG SC=48	CU() not valid hex	CU パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKX108E MSG SC=48	DEVN() not valid hex	DEVN パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKX110E TSO RC=40	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。 リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn* REXX アクセス時のエラーコード
YKX166E MSG SC=48	Necessary Route List is not found.	処理の対象となるルートリストがありません。 YKLOAD コマンド実行時に指定した ROUTE パラメタと DAD パラメタ，ルートリスト定義ファイル，およびコマンドデバイス定義ファイルを見直してください。
YKX199I TSO	YKDELCMD command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	YKDELCMD コマンドはリターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。

表 2-29 YK から始まるメッセージ一覧（YKX2x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKX200T TSO RC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。 詳細については，続いて出力される YKX299I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。
YKX201E MSG SC=48	No command control address CCA() supplied	CCA パラメタが指定されていません。
YKX201E MSG SC=48	No control unit# CU() supplied	CU パラメタが指定されていません。
YKX201E MSG SC=48	No device# DEVN() supplied	DEVN パラメタが指定されていません。
YKX201E TSO RC=48	No message MSG() supplied	MSG パラメタが指定されていません。
YKX201E MSG SC=48	No model SMODEL() supplied	SMODEL パラメタが指定されていません。
YKX201E MSG SC=48	No results STEM() supplied	STEM パラメタが指定されていません。
YKX201E MSG SC=48	No serial# SN() supplied	SN パラメタが指定されていません。
YKX201E MSG SC=48	No serial# SSN() supplied	SSN パラメタが指定されていません。
YKX202E TSO RC=48	Messages MSG(*stem*) does not include trailing "."	MSG パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* MSG パラメタに指定された stem 名
YKX202E MSG SC=48	Results STEM(*stem*) does not include trailing "."	STEM パラメタの最後の文字がピリオドではありません。 *stem* STEM パラメタに指定された stem 名
YKX203E MSG SC=48	Parameter combination is invalid	指定されたパラメタの組み合わせに誤りがあります。 パラメタの組み合わせについては，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の YKQRYDEV コマンドの説明を参照してください。
YKX204E MSG SC=48	Device# DEVN(*devn*) is not found	DEVN パラメタに指定された装置がありません。または，DASD 以外の装置や PAV の ALIAS ボリュームが指定されました。 *devn* DEVN パラメタに指定されたデバイス番号
YKX205E MSG SC=48	Device# DEVN(*devn*) is not found	DEVN パラメタに指定された装置がありません。または，DASD 以外の装置や PAV の ALIAS ボリュームが指定されました。 *devn* DEVN パラメタに指定されたサブチャネルセット ID およびデバイス番号
YKX208E MSG SC=48	CCA() not valid hex	CCA パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKX208E MSG SC=48	CU() not valid hex	CU パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKX208E MSG SC=48	DEVN() not valid hex	DEVN パラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKX210E TSO RC=40	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。 リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		REXX アクセス時のエラーコード
YKX266E MSG SC=48	Necessary Route List is not found.	処理の対象となるルートリストがありません。 YKLOAD コマンド実行時に指定した ROUTE パラメタと DAD パラメタ，ルートリスト定義ファイル，およびコマンドデバイス定義ファイルを見直してください。
YKX299I TSO	YKQRYDEV command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	YKQRYDEV コマンドはリターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。

表 2-30 YK から始まるメッセージ一覧（YKY0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKY001I CON	AGENT STARTED (V*v r r*[-*zz*])	BC Manager エージェントが起動されました。 *v* バージョン番号 *r* リビジョン番号 *zz* 特例
YKY002I CON	INVALID INITIALIZATION PARAMETER: *parameter-name*	初期設定パラメタに定義されていないパラメタが指定されました。または，*parameter-name* で示される初期設定パラメタが不正です。BC Manager エージェントは終了します。 初期設定パラメタを訂正してから，BC Manager エージェントを再起動してください。
YKY003I CON	INVALID CONTINUATION LINE FOUND. PARAMETER SCAN TERMINATED	初期設定パラメタに継続行ありの指定がありますが，継続するパラメタの指定がありません。BC Manager エージェントは終了します。 初期設定パラメタを訂正してから，BC Manager エージェントを再起動してください。
YKY005I CON	AGENT INITIALIZATION FAILED P=*termination-code*	BC Manager エージェントは，このメッセージより前に出力されたメッセージに示された理由で起動できません。 センタ管理者に連絡してください。センタ管理者は，このメッセージよりも前に出力されているメッセージを処置してから，BC Manager エージェントを再起動してください。 *termination-code*（10 進数） ・ 04：IKJEFT01 を使用しないで起動しようとしました。 ・ 08：初期設定パラメタの解析処理に失敗しました。 ・ 48：処理モジュールのローディングでエラーが発生しました。 ・ 52：NAME/TOKEN の書き込みエラーが発生しました。 ・ 56：RACF の FACILITY クラスにプロファイルが定義されていません。 ・ 60：サブタスクの初期化処理に失敗しました。 ・ 68：PREFIX の排他処理でエラーが発生しました。
YKY008I CON	INSUFFICIENT SPACE AVAILABLE FOR INITIALIZATION	初期設定パラメタの解析処理中に作業領域が不足したため，初期設定パラメタの解析ができませんでした。BC Manager エージェントは終了します。 BC Manager エージェント起動用カタログドプロシジャのジョブステップのユーザリージョン指定を見直してから，正しいメモリ所要量に修正し BC Manager エージェントを再起動してください。
YKY016I CON	TASK(*task-ID*) ABENDED,CODE=*completion-code*	BC Manager エージェントの起動処理中に，タスクが異常終了しました。BC Manager エージェントは終了します。 *task-ID* タスクを識別する名称

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		completion-code システムの完了コード
YKY018I CON	MODULE(*load-module-name*) NOT FOUND	*load-module-name* で示されるロードモジュールが見つかりません。BC Manager エージェントは終了します。 ロードモジュールが正しくインストールされているか確認してください。
YKY019I CON	*dd-name* DD STATEMENT NOT FOUND	*dd-name* で示される DD 文が指定されていません。BC Manager エージェントは終了します。 BC Manager エージェント起動用カタログドプロシジャに DD 文を指定してから BC Manager エージェントを再起動してください。
YKY020I CON	THE PROFILE IS NOT DEFINED IN THE FACILITY CLASS OF RACF: *xxxxxxxx*	RACF の FACILITY クラスに STGADMIN.YKA.BCM.YKQUERY プロファイルまたは STGADMIN.YKA.BCM.COMMANDS プロファイルが定義されていません。 RACF の設定を見直してから BC Manager エージェントを再起動してください。 *xxxxxxxx* 保守情報
YKY021I CON	A NAME/TOKEN WRITE ERROR OCCURRED,RC=*return-code*,NAME=*name*	NAME/TOKEN の書き込みエラーが発生したため，実行できません。BC Manager エージェントは終了します。 *return-code* NAME/TOKEN 登録ルーチン（IEANTCR）が設定するリターンコード *name* NAME/TOKEN サービスに登録する名称
YKY022I CON	THE SPECIFIED PREFIX IS BEING USED BY ANOTHER PROGRAM	指定したプレフィックスはほかのプログラムで使用中です。 初期設定パラメタを見直してください。
YKY051I CON	AGENT ENDED	BC Manager エージェントが終了しました。
YKY052I CON	AGENT IN SCHEDULED SHUTDOWN	BC Manager エージェントの終了処理が開始されました。
YKY053I CON	AGENT ABENDED	BC Manager エージェントが異常終了しました。 原因が不明な場合は，SYSABEND ダンプ形式の ABEND ダンプを採取してから，顧客問い合わせ窓口に調査を依頼してください。

表 2-31 YK から始まるメッセージ一覧（YKY1x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKY100I CON	MODIFY COMMAND ACCEPTED	MODIFY コマンドが受け付けられました。
YKY101I CON	STOP COMMAND ACCEPTED	STOP コマンドが受け付けられました。
YKY102I CON	INVALID *error-type*：*text*	MODIFY コマンド入力後，*text* で示されるコマンドまたはオペランドに誤りがあります。 入力したコマンドを見直してください。 *error-type* ・ COMMAND：コマンドに誤りがあることを示します。 ・ OPERAND：オペランドに誤りがあることを示します。
YKY103I CON	COMMAND SYNTAX ERROR	入力されたコマンドの構文に誤りがあります。 入力したコマンドを見直してください。
YKY104I CON	OPERAND IS INCORRECT	オペランドの内容に誤りがあります。 誤りを訂正してから再度入力してください。
YKY111I CON	*parameter-name* WAS CHANGED	*parameter-name* で示される初期設定パラメタの値を変更しました。
YKY114I CON	*parameter-name*=*parameter-value*	初期設定パラメタの現在の値が表示されます。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		parameter-name 初期設定パラメタ名 *parameter-value* 初期設定パラメタ値
YKY130I CON	SESSION NO.=*session-number*	TCP/IP セションの番号が表示されます。このメッセージの次に，TCP/IP セション情報が表示されます。 *session-number* セションを区別するための番号
YKY131I CON	*host-type* PORT=*port-number* HOST=*IP-address*	自ホストまたは相手ホストのポート番号と IP アドレスが表示されます。このメッセージの次に，TCP/IP セション情報が表示されます。 *host-type* TCP/IP セション情報が表示されるホスト種別 ・ LOCAL：自ホスト ・ REMOTE：相手ホスト *port-number* ・ *host-type* に LOCAL が表示されている場合 自ホストのポート番号 ・ *host-type* に REMOTE が表示されている場合 相手ホストのポート番号 *IP-address* ・ *host-type* に LOCAL が表示されている場合 自ホストの IP アドレス ・ *host-type* に REMOTE が表示されている場合 相手ホストの IP アドレス
YKY132I CON	CONNECTING START TIME=*YYYY/MM/DD hh:mm:ss*	該当する TCP/IP セションが確立した時刻が表示されます。このメッセージの次に，TCP/IP セション情報が出力されます。 *YYYY/MM/DD hh:mm:ss* 時刻（ローカル時刻）
YKY133I CON	LAST *data-direction-type* TIME=*YYYY/MM/DD hh:mm:ss*	該当する TCP/IP セションで，最後に送信または受信した時刻が表示されます。 *data-direction-type* *YYYY*/*MM*/*DD hh*:*mm*:*ss* に出力されている時刻に送られたデータの方向 ・ SEND：送信 ・ RECV：受信 *YYYY/MM/DD hh:mm:ss* 時刻（ローカル時刻）

表 2-32 YK から始まるメッセージ一覧（YKY3x - YKY5x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKY300I SYS	*hh:mm:ss task-ID*,TCP CONNECTION ACCEPTED	TCP コネクションの確立要求が受け付けられました。リモートホストとの通信情報が YKY307I メッセージに出力されます。 *hh:mm:ss* メッセージの出力時刻（ローカル時刻） *task-ID* メッセージを出力した処理タスクを識別するための番号
YKY301I SYS	*hh:mm:ss task-ID*,TCP CONNECTION ENDED NORMALLY	TCP コネクションが正常に解放されました。 *hh:mm:ss* メッセージの出力時刻（ローカル時刻） *task-ID* メッセージを出力した処理タスクを識別するための番号
YKY304I SYS	*hh:mm:ss task-ID*,REQUEST DENIED,REASON=(*reason-for-denial*)	要求は受信されましたが，破棄されました。 *hh:mm:ss*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		メッセージの出力時刻（ローカル時刻） *task-ID* メッセージを出力した処理タスクを識別するための番号 *reason-for-denial* • INVALID FORMAT：形式が不正です。 • VERSION MISMATCH：バージョンが一致しません。
YKY305I CON	*task-ID*,TCP CONNECTION LOST DURING EVENT PROCESSING,TCP-STATUS=(*reason-for-disconnection*)	TCP/IP 処理中に，*reason-for-disconnection* に示される理由で TCP コネクションが不当に切断されました。 相手ホストからコネクションを切断された理由を調査してください。 *task-ID* メッセージを出力した処理タスクを識別するための番号 *reason-for-disconnection* • FIN ACCEPT：相手ホストから切断要求（TCP-FIN）を受け取りました。 • RST ACCEPT：相手ホストから切断要求（TCP-RST）を受け取りました。
YKY307I SYS	*hh:mm:ss task-ID*,TCP CONNECTION INFORMATION,REMOTE-HOST=*IP-address*,REMOTE-PORT=*remote-port-number*,LOCAL-PORT=*local-port-number*	TCP コネクションの確立要求が受け付けられました。 このメッセージより前に出力されているメッセージの対処方法に従ってください。 *hh:mm:ss* メッセージの出力時刻（ローカル時刻） *task-ID* メッセージを出力した処理タスクを識別するための番号 *IP-address* リモートホストの IP アドレス *remote-port-number* リモートホストのポート番号 *local-port-number* 自ホストのポート番号
YKY315I CON	*task-ID*,COMMUNICATION ERROR,@API[,*request-name*[,RC=*response-code*]][,EC=*event-code*][,SRC=*local-IP-address*:*local-port-number*][,DST=*connection-target-IP-address*:*connection-target-port-number*]	通信処理中にエラーが検出されました。要求名，自 IP アドレス:自ポート番号（10 進数），および接続先 IP アドレス:接続先ポート番号（10 進数）が表示されます。実行中の処理は中断されます。 必要があれば，このメッセージの直前に出力されている YKY330I メッセージを参照し，エラーの原因を調査してください。 *task-ID* メッセージを出力した処理タスクを識別するための番号 *request-name* • @OPNSAP：前処理 • @OPEN：コネクション確立処理 • @SEND：送信処理 • @RECV：受信処理 • @CLOSE：コネクション解放処理 • @QUERY：相手アドレス検索処理 • @ABORT：コネクション強制解放処理 • @QUIT：後処理 *response-code* *request-name* で示される要求を実行中に発生したコード *event-code* TCP/IP セション処理中に発生した事柄 *local-IP-address* 自ホストの IP アドレス *local-port-number* 自ホストのポート番号

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		connection-target-IP-address 相手ホストの IP アドレス *connection-target-port-number* 相手ホストのポート番号
YKY321I CON	*task-ID*,COMMUNICATION TIMED OUT	応答待ち時間を過ぎても応答がありません。コネクションは切断されます。 応答がない理由を調査してください。 *task-ID* メッセージを出力した処理タスクを識別するための番号
YKY330I CON	SOCKET API FAILURE (*maintenance-information*,*request-type*,*return-code*,*error-number*)	IBM TCP/IP for MVS のソケットインタフェースで，*request-type* で示される要求でエラーが発生しました。*return-code* および *error-number* は，そのときのエラー情報です。 エラーの原因を調査し対処してください。TCP/IP が障害で停止した場合，BC Manager エージェントも停止し障害回復後，TCP/IP プログラムを起動してから BC Manager エージェントを起動してください。 *maintenance-information* エラー解析を助けるための詳細情報 *request-type* 要求種別を示す次のうちのどれかが表示されます。 • "ACCEPT " • "BIND " • "CLOSE " • "INITAPI " • "IOCTL " • "LISTEN " • "RECV " • "SETSOCKOPT " • "SOCKET " 要求種別に対するリターンコード（RETCODE），およびエラー番号（ERRNO）については，IBM マニュアル「*Communications Server IP アプリケーション・プログラミング・インターフェース・ガイド*」を参照してください。
YKY362I CON	RECEIVED DATA SIZE INVALID,DST=*connection-target-IP-address*:*connection-target-port-number*	BC Manager エージェントが *connection-target-IP-address*:*connection-target-port-number* から受信したデータのサイズが不正です。該当する受信処理を中止します。 受信できるサイズは 4,096 バイトです。受信サイズを見直してから再実行してください。
YKY500I SYS	RESULT OF UPDATING THE CONFIGURATION FILE:*result*	Configuration ファイルの更新が成功または失敗しました。 失敗時はこのメッセージと合わせて出力されるほかのエラーメッセージを参照して対処してください。 *result* 結果情報 • SUCCESS：成功 • FAILURE：失敗
YKY501E XML	Disk configuration definition *error-type* error. *file*	ディスク構成定義ファイルにエラーが発生しました。*error-type* を参考にエラーを取り除いたあと，Replication Manager から再実行してください。 *error-type* • ALLOCATE：アロケートエラー *file* で示すファイルが存在するか確認してください。 • EXECIO：入力エラー *file* で示すファイルが破壊されていないか確認してください。 • format：XML 形式エラー

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		XML の記述に誤りがないか確認してください。 *file* エラーが発生したディスク構成定義ファイルの名称
YKY502E XML	Configuration file DELETE error. *file*	Configuration ファイルの更新処理で，更新前の Configuration ファイルの削除時にエラーが発生しました。原因を取り除いたあと，次の対処をしてください。 1. エラーの発生した Configuration ファイルが存在する場合は，削除します。 2. 一時ファイルの名称を *file* で示す名称に変更します。 一時ファイルの名称については，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager インストールガイド*」の Replication Manager との連携の章を参照してください。 3. BC Manager エージェントを再起動したあと，Replication Manager からリフレッシュを実施します。 *file* エラーが発生した Configuration ファイルの名称
YKY503E XML	Temporary file *error-type* error. *file*	一時ファイルにエラーが発生しました。*file* で示す一時ファイルの有無を確認してください。*error-type* に示すエラータイプが RENAME の場合で一時ファイルが存在するときは，一時ファイルの名称を更新対象の Configuration ファイルの名称に変更してください。その後，BC Manager エージェントを再起動して，Replication Manager からリフレッシュを実施してください。*error-type* に示すエラータイプが RENAME 以外の場合で一時ファイルが存在するときは，一時ファイルを削除してください。 *error-type* • ALLOCATE：アロケートエラー • READWRITE：入出力エラー • DELETE：削除エラー • RENAME：名前変更エラー *file* エラーが発生した一時ファイルの名称
YKY507E XML	Routelist configuration file error *error-type*. *file*	ルートリスト定義ファイルにエラーが発生しました。*error-type* を参考にエラーを取り除いたあと，Replication Manager から再実行してください。 *error-type* • ALLOCATE：アロケートエラー *file* で示すファイルが存在するか確認してください。 • EXECIO：入力エラー *file* で示すファイルが破壊されていないか確認してください。 • format：XML 形式エラー XML の記述に誤りがないか確認してください。 *file* エラーが発生したルートリスト定義ファイルの名称

表 2-33 YK から始まるメッセージ一覧（YKY6x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKY600I CON	INSUFFICIENT SPACE AVAILABLE. *maintenance-information*	BC Manager エージェントでの領域の確保に失敗しました。 BC Manager エージェントは終了します。 リージョンサイズを大きくしてから BC Manager エージェントを再起動してください。 *maintenance-information* エラー解析を助けるための詳細情報

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKY604I CON	IRXJCL MODULE ERROR,CODE=*return-code*	IRXJCL ルーチンが，*return-code* で示されるリターンコードでエラーリターンしました。BC Manager エージェントは処理を終了します。 リターンコードを調査してください。リターンコードが 20 の場合，BC Manager エージェント起動用カタログドプロシジャの SYSEXEC DD 文が誤っているおそれがあります。JCL を見直してから再実行してください。 *return-code* ・ 20：処理が失敗しました。EXEC 処理は処理されませんでした。 ・ 20021：IRXJCL に渡したパラメタリストが誤っていました。
YKY605I CON	IRXINIT MODULE ERROR,CODE=*return-code*,R0=*abnormal-termination-code-and-reason-code*,PARM7=*reason-code*	IRXINIT ルーチンが，*return-code* で示されるリターンコードでエラーリターンしました。BC Manager エージェントは処理を終了します。 リターンコードを調査してください。 *return-code* ・ 20:エラーが発生したため，処理が失敗しました。IRXINIT が PARM7 に返す理由コードを調査してください。 ・ 100：IRXINIT が環境の検出中にシステム異常終了が発生したため，処理が失敗しました。システムは，異常終了を記述するメッセージを複数出力することがあります。さらに，R0 は異常終了コードおよび異常終了理由コードを含みます。 *abnormal-termination-code-and-reason-code* IRXINIT は，異常終了コードを R0 の下位 2 バイトに入れて返します。IRXINIT は，異常終了理由コードを R0 の高位 2 バイトに入れて返します。異常終了理由コードが 2 バイトより大きい場合，IRXINIT は異常終了理由コードの下位 2 バイトだけを返します。異常終了コードと理由コードについては，IBM マニュアル「*MVS システム・コード*」を参照してください。 *reason-code* 理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E REXX 解説書*」を参照してください。
YKY606I CON	IRXTERM MODULE ERROR,CODE=*return-code*,R0=*abnormal-termination-code-and-reason-code*	IRXTERM ルーチンが *return-code* で示されるリターンコードでエラーリターンしました。BC Manager エージェントは処理を終了します。 リターンコードを調査してください。 *return-code* リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E REXX 解説書*」を参照してください。 *abnormal-termination-code-and-reason-code* R0 は異常終了コードおよび異常終了理由コードを含みます。IRXTERM は，異常終了コードを R0 の下位 2 バイトに入れて返します。IRXTERM は，異常終了理由コードを R0 の高位 2 バイトに入れて返します。異常終了理由コードが 2 バイトより大きい場合，IRXTERM は異常終了理由コードの下位 2 バイトだけを戻します。異常終了コードと理由コードについては，IBM マニュアル「*MVS システム・コード*」を参照してください。
YKY680I SYS	*hh:mm:ss task-ID*,*command*,RC=*return-code*[,*text*]	BC Manager エージェントが実行したコマンドは，*return-code* で終了しました。エラーが検出された場合，*text* にメッセージが出力されます。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		メッセージ長が 126 文字を超えた場合，複数行に出力されます。一つのコマンドで出力されるメッセージ行数の上限は 10 行です。 *hh:mm:ss* メッセージの出力時刻（ローカル時刻） *task-ID* メッセージを出力した処理タスクを識別するための番号 *command* BC Manager エージェントが実行したコマンド名 *return-code* BC Manager エージェントが実行したコマンドのリターンコード *text* BC Manager エージェントが実行したコマンドによって出力されたメッセージテキスト（保守情報）
YKY699I CON	AGENT FUNCTION ABEND CODE=*Sxxx Uxxxx* DATE=*yy-mm-dd* TIME=*hh:mm:nn* ABENDED-MODULE=*module-name* C-DATE=*module-creation-date* BASE=*bbbbbbbb* DISP=*dddd* [CALLING-MODULE=*module-name* C-DATE=*y'y'.m'm'.d'd'* BASE=*bbbbbbbb* DISP=*dddd*] PSW=*pppppppp pppppppp* ILC=*ll* INTC=*xx* REGISTERS AT TIME OF FAILURE GR 00-03 *contents-of-register-0 contents-of-register-1 contents-of-register-2 contents-of-register-3* GR 04-07 *contents-of-register-4 contents-of-register-5 contents-of-register-6 contents-of-register-7* GR 08-11 *contents-of-register-8 contents-of-register-9 contents-of-register-10 contents-of-register-11* GR 12-15 *contents-of-register-12 contents-of-register-13 contents-of-register-14 contents-of-register-15*	BC Manager エージェント処理中に，メインタスクまたはサブタスクが異常終了しました。回復できなかった場合，BC Manager エージェントは終了します。 センタ管理者に連絡してください。 *Sxxx*（16 進数） タスク異常終了時のシステム完了コード *Uxxxx*（10 進数） タスク異常終了時のユーザ完了コード *yy-mm-dd* タスク異常終了時の日付 *hh:mm:nn* タスク異常終了時の時刻 *module-name* BC Manager エージェントモジュールのセクション名またはロードモジュール名 モジュールを特定できない場合，UNKNOWN が表示されます。UNKNOWN が表示された場合，*y'y'.m'm'.d'd'*，*bbbbbbbb* の値は正しくありません。 *module-creation-date* 次のどちらかの形式で表示されます。 ・ *y'y'.m'm'.d'd'*：*module-name* で示されたモジュールの作成日付 ・ *y'y'/m'm'/d'd'*：*module-name* で示されたモジュールの作成日付 *bbbbbbbb* ベースレジスタの内容 *dddd* ・ ABENDED-MODULE の場合：ABENDED-MODULE を呼び出した場所のモジュールの先頭からの相対位置 ・ CALLING-MODULE の場合：CALLING-MODULE を呼び出した場所のモジュールの先頭からの相対位置 *pppppppp pppppppp* 異常終了したときの PSW *ll* 異常終了したときの命令の長さ *xx* 異常終了時の割り込みコード

表 2-34 YK から始まるメッセージ一覧（YKY7x - YKY9x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKY703E XML	XML translation error: The sent entity is not XML.	送信されたエンティティは XML ではありません。 リクエスト記述を見直してください。
YKY704E XML	End of request was detected in the comment.	コメントの途中で，XML リクエストの終わりを検出しました。 コメントの記述を見直してください。
YKY705E XML	End of request was detected in an element.	要素の途中で，XML リクエストの終わりを検出しました。 XML リクエストの最後の要素の記述を見直してください。
YKY706E XML	The number of elements exceeded the allowed limit.	要素の階層が指定できる範囲（最大 16）を超えました。 リクエスト記述を見直してください。
YKY707E XML	The request version is mismatch.	XML リクエストの API バージョンが，対応できるバージョンではありません。 BC Manager エージェントがサポートしているバージョンかどうか確認してください。
YKY713E XML	An invalid element '*element-name*' was specified in the XML request.	XML リクエスト中に，不正な要素（*element-name*）が指定されています。 リクエスト記述を見直してください。
YKY714E XML	An invalid parameter '*parameter-name*' was specified in the XML request element '*element-name*'.	XML リクエスト中の要素（*element-name* に，不正な属性（*parameter-name*）が指定されています。 リクエスト記述を見直してください。
YKY715E XML	An invalid value was specified for the parameter '*parameter-name*' in the XML request element '*element-name*'.	XML リクエスト中の要素（*element-name*）の属性（*parameter-name*）に，不正な値が指定されています。 リクエスト記述を見直してください。
YKY716E XML	An invalid child element '*child-element-name*' was specified in the XML request element '*parent-element-name*'.	XML リクエスト中の親要素（*parent-element-name*）に，不正な子要素（*child-element-name*）が指定されています。親要素名が取得できなかった場合，親要素名は NULL になります。 リクエスト記述を見直してください。
YKY717E XML	A required element is missing from the request. '*element*'	リクエスト中の要素（*element*）が不足しています。 リクエスト中の要素の指定を見直してください。
YKY718E XML	A required parameter is missing from the element '*element-name*' of the request. '*parameter-name*'	必須パラメタ（*parameter-name*）が，要素（*element-name*）中にありません。 リクエストの該当要素の記述を見直してください。
YKY719E XML	There is a conflict with element '*element-name*'.	要素（*element-name*）の終了タグに対応する開始タグが指定されていないか，終了タグと開始タグの対応関係が正しくありません。 リクエストの該当要素の記述を見直してください。
YKY720E XML	The request failed because the prefix '*prefix*' was not found in the Mainframe Agent initialization parameter.	要求されたプレフィックス（*prefix*）が，BC Manager エージェントの初期設定パラメタにありません。 リクエスト記述を見直してください。
YKY726E XML	Configuration file error CGname '*cgname*' *error-type*.	Configuration ファイルで *error-type* に示すエラーが発生したため，コピーグループ定義情報を取得できませんでした。 *cgname* コピーグループ名 *error-type* ・ ALLOCATE：アロケートエラー *cgname* で示すコピーグループの Configuration ファイルが存在するか確認してください。 ・ EXECIO：入力エラー *cgname* で示すコピーグループの Configuration ファイルが破壊されていないか確認してください。 ・ format：XML 形式エラー XML の記述に誤りがないか確認してください。 ・ version：バージョンエラー

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		定義情報のバージョンに誤りがないか確認してください。 • YKP2A：定義作成プログラムエラー *cgname* で示すコピーグループの Configuration ファイルは Mainframe Agent の YKP2A コマンドで生成されたため，要求された操作は実行できません。
YKY727E XML	This request cannot be executed without valid authorization.	要求された操作は権限がないため実行できません。 初期設定パラメタの MODE パラメタを EDIT に変更して再実行してください。
YKY728E XML	The information in configuration file was updated after you obtained it.	Configuration ファイルの情報を取得したあとに，Configuration ファイルの情報が更新されました。 Replication Manager からリフレッシュを実施したあとに，再実行してください。
YKY729E XML	Configuration file is invalid. *file*	Configuration ファイル（*file*）の内容が不正です。 このメッセージと合わせて出力されるほかのエラーメッセージを参照して Replication Manager で該当の個所を修正したあと，Configuration ファイルの更新処理を再実行してください。
YKY730E XML	INVALID CT Group is specified.	C/T グループの指定が不正です。 指定した C/T グループがコピーグループ定義ファイル中に存在するか確認してください。
YKY731E XML	A duplicate serial number exists. (SN=*SN*, model=*model1*, other model=*model2*, pos=*pos*)	ストレージシステムのシリアル番号が重複しているため，処理を中断します。三つ以上のストレージシステムのシリアル番号が重複している場合でも，モデル名は二つしか表示されません。 *SN* 重複しているシリアル番号 *model1* シリアル番号が重複しているストレージシステムのモデル *model2* シリアル番号が重複している別のストレージシステムのモデル *pos* 保守情報
YKY999E TSO CON	MFAgent cannot use this REXX exec library.	Mainframe Agent では使用できない REXX スクリプトが実行されました。 DD 名 SYSEXEC で連結している REXX Exec ライブラリを確認してください。

表 2-35 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ0x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ000T TSO SC=48	Supplied parameters invalid	無効なパラメタが指定されました。 詳細については，続いて出力される YKZ099I メッセージ中の理由コードを参照してください。理由コードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJPARS を参照してください。
YKZ001E TSO MSG SC=48	No *parameter-name*() supplied	*parameter-name* で示されるパラメタが指定されていません。
YKZ002E MSG SC=48	*parameter-name*() does not include trailing "."	*parameter-name* で示されるパラメタに指定された文字列の最後の文字がピリオドではありません。
YKZ003E MSG SC=48	*parameter-name*() value invalid	*parameter-name* で示されるパラメタに指定された値に誤りがあります。
YKZ004E MSG SC=48	Device# DEVN(*devn*) is not found.	DEVN パラメタに指定された装置がありません。または，DASD 以外の装置や PAV の ALIAS ボリュームが指定されました。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		devn DEVN パラメタに指定されたデバイス番号
YKZ006E MSG SC=48	Device# DEVN(*devn*) is not found.	DEVN パラメタに指定された装置がありません。または，DASD 以外の装置や PAV の ALIAS ボリュームが指定されました。 *devn* DEVN パラメタに指定されたサブチャネルセット ID およびデバイス番号
YKZ008E MSG SC=48	*parameter-name*() not valid hex	*parameter-name* で示されるパラメタに指定された値が 16 進数形式ではありません。
YKZ010E TSO SC=48	REXX failure return code=*nnnn* starting with variable *name*	*name* で示される REXX 変数へのアクセスに失敗しました。リターンコードについては，IBM マニュアル「*TSO/E Programming Services*」の IKJCT441 を参照してください。 *nnnn* REXX アクセス時のエラーコード
YKZ021E TSO SC=48 RC=48	No *parameter-name*() is supplied.	*parameter-name* で示されるパラメタが指定されていません。
YKZ023E TSO SC=48 RC=48	The *parameter-name*() value is invalid.	*parameter-name* で示されるパラメタに指定された値に誤りがあります。
YKZ050E MSG SC=36 RC=36※ (*attribute-value*)	Invalid attribute *name*	*name* で示される名称の REXX 変数の値に誤りがあります。値を訂正してからコマンドを再実行してください。 *name* REXX 変数名 *attribute-value* REXX 変数の値 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ066E MSG SC=48 RC=48	Necessary Route List is not found.	処理の対象となるルートリストがありません。 YKLOAD コマンド実行時に指定した ROUTE パラメタと DAD パラメタ，ルートリスト定義ファイル，およびコマンドデバイス定義ファイルを見直してください。
YKZ099I TSO SC=0	*command-name* command return code=*nnnn*, reason code=*rrrr*	*command-name* で示されるコマンドは，リターンコード=*nnnn*，理由コード=*rrrr* で終了しました。このメッセージは，リターンコードと理由コードを示すために必ず表示されます。 *nnnn* コマンド実行時に返される Severity Code の中で最大のもの

表 2-36 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ10x - YKZ20x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ103E MSG SC=48	Parameters combination is invalid	パラメタの組み合わせが正しくありません。
YKZ201E MSG CON PRT SC=44 RC=44※	A GETMAIN error occurred. (return code=*nnn*, size=*mmm*, area=*area*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	GETMAIN エラーが発生したため，実行できません。 ジョブ実行領域を拡張してから再実行してください。 *nnn*（10 進数） GETMAIN マクロのリターンコード *mmm*（10 進数） 領域のサイズ *area* HIGH は 16MB 以上，LOW は 16MB 未満 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		0：YKLOAD，ツール，または任意のコマンド 1：YKMAKE 2：YKSCAN 3：YKQUERY 4：YKRESYNC 5：YKSUSPND 6：YKDELETE 7：YKEWAIT 8：YKRECVER 9：YKSTATS 10：リモートスキャン機能，NG スキャン機能 11：YKBLDPTH 12：YKDELPTH 13：YKQRYPTH 14：YKFCSTAT 15：YKQEXCTG 16：YKFREEZE 17：YKRUN 18：YKBLDCMD 19：YKQRYDEV 20：YKDELCMD 21：YKDEXCTG 22：YKFENCE 175：YKBTSCAN，または BCM Monitor *yyy* 保守情報 注※ ログ，トレース取得時にこのメッセージが出力された場合は RC=0 になります。
YKZ202E MSG TSO CON SC=52 RC=0	A Logical error occurred. (reason code=*nnn*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	論理矛盾が発生しました。 *nnn*（10 進数） 理由コード（保守情報） *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ203E TSO RC=40※	A REXX read error occurred. (return code=*nnn*, name= *name*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	REXX の読み込みエラーが発生したため，実行できません。 *nnn* の値が 40 の場合 REXX プログラムが TSO/E 環境で稼働していることを確認してから再実行してください。 *nnn* の値が 40 以外の場合 Configuration ファイルやパラメタに指定した値を見直してください。なお，*nnn* の値が 52 の場合は編集途中の Configuration ファイル（XML）を指定していることが考えられます。 *nnn*（10 進数） OS の REXX 変数アクセスルーチンのリターンコード *name* REXX 変数名 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 注※ 読み込もうとした REXX 変数がない場合は 36 になります。また，YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ204E TSO RC=40※	A REXX write error occurred. (return code=*nnn*, name=*name*, value=*value*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	REXX の書き込みエラーが発生したため，実行できません。 *nnn* の値が 32 の場合 ジョブ実行領域を拡張して再実行してください。 *nnn* の値が 40 の場合 REXX プログラムが TSO/E 環境で稼働していることを確認し，再実行してください。 *nnn* の値が 32, 40 以外の場合 Configuration ファイルやパラメタに指定した値を見直してください。 上記の対応をしてもエラーが持続する場合は，保守員に連絡してください。 *nnn*（10 進数） OS の REXX 変数アクセスルーチンのリターンコード *name* REXX 変数名 *value* REXX 変数の値 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ205E TSO RC=0	A Parameter error occurred. (detail=*message-text*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	パラメタエラーが発生したため，実行できません。 *message-text* メッセージテキスト *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ206E TSO RC=0	An I/O error occurred. (detail=*message-text*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	I/O エラーが発生したため，実行できません。 *message-text* メッセージテキスト *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ207E MSG TSO CON SC=52 RC=44※	A Core process error occurred. (detail=*message-text*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	Core の処理エラーが発生したため，実行できません。 *message-text* メッセージテキストには，次の内容が出力されます。 ・ OS マクロエラーが発生したとき *xxxxxxxx* macro error, return code = *rr*,devn = *dddd* *xxxxxxxx*：OS のマクロ名 *rr*：マクロのリターンコード *dddd*：デバイス番号 *xxxxxxxx* に UCBLOOK が表示された場合，デバイス番号が *dddd* のボリュームが，ホストの I/O 構成定義に含まれていないおそれがあります。I/O 構成定義を確認し，必要に応じてディスク構成定義ファイルを再作成してください。 ・ システム名が取得できなかったとき ASASYMBM macro error, rc = *rr* *rr*：ASASYMBM マクロのリターンコード ・ ログストリームの定義が DASD 専用でないとき Not DASD-only Logger definition ・ ログストリームの定義の MAXBUFSIZE が 64000 でないとき MAXBUFSIZE of Logger definition invalid ・ 保守情報のとき（1） ENTRYID(*eeeee*) for MSGID(*nnn*) is invalid *eeeee*, *nnn*：保守情報 ・ 保守情報のとき（2） ENTRYID(*eeeee*) for TYPE(*ttt*), LEVEL(*lll*) is invalid *eeeee*, *ttt*, *lll*：保守情報 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 注※ ログ，トレース取得時にこのメッセージが出力された場合は RC=0 になります。
YKZ208I TSO CON PRT RC=0	The Core processing(*process*) started. (DATE=*yyyy/mm/dd*, TIME=*hh:mm:ss.th*, TOD=*ttt*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	Core の処理を開始します。 *process* 処理名 *yyyy/mm/dd* GMT の日付 *hh:mm:ss.th* GMT の時刻 *ttt* GMT の時刻形式 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ209I TSO CON PRT RC=0	The Core processing(*process*) ended. (DATE=*yyyy/mm/dd*, TIME=*hh:mm:ss.th*, TOD=*ttt*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	Core の処理を終了します。 *process* 処理名 *yyyy/mm/dd* GMT の日付 *hh:mm:ss.th* GMT の時刻 *ttt* GMT の時刻形式 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報

表 2-37 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ21x - YKZ24x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ210E MSG TSO CON SC=40 RC=44※	A NAME/TOKEN read error occurred. (return code=*nnn*, name=*name*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	NAME/TOKEN の読み込みエラーが発生したため，実行できません。 YKLOAD コマンドが正常に終了しているか確認してください。 *nnn*（10 進数） NAME/TOKEN 読み込みルーチン（IEANTRT）が設定するリターンコード *name* NAME/TOKEN サービスに登録する名称 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 注※ ログ，トレース取得時にこのメッセージが出力された場合は RC=0 になります。
YKZ211E MSG CON SC=40 RC=44※	A NAME/TOKEN write error occurred. (return code=*nnn*, name=*name*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	NAME/TOKEN の書き込みエラーが発生したため，実行できません。 *nnn*（10 進数） NAME/TOKEN 登録ルーチン（IEANTCR）が設定するリターンコード *name* NAME/TOKEN サービスに登録する名称 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 注※ ログ，トレース取得時にこのメッセージが出力された場合は RC=0 になります。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ212W CON ※ RC=0	A FREEMAIN error occurred. (return code=*nnn*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	FREEMAIN エラーが発生しました。 *nnn*（10 進数） FREEMAIN マクロのリターンコード *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 注※ ログ，トレース取得時以外にこのメッセージが出力された場合は，YKZ212W メッセージはコンソールに出力されません。LOG，TRACE に記録して処理を続行します。
YKZ215W MSG CON SC=0 RC=0	A GTRACE error occurred. (return code=*nnn*, id=*mmm*, length=*lll*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	GTRACE マクロのエラーが発生しました。 このメッセージが頻繁に出力される場合は，USR トレース（TRACE=USR）の GTF トレース取得を中止してください。なお，エラー要因がトレースバッファやトレースデータセットの容量不足のときは，容量を拡張したあとに GTF を再起動してください。 *nnn*（10 進数） GTRACE マクロのリターンコード *mmm*（10 進数） イベント ID *lll*（10 進数） トレースデータ長 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ216E TSO RC=0	The Trace table is not initialized. (cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	トレーステーブルが初期化されていません。 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ217E MSG CON PRT SC=0 RC=0	A Logger error occurred. (return code=*nnn*, reason code=*mmm*, name=*name*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	システム・ロガー・サービスのエラーが発生しました。システム・ロガー・サービスへのログを出力しないで CLI コマンドの処理を続行します。 *nnn*（10 進数） システム・ロガー・サービスのマクロのリターンコード *mmm*（10 進数） システム・ロガー・サービスのマクロの理由コード（保守情報） *name* システム・ロガー・サービスのマクロ名 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		yyy 保守情報
YKZ218I CON PRT RC=0	Output log count=*nnn*.	出力したログデータ数は*nnn* 件です。 *nnn*（10 進数） ログデータ件数
YKZ219W CON RC=0	A LOAD error occurred. (return code=*nnn*, reason code=*mmm*, name=*name*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	LOAD マクロのエラーが発生しました。 *nnn*（10 進数） LOAD マクロのリターンコード *mmm*（10 進数） LOAD マクロの理由コード（保守情報） *name* ロードモジュール名 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ220T MSG SC=36 RC=36※	Copy type *value* null or invalid.	コピー種別が NULL または不正です。 Configuration ファイルを修正してから YKLOAD コマンドを再実行してください。 *value* REXX 変数の値 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ220T MSG SC=36 RC=36※	Group ID *value* null or invalid.	コピーグループ構造体の C/T グループ ID が NULL または不正です。 Configuration ファイルを修正し，YKLOAD コマンドを再実行してください。 *value* REXX 変数の値 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ220T MSG SC=36 RC=36※	Minimum interface level *value* null or invalid.	IFType が NULL または不正です。 Configuration ファイルの内容を見直してください。 *value* IFType 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ220T MSG SC=36 RC=36※	Number of pair-groups *value* null or invalid.	コピーグループ構造体に含まれるコピーペアの数が NULL または不正です。Configuration ファイルを修正し，YKLOAD コマンドを再実行してください。 *value* REXX 変数の値 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ220T MSG SC=36 RC=44	Number of Route *dadid* is invalid.	DADID（*dadid*）に関連するルートの数が不正です。 YKLOAD コマンドの DADID の指定が誤っていないか，または Configuration ファイルを修正し，YKLOAD コマンドを再実行してください。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ222E MSG SC=36 RC=36※ (*pair-index*)	*volume* DEVN *device-number* invalid	ボリュームのデバイス番号が不正です。 該当するボリュームが使用ホストに接続されていない場合は，YKLOAD コマンドに指定した DAD パラメタと ROUTE パラメタの内容，およびルートリスト定義ファイルの内容を確認してください。 *volume* が Primary の場合 P-VOL *volume* が Secondary の場合 S-VOL *device-number* デバイス番号 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ224E MSG SC=8 RC=36※ (*pair-index*)	Primary device does not support TCA	P-VOL があるストレージシステムで，TCA は使用できません。TCA がサポートされたデバイスを使用してください。 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ224E MSG SC=12 RC=36※ (*pair-index*)	Secondary device does not support TCA	S-VOL があるストレージシステムで，TCA は使用できません。TCA がサポートされたデバイスを使用してください。 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ225E MSG SC=36 RC=36※	Some pairs in this group do not support SI or TC Group ID membership.	このグループの幾つかのコピーペアは，SI または TC の GroupID が未サポートです。 Configuration ファイルを修正してから YKLOAD コマンドを再実行してください。 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ226E MSG SC=36 RC=48※	*stem* TCA_MAP=TRK not supported by some group pairs	指定された Model では，TCA オプションの TCA_MAP に TRK は設定できません。 Configuration ファイルの内容を見直してください。 *stem* stem 名 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ227E MSG SC=36 RC=36※	*stem* TCA_FLOWCONTROL=N not supported by some group pairs.	このグループの幾つかのコピーペアは，TCA_FLOWCONTROL=N が未サポートです。 Configuration ファイルを修正して，YKLOAD コマンドを再実行してください。 *stem* stem 名 注※

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ228E MSG SC=36 RC=36※ (*pair-index*)	Invalid pair attribute *name* = *value*	REXX 変数の値が不正です。 指定値が次の規則に従って指定されているか確認してください。 ・ CCA：2 桁 ・ CU 番号：2 桁 ・ SSID：4 桁 ・ ストレージシステムのシリアル番号：5 桁 ・ デバイス番号：最大 4 桁 *name* REXX 変数名 *value* 値 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ229I MSG SC=0 RC=0	The time specified with ATTIME has past. The specification of ATTIME is ignored.	ATTIME パラメタで指定された時刻を過ぎました。ATTIME パラメタの指定を無視して処理を続行します。
YKZ230W MSG SC=4 RC=4 (*pair-index*)	Management for the relevant volume was skipped. DEVN *device#*(*SN*,*CU#*,*CCA#*)	ボリュームの状態がこのコマンドを実行できる状態ではないため，そのボリュームに対する処理をスキップしました。*pair-index* のコピーペアを示す部分に 0 が表示された場合は，コピーグループ内の複数のボリュームに対する処理をスキップしたことを示します。 該当するコピーペアの状態をコマンドの実行できる状態にしてください。 *device#* デバイス番号 装置を特定できない場合，****が表示されます。 *SN* ストレージシステムのシリアル番号 装置を特定できない場合，**********が表示されます。 *CU#* CU 番号 装置を特定できない場合，**が表示されます。 *CCA#* CCA 番号 装置を特定できない場合，**が表示されます。 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKZ231E MSG SC=44 RC=44	Necessary Routelist or DEVN information is not found.	処理を続行するのに必要なルートリストまたはデバイス番号についての情報がありません。 YKLOAD コマンドに指定した ROUTE または DAD パラメタの指定値を見直してください。
YKZ232T MSG SC=36 RC=44	Number of Copy Groups *value* invalid.	コピーグループ数が不正です。 Configuration ファイルの内容を見直してください。 *value* コピーグループ数
YKZ233E MSG SC=36 RC=36※	Invalid Copy Group attribute *name*	指定のコピーグループ属性の値はこのコマンドには無効です。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
(*attribute-value*)		Configuration ファイルを修正し，YKLOAD コマンドを再実行してください。 *name* REXX 変数名 *attribute-value* REXX 変数の値 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ234E MSG SC=36 RC=36※	Storage system model *value* null or invalid	ストレージシステムの Model が NULL または不正です。 Configuration ファイルのストレージシステムの Model を見直してからコマンドを再実行してください。 *value* ストレージシステムの Model 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ235E MSG SC=36 RC=36※	*dadid* APID is null.	APID の値が登録されていません。 Configuration ファイルの内容を見直してください。 *dadid* デバイスアドレスドメイン ID 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ236E MSG SC=36 RC=36※	*dadid* Interface number is null.	IF#が登録されていません。 Configuration ファイルの内容を見直してください。 *dadid* デバイスアドレスドメイン ID 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ237E MSG SC=36 RC=36※	Routelist attribute *name* is null.	*name* で示されるコマンドデバイスグループが設定されていません。 Configuration ファイルの内容を見直してください。 *name* REXX 変数名 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ238E MSG SC=36 RC=44	ATTIME SUSPEND remains in place. Pair operation process is canceled.	YKSUSPND ATTIME によるサスペンドが依然有効です。コピーペア操作処理をキャンセルします。 YKSUSPND ATTIME 処理が終了してから再実行してください。
YKZ239E MSG SC=48 RC=48	The specified Copy Group has no TrueCopy Synchronous Group.	指定したコピーグループは C/T グループ ID 指定の TC ではありません。 コピーグループが，C/T グループ ID 指定の TC であり，Open/MF コンシステンシー属性を設定していない TC であることを確認してから再実行してください。
YKZ240E MSG SC=48	The specified pair was not found in the Copy Group. (DEVN=*P-VOL-device-number*,*S-VOL-device-number*)	コピーグループ中に，DEVN パラメタで指定したデバイス番号に対応するコピーペアが見つかりませんでした。 *P-VOL-device-number* P-VOL のデバイス番号 *S-VOL-device-number* S-VOL のデバイス番号

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ241W MSG SC=4 RC=0	No I/O issued volume is in Copy Group(s).	I/O 発行対象となるボリュームがありません。 ボリュームの状態を確認し，構成や実行条件に誤りがある場合は訂正してから再実行してください。
YKZ242E MSG SC=48 RC=48	The pair needs to be swapping, but is not.	コピーペア状態が SWAPPING 状態でないか，コピーペア状態を取得していないため，サスペンド前とコピー方向が異なる YKRESYNC コマンドは実行できません。 コピーグループ中のボリュームの状態を確認し，YKRESYNC コマンドのパラメタ指定を訂正してから再実行してください。 FORWARD/REVERSE パラメタ指定の YKRESYNC コマンドを実行する場合は，直前に YKQUERY コマンドまたは YKEWAIT コマンドを実行して，コピーペア状態を取得してください。
YKZ243E MSG SC=48 RC=48	Supplied parameters invalid.	ATTIME または CANCEL と SVOL が同時に指定されています。 YKSUSPND コマンドのパラメタの値を訂正してから再実行してください。
YKZ244E MSG SC=36 RC=36	Serial number of storage system *serial-number* is not found in Routelist.	指定されたストレージシステム（*serial-number*）がルートリスト中にありません。
YKZ245E MSG SC=48 RC=48	CopyGroup attribute combination is invalid.	指定されたコマンド，またはオペランドとコピーグループ属性の組み合わせが不正です。 コマンドを実行できる構成かどうか，Configuration ファイルを確認してから再実行してください。
YKZ246E MSG SC=48 RC=48	This operation (*operation*) does not support remote command.	この操作（*operation*）はリモート機能ではサポートしていません。
YKZ247E MSG SC=44 RC=44	STEM(*stem*) information for Core Processing is not found.	指定された stem 名（*stem*）についての情報が見つかりません。 YKLOAD コマンドが実行されていないか，または YKLOAD コマンドで指定した stem 名と一致しません。
YKZ248E MSG SC=44 RC=0	Necessary information for Core Processing is not stored. (STEM = *stem*)	CLI コマンド実行に必要な情報が登録されていません。 YKLOAD コマンドを実行し，情報を登録してください。 *stem*※ stem 名 注※ (STEM = *stem*) の部分は，stem が取得できた場合に表示されます。
YKZ249E MSG SC=48 RC=48※ (*pair-index*)	Specified DAD or ROUTE is invalid.	YKLOAD コマンドで指定した DAD または ROUTE パラメタに誤りがあります。 指定を見直してください。 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。

表 2-38 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ25x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ250E MSG SC=40 RC=44	A NAME/TOKEN delete error occurred. (return code=*nnn*, name= *name*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	NAME/TOKEN の delete エラーが発生したため，実行できません。 *nnn*（10 進数） NAME/TOKEN 登録ルーチン（IEANTCR）のリターンコード *name* NAME/TOKEN サービスに登録する名称 *xxx*（10 進数）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ251E MSG SC=32 RC=32 (*pair-index*)	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) management error, *message-text*. (*code1 code2*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	要求された処理を実行できませんでした。このデバイスをスキップして処理を続行します。 エラーとなったデバイスの状態を確認し，構成や実行条件に誤りがある場合は訂正して，再実行してください。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス 操作対象デバイスのデバイス番号が見つからない場合，****が表示されます。 *message-text* メッセージテキスト *code1*（16 進数） サブコマンドコード *code2*（16 進数） エラーコード エラーコードの詳細については，「3.1 」を参照してください。 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKZ252E MSG SC=8 RC=8	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) management error, *message-text*. (*code1 code2*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	要求された処理を実行できませんでした。このデバイスをスキップして処理を続行します。 エラーとなったデバイスの状態を確認して，構成や実行条件に誤りがある場合は訂正して，再実行してください。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス *message-text* メッセージテキスト *code1*（16 進数） サブコマンドコード *code2*（16 進数） エラーコード エラーコードの詳細については，「3.1 」を参照してください。 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		保守情報
YKZ253E MSG SC=32 RC=32 (*pair-index*)	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) I/O error. (CC=*code1* CSW=*code2 code3 code4 code5*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*).	I/O エラーが発生しました。このデバイスをスキップして処理を続行します。 センスバイトが設定されている場合は，YKZ255E メッセージにセンスバイトが表示されます。 CC=3 の場合 該当する装置が実装されていないか，または接続されていないおそれがあります。 CC=0 で CSW=*xxxxxx*0000*xxxx* (DSB=00, CSB=00)の場合 (*x* は任意の値) 該当する装置が実装されていないか，または接続されていないおそれがあります。 CC=0 で CSW=0000000006*xxxx* の場合（*x* は任意の値） MIH が発生，または論理パスが接続されていないおそれがあります。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス 操作対象デバイスのデバイス番号が見つからない場合，****が表示されます。 *code1*（10 進数） CC 情報 *code2*（16 進数） CSW 情報 *code3*（16 進数） サブコマンドコード *code4*（16 進数） 完了コード *code5*（16 進数） 詳細コード *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKZ254E MSG SC=8 RC=8	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) I/O error. (CC=*code1* CSW=*code2 code3 code4 code5*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*).	I/O エラーが発生しました。このデバイスをサポートしていないおそれがあります。このデバイスをスキップして処理を続行します。 センスバイトが設定されている場合は，YKZ256E メッセージにセンスバイトが表示されます。 CC=3 の場合 該当する装置が実装されていないか，または接続されていないおそれがあります。 CC=0 で CSW=*xxxxxx*0000*xxxx* (DSB=00，CSB=00)の場合 該当する装置が実装されていないか，または接続されていないおそれがあります。 CC=0 で CSW=00000000060000 の場合 MIH が発生，または論理パスが接続されていないおそれがあります。 *device-number-1*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス *code1*（10 進数） CC 情報 *code2*（16 進数） CSW 情報 *code3*（16 進数） サブコマンドコード *code4*（16 進数） 完了コード *code5*（16 進数） 詳細コード *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ255E MSG SC=32 RC=32 (*pair-index*)	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) sense: *diagnostic-information* (cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	I/O エラーの詳細情報が表示されます。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス 操作対象デバイスのデバイス番号が見つからない場合，****が表示されます。 *diagnostic-information*（16 進数） センスバイト情報 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKZ256E MSG SC=8 RC=8	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) sense: *diagnostic-information* (cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	I/O エラーの詳細情報が表示されます。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス *diagnostic-information*（16 進数） センスバイト情報 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ257E MSG SC=32 RC=32 (*pair-index*)	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) management error. (Message	要求された処理を実行できませんでした。このデバイスをスキップして処理を続行します。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
	type: *code1* Reason code: *code2* Error code: *code3 code4*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	エラーとなったデバイスの状態を確認して，構成や実行条件に誤りがある場合は訂正してから再実行してください。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス 操作対象デバイスのデバイス番号が見つからない場合，****が表示されます。 *code1*（16 進数） メッセージタイプ *code2*（16 進数） 理由コード *code3*（16 進数） エラーコード エラーコードの詳細については，「3.1 」を参照してください。 *code4*（16 進数） サブコマンドコード *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKZ258E MSG SC=8 RC=8	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) management error. (Message type: *code1* Reason code: *code2* Error code: *code3 code4*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	要求された処理を実行できませんでした。このデバイスをサポートしていないおそれがあります。このデバイスをスキップして処理を続行します。 エラーとなったデバイスの状態を確認して，構成や実行条件に誤りがある場合は訂正して再実行してください。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス *code1*（16 進数） メッセージタイプ *code2*（16 進数） 理由コード *code3*（16 進数） エラーコード エラーコードの詳細については，「3.1 」を参照してください。 *code4*（16 進数） サブコマンドコード *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ259E MSG SC=48 RC=48※	This product is already executing.	別のパネルまたはスクリプトで実行中のため，実行できません。 注※

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。

表 2-39 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ26x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ260I MSG SC=0 RC=0	The volume has already reached the target status.	すでに目的の状態に達しているボリュームがあるため，一部のボリュームに対する処理をスキップしました。
YKZ261E MSG CON SC=0 RC=0	The YKLOG*nn* DD statement is not specified. (cp=*xxx*:*yyy*)	YKLOG01 または YKLOG02 の DD 文が指定されていません。 YKLOG*nn* YKLOG01 または YKLOG02 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ262E MSG CON SC=0 RC=0	A YKLOG*nn* open error occurred. (rc=*nnn*, cp=*xxx*:*yyy*)	YKLOG01 または YKLOG02 でオープンエラーが発生しました。 YKLOG*nn* YKLOG01 または YKLOG02 *nnn*（10 進数） OPEN マクロのリターンコード *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ263E MSG CON SC=0 RC=0	A YKLOG*nn* I/O error. (*text*, cp=*xxx*:*yyy*)	YKLOG01 または YKLOG02 で I/O エラーが発生しました。 YKLOG*nn* YKLOG01 または YKLOG02 *text* SYNADAF マクロで取得したメッセージ *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ264E MSG CON SC=0 RC=0	A YKLOG*nn* close error occurred. (rc=*nnn*, cp=*xxx*:*yyy*)	YKLOG01 または YKLOG02 でクローズエラーが発生しました。 YKLOG*nn* YKLOG01 または YKLOG02 *nnn*（10 進数） CLOSE マクロのリターンコード *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ265E MSG SC=48 RC=48	This operation (*operation*) does not support the reverse-resync mode.	この操作（*operation*）は，TCA または UR のコピー方向を逆転させる YKSUSPND コマンドではサポートしていません。
YKZ266I PRT RC=0	Parameters were input. (*nnn*, *xxx*)	SYSIN からパラメタを入力しました。 *nnn*（10 進数） 行数 *xxx* 入力パラメタ
YKZ267E MSG CON SC=0 RC=0	A YKLOG*nn* DEVTYPE macro error occurred. (rc=*nnn*, reason=*mmm*, cp=*xxx*:*yyy*)	YKLOG01 または YKLOG02 に対する DEVTYPE マクロでエラーが発生しました。 YKLOG*nn* YKLOG01 または YKLOG02 *nnn*（10 進数） DEVTYPE マクロのリターンコード *mmm*（10 進数） DEVTYPE マクロの理由コード *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ268E MSG CON PRT SC=0 RC=0	Incorrect dataset format. (DD name=*ddd*, *KKK*=*AAA* must be *BBB*, cp=*xxx*:*yyy*)	データセットの形式が不正です。 *ddd* DD 名 *KKK* DSORG が異常な場合：DSORG RECFM が異常な場合：RECFM LRECL が異常な場合：LRECL BLKSIZE が異常な場合：BLKSIZE *AAA* エラーとなったファイル属性値（ただし，ファイル属性値が不定な場合，またはデータセット割り当て直後の場合は *） *BBB* 正しいファイル属性値 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報

表 2-40 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ27x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ270E MSG SC=36 RC=36 (*index1*, *index2*)	Duplicate logical paths exist.	*index1* の論理パス定義と *index2* の論理パス定義が重複しています。 どちらかの定義を取り除くか，重複している論理パス定義が正しいかを確認してから，コマンドを再実行してください。 *index1* 重複している一方の論理パスのインデクス番号 *index2* 重複している他方の論理パスのインデクス番号

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ271E MSG SC=12 RC=12	Definition of *xxxxxxxx* does not match the actual configuration. DEVN *device#*(*SN*,*CU#*,*CCA#*)	グループ定義が実際のペア構成と不一致です。不一致となっている項目に GROUPID が表示され，デバイス番号，ストレージシステムのシリアル番号，CU 番号，CCA 番号に*が表示されている場合，P-VOL または S-VOL と同じ CU 内に，コピーグループ定義パラメタに定義されていない，同じ C/T グループに属するコピーペアがあります。 コピーグループ定義パラメタの内容を見直し，修正してから再実行してください。 *xxxxxxxx* 不一致となっている項目 COPYTYPE：コピー種別 GROUPID：C/T グループ ID，または Open/MF コンシステンシー属性 PAIR：コピーペア構成 PATHID：パスグループ ID *device#* デバイス番号 装置を特定できない場合，****が表示されます。 *SN* ストレージシステムのシリアル番号 装置を特定できない場合，**********が表示されます。 *CU#* CU 番号 装置を特定できない場合，**が表示されます。 *CCA#* CCA 番号 装置を特定できない場合，**が表示されます。
YKZ272W MSG SC=8 RC=8	Variable(s) were changed for the number of paths or portID.	物理パスの数またはポート番号について，物理パスの数やポート番号を示す REXX 変数をストレージシステム上の設定値に合わせて更新しました。
YKZ273E MSG SC=36 RC=36	No path to be operated exist within the range specified by the supplied parameter.	パラメタで指定した範囲内に操作対象となるパスがありません。 コマンド実行時のパラメタ，YKLOAD コマンド実行時に指定したパスセット名，およびパスセットの属性（パス種別，共有属性，ストレージシステムのシリアル番号，CU 番号）を見直してください。
YKZ274E MSG SC=36 RC=36 (*index1*, *index2*, *index3*)	Duplicate ports exist in FORWARD.	正方向の *index1* の論理パス定義で，*index2* のポート番号と *index3* のポート番号が重複しています。 どちらかの定義を取り除くか，重複しているポート番号が正しいかを確認してから，コマンドを再実行してください。 *index1* 重複している論理パスのインデクス番号 *index2* 重複している一方のポートのインデクス番号 *index3* 重複している他方のポートのインデクス番号
YKZ274E MSG SC=36 RC=36 (*index1*, *index2*, *index3*)	Duplicate ports exist in REVERSE.	逆方向の *index1* の論理パス定義で，*index2* のポート番号と *index3* のポート番号が重複しています。 どちらかの定義を取り除くか，重複しているポート番号が正しいかを確認してから，コマンドを再実行してください。 *index1* 重複している論理パスのインデクス番号 *index2* 重複している一方のポートのインデクス番号 *index3*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		重複している他方のポートのインデクス番号
YKZ275E MSG SC=36 RC=36	Necessary Routelist or DEVN information is not found.	処理を続行するのに必要なルートリストまたはデバイス番号についての情報がありません。 YKLOAD コマンドに指定した ROUTE，DAD，および PATH パラメタの指定値を見直してください。このメッセージは，パスセット定義ファイルに指定された CU，CCA に対するボリュームがスキャン済みでない場合に出力されるため，スキャン済みのボリュームが指定されているかどうかを確認してください。
YKZ276E MSG SC=36 RC=36	Some of the storage systems do not support DKC type paths.	パス制御の対象となる装置またはリモート DKC 制御で経由するストレージシステムは，DKC 型のパス制御がサポートされていない IFType を含んでいます。 制御できるストレージシステムかどうか（IFType の上 2 桁が X'11'以上かどうか），Configuration ファイルを見直してください。また，ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は，再度スキャンを実施してください。
YKZ277W MSG SC=4 RC=4	Some paths are in the NOPATH state.	物理パスが確立されていない状態の論理パスがありました。
YKZ278W MSG SC=8 RC=8	Some paths are in the MISMATCH state.	パスセットのポート情報とストレージシステムに設定されているポート情報が一致しない論理パスを検出しました。ポート番号または設定されているポート数が一致していません。 パスセット定義を正しい情報に再設定してください。
YKZ279W MSG SC=12 RC=12	Some paths are in the INVALID state.	異常状態の物理パスを含む論理パスが，ストレージシステムから検出されました。

表 2-41 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ28x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ280W MSG SC=0 RC=0	Primary volume's IFType is larger than Remote control's IFType *value*.	リモート DKC 制御機能で経由するストレージシステムの IFType がコピーグループに定義されている P-VOL の IFType より小さいため，各コマンドを実行する際に小さい方の IFType を利用します。一部の機種でだけ使用できる機能が使えなくなるおそれがあるので，注意してください。また，ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は，再度スキャンを実施してください。 *value* リモートストレージシステムの IFType の値
YKZ280W MSG SC=0 RC=0	Secondary volume's IFType is larger than Remote control's IFType *value*.	リモート DKC 制御機能で経由するストレージシステムの IFType がコピーグループに定義されている S-VOL の IFType より小さいため，各コマンドを実行する際に小さい方の IFType を利用します。一部の機種でだけ使用できる機能が使えなくなるおそれがあるので，注意してください。また，ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は，再度スキャンを実施してください。 *value* リモートストレージシステムの IFType の値
YKZ281E MSG SC=36 RC=36※ (*Storage System's-IFType*)	Some of the storage systems do not support Remote Control.	コマンドデバイスを利用する際に指定した装置は，リモート DKC 制御機能をサポートしていません。 リモート DKC 制御機能を利用できる装置であるかどうか，リモート DKC 制御機能の定義を見直してください。 *Storage System's-IFType* ストレージシステムの IFType の値 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ282E MSG SC=36 RC=36※1	Primary device *IFType* does not support UR.	P-VOL があるストレージシステムまたはリモート DKC 制御機能使用時に経由するストレージシステムで, UR は使用できません。 UR がサポートされたデバイス※2 を使用してください。また, ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は, 再度スキャンを実施してください。 *IFType* IFType の値 注※1 YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。 注※2 UR は, IFType の上 2 桁が X'11'以上のストレージシステムで使用できます。
YKZ282E MSG SC=36 RC=36※1	Secondary device *IFType* does not support UR.	S-VOL があるストレージシステムまたはリモート DKC 制御機能使用時に経由するストレージシステムで, UR は使用できません。 UR がサポートされたデバイス※2 を使用してください。また, ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は, 再度スキャンを実施してください。 *IFType* IFType の値 注※1 YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。 注※2 UR は, IFType の上 2 桁が X'11'以上のストレージシステムで使用できます。
YKZ283T MSG SC=36 RC=36※	subCTGroupID *value* null or invalid.	コピーグループ構造体の subCTGroupID が NULL または不正です。 Configuration ファイルを修正し, YKLOAD コマンドを実行してください。 *value* REXX 変数の値 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ284T MSG SC=36 RC=36※	UR_MirrorID *value* null or invalid.	コピーグループ構造体の UR_MirrorID が NULL または不正です。 Configuration ファイルを修正し, YKLOAD コマンドを実行してください。 *value* REXX 変数の値 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ285I MSG SC=0 RC=0 (*index*)	This command cannot be executed without a port.	YKBLDPTH, YKDELPTH, および YKQRYPTH コマンドは正副両方向ともに *port* 要素のない論理パスを処理対象としません。*port* 要素のない論理パスに対して実行できるのは, RESTRUCT パラメタを指定した YKQRYPTH コマンドだけです。 対象となる論理パスに対してコマンドを実行するには, Configuration ファイルを修正し, YKLOAD コマンドを実行してください。 *index* *port* 要素のない論理パスのインデクス番号

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ286E MSG SC=36 RC=36 (*index*)	YKQRYPTH command cannot be executed if the volume on the CU type path has not been scanned.	CU 間論理パスのパスセットに対して，ホストに直接接続されていないストレージシステムを対象とする YKQRYPTH コマンドを実行する場合，CU 間論理パスの確立元 CU に属するボリュームが一つ以上スキャン済みである必要があります。 目的とする CU に属するボリュームが一つ以上スキャン済みであるか，パスセットに定義されている CU，CCA が正しいか，見直してください。パスセットに CCA が指定されていない場合は，Edit Logical Path Definition 画面から，パス制御対象 CU 内でスキャン済みのボリュームの CCA を指定してください。 *index* 実行できない論理パスのインデクス番号
YKZ287T MSG SC=36 RC=36※	UR_PathID *value* null or invalid.	コピーグループ構造体の UR_PathID が NULL または不正です。Configuration ファイルを修正し，YKLOAD コマンドを実行してください。 *value* REXX 変数の値 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ288E MSG SC=36 RC=36	Some of the storage systems do not support Path Group ID.	パス制御の対象となるストレージシステムがパスグループ ID（'00'以外の Path ID の指定）をサポートしていません。パスグループ ID を利用できるストレージシステム※かどうか，Configuration ファイルの定義を見直してください。また，ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は，再度スキャンを実施してください。 注※ パスグループ ID は，IFType が X'3333'以上のストレージシステムで使用できます。

表 2-42 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ29x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ290E MSG SC=48 RC=48	FROMCU() exceeds number of CU that storage system supported.	FROMCU がストレージシステムでサポートする最大 CU を超えています。 最大 CU 以下の値を指定してください。
YKZ291I CON SC=0 RC=0	The log dataset is full. (DSN=*ddd*, cp=*xxx*:*yyy*)	ログデータセットが満杯になりました。 *ddd* 満杯になったログデータセット名 ログデータセット名が取得できない場合，*が表示されます。 *xxx*（10 進数） ログデータセットが満杯になった時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ292I CON SC=0 RC=0	The log dataset was switched. (from=YKLOG*mm*, to=YKLOG*nn*, job=*jjj*, cp=*xxx*:*yyy*)	ログデータセットが切り替わりました。 YKLOG*mm* 切り替え前のログデータセット（YKLOG01 または YKLOG02） YKLOG*nn* 切り替え後のログデータセット（YKLOG01 または YKLOG02） *jjj*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		ジョブ名 *xxx*（10 進数） ログデータセットが切り替わった時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ293E MSG CON SC=0 RC=0	The specified value for the system symbol &YKLOGPT is invalid.	&YKLOGPT システム・シンボルの指定値に誤りがあります。プログラムは，LOGR を仮定して処理を続行します。 &YKLOGPT システム・シンボルの指定値を見直してください。
YKZ294E MSG CON SC=0 RC=0	An error occurred while acquiring the system symbol &YKLOGPT. (rc=*rr*)	&YKLOGPT システム・シンボルの取得時にエラーが発生しました。プログラムは，LOGR を仮定して処理を続行します。 &YKLOGPT システム・シンボルの指定値を見直してください。 *rr* ASASYMBM マクロのリターンコード
YKZ295E MSG SC=36 RC=36	The version of this configuration file is not supported.	この Configuration ファイルのバージョンはサポートしていません。
YKZ296E MSG SC=44 RC=44	A JNLG is not registered in EXCTG. (*JNLG*=*jj*, MIRROR=*m*, EXCTG=*e*, SN=*ssssssssssss*)	次のどれかの要因のため，ジャーナルグループが EXCTG に登録されていません。 • YKMAKE コマンドが実行されていないか，YKMAKE コマンド実行時にエラーが発生した • YKDEXCTG コマンドまたは YKRECVER コマンドを実行したか，4x4x4 構成で連携するほかの UR コピーグループを解除したため，ジャーナルグループが EXCTG から削除された • SIMPLEX 状態への遷移中またはジャーナルグループを EXCTG に登録中に，YKQUERY コマンドを実行した • コピーグループ定義に含まれないジャーナルグループが EXCTG に登録されている ジャーナルグループを EXCTG に登録する場合は，YKMAKE コマンド実行時のエラーメッセージ，または同時に出力された YKZ297E メッセージまたは YKZ299E メッセージに示された障害要因を取り除いたあと，YKQUERY コマンド，および SELECT(COND) を指定した YKMAKE コマンドを実行して下さい。 *JNLG* 登録されていないジャーナル種別（ストレージシステム上ではない定義上のジャーナル種別） R-JNL：セカンダリサイトのジャーナル M-JNL：プライマリサイトのジャーナル *jj*（16 進数） C/T グループ ID またはサブ C/T グループ ID で指定されたジャーナル ID（00～FF） *m*（10 進数） ミラー ID（0～3） *e*（10 進数） EXCTG ID（0～3） *ssssssssssss*（10 進数） ストレージシステムのシリアル番号
YKZ297E MSG SC=44 RC=44	An error occurred while adding JNLG to EXCTG. (*JNLG*=*jj*, MIRROR=*m*, EXCTG=*e*, SN=*ssssssssssss*, CDEV=*cccc*, CODE=*nnnn*)	ジャーナルグループを EXCTG に登録する際にエラーが発生しました。 エラーコードを参照して障害要因を特定してください。障害要因を取り除いたあと，SELECT(COND) を指定して再度 YKMAKE コマンドを実行し，ジャーナルグループを EXCTG に登録してください。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		なお，このメッセージは再度 YKMAKE コマンドで該当する EXCTG の登録処理が実行されるまで出力されます。 *JNLG* 登録されていないジャーナル種別（ストレージシステム上ではない定義上のジャーナル種別） R-JNL：セカンダリサイトのジャーナル M-JNL：プライマリサイトのジャーナル *jj*（16 進数） C/T グループ ID またはサブ C/T グループ ID で指定されたジャーナル ID（00～FF） *m*（10 進数） ミラー ID（0～3） *e*（10 進数） EXCTG ID（0～3） *ssssssssssss*（10 進数） ストレージシステムのシリアル番号 *cccc*（16 進数） 調停コマンドデバイス番号（0000～FEFF） スーパバイザ DKC の場合は FFFF が表示されます。 *nnnn*（16 進数） エラーコード エラーコードの詳細については，「3.1 」を参照してください。
YKZ298W MSG SC=4 RC=4	Timeout limit has expired while waiting for EXCTG registration process.	YKEWAIT コマンドで EXCTG の登録待ち中にタイムアウト時間を超えたため，処理を終了します。 タイムアウト値を見直すか，監視する状態の指定が正しいか確認してください。また，ジャーナルグループが EXCTG に登録されているか確認してください。 なお，このメッセージが出力された場合，REXX 変数は無効（YKEWAIT コマンド発行前のまま）です。
YKZ299E MSG SC=36 RC=36	Definition of *xxxxxxxx* does not match the actual configuration. (*JNLG*=*jj*, MIRROR=*m*, EXCTG=*e*, SN=*ssssssssssss*, CDEV=*cccc*)	コピーグループ中に定義されている EXCTG 情報とストレージシステムに登録されている EXCTG 情報が一致しません。 コピーグループ定義ファイルを見直してください。なお，コピーグループ定義で指定している EXCTG ID をほかのコピーグループで使用している場合にも，このメッセージが出力されることがあります。 障害要因を取り除いたあと，SELECT(COND) を指定して再度 YKMAKE コマンドを実行し，ジャーナルグループを EXCTG に登録してください。 なお，このメッセージは再度 YKMAKE コマンドで該当する EXCTG の登録処理が実行されるまで出力されます。 *xxxxxxxx* 不一致となっている項目 CDEV：調停コマンドデバイス番号 JNLG：*ssssssssssss* で示されるストレージシステムのシリアル番号，および *jj* で示されるジャーナル ID で，*e* で示される EXCTG に登録されていますが，Configuration ファイル中にありません。 *JNLG* ストレージシステムに登録されているジャーナル種別（定義上ではないストレージシステム上のジャーナル種別） R-JNL：セカンダリサイトのジャーナル M-JNL：プライマリサイトのジャーナル *jj*（16 進数） ストレージシステムに登録されているジャーナル ID（00～FF）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		m（10 進数） ストレージシステムに登録されているミラー ID（0〜3） *e*（10 進数） ストレージシステムに登録されている EXCTG ID（0〜3） *sssssssssss*（10 進数） ストレージシステムに登録されているストレージシステムのシリアル番号 *cccc*（16 進数） ストレージシステムに登録されている調停コマンドデバイス番号（0000〜FEFF） スーパバイザ DKC の場合は FFFF が表示されます。

表 2-43 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ3x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ300E MSG TSO SC=44 RC=44	SVC # is null.	ユーザ SVC が登録されていません。 ユーザ SVC を SVCPARM に定義して再 IPL するか，またはユーザ SVC 登録コマンドを使用してユーザ SVC を登録してください。 ユーザ SVC 登録コマンド：YKALCSVC ユーザ SVC の登録については，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager インストールガイド*」を参照してください。
YKZ301E CON RC=128	The task is not authorized to execute the request. (reason code=*reason*)	CLI コマンドを実行するための RACF の設定がありません。 BC Manager は，ユーザ完了コード 128 で異常終了するか，またはエラーを返します。 *reason* 理由コード（*XXYYZZZZ*） ◦ *XX*：RACROUTE マクロの SAF RC の下位 1 バイト ◦ *YY*：RACROUTE マクロの RACF RC の下位 1 バイト ◦ *ZZZZ*：RACROUTE マクロの RACF Reason Code の下位 2 バイト BC Manager の理由コードについては，「A.1 」を参照してください。 RACF のセキュリティの設定方法については，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager インストールガイド*」を参照してください。
YKZ302E MSG RC=128	This command is not authorized to execute the request. (PREFIX=*prefix*)	YKLOAD コマンドの PREFIX パラメタで指定したプレフィックス（*prefix*）に対するアクセス権限がありません。 拡張アクセス制御機能を使用してアクセス権限を設定する方法は，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager インストールガイド*」を参照してください。
YKZ302E MSG RC=128	This command is not authorized to execute the request. (CGNAME=*copy-group-ID*)	YKLOAD コマンドの GROUP パラメタで指定したコピーグループ ID（*copy-group-ID*）に対するアクセス権限がありません。 拡張アクセス制御機能を使用してアクセス権限を設定する方法は，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager インストールガイド*」を参照してください。
YKZ302E MSG RC=128	This command is not authorized to execute the request. (CGTYPE=*copy-group-type*)	YKLOAD コマンドの GROUP パラメタで指定したコピーグループのコピー種別（*copy-group-type*）に対するアクセス権限がありません。 拡張アクセス制御機能を使用してアクセス権限を設定する方法は，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager インストールガイド*」を参照してください。
YKZ302E MSG RC=128	This command is not authorized to execute the request. (CLI=*command-name*)	コマンド（*command-name*）を実行するアクセス権限がありません。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		command-name ・YKDELETE ・YKMAKE ・YKRECVER ・YKQRYDEV 拡張アクセス制御機能を使用してアクセス権限を設定する方法は，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager インストールガイド*」を参照してください。
YKZ302E MSG RC=128	This command is not authorized to execute the request. (reason code=*rc*)	コマンドを実行するアクセス権限がありません。 *rc* カスタマイズされた権限チェックモジュールのリターンコード 拡張アクセス制御機能を使用してアクセス権限を設定する方法は，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager インストールガイド*」を参照してください。
YKZ303E MSG RC=48	A prefix name is too long. (*prefix*)	プレフィックス（*prefix*）が最大長を超えています。 拡張アクセス制御機能を使用する場合，18 文字以内になるように定義してください。
YKZ303E MSG RC=48	A copygroup name is too long. (*copy-group-ID*)	コピーグループ ID（*copy-group-ID*）が最大長を超えています。 拡張アクセス制御機能を使用する場合，15 文字以内になるように定義してください。
YKZ304I MSG RC=0	There is a copy pair without the authorization. (CLI=YKQRYDEV)	アクセス権限がないコピー種別があるため，コピーペア情報を取得できないコピーペアがありました。 拡張アクセス制御機能を使用してアクセス権限を設定する方法は，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager インストールガイド*」を参照してください。
YKZ304I MSG RC=0	There is a copy pair without the authorization. (reason code=*rc*)	アクセス権限がないコピー種別があるため，コピーペア情報を取得できないコピーペアがありました。 *rc* カスタマイズされた権限チェックモジュールのリターンコード 拡張アクセス制御機能を使用してアクセス権限を設定する方法は，マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager インストールガイド*」を参照してください。
YKZ310I SYS	*hh:mm:ss command*	CLI コマンドが発行されたことを示すログです。 *hh:mm:ss* CLI コマンド発行時刻（ローカルタイム） *command* 発行された CLI コマンド名とそのパラメタ 最大 109 文字出力します。109 文字を超えた場合は切り捨てます。
YKZ311I SYS	*hh:mm:ss command* RC=*rc*	CLI コマンド実行結果を示すログです。 *hh:mm:ss* CLI コマンド発行時刻（ローカルタイム） *command* 発行された CLI コマンド名 *rc* CLI コマンドのリターンコード マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の CLI コマンドの説明を参照してください。
YKZ320E TSO	Supplied parameters invalid.	パラメタ解析処理でエラーが検出されました。
YKZ321E TSO	Time value is invalid.	指定された時間値に誤りがあります。
YKZ322E TSO	Specify SEC and MIN parm exclusively.	秒単位と分単位は同時に指定できません。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ330E TSO CON RC=64	*command* detected the *service* service error. (return code=*r*[, reason code=*n*][, abend code=*a*])	REXX サービスでエラーを検出しました。 *command* 発行された CLI コマンド名，または保守情報 *service* エラーを検出した REXX サービス名または TSO/E サービス名 *r* （10 進数） REXX サービスまたは TSO/E サービスのリターンコード 詳細は，IBM マニュアル「*TSO/E REXX 解説書*」または「*TSO/E Programming Services*」を参照してください。 *n* （10 進数） REXX サービスまたは TSO/E サービスの理由コード 詳細は，IBM マニュアル「*TSO/E REXX 解説書*」または「*TSO/E Programming Services*」を参照してください。 *a* （10 進数） REXX サービスまたは TSO/E サービスの ABEND コード 詳細は，IBM マニュアル「*TSO/E REXX 解説書*」または「*TSO/E Programming Services*」を参照してください。
YKZ331E TSO RC=64	*command* terminated with an invalid return code. (*r*)	CLI コマンドは不当なリターンコードで終了しました。 *command* 発行された CLI コマンド名，または保守情報 *r* CLI コマンドが生成したリターンコード
YKZ332E TSO RC=64	*command* detected the system abend during *rexx-service* processing. (*info*)	REXX サービス処理中にシステム異常終了を検出しました。 *command* 発行された CLI コマンド名，または保守情報 *rexx-service* システム異常終了を検出した REXX サービス名 *info* 保守情報
YKZ333E TSO RC=64	*command* detected the user abend during *rexx-service* processing. (*info*)	REXX サービス処理中にユーザ異常終了を検出しました。 *command* 発行された CLI コマンド名，または保守情報 *rexx-service* ユーザ異常終了を検出した REXX サービス名 *info* 保守情報
YKZ340T TSO RC=48	Supplied parameters invalid.	無効なパラメタが指定されました。
YKZ341E TSO RC=48	No DEVN() supplied.	DEVN パラメタが指定されていません。
YKZ343E TSO RC=48	DEVN() value invalid.	DEVN パラメタに指定された値に誤りがあります。
YKZ350T TSO RC=16	Invalid parameters have been specified.	無効なパラメタが指定されました。
YKZ351E TSO RC=16	No error code has been specified.	エラーコードが指定されていません。
YKZ352E TSO RC=16	The specified error code is invalid.	エラーコードの値に誤りがあります。次の要因が考えられます。 ・ 4 桁の 16 進数形式ではありません。
YKZ353E TSO RC=64	Load module is not found.	ロードモジュールが見つかりません。次の要因が考えられます。 ・ ライブラリデータセットが連結されていません。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		・ RACF プログラム制御機能で保護されています。
YKZ354I TSO RC=8	A description for the specified error code was not found.	指定されたエラーコードの説明が見つかりませんでした。 エラーコードの詳細については，「3.1 」を参照してください。 エラーコードがマニュアルに記載されていない場合は，保守員に連絡してください。
YKZ370E MSG SC=32 RC=32	A dynamic configuration change was detected during specified command processing. DEVN *device#*	コマンド処理中に動的 I/O 構成定義変更を検知しました。 コマンドが対象とするデバイスの状態を確認し，構成や実行条件に誤りがある場合は訂正して，再実行してください。 *device#* 動的 I/O 構成定義変更を検知した時点での処理対象のデバイス番号
YKZ371I TSO	*command-name* command return code=*return-code*.	*command-name* コマンドが終了しました。 *command-name* YKENV *return-code* コマンドのリターンコード
YKZ375E MSG SC=32 RC=32	A dynamic configuration change was detected during specified command processing. DEVN *device#*	コマンド処理中に動的 I/O 構成定義変更を検知しました。 コマンドが対象とするデバイスの状態を確認し，構成や実行条件に誤りがある場合は訂正して，再実行してください。 *device#* 動的 I/O 構成定義変更を検知した時点での処理対象のサブチャネルセット ID およびデバイス番号

表 2-44 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ40x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ400E MSG SC=48 RC=48	*param* parameter cannot be specified for *copy-type* Copy Group.	*copy-type* で示されるコピー種別のコピーグループに対して，*param* で示されるパラメタを指定することはできません。 コピー種別，およびパラメタを確認してください。 *param* 指定できないパラメタの名称 *copy-type* コピーグループに指定されているコピー種別
YKZ401E MSG SC=48 RC=48	Some of the storage systems do not support *param*.	コマンドの対象となるストレージシステムまたはリモート DKC 制御で経由するストレージシステムは，*param* で示されるパラメタをサポートしていません。 *param* で示されるパラメタがサポートされたデバイスを使用してください。また，ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は，再度スキャンを実施してください。
YKZ402E MSG SC=44 RC=44	Unexpected transition occurred while adding JNLG to EXCTG. (CT ID=*jj*, sub CT ID=*kk*, MIRROR=*m*, SN=*ssssssssssss*, STATE=*nnnn*)	ジャーナルグループを EXCTG に登録する際に，コピーペア状態が予期しない状態に遷移しました。 監視する状態の指定が正しいか確認してください。問題がなければ，YKQUERY コマンドを実行して，障害原因の特定，および回復を実施してください。 *jj*（16 進数） C/T グループ ID で指定されたジャーナル ID（00～FF） *kk*（16 進数） サブ C/T グループ ID で指定されたジャーナル ID（00～FF） *m*（10 進数） ミラー ID（0～3） *ssssssssssss*（10 進数） ストレージシステムのシリアル番号 *nnnn*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		遷移した状態
YKZ403I MSG SC=0 RC=0	No pair processed in Copy Group(s).	操作対象となるコピーペアがありません。 ボリュームの状態を確認し，構成や実行条件に誤りがある場合は，訂正してから再実行してください。 なお，EXCTG ID 指定の CG コンテナに対して YKMAKE SELECT(COND) コマンドが発行された場合，DEVN パラメタを指定していなければ，このメッセージが出力されても EXCTG 登録の I/O は発行されています。
YKZ404E MSG SC=36 RC=36※	Number of JNLG in the EXCTG exceeds the limit.	EXCTG 中のジャーナルグループ数が上限を超えています。 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ405E MSG SC=36 RC=36※	Duplicate JNLG number in the Copy Group is found. (CT ID=*jj*, sub CT ID=*kk*)	コピーグループ中のジャーナル ID が重複しています。 複数ストレージシステム間でのジャーナルグループの対を，コンテナを構成するコピーグループに対応させるためには，ジャーナル ID を記述する C/T グループ ID およびサブ C/T グループ ID の対のうち，どちらかがほかの対と異なる番号を使用してください。 *jj*（16 進数） C/T グループ ID で指定されたジャーナル ID（00～FF） *kk*（16 進数） サブ C/T グループ ID で指定されたジャーナル ID（00～FF） 注※ YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。
YKZ406E MSG SC=36 RC=36※1	Primary device *IFType* does not support EXCTG.	P-VOL があるストレージシステムまたはリモート DKC 制御機能使用時に経由するストレージシステムで，EXCTG は使用できません。 EXCTG がサポートされたデバイス※2 を使用してください。また，ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は，再度スキャンを実施してください。 *IFType* IFType の値 注※1 YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。 注※2 EXCTG は，IFType の上 2 桁が X'13'以上のストレージシステムで使用できます。
YKZ406E MSG SC=36 RC=36※1	Secondary device *IFType* does not support EXCTG.	S-VOL があるストレージシステムまたはリモート DKC 制御機能使用時に経由するストレージシステムで，EXCTG は使用できません。 EXCTG がサポートされたデバイス※2 を使用してください。また，ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は，再度スキャンを実施してください。 *IFType* IFType の値 注※1 YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。 注※2 EXCTG は，IFType の上 2 桁が X'13'以上のストレージシステムで使用できます。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ407E MSG SC=24 RC=24	An error occurred during suspension of UR ATTIME. (CT ID=*ii*, R-JNL=*jj*, GENID=*gg*, ATTSTS=*aa*, SISTS=*ss*, URSTS=*uu*, CODE=*eeee*, TIME=*ATTIME-suspend-time*)	UR ATTIME サスペンド機能のサスペンド処理を実行した際にエラーが発生しました。 エラー情報を参照して障害を取り除いてください。この際，必要であればストレージシステムログなどを参照してください。その後，ATTIME サスペンド時刻を YKSUSPND コマンドで取り消してから，再度バックアップを取得してください。 *ii*（16 進数） SI の C/T グループ ID（00～7F） *jj*（16 進数） SI と連携する UR のサブ C/T グループ ID で指定されたジャーナル ID（00～FF） *gg*（16 進数） Generation ID（00～FF） *aa*（10 進数） ATTIME サスペンド状態（0～4） 0：ATTIME サスペンド時刻が設定されていません。 1：ATTIME サスペンド時刻が設定されていますが，サスペンドは実行されていません。 2：ATTIME サスペンド時刻を過ぎたため，サスペンドされました。 3：タイムアウトによるサスペンドが実行されました。または，ATTIME サスペンド時刻に UR コピーペアの状態がサスペンド状態だったため，サスペンドが実行されました。 4：更新なしジャーナルが検出されたため，サスペンドされました。 *ss*（10 進数） SI 状態（0～3） 0：サスペンド処理が開始されていません。 1：サスペンド処理中です。 2：サスペンド処理が正常終了しました。 3：サスペンド処理が異常終了しました。 *uu*（10 進数） UR 状態（0～1） 0：サスペンド実行時，すべての UR コピーペアが DUPLEX 状態でした。 1：サスペンド実行時，DUPLEX 状態以外の UR コピーペアがありました。 *eeee*（16 進数） サスペンド処理のエラー情報 0001：SI コピーペアの状態が不正なため，サスペンドできません。 0002：ストレージシステム要因のエラーが発生したため，サスペンドできません。 *ATTIME-suspend-time*（GMT） ATTIME サスペンド時刻：*YYYYMMDD-HH:MM:SS.NNNNNN* *YYYY*：西暦 *MM*：月 *DD*：日付 *HH*：時間 *MM*：分 *SS.NNNNNN*：秒
YKZ408E MSG SC=24 RC=24	An unexpected UR pair status existed during suspension of UR ATTIME. (CT ID=*ii*, R-JNL=*jj*, GENID=*gg*, ATTSTS=*aa*,	UR ATTIME サスペンド機能のサスペンド処理を実行した際に，UR コピーペアの状態が不正でした。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
	SISTS=*ss*, URSTS=*uu*, CODE=*eeee*, TIME=*ATTIME-suspend-time*)	UR コピーペアの状態を確認して障害を取り除いてください。その後，ATTIME サスペンド時刻を YKSUSPND コマンドで取り消してから，再度バックアップを取得してください。 *ii*（16 進数） SI の C/T グループ ID（00～7F） *jj*（16 進数） SI と連携する UR のサブ C/T グループ ID で指定されたジャーナル ID（00～FF） *gg*（16 進数） Generation ID（00～FF） *aa*（10 進数） ATTIME サスペンド状態（0～4） 0：ATTIME サスペンド時刻が設定されていません。 1：ATTIME サスペンド時刻が設定されていますが，サスペンドは実行されていません。 2：ATTIME サスペンド時刻を過ぎたため，サスペンドされました。 3：タイムアウトによるサスペンドが実行されました。または，ATTIME サスペンド時刻に UR コピーペアの状態がサスペンド状態だったため，サスペンドが実行されました。 4：更新なしジャーナルが検出されたため，サスペンドされました。 *ss*（10 進数） SI 状態（0～3） 0：サスペンド処理が開始されていません。 1：サスペンド処理中です。 2：サスペンド処理が正常終了しました。 3：サスペンド処理が異常終了しました。 *uu*（10 進数） UR 状態（0～1） 0：サスペンド実行時，すべての UR コピーペアが DUPLEX 状態でした。 1：サスペンド実行時，DUPLEX 状態以外の UR コピーペアがありました。 *eeee*（16 進数） サスペンド処理のエラー情報 0000：サスペンド処理が開始されていないか，処理中です。または，サスペンド処理が正常終了しました。詳細については，SI 状態を参照してください。 0001：SI コピーペアの状態が不正なため，サスペンドできません。 0002：ストレージシステム要因のエラーが発生したため，サスペンドできません。 *ATTIME-suspend-time*（GMT） ATTIME サスペンド時刻：*YYYYMMDD-HH:MM:SS.NNNNNN* *YYYY*：西暦 *MM*：月 *DD*：日付 *HH*：時間 *MM*：分 *SS.NNNNNN*：秒
YKZ409E MSG SC=24 RC=24	The timeout limit expired during the wait for the reservation time of the UR ATTIME suspension. (CT ID=*ii*, R-JNL=*jj*, GENID=*gg*, TIME=*ATTIME-suspend-time*)	UR ATTIME サスペンド機能の ATTIME サスペンド時刻のジャーナルを取得する前にタイムアウト時間を過ぎたため，タイムアウト時刻にサスペンド処理を開始しました。または，ATTIME サスペンド時刻に UR コピーペアの状態がサスペンド

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		状態だったため，ATTIME サスペンド時刻にサスペンド処理を開始しました。 指定時刻のバックアップが取得できていないおそれがあるため，次のことを確認してください。 ・ UR コピーペアのパス状態 ・ YKSUSPND コマンドの TIMEOUT パラメタの指定値 ・ SI コピーペアのボリューム状態（サスペンド実行時の UR のコンシステンシー時刻や状態） ・ UR コピーペアのボリューム状態 確認の結果，必要であれば ATTIME サスペンド情報を YKSUSPND コマンドで取り消してから，再度バックアップを取得してください。 *ii*（16 進数） SI の C/T グループ ID（00～7F） *jj*（16 進数） SI と連携する UR のサブ C/T グループ ID で指定されたジャーナル ID（00～FF） *gg*（16 進数） Generation ID（00～FF） *ATTIME-suspend-time*（GMT） ATTIME サスペンド時刻：*YYYYMMDD-HH:MM:SS.NNNNNN* *YYYY*：西暦 *MM*：月 *DD*：日付 *HH*：時間 *MM*：分 *SS.NNNNNN*：秒

表 2-45 YK から始まるメッセージ一覧（YKZ41x -YKZ91x）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ410E MSG SC=36 RC=36※1	Copygroup *SUPFnc* does not support UR Errorlevel.	このストレージシステムでは，Errorlevel 属性を使用できません。 UR での Errorlevel がサポートされたデバイス※2 を使用してください。また，ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は，再度スキャンを実施してください。 *SUPFnc*（16 進数） 該当するコピーグループ内で使用されているハードサポート機能バージョンの値（最小値） 注※1 YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。 注※2 UR での Errorlevel は，ハードサポート機能バージョンの値が X'12'以上のストレージシステムで使用できます。
YKZ411E MSG SC=36 RC=48	ATOPT(UR) parameter is only valid for SI Copy Groups with C/T ID.	C/T グループ ID 指定の SI 以外のコピーグループに対して，ATOPT(UR) パラメタ指定の YKSUSPND コマンドが実行されました。ATOPT(UR) パラメタは，C/T グループ ID 指定の SI コピーグループだけに有効です。 ATOPT パラメタを指定しないか，または ATOPT(NORMAL) パラメタを指定して，YKSUSPND コマンドを再実行してください。
YKZ412E MSG SC=36 RC=48	This device *SUPFnc* does not support UR ATTIME.	このストレージシステムでは，UR ATTIME サスペンド機能を使用できません。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		UR ATTIME サスペンド機能がサポートされたデバイス※を使用してください。また，ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は，再スキャンを実施してください。 *SUPFnc*（16 進数） 該当するコピーグループ内で使用されているハードサポート機能バージョンの値（最小値） 注※ UR ATTIME サスペンド機能は，ハードサポート機能バージョンの値が X'14'以上のストレージシステムで使用できます。
YKZ413E MSG SC=36 RC=36※1	Copygroup *SUPFnc* does not support the timestamp transfer mode.	このストレージシステムでは，タイムスタンプ転送モードを使用できません。 TC でのタイムスタンプ転送モードがサポートされたデバイス※2 を使用してください。また，ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は，再度スキャンを実施してください。 *SUPFnc*（16 進数） 該当するコピーグループ内で使用されているハードサポート機能バージョンの値 注※1 YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。 注※2 TC でのタイムスタンプ転送モードは，USP V でハードサポート機能のバージョンが X'21'以上ストレージシステムで使用できます。
YKZ414E MSG SC=36 RC=48※1	SUPFnc *SUPFnc* does not support *parameter-name*.	このストレージシステムでは，*parameter-name* を使用できません。 *parameter-name* がサポートされたデバイス※2 を使用してください。また，ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は，再度スキャンを実施してください。 *SUPFnc*（16 進数） 該当するコピーグループ内で使用されているハードサポート機能バージョンの値 *parameter-name* 使用できない機能または構成 ・UR_CTTIMEMODE：UR でのコンシステンシー時刻モード ・TC_OPENMF：TC での Open/MF コンシステンシー維持機能 ・LinkageOption=HS：HyperSwap と UR を併用する 2DC 構成 ・AttimeSplitMode=QUICK：UR ATTIME サスペンド機能の Quick サスペンドモード ・UR_PathID：UR でのパスグループ ID 指定 ・GroupID=*C/T グループ ID*（16 進数）：X'7F'を超える TC コピーグループの C/T グループ ID ・SI_NOCOPY：SI での YKMAKE コマンド実行時の NOCOPY パラメタ指定 ・FENCE_OPERATION：YKFENCE コマンドによる Fence 操作 ・SI_FASTCOPY：SI でのコピーペース FAST 指定 注※1

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。 注※2 *parameter-name* を使用できるストレージシステムを次に示します。 ・UR でのコンシステンシー時刻モード : USP V でハードサポート機能のバージョンが X'21'以上 ・TC での Open/MF コンシステンシー維持機能 : USP V でハードサポート機能のバージョンが X'22'以上，または VSP でハードサポート機能のバージョンが X'31'以上 ・HyperSwap と UR を併用する 2DC 構成 : USP V でハードサポート機能のバージョンが X'22'以上，または VSP でハードサポート機能のバージョンが X'31'以上 ・UR ATTIME サスペンド機能の Quick サスペンドモード : USP V でハードサポート機能のバージョンが X'23'以上 ・UR でのパスグループ ID 指定 : VSP でハードサポート機能のバージョンが X'33'以上 ・X'7F'を超える TC コピーグループの C/T グループ ID : VSP G1000 でハードサポート機能のバージョンが X'40'以上 ・SI での YKMAKE コマンド実行時の NOCOPY パラメタ指定 : VSP G1000 でハードサポート機能のバージョンが X'46'以上 ・YKFENCE コマンドによる Fence 操作 : VSP G1000 でハードサポート機能のバージョンが X'47'以上 ・SI でのコピーペース FAST 指定 : VSP G1000 でハードサポート機能のバージョンが X'48'以上
YKZ415E MSG SC=48 RC=48	The device indicated by *devn* in the disk configuration definition file is on a storage system that differs from *sn*.	ディスク構成定義ファイルで定義されているデバイスが，ディスク構成定義ファイルとは異なるストレージシステム上に存在しています。このため，NG スキャンを実行できません。 ディスク構成定義ファイル，または Set Defaults 画面で指定した DADID を見直してください。 *devn*（16 進数） ディスク構成定義ファイル中で定義されているデバイス番号 *sn* *devn* で示すデバイスが実際に存在するストレージシステムのシリアル番号
YKZ416E MSG SC=36 RC=36※1	Copygroup *SUPFnc* does not support TC Map (DIF UNIT).	このストレージシステムでは，TC の差分管理単位を指定できません。 TC での差分管理単位を指定できるデバイス※2 を使用してください。また，ストレージシステムのマイクロを入れ替えたあとにスキャンしていない場合は，再度スキャンを実施してください。 *SUPFnc*（16 進数） 該当するコピーグループ内で使用されているハードサポート機能バージョンの値（最小値） 注※1 YKLOAD コマンド実行時にこのメッセージが出力された場合は RC=44 になります。 注※2 TC での差分管理単位は，USP V でハードサポート機能のバージョンが X'20'以上のストレージシステムで指定できます。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ417E MSG SC=48 RC=48	This command is invalid for TrueCopy Copy Groups linkaged with HyperSwap.	HyperSwap 属性を持つ TC コピーグループには，このコマンドを実行できません。 PPRC コピーペアの操作は TPC-R で実行してください。
YKZ418E MSG SC=48 RC=48	OPENMFUPDATE cannot use with reverse-resync.	Open/MF コンシステンシー属性の変更（OPENMFUPDATE パラメタ）を指定したコピー方向を逆転させる再同期はできません。
YKZ419E MSG SC=48 RC=48	This command is valid only for copy group containers with EXCTG ID specified.	EXCTG ID 指定の CG コンテナでないため，YKQEXCTG コマンドまたは YKDEXCTG コマンドを実行できません。このコマンドは EXCTG ID 指定の CG コンテナに対してだけ有効です。
YKZ420E MSG SC=48 RC=48	EXCTG information could not be acquired because no EXCTG ID is specified for copying in the forward direction.	正方向用の EXCTG ID が指定された CG コンテナでないため，EXCTG 情報を取得できませんでした。 TO(SECONDARY)パラメタ指定の YKQEXCTG コマンドは，コピー方向が正方向で，かつ正方向用の EXCTG ID が指定された CG コンテナに対してだけ有効です。 CG コンテナのコピー方向と EXCTG ID の方向（Forward/Reverse）を確認して，再実行してください。
YKZ421E MSG SC=48 RC=48	EXCTG information could not be acquired because no EXCTG ID is specified for copying in the reverse direction.	逆方向用の EXCTG ID が指定された CG コンテナでないため，EXCTG 情報を取得できませんでした。 TO(PRIMARY)パラメタ指定の YKQEXCTG コマンドは，コピー方向が逆方向で，かつ逆方向用の EXCTG ID が指定された CG コンテナに対してだけ有効です。 CG コンテナのコピー方向と EXCTG ID の方向（Forward/Reverse）を確認して，再実行してください。
YKZ422E MSG SC=48 RC=48	This operation(*operation*) is not available for a Non Gen'ed volume.	この操作（*operation*）は Non Gen'ed ボリュームに対して実行できません。
YKZ423E MSG SC=36 RC=36	A duplicate serial number exists. (SN=*SN*, DEVN=*DEVN*, model=*model1*, other model=*model2*, pos=*pos*)	ストレージシステムのシリアル番号が重複しているため，処理を中断します。三つ以上のストレージシステムのシリアル番号が重複している場合でも，モデル名は二つしか表示されません。 *SN* 重複しているシリアル番号 *DEVN* シリアル番号の重複を検知した時点での処理対象のデバイス番号 *model1* シリアル番号が重複しているストレージシステムのモデル *model2* シリアル番号が重複している別のストレージシステムのモデル *pos* 保守情報
YKZ424E MSG SC=48 RC=48	There is no JNLG that can be deleted from EXCTG.	EXCTG から解除できるジャーナルグループがありません。 SN パラメタ，または JNLG パラメタに指定した値を見直して，再実行してください。
YKZ425I MSG SC=0 RC=0	Serial number of storage system *SerialNum* is not found in Routelist. Commands for the Gen'ed volumes on this storage system will not be issued via command devices.	シリアル番号が *SerialNum* のストレージシステムがルートリストに定義されていません。このストレージシステムの Gen'ed ボリュームに対するコマンドは，コマンドデバイス経由で発行されません。
YKZ426E MSG SC=48 RC=48	This command is not available for a Non Gen'ed volume or a remote volume.	このコマンドは Non Gen'ed ボリュームまたはリモートボリュームに対して実行できません。YKFENCE コマンドの場合は，TO オペランドに指定したボリュームを確認してください。
YKZ427E MSG SC=32 RC=32	The YKFENCE command was rejected because the ANTRQST macro failed. (rc=*xxxx*, reason=*yyyy*)	ANTRQST マクロで異常を検出したため YKFENCE コマンドが拒否されました。 *xxxx* ANTRQST マクロのリターンコード *yyyy*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		ANTRQST マクロの詳細コード
YKZ428E MSG SC=32 RC=32	An ANTRQST macro error occurred. (DEVN=*devn*, rc=*xxxx*, reason=*yyyy*)	ANTRQST マクロで異常を検出しました。 *devn* ANTRQST マクロ要求先のデバイス番号 *xxxx* ANTRQST マクロのリターンコード *yyyy* ANTRQST マクロの詳細コード
YKZ429W MSG SC=4 RC=4	The copy group includes a volume that does not exist in the storage system.	ストレージシステムに存在しないボリュームがコピーグループに含まれています。コピーグループ定義ファイルを見直してください。
YKZ430E MSG SC=32 RC=32	The ANTRQST level *level* is insufficient.	ANTRQST マクロのレベルが不足しています。 ANTRQST マクロをレベル 131 以上にアップデートしてください。 *level* 現在インストールされている ANTRQST マクロのレベル
YKZ431E MSG SC=32 RC=32	An ANTRQST macro error occurred. (DEVN=*devn*, rc=*xxxx*, reason=*yyyy*)	ANTRQST マクロで異常を検出しました。 *devn* ANTRQST マクロ要求先のサブチャネルセット ID およびデバイス番号 *xxxx* ANTRQST マクロのリターンコード *yyyy* ANTRQST マクロの詳細コード
YKZ432E MSG SC=48 RC=48	The device indicated by *devn* in the disk configuration definition file is on a storage system that differs from *sn*.	ディスク構成定義ファイルで定義されているデバイスが，ディスク構成定義ファイルとは異なるストレージシステム上に存在しています。このため，NG スキャンを実行できません。 ディスク構成定義ファイル，または Set Defaults 画面で指定した DADID を見直してください。 *devn*（16 進数） ディスク構成定義ファイル中で定義されているサブチャネルセット ID およびデバイス番号 *sn* *devn* で示すデバイスが実際に存在するストレージシステムのシリアル番号
YKZ433E MSG SC=36 RC=36	A duplicate serial number exists. (SN=*SN*, DEVN=*DEVN*, model=*model1*, other model=*model2*, pos=*pos*)	ストレージシステムのシリアル番号が重複しているため，処理を中断します。三つ以上のストレージシステムのシリアル番号が重複している場合でも，モデル名は二つしか表示されません。 *SN* 重複しているシリアル番号 *DEVN* シリアル番号の重複を検知した時点での処理対象のサブチャネルセット ID およびデバイス番号 *model1* シリアル番号が重複しているストレージシステムのモデル *model2* シリアル番号が重複している別のストレージシステムのモデル *pos* 保守情報
YKZ440E MSG SC=48 RC=48	The value *value* of the attribute *name* cannot be specified for the copy group.	XML 属性 *name* の値 *value* は，このコピーグループでは指定できません。次の要因が考えられます。 ・ SI 以外でコピーペース FAST を指定した。

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
YKZ450E MSG SC=36 RC=36	The REXX variable *name* was not found.	*name* に示される名称の REXX 変数がありません。
YKZ451E MSG SC=36 RC=36	The pair index *index* specified in *name* was not found in the copy group.	REXX 変数 *name* に指定された *index* は，該当するコピーグループにありません。 *index* *コピーグループ番号*[,*コピーペア番号*]
YKZ807E MSG TSO CON SC=52 RC=44※	A Core process error occurred. (detail=*message-text*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	Core の処理エラーが発生したため，実行できません。 *message-text* メッセージテキストには，次の内容が出力されます。 ・ OS マクロエラーが発生したとき *xxxxxxxx* macro error, return code = *rr*,devn = *sdddd* *xxxxxxxx*：OS のマクロ名 *rr*：マクロのリターンコード *sdddd*：サブチャネルセット ID およびデバイス番号 *xxxxxxxx* に UCBLOOK が表示された場合，デバイス番号が *sdddd* のボリュームが，ホストの I/O 構成定義に含まれていないおそれがあります。I/O 構成定義を確認し，必要に応じてディスク構成定義ファイルを再作成してください。 ・ システム名が取得できなかったとき ASASYMBM macro error, rc = *rr* *rr*：ASASYMBM マクロのリターンコード ・ ログストリームの定義が DASD 専用でないとき Not DASD-only Logger definition ・ ログストリームの定義の MAXBUFSIZE が 64000 でないとき MAXBUFSIZE of Logger definition invalid ・ 保守情報のとき（1） ENTRYID(*eeeee*) for MSGID(*nnn*) is invalid *eeeee*, *nnn*：保守情報 ・ 保守情報のとき（2） ENTRYID(*eeeee*) for TYPE(*ttt*), LEVEL(*lll*) is invalid *eeeee*, *ttt*, *lll*：保守情報 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 注※ ログ，トレース取得時にこのメッセージが出力された場合は RC=0 になります。
YKZ851E MSG SC=32 RC=32 (*pair-index*)	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) management error, *message-text*. (*code1 code2*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	要求された処理を実行できませんでした。このデバイスをスキップして処理を続行します。 エラーとなったデバイスの状態を確認し，構成や実行条件に誤りがある場合は訂正して，再実行してください。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス 操作対象デバイスのデバイス番号が見つからない場合，*****が表示されます。 *message-text* メッセージテキスト

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		code1（16 進数） サブコマンドコード *code2*（16 進数） エラーコード エラーコードの詳細については，「3.1 」を参照してください。 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKZ852E MSG SC=8 RC=8	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) management error, *message-text*. (*code1 code2*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	要求された処理を実行できませんでした。このデバイスをスキップして処理を続行します。 エラーとなったデバイスの状態を確認して，構成や実行条件に誤りがある場合は訂正して，再実行してください。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス *message-text* メッセージテキスト *code1*（16 進数） サブコマンドコード *code2*（16 進数） エラーコード エラーコードの詳細については，「3.1 」を参照してください。 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ853E MSG SC=32 RC=32 (*pair-index*)	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) I/O error. (CC=*code1* CSW=*code2 code3 code4 code5*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*).	I/O エラーが発生しました。このデバイスをスキップして処理を続行します。 センスバイトが設定されている場合は，YKZ855E メッセージにセンスバイトが表示されます。 CC=3 の場合 該当する装置が実装されていないか，または接続されていないおそれがあります。 CC=0 で CSW=*xxxxxx*0000*xxxx* (DSB=00, CSB=00)の場合 (*x* は任意の値) 該当する装置が実装されていないか，または接続されていないおそれがあります。 CC=0 で CSW=0000000006*xxxx* の場合（*x* は任意の値） MIH が発生，または論理パスが接続されていないおそれがあります。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		操作対象デバイス 操作対象デバイスのデバイス番号が見つからない場合，*****が表示されます。 *code1*（10 進数） CC 情報 *code2*（16 進数） CSW 情報 *code3*（16 進数） サブコマンドコード *code4*（16 進数） 完了コード *code5*（16 進数） 詳細コード *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKZ854E MSG SC=8 RC=8	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) I/O error. (CC=*code1* CSW=*code2 code3 code4 code5*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*).	I/O エラーが発生しました。このデバイスをサポートしていないおそれがあります。このデバイスをスキップして処理を続行します。 センスバイトが設定されている場合は，YKZ856E メッセージにセンスバイトが表示されます。 CC=3 の場合 該当する装置が実装されていないか，または接続されていないおそれがあります。 CC=0 で CSW=*xxxxxx*0000*xxxx* (DSB=00，CSB=00)の場合 該当する装置が実装されていないか，または接続されていないおそれがあります。 CC=0 で CSW=00000000060000 の場合 MIH が発生，または論理パスが接続されていないおそれがあります。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス *code1*（10 進数） CC 情報 *code2*（16 進数） CSW 情報 *code3*（16 進数） サブコマンドコード *code4*（16 進数） 完了コード *code5*（16 進数） 詳細コード *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy*

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		保守情報
YKZ855E MSG SC=32 RC=32 (*pair-index*)	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) sense: *diagnostic-information* (cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	I/O エラーの詳細情報が表示されます。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス 操作対象デバイスのデバイス番号が見つからない場合，*****が表示されます。 *diagnostic-information*（16 進数） センスバイト情報 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKZ856E MSG SC=8 RC=8	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) sense: *diagnostic-information* (cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	I/O エラーの詳細情報が表示されます。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス *diagnostic-information*（16 進数） センスバイト情報 *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ857E MSG SC=32 RC=32 (*pair-index*)	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) management error. (Message type: *code1* Reason code: *code2* Error code: *code3 code4*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	要求された処理を実行できませんでした。このデバイスをスキップして処理を続行します。 エラーとなったデバイスの状態を確認して，構成や実行条件に誤りがある場合は訂正してから再実行してください。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス 操作対象デバイスのデバイス番号が見つからない場合，*****が表示されます。 *code1*（16 進数） メッセージタイプ *code2*（16 進数） 理由コード *code3*（16 進数） エラーコード エラーコードの詳細については，「3.1 」を参照してください。 *code4*（16 進数） サブコマンドコード *xxx*（10 進数）

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報 *pair-index* YKE003E メッセージの pair index の説明を参照してください。
YKZ858E MSG SC=8 RC=8	DASD device *device-number-1*(*device-number-2*) management error. (Message type: *code1* Reason code: *code2* Error code: *code3 code4*, cmd=*xxx*, pos=*yyy*)	要求された処理を実行できませんでした。このデバイスをサポートしていないおそれがあります。このデバイスをスキップして処理を続行します。 エラーとなったデバイスの状態を確認して，構成や実行条件に誤りがある場合は訂正して再実行してください。 *device-number-1* I/O 発行デバイス *device-number-2* 操作対象デバイス *code1*（16 進数） メッセージタイプ *code2*（16 進数） 理由コード *code3*（16 進数） エラーコード エラーコードの詳細については，「3.1 」を参照してください。 *code4*（16 進数） サブコマンドコード *xxx*（10 進数） エラーが発生した時に実行していたコマンドのコマンドコード YKZ201E メッセージのコマンドコードの説明を参照してください。 *yyy* 保守情報
YKZ871E MSG SC=12 RC=12	Definition of *xxxxxxxx* does not match the actual configuration. DEVN *device#*(*SN*,*CU#*,*CCA#*)	グループ定義が実際のペア構成と不一致です。不一致となっている項目に GROUPID が表示され，デバイス番号，ストレージシステムのシリアル番号，CU 番号，CCA 番号に*が表示されている場合，P-VOL または S-VOL と同じ CU 内に，コピーグループ定義パラメタに定義されていない，同じ C/T グループに属するコピーペアがあります。 コピーグループ定義パラメタの内容を見直し，修正してから再実行してください。 *xxxxxxxx* 不一致となっている項目 COPYTYPE：コピー種別 GROUPID：C/T グループ ID，または Open/MF コンシステンシー属性 PAIR：コピーペア構成 PATHID：パスグループ ID *device#* サブチャネルセット ID およびデバイス番号 装置を特定できない場合，*****が表示されます。 *SN* ストレージシステムのシリアル番号

メッセージ ID	メッセージ本文	説明
		装置を特定できない場合，**********が表示されます。 *CU#* CU 番号 装置を特定できない場合，**が表示されます。 *CCA#* CCA 番号 装置を特定できない場合，**が表示されます。
YKZ910I CON	*command*	CLI コマンドが発行されたことを示すログです。 *command* 発行された CLI コマンド名とそのパラメタ 最大 118 文字出力します。118 文字を超えた場合は切り捨てます。
YKZ911I CON	*command* RC=*rc*	CLI コマンド実行結果を示すログです。 *command* 発行された CLI コマンド名 *rc* CLI コマンドのリターンコード マニュアル「*Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*」の CLI コマンドの説明を参照してください。

2.2 YK から始まる SYSTSPRT に出力される複数行メッセージ

SYSTSPRT に出力される複数行メッセージについて説明します。

YK8310I PRT

```
REPORT SUMMARY:
  COPY GROUP : cgid
      PREFIX : prefix
      DAD-ID : dad
        TYPE : cgtype       GROUP STATUS : status
     SIMPLEX : simplexct       MATCHING% : match
     PENDING : pendingct       REVERSED% : rev%
      DUPLEX : duplexct            ATTIME : attime
     SUSPEND : suspendall         -STATUS : attms
       OTHER : otherct
```

REPORT に SUMMARY を指定した場合のレポート情報が表示されます。

cgid：コピーグループ ID

preifx：プレフィックス

dad：コピーグループのローカル DADID

cgtype：コピー種別

simplexct：SIMPLEX 状態のコピーペアの数

pendingct：PENDING 状態のコピーペアの数

duplexct：DUPLEX 状態のコピーペアの数

suspendall：SUSPEND 状態のコピーペアの数

otherct：その他の状態のコピーペアの数

status：コピーグループの状態

match：コピー進捗率

rev%：コピー方向がセカンダリからプライマリであるコピーペアの割合

attime：ATTIME サスペンド時刻

attms：ATTIME サスペンドの状態

YK8312I PRT

```
REPORT DETAIL:
  COPY GROUP : cgid
      PREFIX : prefix
      DAD-ID : dad
        TYPE : cgtype
         PRI      SEC           MATCH C/T SUB C/T          C/T
  VOLSER DEVN DIR DEVN STATUS   RATE% ID  C/T DELTA        TIME
[ volser pdev dir sdev status   match cid sid delta        time ]
```

REPORT に DETAIL を指定した場合のレポート情報が表示されます。

cgid：コピーグループ ID

prefix：プレフィックス

dad：コピーグループのローカル DADID

cgtype：コピー種別

volser：ボリュームシリアル番号

pdev：プライマリデバイス番号

dir：コピー方向

- ＞：プライマリからセカンダリ
- ＜：セカンダリからプライマリ

sdev：セカンダリデバイス番号

status：コピーペア状態

match：コピーペア一致率

cid：C/T グループ ID または M-JNL グループ ID

sid：R-JNL グループ ID

delta：C/T グループ単位の C/T デルタ値

time：C/T グループ単位のコンシステンシー時刻

YK8314I PRT

```
REPORT RPO:
  COPY GROUP : cgid
  C/T SUB PRI-  SEC-  C/T          C/T
```

```
  ID  C/T SN    SN    DELTA        TIME
[ cid sid prisn secsn delta        time ]
```

REPORT に RPO を指定した場合のレポート情報が表示されます。

cgid：コピーグループ ID

cid：C/T グループ ID または M-JNL グループ ID

sid：R-JNL グループ ID

prisn：プライマリストレージシステムのシリアル番号

secsn：セカンダリストレージシステムのシリアル番号

delta：C/T デルタ値

time：コンシステンシー時刻

YK8316I PRT

```
REPORT STATS:
  COPY GROUP : cgid
      PREFIX : prefix
      DAD-ID : dad
        TYPE : cgtype
                    --- PRI %S ----  - SEC %S --            --- TIMERS ---
  C/T  PRI-   SEC-   SFT RSF RSF WPR  RSF RSF WPR  TRANS    OFLD RCUR CPND
  ID   SN     SN         TOT C/T TOT  TOT C/T TOT  KBYTES/S  SEC  MIN  MIN
[ cid  prisn  secsn  sft prt prc pwt  srt src swt  trans-kb ofld rcur cpnd ]
```

REPORT に STATS を指定した場合の，TCA コピーグループのレポート情報が表示されます。

cgid：コピーグループ ID

prefix：プレフィックス

dad：コピーグループのローカル DADID

cgtype：コピー種別

cid：C/T グループ ID

prisn：プライマリストレージシステムのシリアル番号

secsn：セカンダリストレージシステムのシリアル番号

sft：サイドファイルしきい値

prt：プライマリリザーブサイドファイル占有率

prc：プライマリリザーブサイドファイル C/T 分占有率

pwt：プライマリライトペンディング率

srt：セカンダリリザーブサイドファイル占有率

src：セカンダリリザーブサイドファイル C/T 分占有率

swt：セカンダリライトペンディング率

trans-kb：MCU-RCU 間のデータ転送速度（Kbps）

ofld：オフローディングタイマ

rcur：RCU レディタイマ

cpnd：コピーペンディングタイマ

YK8318I PRT

```
REPORT STATS:
  COPY GROUP : cgid
       PREFIX : prefix
       DAD-ID : dad
         TYPE : cgtype
  MJNL RJNL                        PRI %S  SEC %S  - PRI GB - - SEC GB -
  C/T  SUB  PRI-  SEC-  TRANS    JNL-VOL JNL-VOL -- JNL-VOL -- JNL-VOL
  ID   C/T  SN    SN    KBYTES/S MET DAT MET DAT        DAT        DAT
[ mjg  rgj  prisn secsn trans-kb pjm pjd rjm sjd pri-jnlvol sec-jnlvol ]
```

REPORT に STATS を指定した場合の，UR コピーグループのレポート情報が表示されます。

cgid：コピーグループ ID

prefix：プレフィックス

dad：コピーグループのローカル DADID

cgtype：コピー種別

mjg：M-JNL グループ ID

rgj：R-JNL グループ ID

prisn：プライマリストレージシステムのシリアル番号

secsn：セカンダリストレージシステムのシリアル番号

trans-kb：MCU-RCU 間のデータ転送速度（Kbps）

pjm：M-JNL ボリューム内のメタデータ使用率

pjd：M-JNL ボリューム内のデータ使用率

rjm：R-JNL ボリューム内のメタデータ使用率

sjd：R-JNL ボリューム内のデータ使用率

pri-jnlvol：M-JNL ボリューム内データ容量（GB）

sec-jnlvol：R-JNL ボリューム内データ容量（GB）

YK8330I PRT

```
REPORT DETAIL:
  COPY GROUP : cgid
       PREFIX : prefix
       DAD-ID : dad
         TYPE : cgtype
          PRI        SEC             MATCH C/T SUB C/T          C/T
  VOLSER DEVN  DIR DEVN  STATUS   RATE% ID  C/T DELTA        TIME
[ volser pdev  dir sdev  status   match cid sid delta        time]
```

REPORT に DETAIL を指定した場合のレポート情報が表示されます。

cgid：コピーグループ ID

prefix：プレフィックス

dad：コピーグループのローカル DADID

cgtype：コピー種別

volser：ボリュームシリアル番号

pdev：プライマリデバイス番号

dir：コピー方向

- ＞：プライマリからセカンダリ
- ＜：セカンダリからプライマリ

sdev：セカンダリデバイス番号

status：コピーペア状態

match：コピーペア一致率

cid：C/T グループ ID または M-JNL グループ ID

sid：R-JNL グループ ID

delta：C/T グループ単位の C/T デルタ値

time：C/T グループ単位のコンシステンシー時刻

YK8411I PRT

```
SYSTEM OPTIONS:
          CYCLE TIME : cycletime
     WAITFOR TIMEOUT : timeout
            MSGLEVEL : lvllog,lvlcons
       ONACTIONERROR : err-action
   STOP AT STOPPOINT : stoppt
  SLEEP AT STOPPOINT : sleeppt
```

YKMONOPT ファイルで指定された値が表示されます。

cycletime：サイクルタイム

timeout：タイムアウト値

lvllog：SYSTSPRT に出力するメッセージレベル

lvlcons：コンソールに出力するメッセージレベル

err-action：実行するエラーアクション

stoppt：終了するポイント

sleeppt：スリープするポイント

YK8413I PRT

```
COPY GROUP DEFINITIONS:
              ID : cgid
          PREFIX : prefix
          DAD-ID : dad
      ROUTE LIST : routelt[,route-label]
         VIACDEV : cgviacdev
  MONITOR STATUS : cgmonstat
```

```
  STARTUP STATUS : cgsastat,cgsaact,cgsaopt
[   WHEN STATUS cgstatus  DO ACTION 'action err-action']
```

YKMONCG ファイルで指定された値が表示されます。指定されたコピーグループの数分，繰り返し表示されます。

cgid：コピーグループ ID

prefix：プレフィックス

dad：コピーグループのローカル DADID

routelt：ルートリスト ID

route-label：ルートラベル

cgviacdev：Gen'ed ボリュームに対してコマンドデバイス経由でコマンドを発行するかどうか

cgmonstat：コピーグループの監視状態

cgsastat：BCM Monitor 起動時に確認するコピーグループの開始状態

cgsaact：BCM Monitor 起動時のコピーペア状態が指定した開始状態と異なっている場合に実行する開始アクション

cgsaopt：CGSTARTUPSTATUS パラメタのオプション情報

cgstatus action err-acttion：

STATUS および ACTION パラメタに指定されたコピーグループの状態，アクション，およびエラーアクション

STATUS および ACTION パラメタは，指定された数分繰り返し表示されます。

2.3 対象となるボリュームの求め方

メッセージ中に出力されるコピーグループ番号，コピーペア番号から，次のように対象となるボリュームを特定できます。

2.3.1 REXX スクリプトからのボリュームシリアル番号の特定

次の STEM 変数を表示してください。

stem 名.CopyGroup.*コピーグループ番号*.Pair.*コピーペア番号*.Volser

2.3.2 Configuration ファイルからのボリュームシリアル番号の特定

次の手順で Configuration ファイルからボリュームシリアル番号を検索してください。

1. ファイルの先頭からコピーグループ番号分 CopyGroupContainer タグを数えて CopyGroupContainer タグを特定します。
2. 特定した CopyGroupContainer タグから，コピーペア番号分 CopyPair タグを数えて CopyPair タグを特定します。
3. 特定した CopyPair タグの下にある SerialNum が，対象となるボリュームシリアル番号です。

3

ストレージシステムのセンスバイト情報

この章では，メッセージ中に出力されるストレージシステムのセンスバイト情報（エラーコード）について説明します。

❒ 3.1 エラーコード一覧

3.1 エラーコード一覧

メッセージに出力されるストレージシステムのセンスバイト情報（エラーコード）のエラー内容について説明します。このエラーコード一覧にないエラーコードが出力された場合は，保守員に連絡してください。

ここでの凡例を次に示します。

- CMD：コマンドデバイス
- PATH：論理パス
- HDT および HDT MF：Dynamic Tiering for Mainframe
- HDP MF： Dynamic Provisioning for Mainframe
- ○：出力される
- -：出力されない

表 3-1 エラーコード一覧（20xx – 22xx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
2026	次の要因をすべて満たしているため，SI コピーペアを再同期(QuickRestore)できません。 ・ システムオプションモード 561 が ON となっています。 ・ P-VOL および S-VOL が外部ボリュームです。 ・ P-VOL と S-VOL の CacheMode の設定が一致していません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2043	指定した SI コピーペアの P-VOL は，複数のミラー ID が定義された UR コピーペアのボリュームであるため，SI コピーペアを再同期(ReverseCopy/QuickRestore)できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2044	指定した SI コピーペアの S-VOL は，複数のミラー ID が定義された UR コピーペアのボリュームであるため，SI コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
204F	指定された SI コピーペアの S-VOL は，Volume Migration の移動元ボリュームで，かつ Volume Migration の移動処理が中断できない状態（COPY 状態）のためサスペンドできません。Storage Navigator，または Command Control Interface から Volume Migration の状態を確認し，COPY 状態が解除されたあとに再操作してください。	○	-	-	-	-	-	-	-
205E	指定された SI コピーペアの P-VOL または S-VOL は，Volume Migration の移動元ボリュームで，かつ Volume Migration の移動処理が中断できない状態（COPY 状態）のためサスペンドできません。Storage Navigator，または Command Control Interface から Volume Migration の状態を確認し，COPY 状態が解除されたあとに再操作してください。	○	-	-	-	-	-	-	-
2060	次の要因のため，SI コピーペアを形成または再同期できません。 ・ P-VOL が UR ですでにコピーペア形成されているため，SI コピーペアの状態遷移ができない状態です。 ・ P-VOL がジャーナルボリュームです。	○	-	-	-	-	-	-	-
2061	次の要因のため，SI コピーペアが形成できません。 ・ S-VOL が UR ですでにコピーペア形成されています。 ・ S-VOL がジャーナルボリュームです。	○	-	-	-	-	-	-	-
2067	指定したボリュームは TC と UR のボリューム共用構成で，かつ TC または UR がサスペンド状態でないため，SI コピーペアを再同期できません。	○	-	-	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
2071	指定された SI コピーペアの P-VOL は，Volume Migration の移動元ボリュームで，かつ Volume Migration の移動処理が中断できない状態（COPY 状態）のためサスペンドできません。Storage Navigator，または Command Control Interface から Volume Migration の状態を確認し，COPY 状態が解除されたあとに再操作してください。	○	-	-	-	-	-	-	-
2078	指定した SI コピーペアの P-VOL の状態が，次のすべての条件を満たしていないため，SI コピーペアを形成できません。 ・ デルタリシンクペアの S-VOL です。 ・ デルタリシンクペアの状態が HOLD 状態です。 ・ デルタリシンクペアと連携している UR コピーペアの状態がサスペンド状態です。	○	-	-	-	-	-	-	-
2079	指定した SI コピーペアの S-VOL がデルタリシンクペアであるため，SI コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2086	SI の初期化中のため，コマンドを実行できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2089	指定した SI コピーペアの P-VOL が QuickFormat 中のため，SI コピーペアを再同期(QuickRestore)できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
208A	指定した SI コピーペアの S-VOL が QuickFormat 中のため，SI コピーペアを再同期(QuickRestore)できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2097	コピーペアを構成するボリュームが HDP MF ボリュームと非 HDP MF ボリュームの組み合わせのため，SI コピーペアを再同期(QuickRestore)できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2098	次の要因をすべて満たしているため，SI コピーペアを再同期(Quick Restore)できません。 ・ SI コピーペアの P-VOL が HDP MF ボリュームで，S-VOL が非 HDP MF ボリュームです。または，SI コピーペアの P-VOL が非 HDP MF ボリュームで，S-VOL が HDP MF ボリュームです。 ・ P-VOL が TC または UR コピーペアと連携しています。 ・ P-VOL が連携している TC または UR コピーペアのボリューム内の制御シリンダで，TC または UR コピーペアの差分データが管理されています。	○	-	-	-	-	-	-	-
209A	次の要因をすべて満たしているため，SI コピーペアを再同期(Quick Restore)できません。 ・ SI コピーペアの P-VOL が HDP MF ボリュームで，S-VOL が非 HDP MF ボリュームです。または，SI コピーペアの P-VOL が非 HDP MF ボリュームで，S-VOL が HDP MF ボリュームです。 ・ S-VOL が TC または UR コピーペアと連携しています。 ・ S-VOL が連携している TC または UR コピーペアのボリューム内の制御シリンダで，TC または UR コピーペアの差分データが管理されています。	○	-	-	-	-	-	-	-
20A2	SI コピーペアの P-VOL に指定した HDP MF ボリュームが容量拡張中のため，コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
20A3	SI コピーペアの S-VOL に指定した HDP MF ボリュームが容量拡張中のため，コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
20B4	SI コピーペアの P-VOL に指定した HDP MF ボリュームがプールに関連付けられていないため，コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
20B5	SI コピーペアの S-VOL に指定した HDP MF ボリュームがプールに関連付けられていないため，コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
20BD	指定した SI コピーペアの P-VOL はサポートされていないエミュレーションタイプ(3390-V)のため，コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
20BE	指定した SI コピーペアの S-VOL はサポートされていないエミュレーションタイプ(3390-V)のため，コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
20C5	電源オフ処理中のため，SI コピーペアの操作ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
20C9	指定した SI コピーペアの P-VOL のエミュレーションタイプが 3390-A の場合，次のどちらかの要因のため，コピーペアを形成できません。 ・ Mainframe Fibre CHA が実装されていません。 ・ すべての Mainframe Fibre CHA が閉塞しています。	○	-	-	-	-	-	-	-
20CA	指定した SI コピーペアの S-VOL のエミュレーションタイプが 3390-A の場合，次のどちらかの要因のため，コピーペアを形成できません。 ・ Mainframe Fibre CHA が実装されていません。 ・ すべての Mainframe Fibre CHA が閉塞しています。	○	-	-	-	-	-	-	-
20D0	SI コピーペアの P-VOL に指定した HDP MF ボリュームのプールが初期化中のため，コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
20D1	SI コピーペアの S-VOL に指定した HDP MF ボリュームのプールが初期化中のため，コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
20D6	次のどちらかの要因のため，コピーペアを形成できません。 ・ 指定した SI コピーペアの P-VOL が FlashCopy SE で使用されています。 ・ 指定した SI コピーペアの P-VOL が TSE-VOL です。	○	-	-	-	-	-	-	-
20D7	次のどちらかの要因のため，コピーペアを形成できません。 ・ 指定した SI コピーペアの S-VOL が FlashCopy SE で使用されています。 ・ 指定した SI コピーペアの S-VOL が TSE-VOL です。	○	-	-	-	-	-	-	-
20E4	指定した SI コピーペアの P-VOL が次の要因をすべて満たすため，C/T グループ ID を指定したコピーペアを形成できません。 ・ UR の S-VOL です。 ・ ほかのプログラムプロダクトで C/T グループ ID 指定の SI の P-VOL として使用中です。	○	-	-	-	-	-	-	-
20F0	P-VOL に Soft Fence が設定されているため，SI コピーペアを操作できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
20F1	S-VOL に Soft Fence が設定されているため，SI コピーペアを操作できません。	○	-	-	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
20F3	NOCOPY がサポートされていないため, SI コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
213E	S-VOL に Soft Fence が設定されているため， SI コピーペアのコピー処理が一時停止しました。	○	-	-	-	-	-	-	-
22F6	指定した P-VOL は FlashCopy の S-VOL のため, SI コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
22F7	指定した S-VOL は FlashCopy の P-VOL または S-VOL のため，SI コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
22F9	SI の P-VOL と FlashCopy の P-VOL がボリューム共用構成のため, SI コピーペアを再同期（ReverseResync または QuickRestore）できません。	○	-	-	-	-	-	-	-

表 3-2 エラーコード一覧（23xx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
2301	SI のプログラムプロダクトがインストールされていないため，コマンドを実行できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2309	SI の最大コピーペア数を超過したコピーペアを形成しようとしたため，コマンドを実行できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2310	状態遷移できないコピーペア状態のため，SI コピーペアの状態遷移ができません。次の要因が考えられます。 • 要求されたコマンドと指定されたコピーペア状態の組み合わせが，状態遷移できない組み合わせです。組み合わせ可否については，マニュアル「*ShadowImage for Mainframe ユーザガイド*」を参照してください。 • 指定されたコピーペア内に，コピーペア状態が DUPLEX でないコピーペアがあるため，一括サスペンドができません。 • 指定されたコピーペア内に状態遷移できないコピーペアがあるため，一括サスペンドができません。 • C/T グループ内に，コピーペア状態が PENDING でも DUPLEX でもないコピーペアがあるため，ATTIME サスペンド時刻を設定できません。 • 指定した C/T グループのコピーペアは，Command Control Interface を使用して SI の C/T グループ ID 指定でコピーペア形成されているため，ATTIME サスペンド時刻を設定できません。 上記要因のどれにも該当しない場合，ATTIME サスペンド時刻を設定できない状態になっています。CANCEL パラメタを指定した YKSUSPND コマンドを実行してから，再度 ATTIME サスペンド時刻を設定してください。	○	-	-	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
2311	コピーペア状態が SIMPLEX であるため，コピーペアを解除できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2312	SI コピーペアの S-VOL がオンラインのため，コマンドを実行できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2313	コピーペア状態が Split であるため，SI コピーペアをサスペンドできません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2314	コピーペア状態が Split であるため，SI コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2316	P-VOL に Soft Fence が設定されているため，Volume Migration ペアを操作できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2317	S-VOL に Soft Fence が設定されているため，Volume Migration ペアを操作できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
231B	次のどちらかの要因のため，SI コピーペアの状態遷移ができません。 • P-VOL を共有しているほかのコピーペアの状態が SUSPVS です。 • P-VOL を共有している FlashCopy ペアがあります。	○	-	-	-	-	-	-	-
231F	P-VOL がオンラインのため，SI コピーペアを再同期できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
232A	プログラムプロダクトの課金容量を超過したため，SI コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2331	次の要因のため，SI コピーペアを形成できません。 • P-VOL と S-VOL のボリュームサイズが異なっています。 • コピーペア形成のための SM 容量が不足しています。	○	-	-	-	-	-	-	-
2332	P-VOL のコピーペア多重度を超過したため，SI コピーペアの状態遷移ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2333	コピーペア状態が SIMPLEX であるため，SI コピーペアをサスペンドまたは解除できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2334	指定したボリュームのエミュレーションタイプがサポートされていないため，SI コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2335	ボリュームの RAID レベルまたはエミュレーションタイプがサポートされていないため，SI コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2336	P-VOL と S-VOL のドライブエミュレーションタイプの組み合わせが適切でないため，SI コピーペアの状態遷移ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2337	P-VOL に指定されたボリュームがすでに S-VOL であるため，SI コピーペアの状態遷移ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
233A	コピーペア状態が SIMPLEX であるため，SI コピーペアを再同期できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
233F	TC/TCA のコピーペアがサスペンド状態でないため，SI コピーペアを Reverse 指定で再同期ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2343	S-VOL として指定されたボリュームがすでに SI コピーペアの S-VOL であるため，SI コピーペアの状態遷移ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2344	状態遷移ができないコピーペア状態のため，SI コピーペアの状態遷移ができません。次の要因が考えられます。 ・ S-VOL として指定されたボリュームは SI コピーペアの P-VOL です。 ・ S-VOL として指定されたボリュームのコピーペア状態が SIMPLEX です。	○	-	-	-	-	-	-	-
2346	S-VOL として指定されたボリュームが TC/TCA コピーペアの P-VOL であるため，SI コピーペアの状態遷移ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2347	S-VOL として指定されたボリュームが TC/TCA コピーペアの S-VOL であるため，SI コピーペアの状態遷移ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
234A	S-VOL として指定されたボリュームが，すでに SI コピーペア，または FlashCopy の P-VOL であるため，SI コピーペアの状態遷移ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2351	P-VOL に指定したボリュームと S-VOL に指定したボリュームが同一のボリュームのため，SI コピーペアの状態遷移ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2352	P-VOL と S-VOL がオンラインになっているため，SI コピーペアを Reverse/Quick 指定で再同期できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2353	コピーペア状態が V-Split であるため，SI コピーペアを解除できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2354	コピーペア状態が Pending であるため，SI コピーペアを再同期できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2358	次のどちらかの要因のため，SI コピーペアの状態遷移ができません。 ・ P-VOL または S-VOL を共有するほかのコピーペアの状態が TRANS です。 ・ P-VOL または S-VOL を共有する FlashCopy ペアがあります。	○	-	-	-	-	-	-	-
235B	P-VOL が，サスペンド状態でない TC/TCA コピーペアの P-VOL のため，SI コピーペアを Reverse/Quick 指定で再同期できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
235C	P-VOL が，サスペンド状態でない TC/TCA コピーペアの S-VOL のため，SI コピーペアを Reverse/Quick 指定で再同期できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
235D	S-VOL が，サスペンド状態でない TC/TCA コピーペアの P-VOL のため，SI コピーペアを Reverse/Quick 指定で再同期ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
2370	指定されたボリュームが実装されていないため，SI コピーペアの状態遷移ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2371	P-VOL として指定されたボリュームがシステム常駐ボリュームのため，SI コピーペアの形成ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2373	P-VOL として指定されたボリュームがコマンドデバイスであるため，SI コピーペアの状態遷移ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
237B	次の要因をすべて満たしているため，SI コピーペアを再同期(QuickRestore)できません。 ・ 指定した P-VOL が内部ボリュームです。 ・ 指定した S-VOL が外部ボリュームです。 ・ 指定した P-VOL が TC の P-VOL との共用構成です。	○	-	-	-	-	-	-	-
2381	S-VOL として指定されたボリュームがシステム常駐ボリュームのため，SI コピーペアの形成ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2383	S-VOL として指定されたボリュームがコマンドデバイスであるため，SI コピーペアの状態遷移ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2390	P-VOL として指定されたボリュームは Quick Format 中であるため，SI コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2391	S-VOL として指定されたボリュームは Quick Format 中であるため，SI コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2394	指定された C/T グループ内のコピーペア数が，1C/T グループのコピーペア数の上限値を超過したため，SI コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2395	SI の P-VOL として指定されたボリュームが，P-VOL を共有しているほかのコピーペアと Reverse Resync 状態のため，SI コピーペアの状態遷移ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2398	コピーペア状態が Split でないため，SI コピーペアを再同期（Reverse を含む）できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
2399	P-VOL または S-VOL を共有しているほかのコピーペアが，サスペンド状態でないか，または FlashCopy のペアであるため，SI コピーペアの状態遷移ができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
239A	指定した P-VOL が TC コピーペアの P-VOL であるため，SI コピーペアを再同期（Reverse 含む）できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
239B	指定した P-VOL が TC コピーペアの S-VOL であるため，SI コピーペアを再同期（Reverse 含む）できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
239C	指定した S-VOL が TC コピーペアの P-VOL であるため，SI コピーペアを再同期（Reverse 含む）できません。	○	-	-	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
239D	指定した P-VOL が LDEV ガードで Protect が設定されているため，コマンドを実行できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
239E	指定した S-VOL が LDEV ガードで Protect が設定されているため，コマンドを実行できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
23A0	次の要因のため，コマンドを実行できません。 ・ 指定したボリュームと受け付けボリュームが不整合です。 ・ 指定した C/T グループ ID 内と TC の S-VOL を共用しているコピーペアが存在し，ATTIME サスペンド機能を実行できません。 ・ P-VOL が Non Gen'ed ボリュームのため，ATTIME サスペンド機能を実行できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
23B1	次のどちらかの要因のため，SI コピーペアを解除できません。 ・ 誤った P-VOL または S-VOL が指定されました。 ・ SI コピーペアの P-VOL を指定したがすでに Simplex 状態で，かつ指定した P-VOL が Duplex 状態の TC コピーペアの S-VOL です。	○	-	-	-	-	-	-	-
23BB	指定した S-VOL に LDEV セキュリティが設定されているため，SI コピーペアを形成できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
23EF	指定した SI コピーペアが SUSPVS 状態のため，SI コピーペアを解除できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
23F1	指定された C/T グループ ID が有効範囲外のため，コマンドを実行できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
23F2	次の要因のため，コマンドを実行できません。 ・ 指定された C/T グループ ID が登録されていません。 ・ コピーペア状態が SIMPLEX です。 ・ 指定した C/T グループのコピーペアは，Command Control Interface を使用して SI の C/T グループ ID 指定でコピーペア形成されています。	○	-	-	-	-	-	-	-
23F3	指定された ATTIME サスペンド時刻が過去の時刻のため，コマンドを実行できません。	○	-	-	-	-	-	-	-
23F4	次の要因のため，ATTIME サスペンド時刻情報の取得要求コマンドを実行できません。 ・ コマンドの発行先が P-VOL です。 ・ コピーペア状態が SIMPLEX です。 ・ コピーペアが C/T グループに属していません。 発行したコマンド，およびコピーグループ定義ファイルで定義している構成が正しいか確認してください。	○	-	-	-	-	-	-	-
23F5	ATTIME サスペンド時刻が設定されているため，コマンドを実行できません。コピーグループ定義ファイルで定義している構成を変更する場合は，変更前に ATTIME サスペンドを解除してください。	○	-	-	-	-	-	-	-
23FF	指定した SI コピーペアが状態遷移できない状態のため，状態遷移できません。	○	-	-	-	-	-	-	-

表 3-3 エラーコード一覧（36xx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
3613	指定した調停コマンドデバイスは調停コマンドデバイスではないため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3614	次の要因のため，EXCTG 登録できません。 ・ 指定した調停コマンドデバイスを定義していません。 ・ 指定した調停コマンドデバイスが閉塞しています。	-	-	-	○	-	-	-	-
3616	登録対象のジャーナルグループが EXCTG から削除対象となっているため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3617	状態遷移中のため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3618	EXCTG 内に M-JNL グループと R-JNL グループが混在しているため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3621	指定した調停コマンドデバイスに割り当てられるジャーナルグループ数の上限を超えたため，EXCTG 登録できません。別の調停コマンドデバイスを用いて操作をやり直してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
3640	一時的なパス障害で EXCTG 登録できません。再度操作してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
3641	指定した EXCTG ID, ジャーナル ID, ミラー ID が不正のため, EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3642	ジャーナルグループ属性が不正のため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3680	登録対象のジャーナルグループがないため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3681	登録対象のジャーナルグループのミラー ID が指定したミラー ID と異なるため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3682	登録対象のジャーナルグループの属性と EXCTG 属性が異なるため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3685	指定したストレージシステムの機種名が不正のため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3686	登録対象のジャーナルグループはすでにほかの EXCTG に登録されているため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3688	次の要因のため，EXCTG 登録できません。 ・ 指定したジャーナルグループのミラー状態が Active でも Stop でもありません。 ・ Desaster Recovery Extended プログラムプロダクトがインストールされていません。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
	• 指定したジャーナルグループは，URの Open/MF コンシステンシーグループに登録済みです。 • 指定したジャーナルグループは，3DC (URxUR)構成で使用する設定をしたジャーナルグループです。								
3689	登録対象のジャーナルグループの属性と EXCTG の属性が異なるため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
368A	登録対象のジャーナルグループのタイマタイプが System でないため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3694	指定した調停コマンドデバイスはシリアル番号とデバイスの組み合わせが不正であるため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3695	登録対象のジャーナルグループは OPEN のジャーナルグループのため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-

表 3-4 エラーコード一覧（37xx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
3703	ジャーナルボリュームに PIN データがあるため，URコピーペアを再同期（PREPARE パラメタ指定）できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3704	指定した M-JNL グループと R-JNL グループのエミュレーションタイプが異なるため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3705	S-VOL 側の装置がデルタリシンク機能をサポートしていないため，デルタリシンクを行うコマンドを実行できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3706	コマンド発行先のボリュームが TC コピーペアの S-VOL で，かつコピーペア状態が Duplex でないため，デルタリシンクペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3707	次のどちらかの要因のため，デルタリシンクを実行できません。 • コマンド発行先のボリュームが TC コピーペアの P-VOL で，かつコピーペア状態が Duplex ではありません。 • コマンド発行先のボリュームが TC コピーペアの S-VOL で，かつコピーペア状態が SSWS ではありません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3709	指定した R-JNL グループ中に，デルタリシンクペアに指定したミラーID 以外での URコピーペアがないため，デルタリシンクを行うコマンドを実行できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
370B	指定した P-VOL が，HOLD 状態でも HOLDTRNS 状態でもないため，URコピーペアを再同期（DELTAJNL パラメタ指定）できません。または，指定した P-VOL が，HOLD 状態，HOLDTRNS 状態，および NODELTA 状態のどれでもないため，URコピーペアを再同期（ALLJNL パラメタ指定）できません。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
370C	次の要因のため，UR コピーペアの形成または再同期ができません。 ・ 指定した M-JNL グループまたは R-JNL グループが状態遷移できない状態です。 ・ 指定した M-JNL グループまたは R-JNL グループが状態遷移中です。	-	-	-	○	-	-	-	-
370D	ジャーナルボリュームがアクセスできない状態のため，UR コピーペアを再同期（PREPARE パラメタ指定）できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3711	ジャーナルボリュームが閉塞しているため，UR コピーペアを再同期（PREPARE パラメタ指定）できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3726	P-VOL として指定されたボリュームがシステム常駐ボリュームのため，UR コピーペアの形成ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3728	異なる機種間で形成しようとしているコピーペアに，サポートされていないボリュームを指定しているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3729	MCU に Disaster Recovery Extended プログラムプロダクトがインストールされていないため，TC と連携した UR コピーペアの形成ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
372C	P-VOL が閉塞しているため，UR コピーペアを形成または再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3734	UR コピーペアの P-VOL が次の条件をすべて満たしているため，UR コピーペアの再形成ができません。 ・ FlashCopy の S-VOL です。 ・ C/T グループ ID 指定の TC コピーペアの P-VOL であり，その TC コピーペアはサスペンド状態です。	-	-	-	○	-	-	-	-
3735	UR コピーペアの P-VOL が FlaschCopy の S-VOL であり，その FlaschCopy に障害が起きているおそれがあるため，UR コピーペアの再形成ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3737	3DC (URxUR)構成で，指定した UR コピーペアと別のミラー ID が定義された UR コピーペアが過渡状態（Suspending または Deleting）であるため，UR コピーペアを操作できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3738	MCU に Disaster Recovery Extended プログラムプロダクトがインストールされていないため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3739	次の要因をすべて満たしているため，UR コピーペアを形成できません。 ・ 別のミラー ID が定義された UR コピーペアがあります。 ・ 指定した S-VOL の属するジャーナルグループは，3DC (URxUR)構成で使用する設定になっていません。	-	-	-	○	-	-	-	-
373D	3DC (URxUR)構成の場合で，指定した UR コピーペアの S-VOL は，次に示すプログラムプロダクトで使用されているため，UR コピーペアを形成できません。 ・ TC ・ FCV2/FCSE ・ Volume Migration ・ HDP MF の POOL ボリューム	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
373E	3DC Cascade (URxUR)構成で，中間サイトとリモートサイト間の URコピーグループのミラー状態が Initial でも Stop でもないため，プライマリサイトと中間サイト間の UR コピーペアを操作できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3744	指定した UR コピーペアの P-VOL は，別のプログラムプロダクトで使用されているため，3DC (URxUR)構成で UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3745	指定した M-JNL は 3DC (URxUR)構成を使用する設定になっていないため，3DC Cascade (URxUR)構成で，プライマリサイトと中間サイト間の UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
374A	指定した P-VOL は，現在のマイクロコードバージョンでサポートされていない容量のボリュームのため，UR コピーペアを形成または再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3753	3DC 構成をサポートしていないストレージシステムがあるため，3DC 構成の UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3755	次の要因のため，UR コピーペアを再同期できません。 ・ 指定した S-VOL は，別のミラー ID の UR コピーペアの S-VOL に使用されています。 ・ 指定した S-VOL を使用している別の UR コピーペアが SWAPPING 状態ではありません。	-	-	-	○	-	-	-	-
3756	セカンダリストレージシステムが 0 以外のパスグループ ID をサポートしていないため，パスグループ ID に 0 以外を指定した UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
376B	次のどちらかの要因で差分領域を確保できないため，UR コピーペアを形成または再同期できません。 ・ プライマリサイトの共用メモリ領域が不足しています。 ・ 指定した P-VOL の HDP MF プールが不足しています。	-	-	-	○	-	-	-	-
37B8	指定した S-VOL のコピーペア状態が SIMPLEX のため，UR コピーペアを操作できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
37BB	P-VOL に Soft Fence が設定されているため，UR コピーペアを操作できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
37BC	S-VOL に Soft Fence が設定されているため，UR コピーペアを操作できません。	-	-	-	○	-	-	-	-

表 3-5 エラーコード一覧（46xx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
4600	次の要因のため，UR コピーペアを形成できません。 ・ パラメタのプライマリストレージシステムのシリアル番号が自ストレージシステムのシリアル番号と異なります。 ・ パラメタの P-VOL の SSID が自ストレージシステムの SSID と異なります。 ・ パラメタで指定した CU 番号がサポートされていません。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
4601	次の要因のため，URコピーペアをサスペンドできません。 ・ パラメタのP-VOLのSSIDが自ストレージシステムのSSIDと異なります。 ・ パラメタのS-VOLのSSIDが自ストレージシステムのSSIDと異なります。	-	-	-	○	-	-	-	-
4602	次の要因のため，URコピーペアを再同期できません。 ・ パラメタのP-VOLのSSIDが自ストレージシステムのSSIDと異なります。 ・ パラメタのS-VOLのSSIDが自ストレージシステムのSSIDと異なります。	-	-	-	○	-	-	-	-
4603	次の要因のため，URコピーペアを解除できません。 ・ パラメタのP-VOLのSSIDが自ストレージシステムのSSIDと異なります。 ・ パラメタのS-VOLのSSIDが自ストレージシステムのSSIDと異なります。	-	-	-	○	-	-	-	-
4606	指定されたCU番号がサポートされていないため，URコピーペアの状態取得ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4607	指定されたCU番号がサポートされていないため，URコピーペアの一括ペア状態取得ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4608	指定されたCU番号がサポートされていないため，URのジャーナルグループ稼働情報を取得できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
460B	指定した調停コマンドデバイス番号(未実装値)，EXCTG ID，ミラーID，ジャーナルID，シリアル番号のどれかが不正のため，EXCTG登録／削除ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
460C	コピーグループ定義に定義されているC/Tグループ属性と，指定した装置に設定されているC/Tグループ属性が一致しないため，コピーペアを再同期できません。	-	○	-	-	-	-	-	-
4612	指定されたP-VOLがURのコピーペア形成済みのため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4613	指定されたM-JNLグループが登録されていないため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4614	指定されたプライマリストレージシステムとセカンダリストレージシステム間で論理パスが確立されていないため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4615	I/O実行ボリュームとパラメタで指定したP-VOLが一致しないため，URコピーペアの状態遷移ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4616	指定したプライマリストレージシステムのシリアル番号およびセカンダリストレージシステムのシリアル番号と自ストレージシステムのシリアル番号がどれも一致しないため，URコピーペアをサスペンド，再同期，または解除できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4617	指定したボリュームがURコピーペアでないため，URコピーペアをサスペンド，再同期，または解除できません。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
4618	Volume 指定かつ Purge 指定のため，UR コピーペアをサスペンドできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4619	P-VOL に発行したため，TC/TCA/UR コピーペアを Reverse 指定でサスペンドできません。	-	○	○	○	-	-	-	-
461A	P-VOL に発行したため，TC/TCA/UR コピーペアを Reverse 指定で再同期できません。	-	○	○	○	-	-	-	-
461E	次の要因のため，コマンドデバイスを定義できません。 ・ リモート制御コマンド実行中のコマンドデバイスです。 ・ TC/TCA でコピーペア形成されているボリュームです。	-	-	-	-	○	-	-	-
461F	次の要因のため，コマンドデバイスを削除できません。 ・ リモート制御コマンド実行中のコマンドデバイスです。 ・ TC/TCA でコピーペア形成されているボリュームです。	-	-	-	-	○	-	-	-
4621	リモート DKC 制御機能がサポートされていないため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
4630	3 サイト機能がサポートされていないため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
4633	P-VOL または S-VOL の属性が実際のボリュームの属性と異なるため，UR コピーペアの状態遷移ができません。コマンド実行前に YKQUERY コマンドを実行していないため，拒否されたおそれがあります。	-	-	-	○	-	-	-	-
4639	指定したボリュームが UR コピーペアのボリュームまたはジャーナルボリュームであるため，コマンドデバイスを定義できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
463C	次のどちらかの要因のため，サスペンドモードが Quick モードである UR ATTIME サスペンド予約は実行できません。 ・ Quick モードの UR ATTIME サスペンド機能をサポートしていないストレージシステムがあります。 ・ Quick モードの UR ATTIME サスペンド機能をサポートしているマイクロに交換中のストレージシステムがあります。	-	-	-	-	○	-	-	-
4645	P-VOL, S-VOL 間の論理パスが確立されていないため，TC/TCA コピーペアの状態遷移ができません。	-	○	○	-	-	-	-	-
4649	指定したストレージシステムは TCA をサポートしていないため，TCA コピーペア操作は実行できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4650	操作範囲にボリュームを指定しているため，デルタリシンクを実行できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4651	コピー方向が逆転するデルタリシンクは実行できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4660	次のどちらかの要因のため，UR ATTIME サスペンド時刻を設定できません。 ・ パラメタが不正です。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
	• QUICK モードの UR ATTIME サスペンド機能をサポートしていないストレージシステムがあります。								
4661	共有メモリが実装されていないため，UR ATTIME サスペンド時刻を設定できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4662	指定したボリュームは UR コピーペアの S-VOL ではないため，UR ATTIME サスペンド時刻を設定できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4663	次のどちらかの要因のため，UR ATTIME サスペンド時刻を設定できません。 • UR コピーペアの状態が Simplex です。 • デルタリシンク用の UR コピーペアです。	-	-	-	○	-	-	-	-
4665	指定した R-JNL グループのタイマタイプが System でないため，UR ATTIME サスペンド時刻を設定できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4668	指定した R-JNL グループにはすでに 3 世代分のサスペンド時刻が設定されているため，UR ATTIME サスペンド時刻を設定できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4669	指定した SI コピーペアの C/T グループには，すでに別のサスペンド時刻が設定されているため，UR ATTIME サスペンド時刻を設定できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
466A	次の要因のため，UR ATTIME サスペンド時刻を設定できません。 • 指定した時刻はコンシステンシー時刻よりも過去の時刻です。 • タイマ種別を Local から System に切り替えたあと，UR コピーペアを再同期していないためタイマ種別が Local のままです。 タイマ種別を Local から System に切り替える場合，UR コピーペアをサスペンドさせる必要があります。その際，UR ATTIME サスペンド時刻を設定済みのときは，次の手順で再度 UR ATTIME サスペンド時刻を設定してください。 1. UR コピーペアをサスペンド 2. タイマ種別を変更 3. UR コピーペアを再同期 4. 再度 UR ATTIME サスペンド時刻を設定	-	-	-	○	-	-	-	-
466B	指定した SI コピーペアの C/T グループ ID が不正なため，UR ATTIME サスペンド時刻を設定できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4672	電源オフ処理中のため，UR ATTIME サスペンド時刻を設定できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4678	次の要因のため，UR ATTIME サスペンド時刻を設定できません。 • 指定したボリュームは SI コピーペアを構成するボリュームではありません。 • 指定した C/T グループには，指定したボリュームを含む SI コピーペアがありません。 • 指定した C/T グループは，BC Manager で作成した SI コピーペアで使用している C/T グループではありません。	-	-	-	○	-	-	-	-
467A	指定した SI の C/T グループにはすでに UR ATTIME サスペンド時刻が設定されているため，NORMAL ATTIME サスペンド時刻を設定できません。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
467B	指定した SI の C/T グループにはすでに NORMAL ATTIME サスペンド時刻が設定されているため，UR ATTIME サスペンド時刻を設定できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
467C	指定した SI の C/T グループ内に Duplex 以外のコピーペアがあるため，UR ATTIME サスペンド時刻を設定できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4681	指定した SI の C/T グループに UR ATTIME サスペンド時刻が設定されているため，SI コピーペアを形成，再同期，またはサスペンドできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4684	指定したボリュームは UR の Open/MF コンシステンシーグループで使用されているため，UR ATTIME サスペンド時刻を設定できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
4687	指定したボリュームは S-VOL でないため，UR コピーペアの SWAPPING 状態を解除するサスペンドができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
46B0	パラメタ不正があるため，LDEV の稼働情報を取得できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
46B2	パラメタ不正があるため，MPB の稼働情報を取得できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
46B6	パラメタ不正があるため，パリティグループの稼働情報を取得できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
46B8	パラメタ不正があるため，ポートの稼働情報を取得できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
46BA	パラメタ不正があるため，MP 使用率上位 20 のリソースについての情報を取得できません。	-	-	-	-	-	-	-	○

表 3-6 エラーコード一覧（47xx – 49xx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
47A3	次の要因のため，TC/TCA コピーペアを SVOL(PERMIT) または Reverse Resync 指定でサスペンドできません。 ・ 指定した P-VOL と S-VOL のサイズが異なります。 ・ Revers Resync 指定の場合，指定した P-VOL のエミュレーションタイプが 3390-A 以外で，かつ指定した S-VOL のエミュレーションタイプが 3390-A です。 ・ Revers Resync 指定の場合，指定した P-VOL のエミュレーションタイプが 3380-A 以外で，かつ指定した S-VOL のエミュレーションタイプが 3380-A です。	-	○	○	-	-	-	-	-
47A4	C/T グループ ID または C/T グループタイマタイプが不正なため，TCA コピーペアを Reverse 指定で再同期できません。	-	-	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
47A6	S-VOL が Reverse Resync 状態のサスペンドではないため，TC/TCA コピーペアを Reverse 指定で再同期できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
47A7	指定したボリュームが S-VOL でないため，TC/TCA コピーペアの次のサスペンドができません。 • コピー方向が逆転するサスペンド • SWAPPING 状態を解除するサスペンド	-	○	○	-	-	-	-	-
47BA	指定したボリュームが SI コピーペアの S-VOL であるか，または介入要求のため，TC/TCA コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
4993	指定したボリュームが S-VOL であるため，TC または TCA コピーペアに対して Flush 指定のサスペンドができません。	-	○	○	-	-	-	-	-
4995	コマンド発行先が TCA コピーペアでないため，Flush 指定のサスペンドができません。	-	-	○	-	-	-	-	-
49F8	TCA の ATTIME サスペンド時刻が設定されているため，このコピーグループのコピーペアを形成できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
49F9	TCA の ATTIME サスペンド時刻が設定されているため，このコピーグループのコピーペアを再同期できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
49FA	TCA の ATTIME サスペンド時刻が設定されているため，このコピーグループのコピーペアをサスペンドできません。	-	-	○	-	-	-	-	-

表 3-7 エラーコード一覧（4Axx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
4A08	TCA の C/T グループオプション変更で指定した C/T グループ ID が不正です。	-	-	○	-	-	-	-	-
4A0B	TCA の C/T グループオプション変更で指定した C/T グループ ID が登録されていません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4A0C	この C/T グループにコピーペアがあるため，TCA の C/T グループタイマタイプ(SYSTEM/LOCAL/NONE)が変更できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4A30	TCA コピーグループで定義されている C/T グループ ID と，該当するコピーペアで設定されている C/T グループ ID が一致しません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4A31	次の要因のため，コピーペア再同期ができません。 • TCA のコピーグループに対して，TC コピーペアの再同期を実行しました。 • TC のコピーグループに対して，TCA コピーペアの再同期を実行しました。	-	○	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
4A33	TCA コピーグループで定義されている C/T グループ ID が登録されていません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4A34	P-VOL がすでにコピーペア形成されているため，TCA コピーペアを形成できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4A36	該当する C/T グループ ID が RCU 側で登録されていないため, TCA コピーペアを再同期できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4A37	指定した P-VOL がコピーペア形成されていないため, TCA コピーペアを再同期できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4A45	該当する C/T グループ内に解除中またはサスペンド中のコピーペアがあるため，TCA コピーペアを形成または再同期できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4A50	P-VOL が該当する C/T グループ ID で形成されていないため，TCA コピーペアを再同期できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4A5C	TCA のプログラムプロダクトがインストールされていないため，TCA コピーペアを形成できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4A82	TCA のプログラムプロダクトがインストールされていないため，C/T グループを登録できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4A8B	TC/TCA コピーペアの状態が不正なため，コマンドを実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
4A8C	TC/TCA コピーペアの状態が変更中のため，コマンドを実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
4A8D	TC/TCA コピーペアの状態が不正なため，コマンドを実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
4A8E	TC/TCA コピーペアの状態が変更中のため，コマンドを実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
4A96	指定した P-VOL が属する CLPR と, すでに登録されている C/T グループの CLPR が異なるため，TC/TCA コピーペアを形成できません。CLPR については, ストレージシステムのマニュアルを参照してください。	-	○	○	-	-	-	-	-
4AB7	該当するグループ内に解除中またはサスペンド中のコピーペアがあるため，TCA コピーペアを形成または再同期できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4ABD	該当するグループ内に，SIMPLEX 状態でもサスペンド状態でもないコピーペアがあるため，TCA の C/T グループ定義で変更されたオプションが更新できません。	-	-	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
4AC7	TCA のプライマリサイトで指定した C/T グループ ID はセカンダリサイトで使用中のため，登録できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4AE2	TCA ですでに登録されている C/T グループの TrueCopy 種別(MF/OPEN)と，コマンドで指定した C/T グループの TrueCopy 種別が一致しません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4AF0	指定したボリュームに Soft Fence が設定されているため，パス確立，またはパス削除ができません。	-	-	-	-	-	○	-	-
4AF1	指定したボリュームに Soft Fence が設定されているため，パスが削除できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
4AF3	指定したボリュームに Soft Fence が設定されているため， TC コピーペアをサスペンドできません。	-	○	-	-	-	-	-	-
4AF4	指定したボリュームに Soft Fence が設定されているため， TC コピーペアを解除できません。	-	○	-	-	-	-	-	-
4AF5	指定したボリュームに Soft Fence が設定されているため, TC コピーペアを形成できません。	-	○	-	-	-	-	-	-
4AFB	指定した S-VOL が属する CLPR と, すでに登録されている C/T グループの CLPR が異なるため，TC/TCA コピーペアを形成できません。CLPR については, ストレージシステムのマニュアルを参照してください。	-	○	○	-	-	-	-	-

表 3-8 エラーコード一覧（4Bxx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
4B02	状態遷移ができないコピーペア状態のため, コピーペアを再同期できません。次の要因が考えられます。 • コピーグループ定義では C/T グループ ID 指定のコピーグループですが，実際のコピーグループは C/T グループ ID 指定なしのコピーグループのため，再同期できません。 • C/T グループ ID 指定ありで Open/MF コンシステンシー属性なしのコピーグループから，C/T グループ ID 指定なしのコピーグループへ変更する再同期はできません。 • C/T グループ ID 指定なしのコピーグループから C/T グループ ID 指定ありで Open/MF コンシステンシー属性なしのコピーグループへ変更する再同期はできません。 • コピーペア状態が SIMPLEX です。	-	○	-	-	-	-	-	-
4B03	C/T グループ ID が異なるため，C/T グループ ID 指定の TC コピーグループに含まれるコピーペアを再同期できません。	-	○	-	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
4B04	P-VOL がコマンドデバイスのため，TC/TCA コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
4B06	状態遷移ができないコピーペア状態のため，C/T グループ ID 指定の TC コピーグループに含まれるコピーペアをサスペンドできません。次の要因が考えられます。 ・ 指定したボリュームが，C/T グループ ID 指定の TC コピーグループに含まれていません。 ・ 指示したボリュームの Open/MF コンシステンシー属性がコピーグループ定義情報と異なります。 ・ コピーペア状態が SIMPLEX です。	-	○	-	-	-	-	-	-
4B07	C/T グループ ID が異なるため，C/T グループ ID 指定の TC コピーグループに含まれるコピーペアをサスペンドできません。	-	○	-	-	-	-	-	-
4B09	状態遷移ができないコピーペア状態のため，C/T グループ ID 指定の TC コピーグループに含まれるコピーペアを解除できません。次の要因が考えられます。 ・ 指定したボリュームが，C/T グループ ID 指定の TC コピーグループに含まれていません。 ・ コピーペア状態が SIMPLEX です。	-	○	-	-	-	-	-	-
4B0A	C/T グループ ID が異なるため，C/T グループ ID 指定の TC コピーグループに含まれるコピーペアを解除できません。	-	○	-	-	-	-	-	-
4B0B	FREEZE または SCP 状態でないため，C/T グループ ID 指定の TC コピーグループの RUN（FREEZE 解除）を実行できません。 このエラーは YKFREEZE コマンド実行時に TIMEOUT パラメタに指定した時間が経過したあと，YKRUN コマンドを実行した場合にも報告されます。 ・ YKFREEZE コマンド実行後，YKRUN コマンドを実行する前に実行時間の長いコマンド（YKQUERY，YKEWAIT コマンドなど）を実行していないか確認してください。 ・ OS や，BC Manager などのアプリケーションが制御用に使用するシステムボリュームがコピーグループに含まれているため，BC Manager が FREEZE していないか確認してください。	-	○	-	-	-	-	-	-
4B0F	TIMEOUT 指定値が範囲外のため，C/T グループ ID 指定の TC コピーグループの FREEZE を実行できません。	-	○	-	-	-	-	-	-
4B10	指定したボリュームが P-VOL でないため，C/T グループ ID 指定の TC コピーグループの FREEZE を実行できません。	-	○	-	-	-	-	-	-
4B11	C/T グループ ID 指定の TC コピーグループの FREEZE を実行できません。次の要因が考えられます。 ・ 指定したボリュームが，C/T グループ ID 指定の TC コピーグループに含まれていません。 ・ 指定したボリュームは Open/MF コンシステンシー維持機能を使用しています。 ・ コピーペア状態が SIMPLEX です。	-	○	-	-	-	-	-	-
4B14	指定したボリュームが P-VOL でないため，C/T グループ ID 指定の TC コピーグループの RUN（FREEZE 解除）を実行できません。	-	○	-	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
4B15	C/T グループ ID 指定の TC コピーグループの RUN（FREEZE 解除）を実行できません。次の要因が考えられます。 ・ 指定したボリュームが，C/T グループ ID 指定の TC コピーグループに含まれていません。 ・ 指定したボリュームは Open/MF コンシステンシー維持機能を使用しています。 ・ コピーペア状態が SIMPLEX です。	-	○	-	-	-	-	-	-
4B32	指定した P-VOL は次のどれかに当てはまるため，コピーペアを形成，または再同期できません。 ・ FlashCopy で使用されています。 ・ FlashCopy SE で使用されています。 ・ TSE-VOL です。	-	○	○	-	-	-	-	-
4B35	指定した MCU の CU 番号がサポートされていないため，パスを設定できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
4B36	指定した MCU のポート番号がサポートされていないため，パスを設定できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
4B37	指定した RCU のポート番号がサポートされていないため，パスを設定できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
4B38	指定した RCU の CU 番号がサポートされていないため，パスを設定できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
4B49	指定したストレージシステムまたは CU（SSID）とコマンド発行先のストレージシステムとの間にパスが設定されていない，またはパスが障害状態であるため，リモートコマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	○	-	○
4B85	指定したボリュームが FlashCopy のペアのため，C/T グループ ID を指定した TC コピーペアを形成できません。	-	○	-	-	-	-	-	-
4B86	指定したボリュームが FlashCopy のペア，かつ，差分管理単位がシリンダのため，TC のコピーペアを形成できません。	-	○	-	-	-	-	-	-
4BA9	指定した CTID がストレージシステムに登録されていないため,TCA コピーペアを形成できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
4BB1	指定したボリュームが TC コピーペアでないため，タイムスタンプ転送モードの TC コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
4BB2	指定したボリュームが XRC のペアのため，タイムスタンプ転送モードの TC コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
4BD1	指定した C/T グループ ID の値が不正であるため，Open/MF コンシステンシー維持機能を使用するように変更する TC コピーペア再同期ができません。	-	○	-	-	-	-	-	-
4BD2	指定したボリュームは Open/MF コンシステンシー維持機能をサポートしていないため，TC コピーペア形成，および再同期ができません。	-	○	-	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
4BDE	ローカルストレージシステムまたはリモートストレージシステムがCU 間論理パスをサポートしていないため，指定された操作は実行できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
4BE0	MCU に TC コピーペアに必要な SM が実装されていないため，TC コピーペアを形成できません。	-	○	-	-	-	-	-	-

表 3-9 エラーコード一覧（50xx – 6Exx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
501C	指定したボリュームはジャーナルボリュームであるため，コマンドデバイスを定義できません。または，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
501F	ストレージシステムが高負荷状態のため，コマンドがタイムアウトとなり実行できませんでした。	-	-	-	-	-	-	-	○
64E2	定義された APID と異なる APID のため，コマンドデバイスを削除できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
64E3	コマンドデバイスが設定されていないため，リモート DKC 制御機能を実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
64E8	指定した CU 番号がサポートされていないため，コマンドデバイスを定義できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
64EA	コマンドデバイスを含む CU 同士でパスが設定されていません。	-	-	-	-	○	-	-	-
64EE	FREEZE コマンドをサポートしていないホストが接続されているため，C/T グループ ID 指定の TC コピーグループに対する FREEZE コマンドを実行できません。	-	○	-	-	-	-	-	-
64FA	ホスト ID が無効（範囲外）なため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
64FB	次のどれかの要因のため，コマンドデバイスを定義できません。 • 該当するボリュームが実装されていません。 • 該当するボリュームがオンラインになっています。 • 該当するボリュームがシステム常駐ボリュームです。 • 該当するボリュームのエミュレーションタイプが 3390-V です。 • 該当するボリュームが SI/TC/TCA/UR/FlashCopy などのほかのプログラムプロダクトで使用されています。 • 該当するボリュームのエミュレーションタイプが 6588-A です。	-	-	-	-	○	-	-	-
64FC	次のどちらかの要因のため，コマンドデバイスを再定義できません。 • すでに定義されている APID と新たに定義しようとした APID が一致しません。	-	-	-	-	○	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
	• すでに定義されているサイト種別（P/L/R）と新たに定義しようとしたサイト種別（P/L/R）が一致しません。 P サイト : BC Manager が直接指示したストレージシステム L サイト : P サイトのストレージシステムからリモートで指示したストレージシステム R サイト : L サイトのストレージシステムからリモートで指示したストレージシステム								
64FD	ほかのデバイスに，APID が同じコマンドデバイスが定義されているため，コマンドデバイスを定義できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
64FF	パラメタで指定した APID が，コマンドデバイスで定義している APID と一致しないため，コマンドデバイスを定義できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
69E4	パラメタエラーです。ストレージシステムの構成変更，マイクロ交換後の操作で発生する場合があります。 その場合，BC Manager でストレージシステムを再スキャンし，ボリューム情報を取得し直してください。	-	-	-	○	-	-	-	○
69E6	パラメタ不正があるため，パスを削除できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
69E7	次のどちらかの要因のため，コマンドを実行できません。 • 指定したボリュームが実装されていないため，コマンドを実行できません。 • Volume Retention Manager によって Protection 属性が設定されています。	-	-	-	-	-	-	-	○
69E8	指定したボリュームが閉塞しているため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
69E9	次のどれかの要因のため，コマンドを実行できません。 • 該当するボリュームが Simplex 状態です。 • 該当するボリュームが TCA のコピーペアではありません。 • 該当するボリュームが P-VOL ではありません。	-	-	○	-	-	-	-	-
69F2	パラメタ不正があるため，パスを確立できません。 • ストレージシステムのシリアル番号が間違っています。 • SSID が間違っています。 • CU 番号がサポートされていません。	-	-	-	-	-	○	-	-
69F3	次のどれかの要因のため，コピーペアを形成または再同期できません。 • P-VOL のストレージシステムのシリアル番号が間違っています。 • P-VOL の SSID が間違っています。 • CU 番号がサポートされていません。 • Open/MF コンシステンシー維持機能をサポートしていないストレージシステムがあります。	○	○	○	-	-	-	-	-
69F5	指定したボリュームは S-VOL のため，コピーペアの状態遷移ができません。	-	○	○	-	-	-	-	-
69F7	次のどちらかの要因のため，コピーペアをサスペンドできません。 • パラメタに不正があります。 • Open/MF コンシステンシー維持機能をサポートしていないストレージシステムがあります。	○	○	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
69F8	パラメタ不正があるため，コピーペアをサスペンドできません。	○	-	-	-	-	-	-	-
69F9	パラメタ不正があるため，コピーペアを解除できません。	○	○	○	-	-	-	-	-
69FB	コマンド受け付けボリュームがSIのS-VOLのため，コピーペア解除をできません。	○	○	○	-	-	-	-	-
69FC	TCA以外のボリュームを指定しているため，TCAコピーペアを再同期，サスペンド，または解除できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
69FE	指定したボリュームがS-VOLでないため，TCAコピーペアをConsistent指定で解除できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
69FF	該当する操作のプログラムプロダクトがインストールされていないため，コピーペアを形成できません。	○	○	○	-	-	-	-	-
6A00	パラメタ不正があるため，C/Tグループ IDを登録できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
6A07	該当ボリュームがTCAコピーペアのP-VOLでない，またはNon Gen'edボリュームであるため，コマンドを実行できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
6A08	DUPLEX状態ではないコピーペアがあるため，TCAのATTIMEサスペンド時刻を設定できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
6A09	指定したC/Tグループタイマタイプが Systemでないため，TCAのATTIMEサスペンド時刻を設定できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
6A0F	TCAのプログラムプロダクトがインストールされていないため，コマンドを実行できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
6A13	コマンドデバイスが定義されていない状態でリモートコマンドを実行したため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
6A14	リモートコマンドとして実行できないコマンドをリモートコマンドとして実行したため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
6A16	コマンドデバイスではないボリュームにコマンドデバイス削除指示をしたため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
6A18	コマンドデバイスの定義または削除時に，実装されていないCU番号を指定したため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
6A19	コマンドデバイスではないボリュームでリモート制御コマンドを受け付けたため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
6A1E	リモートコマンドで指定した APID がすでに登録されている APID と異なるため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	○
6EC0	指定したパラメタに不正があるため，HDT MF の設定または状態取得コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	-	○	-
6EC1	HDT MF の設定または状態取得コマンドに，不正な情報が含まれているか，範囲外の値が指定されたため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	-	○	-
6EC3	次のどちらかの要因のため，HDT MF の設定または状態取得コマンドを実行できません。 ・ 存在しないボリュームまたはプールの ID を指定した。 ・ 対象デバイスに属するプールの属性が HDT MF でない。	-	-	-	-	-	-	○	-
6EC4	次のどれかの要因のため，HDT MF の設定または状態取得コマンドを実行できません。 ・ 指定した SSID と対象ストレージシステムの SSID が不一致 ・ 指定したシリアル番号と対象ストレージシステムのシリアル番号が不一致 ・ 指定した CU 番号と対象デバイスの CU 番号が不一致 ・ 指定した VOL 番号と対象デバイスの VOL 番号が不一致 ・ 対象デバイスが未実装	-	-	-	-	-	-	○	-
6EC8	ストレージシステムの内部処理でエラーが発生したため，HDT MF ボリュームの設定ができませんでした。	-	-	-	-	-	-	○	-
6ECA	ストレージシステムの内部処理でエラーが発生したため，HDT MF プールの設定ができませんでした。	-	-	-	-	-	-	○	-
6ECC	ストレージシステムの内部処理でエラーが発生したため，HDT MF ボリュームの階層設定情報および配置状態を取得できませんでした。	-	-	-	-	-	-	○	-
6ECE	ストレージシステムの内部処理でエラーが発生したため，HDT MF ボリュームの性能情報を取得できませんでした。	-	-	-	-	-	-	○	-

表 3-10 エラーコード一覧（7Fxx – 8Cxx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
7F86	コピー系プログラムプロダクトがインストールされていないため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
7FD4	このコマンドは未サポートです。	-	-	-	-	-	-	-	○
8C12	次の要因のため，TC/TCA コピーペアの状態遷移ができません。 ・ 指定された S-VOL はオンラインになっています。 ・ TC/TCA ペアボリューム，または SI コピーペアの S-VOL になっています。 ・ RCU へのパスがすべて閉塞しています。 ・ 要求に対して遷移ができるコピーペア状態ではありません（すでに要求に対するコピーペア状態になっているおそれがあります）。 ・ 指示ボリュームが LDEV 閉塞しています。 ・ プライマリサイト/セカンダリサイト間のパスが BUSY 状態です。	-	○	○	-	-	○	-	○

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
	• P-VOL と S-VOL のエミュレーションタイプが一致しません。または，S-VOL のシリンダ数が P-VOL より少ないです。 • P-VOL が状態変更中，またはグループ内に状態変更中のコピーペアがあります。 • TC/TCA の指示ボリュームが SIMPLEX のため実行できません。 • S-VOL が SWAPPING 状態ではありません。 • MCU と RCU 共に同じ C/T グループ ID が設定されているためコピーペア形成ができません。 • 指定された C/T グループ ID が登録されていません。 または，コピーペア状態またはパラメタが不正のため，パス定義およびパス削除ができません(要因は C120～C12F のどれかになります)。								
8C1E	次の要因のため，UR コピーペアを形成できません。 • 指定したプライマリストレージシステムのマイクロバージョンは，指定したセカンダリストレージシステムとの接続をサポートしていません。 • 指定したプライマリストレージシステムは，指定したセカンダリストレージシステムとの接続をサポートしていません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8CE8	リモートへの転送指示でホストコマンドのパラメタ指定に誤りがあるため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
8CE9	リモート DKC 制御機能用のパスが設定されていないため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
8CEB	リモート DKC 制御機能用のパスが設定されていないため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8CFB	リモートへの転送指示のストレージシステムのシリアル番号の指定に誤りがあるため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8CFC	コマンドデバイスが定義されていないため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-

表 3-11 エラーコード一覧（8Dxx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
8D00	パラメタ不正があるため，パスを確立できません。 • ストレージシステムのシリアル番号が間違っています。 • SSID が間違っています。 • CU 番号がサポートされていません。	-	-	-	-	-	○	-	-
8D01	パラメタ不正のため，パスを確立できません。または，パス確立がサポートされていません。	-	-	-	-	-	○	-	-
8D09	パラメタ不正のため，パスを削除できません。または，パス削除がサポートされていません。	-	-	-	-	-	○	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
8D10	次のどれかの要因のため，コピーペアを形成できません。 ・ 指定した CU に対して CU 間論理パスが設定されていません。 ・ P-VOL のストレージシステムのシリアル番号が間違っています。 ・ P-VOL の SSID が間違っています。 ・ CU 番号がサポートされていません。	○	○	○	-	-	-	-	-
8D11	ホストコマンドパラメタで指定したボリュームが NOT READY のため，実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D12	ホストコマンドパラメタで指定したボリュームが LDEV 閉塞のため，実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D14	SI/TC/TCA のプログラムプロダクトがインストールされていないため，実行できません。	○	○	○	-	-	-	-	-
8D15	次の要因のため，SI コピーペアを形成または再同期できません。 ・ 状態遷移できないコピーペア状態です。詳細はエラーコード：2310 を参照してください。 ・ プログラムプロダクトの課金容量を超過しています。 ・ コピーペア状態が Pending です。 ・ コピーペア状態が Split ではありません。 ・ 指定された C/T グループ ID が登録されていません。	○	-	-	-	-	-	-	-
8D16	次の要因のため，SI コピーペアを形成または再同期できません。 ・ 状態遷移できないコピーペア状態です。詳細はエラーコード：2310 を参照してください。 ・ プログラムプロダクトの課金容量を超過しています。 ・ コピーペア状態が Pending です。 ・ コピーペア状態が Split でありません。 ・ 指定された C/T グループ ID が登録されていません。	○	-	-	-	-	-	-	-
8D17	SI/TC/TCA のプログラムプロダクトがインストールされていないため，実行できません。	○	○	○	-	-	-	-	-
8D1A	ホストコマンドパラメタに指定したボリュームが S-VOL のため，実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
8D1B	指定したコピーペア状態が異なるため，状態遷移できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
8D1C	次の要因のため，TC/TCA コピーペアを形成または再同期できません。 ・ P-VOL がコマンドデバイスです。 ・ 指定したプライマリのストレージシステムのシリアル番号または SSID が，自 CU のストレージシステムのシリアル番号または SSID と異なります。 ・ 指定した P-VOL が起動ボリュームと一致しません。 ・ C/T グループ ID が不正です。 ・ P-VOL は該当する C/T グループで形成されていません。 ・ S-VOL が Reverse Resync 状態ではありません。 ・ C/T グループ ID または C/T グループタイマタイプが不正です。	-	○	○	-	-	-	-	-
8D1D	次の要因のため，SI コピーペアを形成または再同期できません。 ・ S-VOL がオンラインになっています。	○	-	-	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
	• 状態遷移できないコピーペア状態です。エラーコード：2310 を参照してください。 • P-VOL がオンラインになっています。 • プログラムプロダクトの課金容量を超過しました。 • コピーペア状態が Pending です。 • コピーペア状態が Split ではありません。 • 指定した C/T グループ ID が登録されていません。 • 指定した C/T グループ ID 内のコピーペア数が上限値を超えています。								
8D1E	ホストコマンドパラメタのプライマリおよびセカンダリストレージシステムのシリアル番号が不正です。	-	-	-	-	-	-	-	○
8D20	ホストコマンドパラメタが不正です。	○	○	○	-	-	-	-	-
8D21	ホストコマンドパラメタで指定したボリュームが NOT READY のため，実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D22	ホストコマンドパラメタで指定したボリュームが LDEV 閉塞のため，実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D25	SI/TC/TCA のプログラムプロダクトがインストールされていないため，実行できません。	○	○	○	-	-	-	-	-
8D26	次の要因のため，SI コピーペアをサスペンドできません。 • 状態遷移できないコピーペア状態です。詳細はエラーコード：2310 を参照してください。 • コピーペア状態が SIMPLEX です。 • コピーペア状態が Split です。 • 指定された C/T グループ ID が登録されていません。	○	-	-	-	-	-	-	-
8D27	次の要因のため，SI コピーペアをサスペンドできません。 • 状態遷移できないコピーペア状態です。詳細はエラーコード：2310 を参照してください。 • コピーペア状態が SIMPLEX です。 • コピーペア状態が Split です。 • 指定された C/T グループ ID が登録されていません。	○	-	-	-	-	-	-	-
8D28	指定したコピーペアのコピー種別が異なるため，実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
8D29	次の要因のため，TC/TCA コピーペアをサスペンドできません。 • 指定したボリュームが SIMPLEX です。 • パラメタの P-VOL 番号が起動ボリューム番号と一致しません。 • パラメタの S-VOL 番号が不正です。 • パラメタのプライマリストレージシステムのシリアル番号/SSID が自 CU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。 • パラメタのセカンダリストレージシステムのシリアル番号/SSID が RCU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。 • パラメタの S-VOL 番号が起動ボリューム番号と一致しません。	-	○	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
	• パラメタのセカンダリストレージシステムのシリアル番号/SSIDが自 CU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。 • SVOL(PERMIT) または Reverse Resync 機能がサポートされていません。 • 指示されたボリュームが P-VOL です。 • すでにサスペンド状態です。 • S-VOL が Pending 状態です。 • 状態が不正です。 • コピーペア状態変更中です。								
8D2A	次の要因のため，SI コピーペアをサスペンドできません。 • 状態遷移できないコピーペア状態です。詳細はエラーコード：2310 を参照してください。 • コピーペア状態が SIMPLEX です。 • コピーペア状態が Split です。 • 指定された C/T グループ ID が登録されていません。	○	-	-	-	-	-	-	-
8D2C	ホストコマンドパラメタのプライマリおよびセカンダリストレージシステムのシリアル番号が不正です。	-	-	-	-	-	○	-	○
8D30	ホストコマンドパラメタが不正です。	-	-	-	-	-	-	-	○
8D31	指定したコピーペアの中に状態遷移できないコピーペアがあるため，SI コピーペアの一括サスペンドができません。	○	-	-	-	-	-	-	-
8D38	指定したボリュームが SIMPLEX でないため，実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D39	すでに登録されている APID と異なるため，コマンドデバイスを定義できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D3A	指定した APID がほかの DEV で使用しているため，コマンドデバイスを定義できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D3D	指定したボリュームがコマンドデバイスでないため，コマンドデバイスを削除できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D3E	サポートされていない CU 番号が指定されたため，コマンドデバイスを作成できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D41	コマンドデバイスとして指示されたボリュームがほかのボリュームとコピーペアが組まれているか，ジャーナルボリュームであるため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D42	コマンドデバイスとして指定したボリュームが OPEN 系で使用しているボリュームであるため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D43	指定したボリュームが LDEV 閉塞のため，実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
8D44	指定したボリュームに PIN データがあるため，実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D45	次の要因のため，コマンドデバイスを定義できません。 • 該当するボリュームはリモート制御コマンド実行中のコマンドデバイスです。 • 該当するボリュームは TC/TCA でコピーペア形成されています。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D46	次の要因のため，コマンドデバイスを削除できません。 • 該当するボリュームはリモート制御コマンド実行中のコマンドデバイスです。 • 該当するボリュームは TC/TCA でコピーペア形成されています。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D47	指示されたボリュームが SI ボリュームのため，実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D4D	指定されたボリュームが実装されていないため，実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D4E	すでに登録されている APID と異なるため，コマンドデバイスを定義できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D4F	指定したボリュームがオンラインのため，実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D50	ホストコマンドパラメタが不正です。	-	-	-	-	-	-	-	○
8D51	指定したボリュームが LDEV 閉塞または NOT READY のため，実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D52	指定されたボリュームが LDEV 閉塞のため，実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8D56	次の要因のため，SI コピーペアを解除できません。 • 状態遷移できないコピーペア状態です。詳細はエラーコード：2310 を参照してください。 • コピーペア状態が V-Split です。 • 指定された C/T グループ ID が登録されていません。	○	-	-	-	-	-	-	-
8D57	次の要因のため，SI コピーペアを解除できません。 • 状態遷移できないコピーペア状態です。詳細はエラーコード：2310 を参照してください。 • コピーペア状態が V-Split です。 • 指定された C/T グループ ID が登録されていません。	○	-	-	-	-	-	-	-
8D58	指定したコピーペアのコピー種別が異なるため，実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
8D59	指定したボリュームが S-VOL でないため，TCA コピーペアを Consistent 指定で解除できません。	-	-	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
8D5A	次の要因のため，TC/TCA コピーペアを解除できません。 • コピーペアがすでに SIMPLEX 状態です。 • パラメタの P-VOL が起動ボリューム番号と一致しません。 • パラメタの S-VOL 番号が不正です。 • パラメタのプライマリストレージシステムのシリアル番号/SSID が自 CU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。 • パラメタのセカンダリストレージシステムのシリアル番号/SSID が RCU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。 • パラメタの S-VOL 番号が起動ボリューム番号と一致しません。 • コピーペア状態が不正です。 • コピーペア状態変更中です。	-	○	○	-	-	-	-	-
8D5B	次の要因のため，SI コピーペアを解除できません。 • 状態遷移できないコピーペア状態です。詳細はエラーコード：2310 を参照してください。 • コピーペア状態が V-Split です。 • 指定された C/T グループ ID が登録されていません。	○	-	-	-	-	-	-	-
8D70	ホストコマンドパラメタが不正です。	-	-	-	-	-	-	-	○
8D71	次の要因のため，TCA の C/T グループを登録または変更できません。 • 指定した C/T グループ ID が不正です。 • タイマタイプに System は指定できません。 • タイマタイプが不正(System/Local/None 以外)です。 • C/T グループ ID がすでに登録されています。 • C/T グループ ID が登録されていません。 • 該当する C/T グループにコピーペアがあるため，タイマタイプ(System/Local/None)が変更できません。 • 該当する C/T グループに，SIMPLEX 状態でもサスペンド状態でもないコピーペアがあります。 • 該当する C/T グループのコピー種別と起動 C/T グループタイプが一致しません。	-	-	○	-	-	-	-	-
8D78	ホストコマンドパラメタが不正です。	-	-	-	-	-	-	-	○
8D79	次の要因のため，TCA の C/T グループを削除できません。 • C/T グループ ID が不正です。 • C/T グループが登録されていません。 • 該当する C/T グループに TCA コピーペアがあります。 • 該当する C/T グループ内に解除またはサスペンド中のコピーペアがあります。	-	-	○	-	-	-	-	-
8D80	ホストコマンドパラメタが不正です。	-	-	-	-	-	-	-	○
8DD1	指定した SI の C/T グループに UR ATTIME サスペンド時刻が設定されているため，SI コピーペアを形成，再同期，またはサスペンドできません。	○	-	-	-	-	-	-	-
8DF0	サブコマンドコードが不正なため，実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
8DF1	ホストコマンドパラメタが不正です。	-	-	-	-	-	-	-	○
8DF2	該当するボリュームが TCA ではない，または P-VOL ではないため，実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
8DF3	指示ボリュームが NOT READY のため，実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8DF4	指示ボリュームが LDEV 閉塞のため，実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
8DF5	ホストコマンドパラメタの SSID と CU 番号が一致しないため，実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
8DF6	ホストコマンドパラメタと自ストレージシステムのシリアル番号が一致しないため，実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
8DF7	ホストコマンドパラメタと自ストレージシステムの SSID が一致しないため，実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
8DFF	サブコマンドコードが不正のため，実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○

表 3-12 エラーコード一覧（8Fxx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
8F00	指定したボリュームが外部ボリュームのため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F10	次のどれかの要因のため，UR コピーペアを操作できません。 ・ 指定した P-VOL は SI コピーペアの S-VOL で，SUSPOP（Split）状態ではありません。 ・ 指定した P-VOL は SI で使用されていて，Reverse Copy 状態です。 ・ 指定した P-VOL は FlashCopy で使用されています。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F14	指定したボリュームが Reserve ボリュームのため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F17	指定したボリュームがオンラインになっているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F18	指定したボリュームがほかのプログラムプロダクトですでにコピーペア形成されているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
8F19	指定したボリュームのエミュレーションタイプが UR では使用できないため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F1B	指定した P-VOL が SIMPLEX でないため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F1C	指定した P-VOL はサスペンド状態でないため，UR コピーペアを再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F1E	キャッシュ，または SM 回復移行中のため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F1F	キャッシュ，または SM 閉塞中のため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F21	次の要因のため，UR コピーペアを形成できません。 ・ 指定したボリュームが TC/TCA コピーペアの P-VOL であるか，または指定したボリュームが SI ですでにコピーペア形成されていて，組み合わせできない構成です。 ・ TC/TCA がある構成でミラー ID に 0 が指定されています。 または，状態遷移できない構成となるため，UR コピーペアを再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F24	装置間のパスが確立されていないため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F25	指定したボリュームに PIN データがあるため，UR コピーペアを形成または再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F28	指定した P-VOL または S-VOL がアクセスできない状態のため，UR コピーペアを形成または再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F29	P-JNL グループが使用できないため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F2A	指定した P-VOL が次のどれかに当てはまるため，UR コピーペアを形成できません。 ・ FlashCopy の S-VOL として使用されています。 ・ FlashCopy SE で使用されています。 ・ TSE-VOL です。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F2B	指定した P-VOL は LDEV ガードで Protect 設定されているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F33	指定したボリュームはほかのプログラムプロダクトですでにコピーペア形成されているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F35	指定した P-VOL を構成する物理ボリュームが閉塞しているため，UR コピーペアを形成または再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
8F39	URのプログラムプロダクトがインストールされていないため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F4D	次の要因のため，URコピーペアを形成または再同期できません。 ・ R-JNLグループが登録されていません。 ・ R-JNLボリュームが閉塞しています。 ・ 指定したS-VOLが閉塞しています。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F50	指定したストレージシステムの負荷が高く処理ができなくなっているため，URコピーペアを形成または再同期できません。5～6分待ってから,再度オペレーションを実行してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F53	状態遷移できない構成(指定したボリュームがSIですでにコピーペア形成されていて，組み合わせできない構成となるなど)のため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F58	次の要因のため，URコピーペアを形成または再同期できません。 ・ 指定したS-VOLとP-VOLのペア状態が異なります。 ・ R-JNLグループの状態がM-JNLグループの状態と異なります。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F67	指定したS-VOLは外部ボリュームをサポートしていないため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
8F6D	指定したボリュームがコマンドデバイスであるため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-

表 3-13 エラーコード一覧（C0xx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C023	指定したプライマリストレージシステムのシリアル番号/SSIDが自CUのストレージシステムのシリアル番号/SSIDと異なります。	-	-	-	-	-	○	-	-
C026	指定したセカンダリサイトのCU番号が，プライマリストレージシステムまたはセカンダリストレージシステムでサポートされていないため，パスを設定できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
C02B	指定したP-VOLが起動ボリュームと一致しません。	-	-	-	-	-	○	-	-
C02C	指定したプライマリストレージシステムのシリアル番号/SSIDが自CUのストレージシステムのシリアル番号/SSIDと異なります。	-	-	-	-	-	○	-	-
C032	TC/TCAのコピーペア形成のコピー種別が不正です（NOCOPY，全コピー，またはResyncだけ可能）。	-	○	○	-	-	-	-	-
C048	指定したプライマリストレージシステムのシリアル番号/SSIDが自CUのストレージシステムのシリアル番号/SSIDと異なるため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	○	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C04C	指定したセカンダリストレージシステムのシリアル番号/SSID が RCU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なる，またはパスが登録されていないため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
C04D	指定したセカンダリストレージシステムのシリアル番号/SSID が RCU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なるため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
C055	TC/TCA のボリュームが SIMPLEX のため，実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C058	TC/TCA のパラメタの P-VOL 番号が起動ボリューム番号と一致しません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C059	TC/TCA のパラメタのプライマリストレージシステムのシリアル番号/SSID が自 CU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C05A	TC/TCA のパラメタのプライマリストレージシステムのシリアル番号/SSID が自 CU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C05D	TC/TCA のパラメタのセカンダリストレージシステムのシリアル番号/SSID が RCU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C05E	TC/TCA のパラメタのセカンダリストレージシステムのシリアル番号/SSID が RCU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C063	TC/TCA のパラメタの S-VOL 番号が起動ボリューム番号と一致しません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C064	TC/TCA のパラメタのセカンダリストレージシステムのシリアル番号/SSID が自 CU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C065	TC/TCA のパラメタのセカンダリストレージシステムのシリアル番号/SSID が自 CU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C06A	TC/TCA のボリュームが SIMPLEX のため，実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C06D	TC/TCA のパラメタの P-VOL 番号が起動ボリューム番号と一致しません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C06E	TC/TCA のパラメタのプライマリストレージシステムのシリアル番号/SSID が自 CU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C06F	TC/TCA のパラメタのプライマリストレージシステムのシリアル番号/SSID が自 CU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C072	TC/TCA のパラメタのセカンダリストレージシステムのシリアル番号/SSID が RCU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。	-	○	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C073	TC/TCA のパラメタのセカンダリストレージシステムのシリアル番号/SSID が RCU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C074	TC のプログラムプロダクトがインストールされていないため，TC コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C078	TC/TCA のパラメタの S-VOL 番号が起動ボリューム番号と一致しません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C079	TC/TCA のパラメタのセカンダリストレージシステムのシリアル番号/SSID が RCU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C07A	TC/TCA のパラメタのセカンダリストレージシステムのシリアル番号/SSID が RCU のストレージシステムのシリアル番号/SSID と異なります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C0A1	TC/TCA のパラメタの S-VOL 番号が不正です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C0A2	TC/TCA のパラメタの S-VOL 番号が不正です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C0B6	指示されたボリュームが SIMPLEX のため，実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C0C5	指定されたコピーペアがすでにサスペンド状態のため，サスペンドできません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C0C6	すでに SIMPLEX のため，実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C0C7	すでに SIMPLEX のため，実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C0F1	TC の S-VOL の状態が Pending のため，サスペンドできません。	-	○	○	-	-	-	-	-

表 3-14 エラーコード一覧（C1xx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C120	次の要因のため，パスの確立に失敗しました。 ・ CU 間論理パスの場合，MCU に登録されている RCU の数が 4 を超えています。 ・ DKC 間論理パスの場合，一つのストレージシステムに登録されているパスグループ ID の数が 64 を超えています。	-	-	-	-	-	○	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C122	指示された RCU のパラメタが不正のため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
C123	指示された RCU が登録されていません(パスが確立されていません)。	-	-	-	-	-	○	-	-
C126	該当する CU に TC/TCA/UR コピーペアまたはジャーナルボリュームがあるため，パスを削除できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
C127	指定した複数のパスの一部について，確立および削除処理が失敗しました。次の要因が考えられます。 ・ 入力パラメタが不正です。 ・ ポート状態，MP 状態が異常です。 ・ ケーブルが正しく接続されていません。 ・ ポートの指定が不正です。	-	-	-	-	-	○	-	-
C128	指定した複数のパスのすべてについて，確立および削除処理が失敗しました。次の要因が考えられます。 ・ 入力パラメタが不正です。 ・ ポート状態，MP 状態が異常です。 ・ ケーブルが正しく接続されていません。 ・ ポートの指定が不正です。	-	-	-	-	-	○	-	-
C129	RCU に登録されている SSID の数が 4 を超えるため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
C12A	削除指定パスの RCU の装置識別コード，または RCU 種別(FIBRE/ESCON)が不正のため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
C12B	指定されたパスのうちシリアル番号が一致しないものがあるため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
C12C	指定されたポートの自動ポート切り換えが実施できないため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
C12D	登録指定パスの RCU の装置識別コード，または RCU 種別(FIBRE/ESCON)が不正のため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
C12E	形成，削除指定パスで，RCU のすべての CU 番号が同一ではないため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	○	-	-
C12F	次の要因のため，コマンドを実行できません。 ・ 指定された CU 番号が定義されていません。 ・ 指定した CU 番号配下に LDEV が定義されていません。	-	-	-	-	-	○	-	-
C162	該当する起動ペアがサスペンド状態でないため，コピーペアを再同期できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C184	S-VOL の状態変更に失敗したため，コピーペアを解除できません。	-	○	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C189	コピーペア状態が不正なため，TC/TCA コピーペアを解除できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C18A	次の要因のため，コピーペアを解除できません。 • 起動ボリュームが状態変更中です。 • グループ内に状態変更中のコピーペアがあります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C194	S-VOL が状態遷移中のため，コピーペアをサスペンドできません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C195	指定したコピーペアがすでにサスペンド状態であるため，コピーペアをサスペンドできません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C198	グループ内にサスペンドを実行できるコピーペアがないため，コマンドを実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C199	次の要因のため，コピーペアをサスペンドできません。 • 起動ボリュームが状態変更中です。 • グループ内に状態変更中のコピーペアがあります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C1BE	ストレージシステムが電源オン処理中のため，TC/TCA コピーペアの状態遷移ができません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C1D1	指定されたコピーペアの CU(SSID)間にパスが設定されていない，またはパスが障害状態のため，コピーペアのサスペンド，再同期，または削除ができません。	-	○	○	-	-	-	-	-

表 3-15 エラーコード一覧（C2xx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C211	指定したコピーペアがすでに DUPLEX 状態であるため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C213	パラメタのプライマリストレージシステムのシリアル番号または SSID が異なるため，コマンドを実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C214	パラメタのセカンダリストレージシステムのシリアル番号または SSID が，すでにパス登録しているもの（パスがない場合を含む）と異なるため，コマンドを実行できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C215	指定した S-VOL がほかのコピーペアで使用されているため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C21A	指定したコピーペアがサスペンド状態ではないため，コピーペアを再同期できません。	-	○	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C22A	指定したボリュームの状態が SIMPLEX のため，コピーペアを解除できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C233	指定したコピーペアの S-VOL が SIMPLEX 状態のため，コピーペアを再同期できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C23E	指定したコピーペアの状態が Pending のため，コピーペアをサスペンドできません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C28B	指定したコピーペアが SWAPPING 状態でないため，コピー方向が逆転する再同期はできません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C28C	コピー方向と逆方向のパスが設定されていないため，コピー方向が逆転する再同期はできません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C2A0	MCU のプログラムプロダクトの課金容量を超過したため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C2A3	MCU の TC の課金容量を超過したため，コピーペアを形成できません。関連するプログラムプロダクトも合わせて，ライセンス容量を確認してください。	-	○	○	-	-	-	-	-
C2A4	MCU の TCA の課金容量を超過したため，コピーペアを形成できません。関連するプログラムプロダクトも合わせて，ライセンス容量を確認してください。	-	○	○	-	-	-	-	-
C2A8	RCU のプログラムプロダクトの課金容量を超過したため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C2B3	P-VOL に指定した HDP MF ボリュームが容量拡張中のため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C2B6	P-VOL に指定した HDP MF ボリュームがページの解放中のため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-

表 3-16 エラーコード一覧（C3xx - C8xx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C300	MCU に Disaster Recovery Extended プログラムプロダクトがインストールされていないため，UR と連携する TC/TCA コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C301	RCU に Disaster Recovery Extended プログラムプロダクトがインストールされていないため，UR と連携する TC/TCA コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C305	RCU の TC の課金容量を超過したため，コピーペアを形成できません。関連するプログラムプロダクトも合わせて，ライセンス容量を確認してください。	-	○	○	-	-	-	-	-
C306	RCU の TCA の課金容量を超過したため，コピーペアを形成できません。関連するプログラムプロダクトも合わせて，ライセンス容量を確認してください。	-	○	○	-	-	-	-	-
C30D	RCU 内の該当するボリュームまたは同一グループ内に属するほかのボリュームが SIMPLEX またはサスペンド状態に移行中です。数分後，該当するオペレーションを再実行してください。	-	○	○	-	-	-	-	-
C310	MCU が NVS ON ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C311	MCU のサブシステムレベルキャッシュが有効ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C312	P-VOL が SIMPLEX 状態ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C313	P-VOL がサスペンド状態ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C314	P-VOL が SIMPLEX 状態ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C315	P-VOL に PIN データがあります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C316	P-VOL がドライブコピー中(障害支援)です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C317	P-VOL がドライブコピー中(SVP 要求)です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C318	P-VOL がコピータスク終了処理中です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C319	P-VOL がコレクションコピー中です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C31A	P-VOL がコレクションアクセス状態です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C31B	P-VOL が LDEV 閉塞(PDEV 閉塞要因)しています。	-	○	○	-	-	-	-	-
C31C	P-VOL にアクセスできません(LDEV 閉塞，または NOT READY)。	-	○	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C31D	P-VOL が LDEV フォーマット中です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C31E	P-VOL が READ ONLY 状態です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C320	MCU-RCU 間の論理パスが設定されていません(パスの数＝ 0)。	-	○	○	-	-	-	-	-
C321	MCU-RCU 間の最小パス本数条件の設定が不正です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C322	MCU が，TC/TCA でサポートされていないストレージシステムのタイプです。	-	○	○	-	-	-	-	-
C324	RCU シーケンス（No/SSID/CU）不正です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C325	RCU が NVS ON ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C326	RCU のサブシステムレベルキャッシュが有効ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C327	P-VOL がリモートコピーできない状態のため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C328	P-VOL と S-VOL のトラックフォーマットが一致しません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C32A	S-VOL が LDEV セキュリティによって保護されています。	-	○	○	-	-	-	-	-
C32B	P-VOL が LDEV セキュリティによって保護されています。	-	○	○	-	-	-	-	-
C32C	S-VOL が LDEV ガードによって保護されています。	-	○	○	-	-	-	-	-
C32E	指定した S-VOL との接続がサポートされていないため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C32F	TC/TCA のボリュームの CYL 数条件が不正（P-VOL のシリンダ数＞ S-VOL のシリンダ数）です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C330	TC/TCA のボリューム容量条件が不正(P-VOL と S-VOL の容量が一致していない）です。	-	○	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C332	S-VOL のデバイスレベルキャッシュが有効ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C333	S-VOL が DFW ON ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C335	S-VOL が TCA の P-VOL です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C336	S-VOL に PIN データがあります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C337	S-VOL がリザーブ状態です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C338	S-VOL に介入要求(SI の S-VOL/リザーブボリューム)がありました。	-	○	○	-	-	-	-	-
C339	S-VOL が FC ステータスです。	-	○	○	-	-	-	-	-
C33A	指定した S-VOL は TureCopy をサポートしていないため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C33B	S-VOL が，ほかのコピーペアの S-VOL です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C33C	指定した S-VOL が実装されていないため, コピーペア形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C33E	S-VOL に介入要求(DEV NOT READY 状態)です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C33F	S-VOL が TC/TCA ペアボリュームです。	-	○	○	-	-	-	-	-
C35C	P-VOL にアクセスできない状態です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C370	最小パス数条件が不正(パス障害/パス無効)です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C371	キャッシュメモリ/共有メモリの故障回復処理中のため，数分待ってから再実行してください。	-	○	○	-	-	-	-	-
C372	キャッシュメモリ/共有メモリの故障回復処理中のため，数分待ってから再実行してください。	-	○	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C373	指定した S-VOL が Reserve ボリュームのため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C374	指定した P-VOL が Reserve ボリュームのため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C378	最小パス数条件が不正(複数 CU 番号設定/パス閉塞要因)です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C379	最小パス数条件が不正(パス障害/パス無効)です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C37B	次の要因のため，TC のコピーペアを定義または再同期できません。 ・ S-VOL が使用できない状態です。 ・ 機能または構成が，MCU または RCU のマイクロプログラムバージョンでサポートされていません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C37C	RCU のサブシステムレベルキャッシュが有効ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C37D	RCU が NVS ON ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C37E	S-VOL のデバイスレベルキャッシュが有効ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C37F	S-VOL が DFW ON ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C380	MCU の CACHE が片面閉塞(移行中)しています。	-	○	○	-	-	-	-	-
C381	MCU が CACHE 回復移行中です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C382	MCU が CACHE 片面閉塞(移行中)/片面回復移行中です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C388	P-VOL がサポートされていないエミュレーションタイプのため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C38B	RCU がすでに TC/TCA で使用中です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C38D	次の要因のため，TC のコピーペアを定義または再同期できません。 ・ S-VOL が使用できない状態です。 ・ 機能または構成が，MCU または RCU のマイクロプログラムバージョンでサポートされていません。	-	○	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C38E	S-VOL が，TC/TCA でサポートされていないデバイスです。	-	○	○	-	-	-	-	-
C390	S-VOL がサスペンド状態ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C391	S-VOL がコピーできないコピーペア状態です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C392	S-VOL がオンラインになっています。または TC/TCA 以外のコピー種別ですでにコピーペア形成されています。	-	○	○	-	-	-	-	-
C393	S-VOL に PIN データがあります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C394	S-VOL がオンラインになっています。	-	○	○	-	-	-	-	-
C395	次のどれかの要因のため，TC/TCA コピーペアを形成または再同期できません。 • 指定した S-VOL が閉塞しています。 • 指定した S-VOL を構成する物理ボリュームが閉塞しています。 • 指定した S-VOL がコレクションアクセス状態です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C398	S-VOL がサポートされていないエミュレーションタイプのため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C39E	P-VOL 容量がコピーペア形成できるボリューム容量を超えています。	-	○	○	-	-	-	-	-
C39F	P-VOL または S-VOL 容量がコピーペア形成できるボリューム容量を超えています。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3A0	P-VOL が，TC/TCA でサポートされていないデバイスです。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3A4	RCU が S-VOL のホストオンラインチェック指示機能をサポートしていません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3A5	S-VOL がオンラインになっています。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3A6	指定した RCU の SSID，または CU 番号が不正です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3A8	指定したコピーペアは，エミュレーションタイプが 3390-A のボリュームと 3390-A 以外のボリュームの組み合わせのため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C3AA	RCU が CACHE(片面)閉塞(NVS)です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3AB	RCU が CACHE(片面)閉塞です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3AD	RCU が TC/TCA のプログラムプロダクトの課金容量を超過しました。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3AE	RCU に TC/TCA のプログラムプロダクトがインストールされていません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3AF	RCU が TC/TCA でサポートされていないストレージシステムのタイプであるか，または TCA の C/T グループ値が不正です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3B1	最小パス数条件が不正です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3B6	TC/TCA の P-VOL が SI ペアボリュームです。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3B7	TC/TCA の S-VOL が SI ペアボリュームです。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3BA	指定した RCU の SSID または CU 番号が，プライマリサイトまたはセカンダリサイトでサポートされていないため，コピーペア形成ができません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3BD	P-VOL がオンラインになっています。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3BE	TC/TCA コピーペアの P-VOL が SI コピーペアの S-VOL の場合，Split 状態である必要があります。また，Reserve ボリューム，Reverse Resync 状態の P-VOL，または FlashCopy の S-VOL は指定できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3BF	TC/TCA コピーペアの S-VOL には SI コピーペアの S-VOL や Reserve ボリュームを指定できません。また，Reverse Resync 状態の P-VOL，FlashCopy の S-VOL は指定できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3C0	TC/TCA コピーペアの P-VOL が SI コピーペアの S-VOL の場合，両方の S-VOL 同士が 1:1 で組まれたコピーペアである必要があります。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3C1	S-VOL が C/T グループに形成されていません。	-	-	○	-	-	-	-	-
C3C2	コピーペア形成時に指定した C/T グループ ID が，S-VOL ですでに使用されています。	-	-	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C3C3	該当する C/T グループですでに 4MCU 登録/形成済みです。	-	-	○	-	-	-	-	-
C3C4	稼働中(コピーペア形成済み)C/T グループのオプション情報(タイマタイプ，タイムアウト時間)は変更できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
C3C5	タイマタイプが System でないため，プライマリサイトのストレージシステムが 2 台以上のコピーグループ構成ではコピーペアを形成できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
C3C6	プライマリサイトのストレージシステムが 2 台以上のコピーグループ構成で，コピーペアをすでに形成している場合と新規に形成する場合とで更新待ちタイムアウトオプションの値が異なるため，コマンドを実行できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
C3C7	次の要因のため，TC/TCA コピーペアを形成できません。 ・ ほかのボリュームと TC，TCA，または UR でコピーペア形成されています。 ・ ジャーナルボリュームです。	-	-	○	-	-	-	-	-
C3C9	RCU で C/T グループが登録されていません。	-	-	○	-	-	-	-	-
C3CA	S-VOL がリザーブ状態，または RCU/S-VOL/M-R 間パスが BUSY 状態です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3CB	RCU に TCA のプログラムプロダクトがインストールされていません。	-	-	○	-	-	-	-	-
C3CD	TC/TCA コピーペアの S-VOL が SI ペアボリュームです。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3D1	RCU に別 C/T グループ ID が登録/形成済みです。	-	-	○	-	-	-	-	-
C3D2	RCU が，TC/TCA でサポートされていないストレージシステムのタイプです。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3D3	指定した RCU の SSID，または CU 番号が不正です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3D6	指定した S-VOL は接続ポートから認識できないデバイスのため，使用できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3D7	RCU 内の S-VOL 状態が不正です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3D8	S-VOL として指定されたボリュームがシステム常駐ボリュームのため，TC/TCA コピーペアの形成ができません。	-	○	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
C3D9	S-VOL に指定した HDP MF ボリュームが次のどれかに当てはまるため，コピーペアを形成できません。 ・ ほかのプログラムプロダクトで使用されています。 ・ 容量の変更中です。 ・ ページの解放中です。 ・ プールの初期化中です。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3DA	P-VOL として指定されたボリュームがシステム常駐ボリュームのため，TC/TCA コピーペアの形成ができません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3DB	S-VOL がサスペンド状態ではありません。	-	○	○	-	-	-	-	-
C3FE	TCA と TC は同時に指定できないため，コピーペアを形成できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
C410	次のどちらか，または両方の要因のため，TC コピーペアの形成または再同期ができません。 ・ 選択したコピーペアの S-VOL が拡張ロングビジー状態です。 ・ ローカルストレージシステムとリモートストレージシステムの通信中にタイムアウトが発生しました。	-	○	-	-	-	-	-	-
C4FC	必要な共用メモリが RCU 側に実装されていないため，TC コピーペアの形成または再同期ができません。	-	○	-	-	-	-	-	-
C825	実行可能なパス数が最小値より少ないため，TC コピーペア，UR コピーペア，およびリモート DKC 制御機能を使用したコマンドを実行できません。	-	○	○	○	-	-	-	○
C8D1	指定したボリュームが実装されていないため，リモート DKC 制御機能を使用したコマンドデバイス登録コマンド（YKBLDCMD）を実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-

表 3-17 エラーコード一覧（CBxx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
CB10	同一 C/T グループ ID で両方向のコピーペアを形成することはできません。	-	-	○	-	-	-	-	-
CB12	次のどちらかの要因のため，TCA コピーペアを形成できません。 ・ RCU 側で指定された C/T グループ ID がすでに UR(OPEN)で使用されています。 ・ RCU 側で UR(OPEN)および TCA(MF/OPEN)の合計 128 の C/T グループが使用されています。	-	-	○	-	-	-	-	-
CB18	P-VOL/S-VOL スワップ中の C/T グループには，コピーペアを追加できません。	-	-	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
CB1D	S-VOL にダミーボリュームを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
CB1F	RCU が Fibre TC/TCA をサポートしていないバージョンです。	-	○	○	-	-	-	-	-
CB60	RCU に Fibre TC/TCA がインストールされていません。	-	○	○	-	-	-	-	-
CB61	同一 C/T グループ内で Fibre/ESCON パスのコピーペアは混在できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
CB62	同一ストレージシステムで ESCON/Fibre パスを用いたコピーペアは混在できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
CB64	MCU のストレージシステムタイプ（3990-6/6E 以外または 2105）がサポートされていません。	-	○	○	-	-	-	-	-
CB66	次のどちらかの要因で差分領域を確保できないため，TC コピーペアを形成できません。 • セカンダリサイトの共用メモリ領域が不足しています。 • S-VOL に指定したボリュームの HDP MF プールが不足しています。	-	○	-	-	-	-	-	-
CB67	RCU に増設共用メモリが実装されていないため，TC コピーペアを形成できません。	-	○	-	-	-	-	-	-
CB68	プライマリサイトの共用メモリ領域の不足で差分領域を確保できないため，TC コピーペアを形成できません。	-	○	-	-	-	-	-	-
CB69	RCU で，同一 C/T グループ内にコピーペアを 4,096 以上形成できません。	-	-	○	-	-	-	-	-
CB6E	P-VOL に Soft Fence が設定されているため，TC コピーペアを操作できません。	-	○	-	-	-	-	-	-
CB6F	S-VOL に Soft Fence が設定されているため，TC コピーペアを操作できません。	-	○	-	-	-	-	-	-
CB78	指定した S-VOL はコマンドデバイスとして定義されているため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
CB7E	指定した S-VOL が属する CLPR と，すでに登録されている C/T グループの CLPR が異なるため，TC/TCA コピーペアを形成できません。CLPR については，ストレージシステムのマニュアルを参照してください。	-	○	○	-	-	-	-	-
CB9E	指定した S-VOL が次のどちらか，またはすべての機能をサポートしていないため，コピーペアを形成できません。 • タイムスタンプ転送機能 • Open/MF コンシステンシー維持機能	-	○	○	-	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
CBD8	指定した P-VOL は UR の P-VOL でないため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
CBD9	指定した S-VOL が次のどれかに当てはまるため，コピーペアを形成できません。 ・ FlashCopy で使用されています。 ・ FlashCopy SE で使用されています。 ・ TSE-VOL です。	-	○	○	-	-	-	-	-
CBDC	UR と連携しているときは UR のミラー ID が 0 のため，TC/TCA コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
CBDD	TrueCopy-UR のマルチターゲット構成で UR コピーペアがコピー中の状態のため，TC/TCA コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
CBE2	指定した P-VOL はプールボリュームのため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
CBE3	指定した S-VOL はプールボリュームのため，コピーペアを形成できません。	-	○	○	-	-	-	-	-
CBED	次のどちらかの要因のため，TC/TCA コピーペアを形成できません。 ・ 指定した S-VOL が UR コピーペアの P-VOL または S-VOL です。 ・ 指定した S-VOL がジャーナルボリュームです。	-	○	○	-	-	-	-	-
CBEE	次のどちらかの要因のため，TC/TCA コピーペアを形成できません。 ・ 指定した P-VOL は，すでにデルタリシンク用 UR の P-VOL としてコピーペア形成されています。 ・ 指定した P-VOL は，3DC Multi-Target (URxUR)構成の P-VOL としてコピーペア形成されています。	-	○	○	-	-	-	-	-
CBF8	次のどれかの要因のため，TC コピーペアを形成できません。 ・ MCU または RCU のマイクロコードが接続をサポートしていないバージョンです。 ・ MCU または RCU の機種は接続をサポートしていません。 ・ RCU の機種はシリンダ単位の差分管理方式をサポートしていません。	-	○	-	-	-	-	-	-
CBFA	次のどちらかの要因のため，TC コピーペアを操作できません。 ・ Mainframe Fibre CHA が実装されていません。 ・ すべての Mainframe Fibre CHA が閉塞しています。	-	○	-	-	-	-	-	-
CBFC	C/T グループ ID がサポート範囲外のため，TC コピーペアの形成または再同期ができません。	-	○	-	-	-	-	-	-

表 3-18 エラーコード一覧（DBxx – E8xx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
DB02	状態遷移ができない状態のため，UR コピーペアの状態遷移ができません。 状態遷移ができない状態の例を次に示します。 • SIMPLEX 状態ではないコピーペアに対して，コピーペアを形成しました。 • サスペンド状態ではないコピーペアに対して，コピーペアを再形成しました。 ただし，正しく状態遷移が実行されている可能性があるため，再度コピーペアの状態を確認してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
DB03	コピーペア状態遷移中(Suspending, Deleting)のため，UR コピーペアの状態遷移ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
DB07	電源オン処理中のため，UR コピーペアの状態遷移ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
DB08	電源オフ処理中のため，UR コピーペアの状態遷移ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
DB09	指定したボリュームは TCA コピーペアであるため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
DB0C	ボリューム指示であるため，UR コピーペアを再同期（DELTAJNL パラメタまたは ALLJNL パラメタ指定）できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E80B	EXCTG 登録に必要な拡張 SM テーブルが初期化されていないため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E826	指定した EXCTG が登録されていないため，EXCTG を削除できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E82F	指定したジャーナルグループが登録されていないため，EXCTG を削除できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E843	指定したボリュームの CLPR 番号がジャーナルグループの CLPR 番号と異なるため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E869	次の条件を満たすため，UR コピーペアを再同期できません。 • 指定した UR コピーペアの R-JNL は別のミラー ID の UR コピーペアで使用中です。 • 指定した UR コピーペアを使用中の別の UR コピーペアのミラー状態が Halting または Stopping です。	-	-	-	○	-	-	-	-
E86B	指定したボリュームが UR コピーペアでないため，UR コピーペアを解除できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E86D	ストレージシステムが電源オン処理中のため，UR コピーペアを解除できません。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
E86E	指定したボリュームの SM が未実装であるため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E871	DKC 間論理パス(両方向)が定義されていないため，UR コピーペアを形成できません。DKC 間論理パスが両方向とも確立されているか確認してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
E876	S-VOL に指定したストレージシステムのシリアル番号が不正なため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E878	指定したジャーナルグループ内にエミュレーションタイプが 3390-9A のボリュームと 3390-9A 以外のボリュームが混在しているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E87B	指定したジャーナルグループが登録されていないため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E87C	指定したジャーナルグループにジャーナルボリュームが登録されていないため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E87D	指定したボリュームが UR コピーペアでないため，UR コピーペアを再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E87E	指定した P-VOL または S-VOL がジャーナルグループを構成するボリュームのため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E880	指定した P-VOL または S-VOL のエミュレーションタイプが，ジャーナルグループを構成するボリュームのエミュレーションタイプと異なるため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E881	ストレージシステムが電源オン処理中のため，UR コピーペアを形成または再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E882	指定した M-JNL グループと R-JNL グループを構成するボリュームのエミュレーションタイプが異なるため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E885	指定した R-JNL グループは別の M-JNL グループとコピーペア形成されているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E888	指定した M-JNL グループは別の R-JNL グループとコピーペア形成されているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E889	指定した JNL グループは，別のミラー ID で UR コピーペア形成されているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E890	次のどれかの要因のため，UR コピーペアを形成できません。 ・ 指定したボリュームは別のジャーナルグループに登録されています。 ・ 指定したボリュームはすでに同じジャーナルグループ，かつ同じミラー ID で登録されています。 ・ 指定した S-VOL はすでに同じジャーナルグループ，かつ別のミラー ID で登録されています。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
	• 指定したジャーナルグループは 3DC (URxUR)構成で使用する設定をしていませんが，ジャーナルグループ内に別のミラー ID のコピーペアが存在します。								
E891	指定した M-JNL グループまたは R-JNL グループで登録できる最大数のコピーペアが形成されているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E894	3DC (URxUR)構成で, 同一ジャーナルグループ内に三つ目のミラー ID を指定したため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E896	UR のプログラムプロダクトまたは Disaster Recovery Extended プログラムプロダクトがインストールされていないため，EXCTG 登録ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E897	次のどれかの要因のため，UR コピーペアを形成できません。 • 指定した M-JNL グループと R-JNL グループは 3DC (URxUR)構成を使用する設定をしたジャーナルグループではありません。 • 指定した R-JNL グループはすでに使用されています。 • 指定したジャーナルグループに別のミラー ID が定義されています。	-	-	-	○	-	-	-	-
E898	指定した R-JNL グループが別のミラー ID の UR コピーペアの R-JNL グループとして使用されているため, UR コピーペアを再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E89A	正方向または逆方向の DKC 間論理パスが確立されていないため，UR コピーペアを形成できません。DKC 間論理パスが両方向とも確立されているか確認してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
E89B	指定した M-JNL グループまたは R-JNL グループが，以前別のストレージシステムと接続した時の状態を記憶しているため，UR コピーペアを形成できません。 別のジャーナルグループを指定するか，または指定するジャーナルグループを一度削除してから再度登録してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
E8A2	次のどちらかの要因のため，UR コピーペアを形成できません。 • S-VOL に指定したストレージシステムのシリアル番号が間違っています。 • 指定したジャーナルグループに別のパスグループ ID が割り当てられています。	-	-	-	○	-	-	-	-
E8A6	指定したボリュームのジャーナルグループがストレージシステムに登録されていないため，UR コピーペアに対してコピー方向が逆転する再同期はできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E8A7	指定したボリュームのジャーナルグループにジャーナルボリュームがストレージシステムに登録されていないため，UR コピーペアに対してコピー方向が逆転する再同期はできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E8A8	指定したコピーペアが UR でないか，または P-VOL と S-VOL のジャーナルグループが異なるため, 指定したコピーペアをサスペンドできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E8A9	ストレージシステムが電源オン処理中のため，UR コピーペアをサスペンドできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E8B6	指定した R-JNL グループのミラー ID がほかの UR コピーペアで使用されているため，デルタリシンクペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
E8B9	指定したジャーナルグループは EXCTG に登録されているため，デルタリシンクペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E8BB	すでに登録されているミラー ID と異なるミラー ID のため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E8BD	登録指示したジャーナルグループ数が登録できるジャーナルグループ数を超過したため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
E8BF	登録できるサブオーディネートストレージシステム数を超過したため，EXCTG 登録できません。	-	-	-	○	-	-	-	-

表 3-19 エラーコード一覧（EAxx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
EA00	指定したボリュームが R-JNL グループを構成するボリュームのため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA01	指定した P-VOL または S-VOL は，UR コピーペアとしてすでに使用されているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA02	指定したボリュームが M-JNL グループを構成するボリュームのため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA03	指定した S-VOL は UR コピーペアとしてすでに使用されているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA07	指定した M-JNL グループに登録できるコピーペア数の上限を超えるため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA08	指定した R-JNL グループに登録できるコピーペア数の上限を超えるため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA09	M-JNL グループが，Initial 状態，Active 状態，Stop 状態のどれでもないため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA0A	R-JNL グループの状態が不正のため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA12	コピーペアが SWAPPING 状態でないため，UR コピーペアに対してコピー方向が逆転する再同期はできません。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
EA13	P-VOL に指定したボリュームが UR コピーペアの S-VOL であるため，UR コピーペアを再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA15	S-VOL に指定したボリュームが UR コピーペアの P-VOL であるため，UR コピーペアを再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA18	コピーペアがサスペンド状態でないため，UR コピーペアを再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA19	ジャーナルグループが Stop 状態でないため，UR コピーペアを再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA1B	ジャーナルグループがジャーナルを差分として取得するサスペンド状態，または障害状態でないため，PREPARE パラメタ指定の YKRESYNC コマンドを実行できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA1C	S-VOL の R-JNLG が Stop 状態でないため，UR コピーペアに対してコピー方向が逆転する再同期はできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA1E	S-VOL に指定したボリュームが UR コピーペアの S-VOL ではないため，UR コピーペアに対してコピー方向が逆転する再同期はできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA20	P-VOL に指定したボリュームが UR コピーペアの P-VOL ではないため，UR コピーペアに対してコピー方向が逆転する再同期はできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA22	ジャーナルグループが Stop 状態でないため，UR コピーペアに対してコピー方向が逆転する再同期はできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA25	コピーペアが SWAPPING 状態でないため，UR コピーペアに対してコピー方向が逆転する再同期はできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA29	M-JNL グループが，Active 状態でも Stop 状態でもないため，UR コピーペアを解除できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA2C	R-JNL グループが，Active 状態でも Stop 状態でもないため，UR コピーペアを解除できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA33	M-JNL グループが Active 状態でないため，UR コピーペアをサスペンドできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA36	R-JNL グループが Active 状態でないため，UR コピーペアをサスペンドできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA3A	指定した S-VOL が状態遷移中のため，UR コピーペアを解除できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA3B	TRANS 状態のため，UR コピーペアに対してコピー方向が逆転する再同期はできません。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
EA3C	指定した S-VOL が M-JNL グループに属しているため，UR コピーペアに対してコピー方向が逆転するサスペンドはできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA40	MCU のプログラムプロダクトの課金容量を超過したため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA41	RCU のプログラムプロダクトの課金容量を超過したため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA46	3DC Cascade (URxUR)構成の場合で，プライマリサイト，中間サイト間の UR コピーペアのジャーナルグループ状態が Active であるため，中間サイト，リモートサイト間の UR コピーペアの削除，およびサスペンドはできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA4D	デルタリシンクペアのため，UR コピーペアをサスペンドできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA89	指定した P-VOL が HOLDER 状態でないため，障害状態からデルタリシンク準備状態への回復を実行できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA8A	プライマリストレージが電源オン処理中または電源オフ処理中のため，UR コピーペアの状態遷移ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EA95	UR の P-VOL に指定した HDP MF ボリュームはプールの初期化中のため，コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EAA0	次の要因のため，EXCTG 単位の UR コピーペアを操作できません。 • コピーグループ内に指定された JNLG が EXCTG に登録されていません。 • TRANS 状態のコピーペアが存在しています。	-	-	-	○	-	-	-	-
EAA2	MCU の UR の課金容量を超過したため，UR コピーペアを形成できません。関連するプログラムプロダクトも合わせて，ライセンス容量を確認してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
EAA3	RCU の TC の課金容量を超過したため，UR コピーペアを形成できません。関連するプログラムプロダクトも合わせて，ライセンス容量を確認してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
EAA5	RCU の UR の課金容量を超過したため，UR コピーペアを形成できません。関連するプログラムプロダクトも合わせて，ライセンス容量を確認してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
EAA6	MCU の TC の課金容量を超過したため，UR コピーペアを形成できません。関連するプログラムプロダクトも合わせて，ライセンス容量を確認してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
EAB6	次のどちらかの要因で差分領域を確保できないため，UR コピーペアの形成，および再同期ができません。 • プライマリサイトの共用メモリ領域が不足しています。 • 指定した P-VOL の HDP MF プールが不足しています。	-	-	-	○	-	-	-	-
EAB8	次のどちらかの要因で差分領域を確保できないため，UR コピーペアの形成，および再同期ができません。 • セカンダリサイトの共用メモリ領域が不足しています。 • 指定した S-VOL の HDP MF プールが不足しています。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
EAB9	セカンダリサイトに拡張共用メモリが実装されていないため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EABC	指定した LDEV 番号には共用メモリが実装されていないため，UR コピーペアの形成ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EAD0	デルタリシンク機能がサポートされていないマイクロのため，HOLD パラメタを指定した UR コピーペアの形成ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EAE5	UR の P-VOL に指定した HDP MF ボリュームが容量拡張中のため，コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EAE7	指定したボリュームはストレージシステムのシステムオプションのモード 707 が ON に設定されていて，かつ TC コピーペアのボリュームであるため，UR コピーペアを解除できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EAF6	コピーペア状態が遷移できない状態のため，UR コピーペアの HOLD パラメタ指定の形成，または再同期を実行できません。	-	-	-	○	-	-	-	-

表 3-20 エラーコード一覧（EBxx – FDxx）

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
EB02	指定したジャーナル ID が不正のため，UR コピーペアの状態遷移ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB08	マイクロ交換中，または 4x4 機能をサポートしていないマイクロが混在しているため，EXCTG 登録/削除できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB09	入力パラメタが不正のため，EXCTG 登録/削除できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB0A	EXCTG 登録/削除処理中のため，EXCTG 登録/削除できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB0F	指定した調停コマンドデバイスは調停コマンドデバイスではないため，EXCTG 登録/削除できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB24	次の要因のため，デルタリシンクペアを形成できません。 • 指定したコピーペアの S-VOL が，デルタリシンクペアの対となる UR コピーペアの S-VOL ではありません。 • デルタリシンクペアの対となる UR コピーペアの状態が Duplex ではありません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB25	次の要因のため，デルタリシンクペアを実行できません。 • 指定したコピーペアの S-VOL が，デルタリシンクペアの対となる UR コピーペアの S-VOL ではありません。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
	• デルタリシンクペアの対となる UR コピーペアの状態が Duplex，SuspOp，SuspEr，および SuspCu ではありません。								
EB28	RCU に Disaster Recovery Extended プログラムプロダクトがインストールされていないため，UR コピーペアの形成ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB2D	UR を使用するために必要な SM が実装されていないため，UR コピーペアの操作ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB30	指定したミラー ID が不正のため，UR コピーペアの状態遷移ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB37	マイクロ交換中のため，UR コピーペアの操作ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB38	すでにあるコピーペアと同じジャーナル ID およびミラー ID を使用してコピーペアを形成する場合，すでにあるコピーペアのセカンダリストレージシステムと異なるセカンダリストレージシステムを指定することはできません。このため，UR コピーペアを形成できません。 同じコピーグループの中にセカンダリストレージシステムが複数存在する場合や，指定したジャーナル ID およびミラー ID が別のコピーグループで使用されている場合などにこのエラーが発生します。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB3B	YKEWAIT コマンド，または YKRSCAN コマンドで指定した CU 番号がこの機種でサポートされていないため，一括ペアステータスコマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	-	-	○
EB3C	指定したプライマリストレージシステムのシリアル番号または SSID が一致しないため，UR コピーペアの状態遷移ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB3D	指定したセカンダリストレージシステムのシリアル番号または SSID が一致しないため，UR コピーペアの状態遷移ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB48	次のどちらかの要因のため，デルタリシンクペアを形成できません。 • TC コピーペアの P-VOL ともう一方の UR コピーペアの P-VOL が一致していません。 • コピー元のストレージシステムのシリアル番号が一致していません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB49	RCU 側がデルタリシンク機能を未サポートのため，デルタリシンクペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB4C	指定した R-JNL グループが登録されていないため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB4D	指定した M-JNL グループがストレージシステムに登録されていないため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB4F	M-JNLG と R-JNLG のタイマ種別が異なるため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
EB50	指定したボリュームが実装されていないため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB51	指定したS-VOLにPINデータがあるため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB52	指定したS-VOLはアクセスできない状態のため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB53	指定したS-VOLを構成する物理ボリュームが閉塞しているため，URコピーペアを形成または再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB56	キャッシュの状態が正常でないため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB5B	指定したP-VOLまたはS-VOLにLDEVガードが設定されているため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB5D	指定したP-VOLまたはS-VOLにLDEVセキュリティが設定されているため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB5E	S-VOLがSIMPLEX状態でないため，URコピーペアを形成できません。または，S-VOLがサスペンド状態でないため，URコピーペアを再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB5F	セカンダリストレージシステムにURのプログラムプロダクトがインストールされていないため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB60	P-VOL容量とS-VOL容量が異なるため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB61	プライマリストレージシステム/セカンダリストレージシステム間のパスが有効でないため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB62	指定したP-VOLはコマンドデバイスのため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB63	R-JNLグループ中にすでに別のジャーナルグループのペアが形成されているため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB64	プログラムプロダクトの課金容量を超過したため，URコピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB6B	指定したS-VOLは次のどれかに当てはまるため，URコピーペアを形成できません。 ・ FlashCopyで使用されています。 ・ FlashCopy SEで使用されています。 ・ TSE-VOLです。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
EB6E	プライマリストレージシステムの UR プログラムプロダクトがインストールされていないため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB6F	プライマリストレージシステムのマイクロバージョンが 4x4 構成に対応していないため，UR コピーペアを再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB70	S-VOL がほかのプログラムプロダクトによってすでにコピーペア形成されているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB73	S-VOL がシステム常駐ボリュームのため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB74	メインフレーム接続 CHA がすべて閉塞しているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB78	S-VOL がコマンドデバイスであるため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB79	S-VOL がオンラインになっているため，UR コピーペアを形成または再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB7A	R-JNL グループのジャーナルキャッシュが残留しているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB7D	指定した S-VOL が外部ボリュームのため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB7E	次のどれかの要因のため，UR コピーペアを操作できません。 ・ 指定した S-VOL が，SI で使用されています。 ・ 指定した S-VOL が，Reserve ボリュームです。 ・ 指定した S-VOL が，SI の P-VOL として使用されていて，かつ BC Manager に属するコンシステンシーグループと Command Control Interface に属するコンシステンシーグループの間で共有されています。 ・ 指定した P-VOL および S-VOL が，HDP MF ボリュームで，かつ S-VOL は SI の P-VOL として使用されています。 ・ 指定した P-VOL および S-VOL が，HDP MF ボリュームで，かつ S-VOL は Volume Migration の移動元ボリュームです。 ・ 指定した P-VOL および S-VOL が，HDP MF ボリュームで，かつ S-VOL は Thin Image または Copy-on-Write Snapshot ペアの P-VOL として使用されています。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB7F	指定した S-VOL がサポートされていないエミュレーションタイプのため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB87	次の要因のため，UR コピーペアを形成できません。 ・ セカンダリストレージシステムからプライマリストレージシステムへのパスが設定されていません。 ・ S-VOL が SIMPLEX 状態です。	-	-	-	○	-	-	-	-

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
EB88	次の要因のため，UR コピーペアを形成できません。 • S-VOL が SI コピーペアの S-VOL として使用中です。 • S-VOL が Not Ready 状態(HDD が使用できる状態になっていない)です。 • S-VOL に LDEV ガード(PROTECT)が設定されています。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB89	指定した P-VOL と S-VOL のエミュレーションタイプが異なるため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB8A	指定した M-JNL グループと R-JNL グループのエミュレーションタイプが異なるため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB94	指定したコピーペアが状態遷移できない状態のため，UR コピーペアの状態遷移ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EB9F	指定した S-VOL が実装されていないため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBA0	指定した S-VOL が実装されていないため，UR コピーペアの状態遷移ができません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBA7	S-VOL に指定した HDP MF ボリュームが次のどれかに当てはまるため，UR コピーペアを形成できません。 • 容量の拡張中です。 • ページの解放中です。 • 該当する HDP MF のプールの初期化中です。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBA8	実装されていないボリュームに対してリモートコマンドが発行されたため，コマンドを実行できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBB3	コマンドデバイスが定義されていないため，リモートコマンドを実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
EBBD	コマンドデバイスに LDEV ガードが掛かっているため，コマンドを実行できません。	-	-	-	-	○	-	-	-
EBC6	指定したコピーペアの S-VOL がほかのプログラムプロダクト（SI/FlashCopy）で使用されているため，デルタリシンクペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBCE	指定した S-VOL に更新されていない差分情報があるため，UR コピーペアを再同期（DELTAJNL パラメタ指定）できません。UR コピーペアの再同期（ALLJNL パラメタ指定）を実施してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBD0	指定したストレージシステムまたは CU（SSID）とコマンド発行先のストレージシステムとの間にパスが設定されていない，またはパスが障害状態であるため，リモートコマンドを実行できません。	-	-	-	-	-	○	-	○
EBD3	2 サイト目以降のリモートコマンド転送ルートになるパス，もしくはコマンドデバイスが設定されていないか，または，転送ルートに一時障害が発生しているおそれがあります。パスおよびコマンドデバイスが設定されていることと，転送ルートに問題がないことを確認し，問題がなければ再実行してください。	-	-	-	-	-	-	-	○

エラーコード	エラー内容	エラー要因							
		SI	TC	TCA	UR	CMD	PATH	HDT	その他
EBD9	RCU の TC の課金容量を超過したため，UR コピーペアを形成できません。関連するプログラムプロダクトも合わせて，ライセンス容量を確認してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBDA	RCU の TCA の課金容量を超過したため，UR コピーペアを形成できません。関連するプログラムプロダクトも合わせて，ライセンス容量を確認してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBDB	RCU の UR の課金容量を超過したため，UR コピーペアを形成できません。関連するプログラムプロダクトも合わせて，ライセンス容量を確認してください。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBE0	指定した S-VOL はデルタリシンク用 UR コピーペアですでにコピーペア形成されているため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBE1	デルタリシンクペアのすべての S-VOL が，もう一方の UR の S-VOL でないため，デルタリシンクを実行できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBE2	差分ビットマップ情報がデルタリシンクできない状態にあるため，デルタリシンクを実行できません。デルタリシンクペアの S-VOL を P-VOL のデータで上書きするには，ALLJNL パラメタ指定の YKRESYNC コマンドを実行してください。 エラーの要因は，TC（デルタ UR ペアのマスタジャーナル）への更新データと UR ペアのリストアジャーナルが保持する更新データの不整合と考えられます。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBE5	指定した R-JNL のジャーナルボリュームが閉塞しているため，UR コピーペアを形成または再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBEB	指定したボリュームのエミュレーションタイプが 3390-9A であるため，UR コピーペアを形成または再同期できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBF2	UR ATTIME サスペンド時刻が設定されているため，UR のコピーペアに対してコピー方向が逆転する再同期はできません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBF3	UR ATTIME サスペンド時刻が設定されているため，デルタリシンクペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
EBFD	指定した sub C/T ID がストレージシステムに登録されていないため，UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
F90D	指定したジャーナルグループは EXCTG に登録されているため，すでに登録されている UR コピーペアと異なるミラー ID を持つ UR コピーペアを形成できません。	-	-	-	○	-	-	-	-
FD0B	次のどちらか，または両方の要因のため，TC コピーペアの形成または再同期ができません。 ・ 選択したコピーペアの S-VOL が拡張ロングビジー状態です。 ・ コピーペア状態の変更処理に時間が掛かっています。	-	○	-	-	-	-	-	-
FD0C	次のどちらかの要因で差分領域を確保できないため，TC コピーペアを形成または再同期できません。 ・ プライマリサイトの共用メモリ領域が不足しています。 ・ 指定した P-VOL の HDP MF プールが不足しています。	-	○	-	-	-	-	-	-

A

ユーザ完了コード

この章では，ユーザ完了コードについて説明します。

- A.1 ユーザ完了コード一覧

A.1 ユーザ完了コード一覧

ユーザ完了コードの詳細を次の表に示します。

表 A-1 ユーザ完了コード

完了コード	説明
U0003	発行された CCW に誤りがあります。 登録されているユーザ SVC のバージョンが古いおそれがあります。次に示す手順で，最新のユーザ SVC が登録されているか確認してください。 ・ CLI コマンドで確認する場合 YKINSCHK コマンドを実行して，User SVC Routine に OK が表示されているか確認してください。 ・ ISPF 画面で確認する場合 Installation Verification Summary 画面の User SVC Routine に OK が表示されているか確認してください。
U0128	CLI コマンドを実行する権限がありません。CLI コマンドを実行するために必要なプロファイルの READ 権限がユーザに与えられていないおそれがあります。または，RACF でエラーが発生しているおそれがあります。 理由コードが 00000010 または 00000030 の場合 ・READ 権限が与えられていないプロファイル：STGADMIN.YKA.BCM.COMMANDS プロファイル，または STGADMIN.YKA.BCM.YKQUERY プロファイル ・実行できないコマンド：コピーペア，パス，またはコマンドデバイスの操作や状態を参照するための CLI コマンド 理由コードが 00000040，00000050 または 00000070 の場合 ・READ 権限が与えられていないプロファイル：STGADMIN.YKA.BCM.COMMANDS プロファイル ・実行できないコマンド：コピーペア，パス，またはコマンドデバイスを操作するための CLI コマンド 理由コードが上記以外の場合 RACROUTE REQUEST=AUTH マクロのリターン情報が表示されます。詳細は，IBM マニュアル「*Security Server RACROUTE マクロ解説書*」を参照してください。
U1009	実行できないモジュールを呼び出そうとしました。LINKLIB ライブラリの設定に誤りがあるおそれがあります。 LINKLIB ライブラリには，インストール先データセットを設定してください。

B

このマニュアルの参考情報

この章では，このマニュアルを読むに当たっての参考情報について説明します。

- B.1 関連マニュアル
- B.2 このマニュアルでの表記
- B.3 このマニュアルで使用している略語
- B.4 KB（キロバイト）などの単位表記について

B.1 関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

Hitachi Business Continuity Manager 関連

- *Hitachi Business Continuity Manager ユーザーズガイド*
- *Hitachi Business Continuity Manager インストールガイド*
- *Hitachi Business Continuity Manager リファレンスガイド*

Hitachi ストレージシステム関連

- *ShadowImage for Mainframe ユーザガイド*

B.2 このマニュアルでの表記

このマニュアルでは，製品名を次のように表記しています。

表記	製品名称，または意味	
BC Manager	次の製品の総称です。 ・ Hitachi Business Continuity Manager Basic ・ Hitachi Business Continuity Manager UR 4x4 Extended CTG	
Device Manager	Hitachi Device Manager	
Dynamic Provisioning for Mainframe	Hitachi Dynamic Provisioning for Mainframe	
Dynamic Tiering for Mainframe	Hitachi Dynamic Tiering for Mainframe	
IBM HTTP Server	IBM HTTP Server for z/OS	
Mainframe Agent	Hitachi Device Manager Mainframe Agent	
Replication Manager	Hitachi Replication Manager	
SI	ShadowImage for Mainframe	
TC	TrueCopy for Mainframe	同期コピー（TrueCopy Synchronous）
TCA		非同期コピー（TrueCopy Asynchronous）
TPC-R	IBM Tivoli Storage Productivity Center for Replication for System z	
UR	Universal Replicator for Mainframe	
USP V	次の製品の総称です。 ・ Hitachi Universal Storage Platform V ・ Hitachi Universal Storage Platform VM	
VSP	Hitachi Virtual Storage Platform	
VSP 5000 シリーズ	次の製品の総称です。 ・ Hitachi Virtual Storage Platform 5100 ・ Hitachi Virtual Storage Platform 5500 ・ Hitachi Virtual Storage Platform 5100H ・ Hitachi Virtual Storage Platform 5500H	
VSP 5100	Hitachi Virtual Storage Platform 5100	
VSP 5100H	Hitachi Virtual Storage Platform 5100H	
VSP 5500	Hitachi Virtual Storage Platform 5500	
VSP 5500H	Hitachi Virtual Storage Platform 5500H	
VSP F1500	Hitachi Virtual Storage Platform F1500	

表記	製品名称，または意味
VSP G1000	Hitachi Virtual Storage Platform G1000
VSP G1500	Hitachi Virtual Storage Platform G1500
z/Linux	Linux® on IBM System z

B.3 このマニュアルで使用している略語

このマニュアルで使用している略語を次の表に示します。

略語	正式名称
APF	Authorized Program Facility
API	Application Programming Interface
CCA	Command Control Address
CHA	CHannel Adapter
CLI	Command Line Interface
CSA	Common Service Area
CSB	Channel Status Byte
CU	Control Unit
DAD	Device Address Domain
DASD	Direct Access Storage Device
DBCS	Double Byte Character Set
DKC	DisK Controller
DLIB	Distribution LIBrary
DSB	Device Status Byte
DSORG	Data Set ORGanization
EXCTG	EXtended ConsisTency Group
GTF	Generalized Trace Facility
HTTP	HyperText Transfer Protocol
HTTPS	HyperText Transfer Protocol Security
IPv4	Internet Protocol Version 4
IPv6	Internet Protocol Version 6
ISPF	Interactive System Productivity Facility
LDEV	Logical DEVice
LPAR	Logical PARtition
LRECL	Logical RECord Length（論理レコード長）
M-JNL	Master JourNaL
MCU	Main Control Unit
MIH	Missing Interrupt Handler
MPB	MP Blade
P-VOL	Primary VOLume
PPRC	Peer to Peer Remote Copy
PSW	Program Status Word
R-JNL	Restore JourNaL
RACF	Resource Access Control Facility

略語	正式名称
RAID	Redundant Array of Independent Disks
RCU	Remote Control Unit
RECFM	RECord ForMat
REXX	REstructured eXtended eXecutor
RPO	Recovery Point Objective
S-VOL	Secondary VOLume
SAF	System Authorization Facility
SCP	State Change Pending
SDSF	System Display and Search Facility
SMP/E	System Modification Program Extended
SSID	Storage System ID
SVC	SuperVisor Call
SVP	SerVice Processor
TSE	Track Space-Efficient
TSO/E	Time Sharing Option/Extensions
VM	Virtual Machine
XML	eXtensible Markup Language
XRC	eXtended Remote Copy

B.4 KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト），1MB（メガバイト），1GB（ギガバイト），1TB（テラバイト）は，それぞれ1KiB（キビバイト），1MiB（メビバイト），1GiB（ギビバイト），1TiB（テビバイト）と読み替えてください。

1KiB，1MiB，1GiB，1TiB は，それぞれ 1,024 バイト，1,024KiB，1,024MiB，1,024GiB です。

株式会社 日立製作所

〒 100-8280　東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号